

本書はやさしく取扱ってください。

無理に広げたり引っ張ったりするとページが
バラバラになってしまう場合があります。
やさしい取扱いをお願いします。

- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL:0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
＜携帯電話、IP電話、光電話等をご利用のお客様用＞
TEL:048-662-6636
- 電話受付時間 9:30～12:00 13:00～17:30
(土日、祝日、弊社休業日を除く)
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX:048-662-6676
- ナビゲーションをお買い上げのお客様には、ユーザー登録をして頂く
と、アルパインホームページ上からE-mailでのお問い合わせができま
す。どうぞご活用ください。
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>
FAQ(よくあるご質問) <http://www.alpine.co.jp/support/faq/>
アルパイン製品に関して、お客様からよくあるご質問と回答をご紹介します
ております。



アルパイン株式会社
Designed by ALPINE Japan
Printed in China(Y-686)
68-10872Z04-A

ALPINE

VIE-X075B1/VIE-X075B

ALPINE

MOBILE MEDIA STATION

取扱説明書

VIE-X075B1/VIE-X075B



安全のためにかならずお守りください

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 禁止	分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。
	ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。
 禁止  強制	ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守ってください。事故・火災の原因になります。
 禁止  強制	音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。
 禁止	運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	ナビゲーションによるルート案内は、参考情報です。実際の交通規則を守って運転してください。
 禁止	車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。
 禁止	車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障または聴力障害の原因になります。
 禁止	ディスク挿入口、モニター開閉時のすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。



取り扱い上のご注意(共通)

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

- 本機側の雑音や誤動作の原因になったり、電話や無線機の正常な送受信ができなくなる場合があります。

電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

また、リモコンスターター、カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。

測位状態が安定してから走行する

- GPSを測位してから走行してください。測位状態が不十分なときに走り出すと自車位置がずれる場合があります。

無理な力を加えない

- 製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

- 本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

- お手入れは乾いた布か堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

- 車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときは、常温になってからお使いください。

可動部分の動作中は操作をしない

- ディスプレイ開閉、角度調整など、動作中に操作をしないでください。ケガや故障の原因になることがあります。

温度上昇について

- 可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではありません。手をふれないでください。

可動ディスプレイは必ず閉じる

- 可動ディスプレイが開きっぱなしの状態では、走行しないでください。無理な力が加わり故障の原因になります。

本機で再生できるディスクについて

再生できるディスク

- 本機では次のディスクが再生できます。

	マーク(ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ
DVDオーディオ*		音声 + 映像(動画)	12cm/8cm
DVDビデオ		音声 + 映像(動画)	12cm/8cm
ビデオCD		音声 + 映像(動画)	12cm/8cm
音楽CD**		音声	12cm/8cm(CDシングル)

* 48kHz以上の周波数で録音されているDVDオーディオは、48kHzに変換して再生されます。

** ディスクレーベル面に上記マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。

● 再生可能フォーマット一覧

	CD-R/CD-RW	DVD-R/DVD-RW	DVD+R/DVD+RW
CDフォーマット	○	—	—
MP3フォーマット("mp3")	○	○	○
WMAフォーマット("wma")	○	○	○
AACフォーマット("aac", "m4a")	○	○	○
DVDビデオフォーマット	—	○	○
DVD-VRフォーマット	—	○	—
DivX®フォーマット("avi", "divx")	○	○	○
ビデオCDフォーマット	○	—	—

・ファイナライズ処理されていないディスクは再生されません。

再生できないディスク

- DVD-ROM、DVD-RAM、CD-ROM(MP3/WMA/AACファイルを除く)、フォトCD、DTS-CDなど。

DualDiscについて

- 本機は、DualDiscには対応しておりません。ディスクの出し入れの際、ディスクに傷がついたり故障の原因になる場合もありますので使用しないでください。

DVDリージョン番号(再生可能な地域番号)について

- 本機のリージョン番号は2です。DVDビデオディスクに表示されている地域番号が下記のようなリージョン番号を含んでいないまたは、が表示されていないディスクは再生できません。なお、リージョン番号の設定を変更することはできません。



ビデオCDについて

- 本機は、プレイバックコントロール(PBC)付き対応ビデオCD(バージョン2.0)に対応しています。PBCとはディスクに記録されているメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を対話形式で楽しむことができることを言います。

コンパクトディスク(CD/CD-R/CD-RW)のご使用について

- CD規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最良な音質の保証は致しかねます。また、本機は音楽専用機器で録音した音楽専用のCD-R(CD-Recordable)/CD-RW(CD-ReWritable)、MP3/WMA/AACファイル形式のCD-R/CD-RWの再生が可能です。

次のようなディスクは、再生できないことがあります。

指紋やキズが付いている/車内や製品内に長時間放置した/データ書き込み状態が不安定/データ書き込みに失敗し再録音した場合など。

MP3/WMA/AACファイルは本機対応のフォーマットで記憶したディスクを使用してください。詳しくは230ページを参照してください。

コンパクトディスク(CD/CD-R/CD-RW)の取り扱い

- 故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。
盤面にさわらない/直射日光下に置かない/ラベルを貼らない/ホコリやごみが付いたら拭きとる/バリが無いことを確認する/市販のアクセサリを使わない。

特にCD-R/CD-RWは以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱い、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。

CD-R/CD-RWをご使用のお客様へ

- CD-R/CD-RWが再生できない場合は、クローズセッション(ファイナライズ処理)を行っているかどうか、確認してください。
- 行われていない場合は、クローズセッション(ファイナライズ処理)を行い、再度お試しください。
- 同じディスクに音楽データ(CD-DA)とMP3/WMAデータが混在する場合は、音楽データ(CD-DA)のファーストセッションのみが再生されます。
- マルチセッションには対応しておりません。"Track at once"で書き込んだ場合、クローズセッションや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクのご使用について

- 本機は、DVD-Videoモード、DVD-VRモード(DVD-R/DVD-RWディスクのみ)で記録されたディスクに対応しております。
- ファイナライズ処理(再生専用DVDプレーヤーで再生可能にするための処理)がされていないディスクは再生できませんのでご注意ください。
- ディスクの書き込みに使用した機器の仕様によっては再生できない場合があります。
- 本機には違法コピー検出機能を有しております。違法コピーを検出した際は再生を行いません。正しい方式で記録されないPCソフトで記録した場合、本機では違法コピーと検出する場合があります。
- 録画に使用したDVDレコーダやDVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクの特性、傷、汚れ、またはDVDプレーヤーのピックアップレンズの汚れ、結露などにより再生できない場合があります。
- DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクの取り扱いにあたっては、ディスクの使用上の注意を必ずお守りください。
- DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクのレーベル面や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクは通常のDVDに比べ高温多湿環境や直射日光に弱く、一部のディスクや長時間車室内に放置したディスクは再生できない場合があります。
- ディスク本体の再生可能な温度範囲は、次の通りです。
DVD-R/DVD-RW : -25～+70℃
DVD+R/DVD+RW : +5～+55℃

ディスクに関する用語について

- タイトル
DVDビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。
- チャプター
タイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。
- プレイリスト
再生する映像の再生順を記録したリストです。
- グループ
DVDオーディオに記憶されているトラック(1曲分)がいくつかのグループにまとまっているものです。ディスクによっては、グループ再生の仕方が異なります。

取り扱い上のご注意(ディスク)

- 特殊な形状のディスクは使わない
必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。
- ディスクのお手入れ
柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。
- 新品のバリに注意
ディスクの側面やセンターホール面にバリ(突起)があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。



レンズクリーナーについて

- レンズクリーナーは必ずアルパイン専用の「KAE-125C」(別売)を使用してください。「KAE-125C」以外のレンズクリーナーを使用すると、レンズの破損や故障の原因となります。
- DVDメカニズムのピックアップレンズは長期間のご使用の間に汚れが付着し、読み取り精度が劣化する場合があります。レンズクリーナーによる定期的なクリーニングをお勧めします。

取り扱い上のご注意(SDメモリーカード)

SDメモリーカードの取り扱い

- 故障や動作不良をおこさないために次の点を守ってお使いください。また、SDメモリーカードの取扱説明書もよくお読みください。

端子部には手や金属で触れない/強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしない/分解したり、改造したりしない/水にぬらさない

- また、以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。

- ・高温になった車内や炎天下など気温の高い場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

特に以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、SDメモリーカードが劣化し再生不能となる場合があります。

誤消去防止スイッチについて

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。

結露にご注意

- 寒い車内を急に暖めると、本体内部に露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどSDメモリーカードを取り出しておくと正常に動作します。

取り扱い上のご注意(ハードディスク)

磁力を持つ製品を近づけない

- ハードディスク(HDD)は強磁界に弱いため、ナビゲーションにスピーカーやGPSアンテナなどの磁力を持つ製品を近づけないでください。HDD内のデータが消去される場合があります。

ハードディスクを取り外さない

- 本機を分解してハードディスク(HDD)を取り外さないでください。お客様ご自身がハードディスクを外して故障した場合は、一切保障いたしかねます。

お読みください

- この取扱説明書に記載されているソフトウェアは、ライセンスの所有者にのみ供給され、同ライセンスの許可する条件のもとでのみ使用することが許されます。
- 当該ライセンスが許可している場合を除き、本出版物のいかなる部分もアルパイン株式会社の書面による事前の許可無しには、いかなる条件下でも、また電子的、機械的、録音、その他のいかなる手段によっても、コピー、検索システムの記憶、または転送を行うことはできません。
- この取扱説明書に記載された内容は、情報の提供のみを目的にしており、予告無しに変更されることがあります。
- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は日本国内専用です。

モニターのお手入れ

- モニターが汚れたら柔らかい布(シリコンクロスなど)でふいてください。
- 汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、よくしぼってからふきとってください。
- 「水」や「水で薄めた中性洗剤」は直接モニターにかけないでください。
液体が内部に入り「シミ」や「故障」の原因になります。
- モニターは傷つきやすいため、硬いものでふいたり、こすったり、物をぶついたり、強い力で押したりしないでください。
- ベンジン、アルコール、シンナーは使用しないでください。変色、変質の原因になります。

注意

- 本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。



ご使用前にお読みください

- ・ 本機には、交通規制データが収録されておりますが、運転に際しては、必ず現場の交通規制標識・掲示板等を確認し、もしデータと違うときには、現場の標識、掲示板等に従って下さい。
- ・ 運転中の操作は大変危険です。必ず停車中に操作してください。
- ・ 情報の最終更新年月が地域によって格差がある為、ある特定地域での道路の整備状況によって、未収録や更新されていない場合があります。
天変地異による規制には対応しておりません。該当する周辺を走行する際には、警察・交通情報センター等へご確認ください。
- ・ 本機を使用したことにより発生したお客様本人及び第三者のいかなる損害についても、弊社はその責任を一切負いかねます。
- ・ 本機収録の内容に誤字・脱字・位置ずれ等の表記または内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。
- ・ 本機収録の内容は予告なく変更されることがあります。
- ・ 本機に含まれる機能がお客様の特定目的に適合する事を、弊社は保証するものではありません。

本書の見かた

1.操作タイトル

操作目的ごとにタイトルがつけられています。

2.操作手順

操作の手順を示しています。

3.補足

手順や結果に対する補足説明をしています。

4.操作画面

操作を行う前の画面を示しています。

5.アドバイス

知っておくと便利な情報や、関連する参照先などを示しています。

注意

制限事項や注意事項など重要な説明をしています。必ずお読みください。

■ 本書でのスイッチ表記について

・本体スイッチは、**○○○**でスイッチ名称(**メニュー/PWR**など)を表示しています。

・画面のタッチスイッチは、**○○○**でスイッチ名称(**設定を変える**など)を表示しています。

● 地点を登録する

十字カーソル位置の地点情報を地図に登録します。住所や電話番号などの情報も登録され、地図上には登録したマークが表示されます。また、登録した地点を簡単に呼び出すことができます。
登録できる地点には登録地点、特別地点(自宅、よく行く地点)、迂回地点があります。

● 1 登録 にタッチします。



- **地点を登録** :以降の操作は、「地点を登録する」(94ページ)の手順3へ進んでください。
- **特別地点** :以降の操作は、「特別地点(自宅/よく行く地点)を登録する」(92ページ)の手順3へ進んでください。
- **迂回する地点** :以降の操作は、「迂回地点を登録する」(101ページ)の手順3へ進んでください。
- **現在地** :以降の操作は、「自車位置を修正する」(135ページ)の手順5へ進んでください。

● 目的地や経由地として設定する

十字カーソル位置の地点を目的地や経由地に設定します。経由地は、すでに目的地がセットされている場合のみ設定できます。

● 1 目的地 または 経由地 にタッチします。



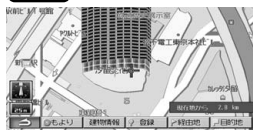
- 以降の操作は、目的地をセットした場合は「ルート探索結果画面」(74ページ)、経由地をセットした場合は「経由地を設定する」(76ページ)の手順3へ進んでください。

● 建物情報を見る

市街地図(48ページ参照)を表示しているときは、建物のフロア案内などを見ることが出来ます。

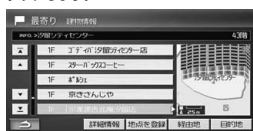
● 1 市街地図画面で情報を見たい建物にタッチします。

● 2 建物情報 にタッチします。



建物のフロア案内が表示されます。

● 3 フロアの施設名にタッチし、詳細情報 にタッチします。



詳細情報が表示されます。



● 4 現在地 スイッチを押して現在地画面に戻します。

● アドバイス

- 建物によってはフロア案内が表示されない場合があります。その場合は、建物(施設)名称のみが表示されます。
- 詳細情報でQRコード(62ページ参照)を利用することができます。

案内音量を調整する ●

ナビゲーション案内音声の音量を調整します。音声をOFFにすることもできます。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**音量調整** にタッチします。



音量調整画面が表示されます。●

- 2 「ガイド音声」の または にタッチして音量レベルを設定します。



- にタッチするたびに音量レベルが1つ下がり、 にタッチするたびに音量レベルが1つ上がります。
- 8段階で設定できます。
- 一番下のレベルに設定すると音声をOFFにできます。
- ガイド音声を調整すると「この音声で案内します。」と出力され、設定した音量を音声で確認することができます。

- 3 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。

④ アドバイス

- 案内音量をOFFにすると、目的地案内画面に表示される **[K01]** スイッチは色がトーンダウンし操作できません。



基本操作

6.項目タイトル

項目ごとにタイトルがつけられています。

7.セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

8.結果文

操作を行ったあとの状態を示しています。

はじめに

■ 本書の操作方法説明について

本書は本体スイッチとタッチスイッチを使って操作方法を説明しています。

リモコンを使用しての操作方法については、「リモコン操作(オプション)」(357ページ)を参照してください。

目 次

はじめに

本書の見かた

目 次

特 長

準 備

各部の名称と操作 19

電源のON/OFF 21

リセットする 21

ディスプレイの角度を調整する 22

DVD、CD、SDメモリーカードの

出し入れ 22

ナビゲーション画面を表示する 23

サウンド・映像モードに切りかえる 24

画面を消す 25

マルチゲート画面、マルチインフォメーション画面について

マルチゲート画面 26

マルチインフォメーション画面 29

メニュー画面、リスト画面について

メニュー画面を切りかえる 31

リスト画面を切りかえる 32

文字・数字の入力方法

文字を入力する 33

文節区切りを変更する 34

数字を入力する 34

ディスプレイ設定

ディスプレイ設定操作 35

ディスプレイ表示設定 35

ディスプレイ照明設定 37

画質の調整 38

画面モードを切りかえる 40

ナビゲーション編

基本操作

画面の見かた 42

地図を表示する 45

地図表示のしかたをかえる 46

スクロールや検索して表示させた

地図の操作 53

案内音量を調整する 55

ナビゲーション案内

目的地設定・ルート探索について 58

行き先を探す 59

目的地を設定してルートを探索する 72

目的地案内を開始する 77

案内中のルートを確認する 79

案内中のルートを変更する 82

目的地案内表示 86

地点の登録

特別地点(自宅/よく行く地点)を

登録する 92

地点を登録する 94

特別地点/登録地点情報を確認・変更する 95

迂回地点を登録する 101

迂回地点情報を確認・変更する 102

ドライブインフォメーション

ドライブインフォメーション画面を

表示する 106

ドライブインフォメーション画面の

見かた 107

ドライブインフォメーション設定 110



VICS情報を見る

VICSってこんなこと	112
利用できる情報	114
VICS情報画面の呼び出し	118
VICS情報画面の操作	119
FM多重放送を見る	120
VICS情報を見る	121
割込み情報を見る	122
駐車場情報を見る	123
VICS設定	125
VICSに関する補足事項	128
VICS道路交通情報マーク一覧	130

設定

地図表示設定	132
案内誘導設定	136
経路設定	139
ルート学習設定	141
ナビ情報設定	143
情報消去	146

ハンズフリー電話を使う

ハンズフリー電話について	148
携帯電話を接続する	149
電話を受ける	151
電話を切る	156
電話をかける	157
電話帳を編集する	161
発信履歴機能を利用する	164
着信履歴機能を利用する	166
通話音量を調整する	168
電話・通信設定	169

オプション機能

ETCについて	176
フロントカメラ/リアカメラの操作	178
リアモニターについて	183

各種データ一覧

地図マーク一覧	186
市街地図収録都市リスト	187
施設ジャンル一覧	192

サウンド・映像編

基本操作

サウンド・映像モードのON/OFF	206
モードを切りかえる	207
各モードの操作画面	208
音量の調整	210

ラジオ操作

画面の見かた	212
ラジオを聴く	213
聴きたい放送局を選ぶ	214
放送局を記憶する	215
放送局にタイトルをつける	216
交通情報を受信する	217

CD/MP3/WMA/AAC操作

画面の見かた	220
CD/MP3/WMA/AACを聴く	223
聴きたい曲(ファイル)を選ぶ	224
早送り・早戻しする	226
曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)	227
曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス) ...	228
繰り返し聴く REPEAT(リピート)	229
MP3/WMA/AACについて	230

HDD AUDIO操作

HDDをご使用になる前に	234
HDDへ録音する	237
画面の見かた	238
HDDの曲を聴く	240
聴きたい曲を選ぶ	241
早送り・早戻しする	242
聴きたい曲を探す	243
曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)	245
曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス) ...	246
繰り返し聴く REPEAT(リピート)	247
プレイリストの編集	248
HDDの編集	253
タイトル情報を取得する	258
設定	259

SDメモリーカード操作

SDメモリーカードモードにする	262
音楽/写真データを再生する	263
登録地点をコピーする	264
SDメモリーカードの画像を HDDに追加する	266

DVD/ビデオCD/DivX® 操作

ご使用になる前に	268
画面の見かた	270
再生する	279
メニューを表示する	280
再生中止(PRE STOP)する	282
再生停止する	283
早送り・早戻しする	284
静止(一時停止)する	285
コマ送り再生する	286
スローモーション再生する	287
見たい映像を探す	288

繰り返し見る REPEAT(リピート)	292
DVD機能の切りかえ	293
DVD初期設定	295
視聴制限したDVDを再生する	302

地上デジタルテレビ操作

〈VIE-X075B1の操作〉	
画面の見かた	304
ワンセグ放送を見る	307
放送局を選ぶ	308
放送局を記憶する	309
音声多重機能を使う(二重音声放送)	310
〈VIE-X075Bの操作〉	
画面の見かた	311
地上デジタルテレビを見る	314
放送局を選ぶ	315
ワンセグ放送を見る	316
データ放送を見る	317
受信情報を表示する	318
番組情報を見る(EPG)	319

iPod操作

画面の見かた	322
iPod®を再生する	324
聴きたい曲/見たい映像を選ぶ	325
早送り・早戻しする	326
一時停止する	327
聴きたい曲を探す	328
見たい映像を探す	331
ファイル順を変えて聴く シャッフル (M.I.X. ミックス)	332
繰り返し聴く REPEAT(リピート)	333
iPod設定	334

AUX操作(オプション)

AUX操作	336
AUX設定	339



設定

サウンド調整画面の操作	342
サウンド調整	343
オーディオ設定	350
画像設定	354

その他

リモコン操作(オプション)

リモコンを使いこなす	358
リモコン操作	360

その他

言語コード一覧	378
用語説明	380
Q&A	382
故障かな?と思ったら	390
保証について/規格	396
VICS情報有料放送サービス契約約款 ...	399
地図データについて	401
マイクロソフトからの使用許諾契約書 ...	402
お問い合わせ窓口	403
知っておきたい豆知識	404
MENU項目一覧	406
設定項目一覧	407
目的別索引	410
索引(ナビゲーション編)	416
索引(サウンド・映像編)	421
電波に関する注意事項	425

はじめに

ナビゲーション編

基本操作

ナビゲーション案内

地点の登録

ドライブインフォメーション

VICS情報を見る

設定

ハンズフリー電話を使う

オプション機能

各種データ一覧

サウンド・映像編

基本操作

ラジオ操作

CD/MP3/WMA/AAC操作

HDD AUDIO操作

SDメモリーカード操作

DVD/ビデオCD操作

地上デジタルテレビ操作

iPod操作

AUX操作(オプション)

設定

その他

リモコン操作(オプション)

その他

特 長

大型ディスプレイでタッチ操作

7型タッチディスプレイを搭載していて、画面に触れるだけの簡単操作です。別売リモコンを使用して、リモコン操作を行うこともできます。

ドライブインフォメーション

ドライブインフォメーション画面では、車速・横方向の加速度やエコ走行ガイドなど、ドライブに役立つ様々な情報を表示します。



マルチゲート画面

ナビ、サウンド・映像、ドライブインフォメーション、ハンズフリー電話の状態を同時に表示することができます。更に、それぞれのソースに簡単に切りかえることができます。



アクティブルートサーチ(77ページ)

目的地までのルートを行進中に、常に最適ルートを自動サーチし、最適ルートを発見したら、ただちに表示します。さらにVICS光ビーコンの渋滞情報をキャッチし、区間通過時間を短縮できると判断すると、「時短・最適ルート」を表示します。

マルチインフォメーション画面

例えば、ナビの現在地画面を表示しながら、サウンド・映像ソースの操作を行うことができます。また、ルート情報やドライブインフォメーションを表示します。



走行する道路に応じた地図自動切りかえ(ワンルック・マップ)

一般道と高速道路、走行中と停止中で表示情報量が見やすく切りかわります。

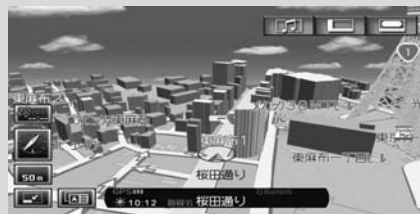
<走行中>

建物を省略し、道路を見やすく表示します。



<停車中>

現在地を確認しやすいように、建物を強調して表示します。



今いる場所を明確に把握できる名称表示

道路名、現在地名をわかりやすくインジケータバーで表示します。



住所エリアや道路をカラフルな色彩で色分けした見やすい地図表示

全国の道幅データにより、細街路、1車線、2車線、3車線以上の道路を高速道路、国道、主要道、県道、その他の道路で色分け表示し、実際の道路状況をナビゲーション画面にリアルに再現しています。また市街地図では、都道府県や市区町村などの境ごとで塗り分けして地図を見やすく表示します。

安全性を考慮したリアルな交差点案内(86ページ)

ルート走行時に交差点に近づくとき交差点拡大図が現れ、「交差点名」「距離」「曲がる方向」「レーン案内」などを表示します。3Dイラスト情報のある交差点では、立体的な案内画面が表示されます。また高速道路のジャンクションでは、高速分岐拡大図を表示しますので安心です。



好きな地点を登録(91ページ)

よく利用する地点を登録して地図上に表示させたり、迂回したい地点などを登録してルート探索に反映させることができます。登録した情報は必要なときに登録地点リストから探し出すこともできます。

主要な施設の3Dアイコン表示(134ページ)

ランドマークになるような著名な施設やビルを3Dアイコンで地図に表示することができます。



渋滞などの情報を表示するVICS機能(111ページ)

VICSセンターから提供される交通情報を受信し、その情報を文字(レベル1)・簡易図形(レベル2)・地図(レベル3)で表示します。また、ビーコンユニット(別売)を接続すると、光・電波ビーコンを受信し、渋滞情報を考慮したルート探索やリアルタイムな割り込み情報を表示できます。



便利なハンズフリー電話(147ページ)

専用ケーブルまたはBluetoothを使用し、携帯電話を接続すると、ハンズフリー電話として利用することができます。携帯電話のメモリーを取り込んだり、便利なワンタッチダイヤルへの登録もできます。

**圧縮した音楽ディスクを再生する
MP3/WMA/AACプレーヤー
(219ページ)**

MP3/WMA/AAC形式で編集されたCD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクまたはSDメモリーカードを再生します。

**音楽を再生、また登録地点データの
コピーができるSDメモリーカード
(261ページ)**

SDメモリーカードに記録された音楽/画像データを本機で再生することができます。また、SDメモリーカードの画像データを本機HDDにコピーして表示したり、本機ナビの登録地点データをSDメモリーカードに記録することが可能です。

**鮮明な映像が楽しめる
DVDプレーヤー(267ページ)**

高画質・高音質で記録されたDVDビデオ/DVDオーディオを再生することができます。また、DVD-VRモード/DivX®モードで記録されたディスクに対応しています。

**音楽をハードディスクに録音できる
HDD AUDIO(ハードディスク オー
ディオ)(233ページ)**

大容量のハードディスクに、CDの音楽を好きなときに録音できます。録音したデータはジャンル別や好みの分類に編集することができ、あなただけのアルバムを作成することができます。

**理想の音響空間を創り出す様々な音質
調整機能(343ページ)**

車が持つ様々な音響特性や、お使いになるメディアの特性に合った音質を創り出すことができます。

iPod® Direct接続(321ページ)

iPodを別売のケーブルを使用して接続し、本機で音楽や映像を再生することができます。

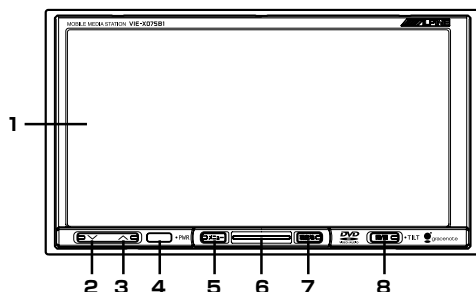
地上デジタル放送に対応

本機で地上デジタルテレビを楽しむことができます。VIE-X075B1にはワンセグチューナーが内蔵されており、VIE-X075Bには地上デジタルテレビチューナーが添付されています。

各部の名称と操作

本機は本体スイッチを押したり、画面に表示されるスイッチ(タッチスイッチ)に直接タッチして操作します。別売リモコンからの操作については、「リモコン操作編」を参照してください。

本体スイッチ



1.画面

地図やメニューなどが表示されます。

2. スイッチ

オーディオ・テレビの音量を小さくするときに押します。10秒以上押し続けると、本機をリセットします。

3. スイッチ

オーディオ・テレビの音量を大きくするときに押します。

4. リモコンセンサー/調光センサー

別売リモコンで操作するときには、リモコンセンサーに向けて2m以内で使用します。また、周囲の明るさを探知します。

5. スイッチ

トップメニュー画面を表示します。また、長く押すと、本機の電源をON/OFFすることができます。

6. アクションインジケータ

下記の場合以外は常時点灯しています。

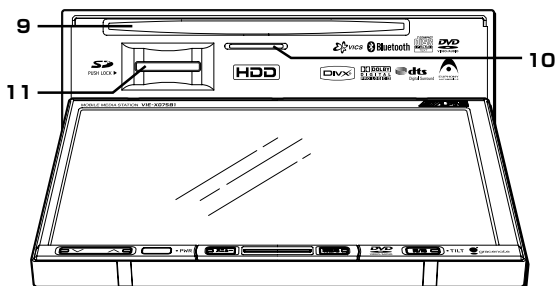
- ディスプレイ開閉時に点滅します。
- ディマー(ディスプレイの明るさ)設定ON時は消灯し、オート時は車内の明るさに連動して減光します。
- ディスプレイが開いている時は消灯します。

7. スイッチ

ナビゲーションの現在地画面を表示します。

8. スイッチ

ディスプレイを開閉するとき、またはディスプレイの角度を調整するときに押します。



9. DVD/CD挿入口

CDやDVDを挿入します。

11. SDメモリーカード挿入口

SDメモリーカードを挿入します。

10. 照光部

ディスプレイオープン時に点灯します。

アドバイス

- マルチゲート画面の背景を変更すると、アクションインジケータの色も連動して変化します(「スキンを変更する」28ページ参照)。

タッチスイッチ

タッチスイッチとは、画面に表示されているスイッチのことで、直接タッチして操作します。



タッチスイッチ

■ タッチスイッチの操作について

- タッチスイッチは操作音が鳴るまでタッチしてください。
- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 操作できないタッチスイッチは、色がトーンダウンします。また、スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチが橙色になるものもあります。
- 「地図にタッチ」は、直接地図(タッチスイッチ以外の場所)をタッチすることを示しています。
- 操作音の音量を設定することができます(「操作音の設定」346ページ参照)。

● 注意

- 画面のよごれは、柔らかい布(シリコンクロスなど)で軽く拭き取ってください。手で強く押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してありますので、ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

● アドバイス

- 1つ前の画面に戻すときは、にタッチします。ただし、機能によってはタッチした画面で行った操作がキャンセルされる場合があります。



電源のON/OFF

1 イグニッションキーをACCまたはONにします。

本機の電源が自動的に入ります。電源が入るとオーブニング画面、「必ずお読みください」画面に続いてモード画面(地図画面やCD画面など)が表示されます。表示されるモード画面はイグニッションキーをOFFにする前のモード画面を表示します。例えば、DVDモードでイグニッションキーをOFFからONにすると、DVDモードで立ち上がります。



2 電源を切るには(メニュー/PWR)スイッチを押し続けます。

本機の電源がOFFになります。

電源を入れるには、再度(メニュー/PWR)を押します。

注意

- 動きのない画面を長時間表示させないでください。同じ画像を長時間表示しているとその画像が画面に残ってしまふことがあります。

アドバイス

- 電源を入れた直後は、画面が暗く見にくいときがありますが、数分たちますと正常表示になります。また画面(液晶パネル)は、全有効画素中に微少の画素欠や常時点灯画素がありますが故障ではありません。

サウンド・映像モードのON/OFFについて

初期設定では、サウンド・映像モードはONになっています。OFFにして音声/映像の出力を行わないようにするには以下の操作を行います。

1 (メニュー/PWR)スイッチを押した後、AV OFF にタッチします。



AV OFF スイッチがオレンジ色になり、サウンド・映像モードの音声/映像共に出力されなくなります。

2 サウンド・映像モードをONにするには、再度 AV OFF にタッチします。

リセットする

操作中に停止したままになったり、画面が暗くなるなど正常に動作しなくなった場合は、一度イグニッションキーをON/OFFしてください。それでも正常動作しない場合は、本機をリセットしてください。

1 (リセット)スイッチを10秒以上押し続けます。本機のシステムがリセットされ、再起動します。

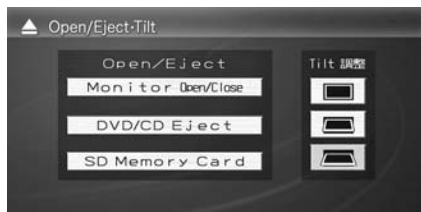
アドバイス

- リセットを行っても、地点情報や設定などが消えることはありません。

ディスプレイの角度を調整する

ディスプレイの角度を3段階で調整できます。画面が最も見やすい角度に調整してください。

- 1 **開/閉/TILT** スイッチを押します。
Open/Eject・Tilt画面が表示されます。



- 2 「Tilt調整」のお好みの角度(, , ) にタッチします。
ディスプレイの角度がスライドします。

アドバイス

- 角度をつけたままでも **開/閉/TILT** スイッチを押して **Monitor Open/Close** にタッチするとディスプレイは開きます。ディスプレイを閉じると調整した角度に戻ります。
- ディスプレイを開いている場合は、角度を調整できません。
- Open/Eject・Tilt 画面表示時に **開/閉/TILT** スイッチを押すと、元の画面に戻ります。
- ディスプレイの動作が止まったときは、**開/閉/TILT** スイッチを10秒以上押してください。ディスプレイが開き、ディスクが挿入されているときは押し出されます。

DVD、CD、SDメモリーカードの出し入れ

各メディアの取り扱いについては、3～8ページ「取り扱い上のご注意」を参照してください。

注意

- ディスプレイを開いたままにしないでください。故障や事故の原因になります。

アドバイス

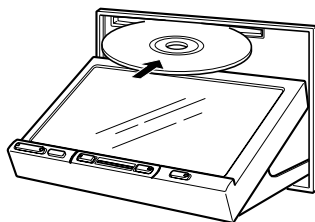
- ディスプレイの角度をつけているときは、ディスプレイを閉じると調整した角度に戻ります。
- DVD/CD/SDメモリーカードの場合、メディアのチェックやファイル形式を読み込むまで、再生に時間がかかる場合があります。
- DVD/CDが取り出せないとき(噛み込みなど)は、**開/閉/TILT** スイッチを10秒以上押してください。ディスプレイが開き、ディスクが押し出されます。

DVD/CDを入れる

注意

- ディスクを挿入する前に必ずディスクが入っていないことを確認してください。ディスクが入っているときは、挿入口下の青いランプが点灯しています。

- 1 **開/閉/TILT** スイッチを押します。
Open/Eject・Tilt画面が表示されます。
- 2 **Monitor Open/Close** にタッチします。
ディスプレイが開きます。
- 3 レーベル面を上にしてDVD/CD挿入口にディスクを挿入します。



途中まで挿入すると、ディスクが自動的に引き込まれます。
ディスクが挿入されると、ディスプレイが自動的に開き再生が始まります。

DVD/CDを取り出す

- 1 **開/閉/TILT** スイッチを押します。
Open/Eject・Tilt画面が表示されます。

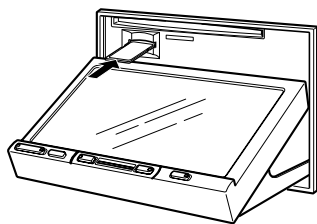
- 2** **DVD/CD Eject** にタッチします。
ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。
• ディスクが排出されるまで少し時間がかかります。

- 3** ディスクを取り出します。
ディスクは必ず取り出してください。

- 4** **Monitor Open/Close** にタッチします。
ディスプレイが閉じます。

SDメモリーカードを入れる

- 1** **開/閉/TILT** スイッチを押します。
Open/Eject・Tilt画面が表示されます。
- 2** **Monitor Open/Close** にタッチします。
ディスプレイが開きます。
- 3** レーベル面を上にしてSDメモリーカード挿入口にSDメモリーカードを挿入します。



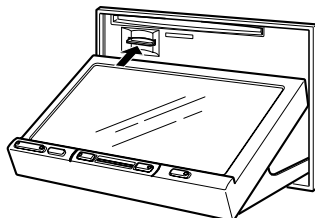
- “カチッ”と音がするまで差し込んでください。

- 4** **Monitor Open/Close** にタッチします。
ディスプレイが閉じます。

SDメモリーカードを取り出す

- 1** **開/閉/TILT** スイッチを押します。
Open/Eject・Tilt画面が表示されます。
- 2** **SD Memory Card** にタッチします。
SDメモリーカードの再生を行っていた場合は停止されます。

- 3** 挿入されているSDメモリーカードを押します。
SDメモリーカードが押し出されます。



- 4** SDメモリーカードを取り出します。
SDメモリーカードは必ず取り出してください。

- 5** **Monitor Open/Close** にタッチします。
ディスプレイが閉じます。

ナビゲーション画面を表示する

ナビゲーション画面を表示するには、本機の電源がONのときに、下記のいずれかの操作を行います。

現在地画面を表示する

- 1** **現在地** スイッチを押します。
現在地画面が表示されます。

マルチゲート画面から現在地を表示する

- 1** マルチゲート画面で、自転車位置表示にタッチします。
マルチゲート画面については「マルチゲート画面」(26ページ)を参照してください。



現在地画面に切りかわります。

ナビメニュー画面を表示する

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。



- 2 ナビゲーションメニュー画面が表示され、地点の検索や設定の変更などを行うことができます。



サウンド・映像画面から切りかえる

- 1 サウンド・映像モードのメイン画面で、**ナビ** にタッチします。



現在地画面に切りかわります。

アドバイス

- マルチインフォメーション画面では、**ナビ** は表示されません。

サウンド・映像モードに切りかえる

サウンド・映像モードに切りかえるには、本機の電源がONのときに、下記のいずれかの操作を行います。

メニューからサウンド・映像の各ソースに切りかえる

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。



- 2 ソースを選び、タッチします。

<画面例(VIE-X075B1)>



選んだソースのメイン画面に切りかわります。

ダイレクトにサウンド・映像の各ソースに切りかえる

- 1 DVD、CDを本機に挿入します。
挿入したメディアの再生が始まります。
挿入の方法については「DVD、CD、SDメモリーカードの出し入れ」(22ページ)を参照してください。

地図画面から切りかえる

- 1 地図画面で、**サウンド・映像** にタッチします。



サウンド・映像モードのメイン画面に切りかわります。

🔊 アドバイス

- マルチインフォメーション画面では、 は表示されません。

画面を消す

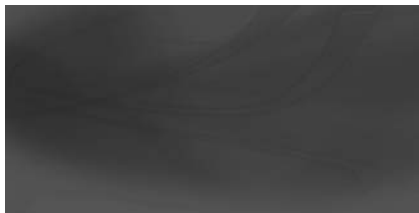
画面表示をOFFにし、好きな画像(壁紙)を表示させることができます。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押したあと、**画面 OFF** にタッチします。



画面が消えます。

- 2 画面にタッチすると壁紙が表示されます。



- 画面表示を通常に戻すには **メニュー/PWR** スイッチまたは **現在地** スイッチを押します。
- 壁紙を変更することができます(「画面OFF時の壁紙を設定する」355ページ参照)。
- 壁紙表示をOFFにすることができます(「壁紙をOFFにする」25ページ参照)。

🔊 アドバイス

- 画面表示をOFFにしても、GPSによる現在地測位は継続されています。
- 画面表示がOFFのときに電話の着信があった場合は、通話終了後、画面表示OFFに戻ります。
- 画面OFF時は、ナビの音声案内と案内映像の割り込みは行われません。

壁紙に時計を表示させる

- 1 壁紙表示中に画面にタッチします。
- 2 **時計1** **時計2** のいずれかにタッチします。



- 時計表示をさせないときは、**しない** にタッチします(初期設定は「しない」)。
- 時計が表示されます。



例)時計1

壁紙をOFFにする

- 1 壁紙表示中に画面にタッチします。
- 2 **画面OFF** にタッチします。



壁紙表示がOFFになります。

🔊 アドバイス

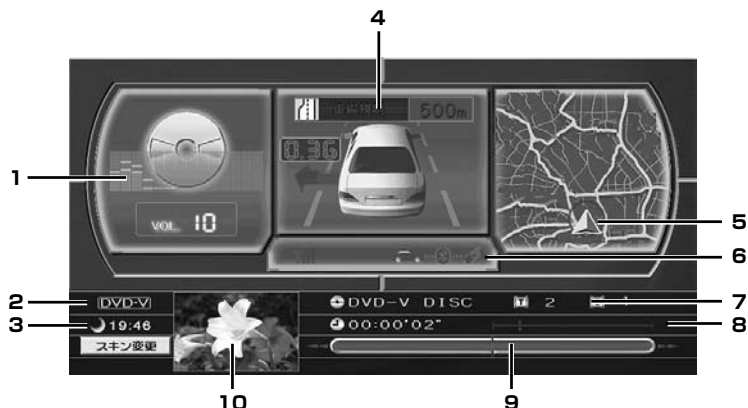
- 壁紙表示OFFを解除するには、壁紙表示OFFの画面をタッチします。

マルチゲート画面、マルチインフォメーション画面について

マルチゲート画面

マルチゲート画面を使用すると、同時に複数のソースの状態を表示することができ、更にそれぞれのソースへの切りかえを簡単に行うことができます。各ソースからも簡単にマルチゲート画面に切りかえることができます。また、画面の背景や色をお好みに合わせてカスタマイズすることが可能です。

画面の見かた



1 スペアナ・音量表示

現在のサウンド・映像ソースのスペアナ、音量、イメージ画像を表示します。

2 サウンド・映像ソース名称表示

3 時刻表示

4 ドライブインフォメーション

5 現在地画面表示

6 通信状態表示

<表示例>

• 通常表示



• 通話中表示



• 電話非接続時表示



7 サウンド・映像ソース情報表示

「インジケータ表示について」(28ページ)を参照してください。

8 再生時間表示バー

9 スライダーバー

10 サウンド・映像ソース画面

再生中の映像、またはイメージ画像が表示されます。HDD AUDIO再生時には、あらかじめ登録してあるお好みの画像を表示することができます。

マルチゲート画面を表示する

1 にタッチします。

<画面表示例>



マルチゲート画面に切りかわります。

ソースを切りかえる

1 画面にタッチします。



タッチしたソースの全画面またはマルチインフォメーション画面に切りかわります。

- 1 現在のサウンド・映像ソースに切りかわります。
- 2 ドライブインフォメーション画面に切りかわります。
ドライブインフォメーション画面については「ドライブインフォメーション」(105ページ)を参照してください。
- 3 ナビゲーション画面に切りかわります。
- 4 COMMUNICATION画面に切りかわります。
COMMUNICATION画面については「COMMUNICATION画面から電話をかける」(160ページ)を参照してください。

アドバイス

- 最後に表示していた画面表示方法(全画面またはマルチインフォメーション画面)で表示されます。

スライダバー操作

スライダバーにタッチして、チャンネルUP/DOWN、トラックUP/DOWNなどの操作を行うことができます。



スライダバー

1 スライダバーにタッチします。



ラジオモード:

タッチすると周波数がUPします。右側に向かってなぞると、プリセットNo.が3つ進みます。

DVD/ビデオCD/DivX®/CD/HDD AUDIO/SDメモリーカード/iPodモード:

タッチすると次の曲(チャプター/トラック)に進みます。タッチし続けると早送りを行います。右側に向かってなぞると、3曲分進みます。

EXT.DVDモード:

タッチすると次のチャプターに進みます。

ワンセグ/EXT.DTVモード:

タッチするとチャンネルまたはプリセット番号がUPします。



ラジオモード:

タッチすると周波数がDOWNします。左側に向かってなぞると、プリセットNo.が3つ戻ります。

DVD/ビデオCD/DivX®/CD/HDD AUDIO/SDメモリーカード/iPodモード:

タッチすると現在の曲(チャプター/トラック)の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲(チャプター/トラック)の頭出しをします。タッチし続けると早戻しを行います。左側に向かってなぞると、3曲分戻ります。

EXT.DVDモード:

タッチすると現在のチャプターの頭に戻ります。続けてタッチすると前のチャプターの頭出しをします。

ワンセグ/EXT.DTVモード:

タッチするとチャンネルまたはプリセット番号がDOWNします。

アドバイス

- 現在のチャプター/トラックがディスクやフォルダの頭や終わってから3曲以内にある場合には、スライダバーをなぞっても3曲UP/DOWNを行いません。

サウンド・映像ソース情報表示

サウンド・映像ソースの様々な情報が表示されます。



サウンド・映像ソース情報表示

■ インジケーター表示について

ディスク名や曲名などの表示中は、下記インジケーターが点灯します。

ラジオ/ DTVモード		放送局名/交通情報
		プリセットNo.
		周波数/チャンネルNo.
DVD/ビデオ CD/DivX®/ CD/HDD AUDIO/ SDメモリー カード		ディスク名/アルバム名
		曲名/タイトル名
		アーティスト名
		フォルダNo./グループNo.
		ファイルNo./トラックNo.
		プログラム名/プレイリスト名/プログラムNo./プレイリストNo.
		レコーディング情報
		タイトルNo.
		チャプターNo.
		再生経過時間
		録音中に表示
iPodモード		タイトル名/エピソード名
		アルバム名
		アーティスト名
		番組名
		放送日
		ファイル番号/現在の再生リストの総ファイル

スキンを変更する

背景画面を変更することができます。

1 スキン変更 にタッチします。



画面下にスキントップ選択画面が表示されます。

2 お好みのスキントップにタッチします。



選択したスキントップに画面が変更されます。

3 TYPE/COLOR にタッチします。

カラータイプ選択画面に切りかわります。

4 お好みのカラータイプにタッチします。



選択したカラータイプに画面が変更されます。

5 マルチゲート画面に戻るには、 にタッチします。

● アドバイス

- **TYPE/COLOR** にタッチするごとに、スキントップ選択/カラータイプ選択が切りかわります。
- 選択したカラータイプに連動して、アクションインジケーターの色が変化します。



マルチインフォメーション画面

マルチインフォメーション画面は、ナビの現在地画面やサウンド・映像ソースを表示しながらL字部分に本機の様々な情報を表示し、また、サウンド・映像モードの簡易操作スイッチを表示します。情報表示部分は、状況に応じてドライブインフォメーション表示や、ルート表示に切りかわります。

- 映像ソース(DVD、ワンセグなど)では、走行中は安全のため映像は表示されません。

画面の見かた

＜ルートを設定してある場合＞



1 ルート情報表示

ルート情報について詳しくは、「ルート情報(案内道路情報)」を表示する(81ページ)を参照してください。

- マルチインフォメーション画面でタッチして操作を行うことはできません。

2 サウンド・映像ソース情報表示

「インジケータ表示について」(28ページ)を参照してください。

3 サウンド・映像ソース操作スイッチ

操作について詳しくは、それぞれのソースの操作ページを参照してください。

＜ルートを設定していない場合＞



1 ドライブインフォメーション表示

ドライブインフォメーションについて詳しくは、「ドライブインフォメーション」(105ページ)を参照してください。

2 サウンド・映像ソース情報表示

「インジケータ表示について」(28ページ)を参照してください。

3 サウンド・映像ソース操作スイッチ

操作について詳しくは、それぞれのソースの操作ページを参照してください。

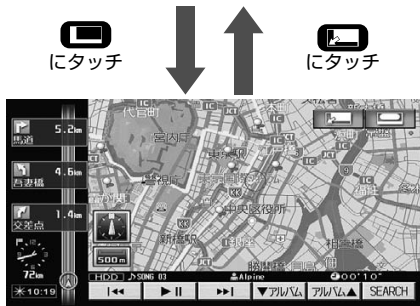
画面を切りかえる

- 1  にタッチします。
マルチインフォメーション画面に切りかわります。
- 2 全画面に切りかえるには  にタッチします。
 -  にタッチすると、マルチゲート画面に切りかわります。

<全画面表示例>



<マルチゲート画面表示例>



<マルチインフォメーション画面表示例>

🔊 アドバイス

- 交差点案内、高速分岐案内を「する」に設定している場合は、拡大案内図表示中はマルチインフォメーション画面は解除されます。

メニュー画面、リスト画面について

行き先を探したり、登録されている内容を確認するとき
は、メニューやリストを使って操作します。

メニュー画面を切りかえる

メニュー画面では、いずれかのタッチスイッチにタッチす
ると設定画面や下の階層のメニュー画面が表示されます。
(AV OFFを除く)

メニュー画面を表示する

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押します。
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 いずれかのメニューにタッチします。



メニュー

各メニュー画面が表示されます。

- 3 利用したい項目にタッチし、画面に従って操
作します。

アドバイス

- TOP MENU画面を閉じるには、**メニュー/PWR**ス
イッチを押します。
-  にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。
- トーンダウンしているメニューは操作できません。



タブによる切りかえ

上部にタブが表示されているメニュー画面では、タブに
タッチするとメニューが切りかわります。



タブ
機能

↓ **番号で探す** にタッチ



リスト画面を切りかえる

項目のスクロール

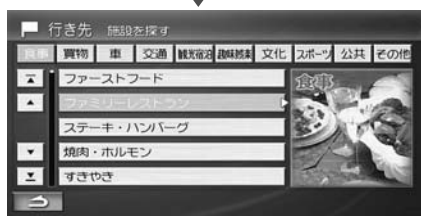
▲または▼にタッチするたびに、1項目ずつ上下にスクロールします。

▲または▼にタッチするたびに、5項目ずつ上下にスクロールします。住所リストや施設リストなどの場合は50音でスキップします。



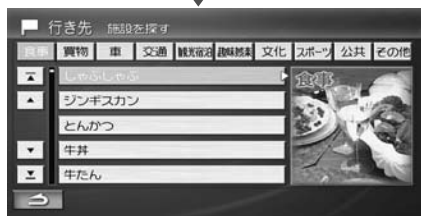
1項目スクロール

▼にタッチ



1頁スクロール

▼にタッチ

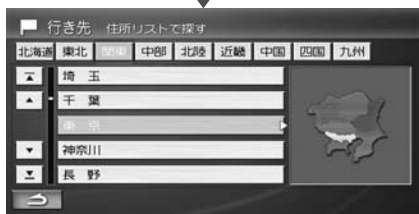


タブによる切りかえ

上部にタブが表示されているリスト画面では、タブにタッチするとリストが切りかわります。リストが存在しないタブのタッチスイッチは色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。



↓ 関東にタッチ



タブには、以下のような項目が表示されます。

- 50音の場合

あ か さ た な は ま や ら
わ

- 地方名の場合

北海道 東北 関東 中部 北陸 近畿
中国 四国 九州

- ジャンル名の場合

食事 買物 車 交通 観光宿泊 ...など

文字・数字の入力方法

文字の入力は、登録操作や場所の検索などが必要になります。使用する機能によって表示される画面や手順が多少異なりますが、基本的な入力方法は以下のとおりです。

■ 登録地点の名称を入力するとき



■ 50音入力で住所などを検索するとき



文字を入力する

ここでは、登録地点の名称を入力する操作を例に説明します。

1 入力したい文字の種類にタッチします。



選択した文字種の入力画面が表示されます。

- 選択できる文字種は **かな** **カナ** **英数** **記号** です。さらに英数字、記号、カナの場合は、**半角** を選択できます。
- 拗音(ょ)や促音(っ)などを入力するときは、**小文字** にタッチします。
- トーンダウンしているスイッチは操作できません。

2 入力したい文字や記号にタッチします。



カーソル

- 間違えて入力した場合は、**削除** にタッチして入力し直します。
- 削除** にタッチするたびに、カーソルの左側から1文字ずつ文字が削除されます。
- 削除** にタッチし続けると、入力したすべての文字が削除されます。
- カーソルは、**◀▶▼▲** にタッチして移動します。

3 漢字に変換する場合は、**変換** にタッチし、目的の漢字を表示させます。



- 漢字変換しない場合は、手順4へ進んでください。



- 変換前の状態に戻すには、**削除** にタッチします。
- 別の漢字に変換するには、もう一度 **変換** にタッチします。
- 1つ前の漢字に戻すには、**前変換** にタッチします。
- 文節区切りを変更するには、**◀▶** にタッチします(「文節区切りを変更する」34ページ参照)。

次ページに続く→

4 **確定** にタッチします。

漢字が確定されます。

- 確定したあとで修正する場合は、**削除** にタッチして文字を削除の後、入力し直します。

削除 にタッチするたびに、カーソルの左側から1文字ずつ文字が削除されます。

削除 にタッチし続けると、入力したすべての文字が削除されます。

5 **完了** にタッチします。

文字入力を終了し、元の画面に戻ります。

文節区切りを変更する

変換後(確定前)に **◀ ▶** にタッチすると、変換対象とする文節の区切りを変更できます。

1 **◀ ▶** にタッチして区切り位置を変更します。



↓ **◀** にタッチ



- ◀ ▶** にタッチするたびに、文節の長さが1文字ずつ増減します。
- 以降の操作は、33ページ「文字を入力する」の手順3に戻ります。

数字を入力する

ここでは、電話番号を入力する操作を説明します。

1 入力したい数字にタッチします。



カーソル

- 間違えて入力した場合は、**削除** にタッチして入力し直します。

削除 にタッチするたびに、カーソルの左側から1文字ずつ数字が削除されます。

削除 にタッチし続けると、入力したすべての数字が削除されます。

- 無効な数字や入力可能文字数以上を入力しようとすると、エラーメッセージが表示されます。

2 **完了** にタッチします。

数字入力を終了します。

ディスプレイ設定



ディスプレイ設定操作

ディスプレイに関する設定を行います。

次の手順1～5は、ディスプレイ設定の共通操作になります。各項目の詳しい操作方法については、該当ページを参照してください。

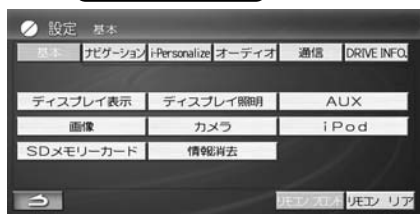
- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **基本** タブにタッチし、**ディスプレイ表示** または **ディスプレイ照明** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。

- 5 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。

- **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

ディスプレイ表示設定

タイトルスクロールの設定

スクロールとは、文字を次々と表示させることを言います。CDテキスト、フォルダ名、ファイル名、タグ情報などがあれば、スクロール表示することができます。本機では表示エリアに表示しきれないテキスト情報がある場合、スクロールして表示することができます。(初期設定値は「する」)

設定項目：自動タイトルスクロール

設定値：する/しない

する：繰り返しスクロール表示を行います

しない：スクロールを行いません

リアモニター映像出力の設定

リアモニターに映し出す映像を設定することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：リアモニター映像出力

設定値：する/しない

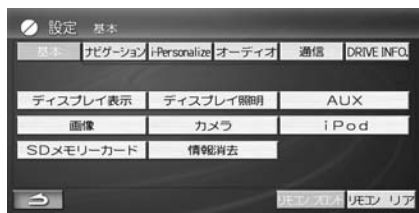
しない：リアモニターを接続しない場合に設定する

する：リアモニターに映像を出力する

リモコン受光部を切りかえる

リモコンから操作をするときに、拡張ユニット(外部モニターなど)のリモコン受光部をお好みで切りかえることができます。

- 1 「設定」画面で **基本** タブにタッチし、**リモコンフロント**、**リモコンリア** のいずれかにタッチする。



リモコン操作を優先するモニターが切りかわります。

リモコンフロント：

本機のリモコン受光部を優先させます。

リモコンリア：

本機のビデオ出力端子に接続した外部モニターのリモコン受光部が有効となります。

- **リモコンフロント**、**リモコンリア** は、「リアモニター映像出力の設定」を「する」に設定した場合のみ表示されます。
- 「リモコンリア」に設定すると、本機をリモコンで操作できなくなります。

時計表示の設定

時計の表示を12時間表示、または24時間表示に設定します(初期設定値は「24H」)。

設定項目：時計表示

設定値：12H/24H

12H：12時間表示します

24H：24時間表示します

自動で壁紙を変更する

イグニッションキー(エンジンキー)のON/OFFごとに、サウンド・映像画面やマルチゲート画面などの背景画面色が自動的に切りかわります(初期設定値は「しない」)。

設定項目：自動壁紙変更

設定値：する/しない

する：イグニッションキーをON/OFFするごとに、
壁紙の色が下記のように切りかわります
ブルー→グリーン→レッド→アンバー→
ブルー

しない：壁紙の色は変化しません

🔊 アドバイス

- メニュー画面の背景色は変化しません。

スペアナ表示を設定する

「する」に設定すると、オーディオ操作画面で音の表現を多彩なデジタル表示で楽しむことができるスペアナ(スペクトラムアナライザー)画面を表示させることができます(初期設定値は「する」)。

＜オーディオ操作画面表示例＞



— スペアナ表示

＜マルチゲート画面表示例＞



— スペアナ表示

設定項目：スペアナ表示

設定値：する/しない

する：スペアナを表示します

しない：スペアナを表示しません

- マルチゲート画面では、本設定に関わらずスペアナ表示を行います。

タッチパネルの調整

LCD上の表示位置と、タッチパネル上の位置が一致しなくなった場合に調整してください。

設定項目：タッチパネル補正

設定値：調整

- 1 「タッチパネル補正」の **調整** にタッチします。
- 2 調整画面で、1→2の順に、**+** の中心に正確にタッチします。



- 3 **完了** にタッチします。
調整を終了して、設定画面に戻ります。

モニターを自動で閉じる

モニターが開いている、または角度がついている場合に、イグニッションキー（エンジンキー）をOFFにすると自動でモニターが閉じるように設定することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：モニター自動CLOSE

設定値：する/しない

する：イグニッションキーをOFFにすると、自動でモニターが閉じます

しない：モニターを閉じるにはCLOSE操作を行います

ワンセグ受信状態を表示する

ワンセグモード時、受信状態を示すインジケータを常に表示するかどうかを設定します（VIE-X07B1のみ）（初期設定値は「しない」）。

設定項目：ワンセグ 受信状態常時表示

設定値：する/しない

する：ワンセグモードでは、常に受信状態インジケータを表示します

しない：操作画面表示時のみ、受信状態インジケータを表示します

アドバイス

- 本設定に関わらず、ワンセグを受信できないときには受信状態インジケータ（図外）が常に表示されます。

ディスプレイ照明設定

ディスプレイの明るさを設定する

車内の明るさに連動してディスプレイと照光スイッチの明るさを切り替え、画面を見やすくすることができます（初期設定値は「オート」）。

設定項目：ディマー設定

設定値：OFF/ON/オート

OFF：ディスプレイと照光スイッチを明るいまま固定します

ON：ディスプレイと照光スイッチを暗いまま固定します

オート：車内の明るさに連動して、ディスプレイと照光スイッチの明るさを自動で調光します

夜間のディスプレイ明るさを設定する

「ディスプレイの明るさを設定する」（37ページ参照）でオートまたはONにした場合の、夜間のディスプレイの明るさを設定します（初期設定値は「-8」）。

設定項目：夜用明るさ調整

設定値：-15～+15

- ◀ または ▶ にタッチして明るさを調整します。

夜間の照光スイッチ明るさを設定する

「ディスプレイの明るさを設定する」（37ページ参照）でオートまたはONにした場合の、夜間の照光スイッチの明るさを設定します（初期設定値は「-2」）。

設定項目：夜用LED明るさ調整

設定値：-2～+2

- ◀ または ▶ にタッチして明るさを調整します。

画質の調整

画面のコントラストや明るさなど、お好みに合わせて調整することができます。

画質調整操作

次の手順1～4は画質調整の共通操作になります。設定項目の詳細は、それぞれの項目を参照してください。

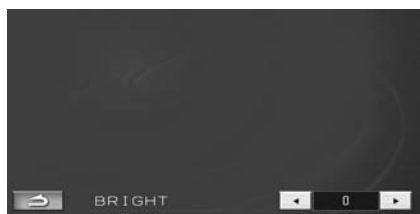
- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**画質調整** にタッチします。



- 2 画質調整画面で設定する項目の **設定** にタッチします。



- 3 **◀** または **▶** にタッチして、画質を調整します。

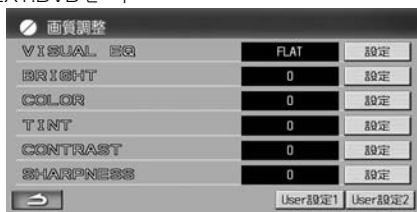


- **◀** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

- 4 さらに別の項目を調整するには、手順2～3を繰り返します。

■ モードによって、設定できる項目が異なります。

- ワンセグ/iPod(ビデオ)/AUX/GAME/VCR/EXT.DVDモード



- DVD/VCD/EXT.DTVモード



- ナビゲーションモード



- オーディオモード/ドライブインフォメーションモード/コミュニケーションモード/マルチゲート画面モード



VISUAL EQモードを選ぶ(メーカー設定)

色々な映像に応じて、モードを選ぶことができます。

設定項目 : VISUAL EQ

設定値 : FLAT(OFF)/NIGHT M./SOFT/SHARP/Hi-CONT.

FLAT(OFF) : 工場出荷時設定

NIGHT M. : 暗いシーンが中心の映画に最適

SOFT : CG、アニメーションの映画に最適

SHARP : 映像がくっきりしていない古い映画に最適

Hi-CONT. : 最新の映画に最適

🔊 アドバイス

- お好みで映像の明るさや色の濃さを調整した場合は、CUSTOMと表示されます。

映像の明るさを調整する

設定項目 : BRIGHT

設定値 : -15~+15

-15~+15の間で明るさを調整します。最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示します。

🔊 アドバイス

- NIGHT M.~Hi-CONT.のいずれかを選択している場合、「ディスプレイの明るさを設定する」(37ページ)でオートに設定していれば、車内の明るさに連動して映像の明るさが自動的に調整されます。

映像の色の濃さを調整する

設定項目 : COLOR

設定値 : -15~+15

-15~+15の間で色の濃さを調整します。最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示します。

🔊 アドバイス

- 色の濃さの調整は、AUX/DVD/ビデオCD/DTVモード時のみ可能です。

映像の色あいを調整する

設定項目 : TINT

設定値 : G15~R15

G15~R15の間で色合いを調整します。最大値時は「G MAX」、「R MAX」とそれぞれ表示します。

🔊 アドバイス

- 色あいの調整は、AUXモード時のみ可能です。

映像コントラストを調整する

設定項目 : CONTRAST

設定値 : -15~+15

-15~+15の間でコントラストの調整をします。最大値時は「HIGH」、最小値時は「LOW」と表示します。

🔊 アドバイス

- 「ディスプレイの明るさを設定する」(37ページ)でオートに設定していれば、車内の明るさに連動して映像のコントラストが自動的に調整されます。

映像画質を調整する

設定項目 : SHARPNESS

設定値 : -5~+5

-5~+5の間で画質の調整をします。最大値時は「HARD」、最小値時は「SOFT」と表示します。

🔊 アドバイス

- 映像画質の調整は、AUX/DVD/ビデオCD/DTVモード時のみ可能です。

画質調整値の記憶/呼び出し

お好みで調整した「映像の明るさ/色あい/濃さ/画質/コントラスト」を記憶することができます。また、記憶した調整値を呼び出します。

- 1 「映像の明るさ/色あい/濃さ/画質/コントラストを調整する」(39ページ)を調整後、**User設定1** または **User設定2** にタッチし続けます。
調整した設定値が記憶されます。

- 2 設定値を呼び出すには、**User設定1** または **User設定2** にタッチします。

画面モードを切りかえる

映像モードの画面の表示を切りかえることができます。

- 1 映像モードの操作画面で、**WIDE** にタッチします。



タッチすることにより画面モードが切りかわります。

MODE1→MODE2→MODE3→MODE1

MODE1

標準映像を水平方向に均等に広げ、画面いっぱいに表示します。

MODE2

標準映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。画面の上下が少しカットされます。

MODE3

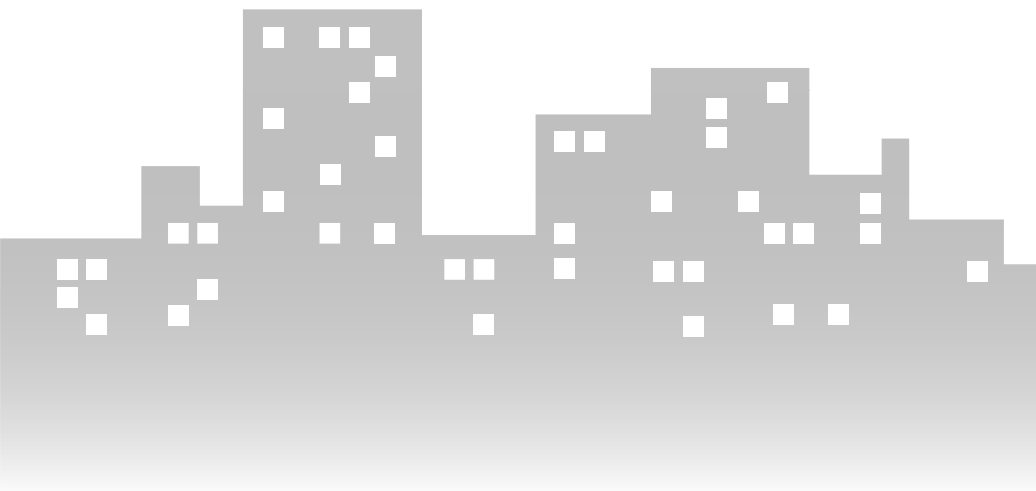
通常のテレビ放送の比率(4:3)で表示します。映像は中央に映ります。

- 初期設定値は、「MODE1」に設定されています。

基本操作

ナビゲーション編

画面の見かた	42
現在地画面	42
スクロール後の画面	43
ルート案内画面	44
地図を表示する	45
地図をスクロールする	45
施設名や住所を指定して地図を表示する	45
現在地を表示する	45
地図表示のしかたをかえる	46
縮尺を切りかえる	46
方位を切りかえる	47
地図表示を切りかえる	48
インジケーターバーを表示する	51
地図表示を設定する	51
スクロールや検索して表示させた地図の操作	53
ランドマーク情報を見る	53
周辺施設を検索する	53
地点を登録する	54
目的地や経由地として設定する	54
建物情報を見る	54
案内音量を調整する	55

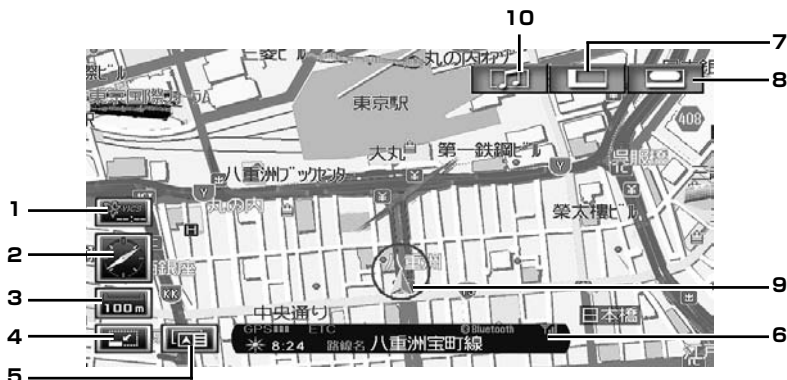


画面の見かた

ナビゲーションの地図表示には現在地を表示した画面と、検索やスクロールによって表示させた画面があります。

現在地画面

現在地画面は、自転車位置とその周辺を示した地図です。地図上に表示される情報は、ルート案内中かどうかによって異なります。



1. VICSタイムスタンプ

VICS情報が発信されている地域で、VICS情報が提供された時刻が表示されます。

VICS情報については、「VICS情報を見る」(111ページ)を参照してください。

2. 方位マーク

地図の方角が表示されます(ノースアップのときは、ヘディングアップのときは、3Dのときは)。タッチするたびに地図の方向が切りかわります。地図方向の切りかえについては、「方位を切りかえる」(47ページ)を参照してください。

3. スケール表示

表示している地図の縮尺が表示され、の長さがこの場合は100mを示しています。

縮尺の切りかえについては、「縮尺を切りかえる」(46ページ)を参照してください。

4. インジケーターバー表示ON/OFFスイッチ

インジケーターバー表示のON/OFFを切りかえます。

5. 画面表示切りかえスイッチ

詳しくは、「地図表示を切りかえる」(48ページ)を参照してください。

6. インジケーターバー

詳しくは、「インジケーターバーを表示する」(51ページ)を参照してください。

7. マルチインフォメーション画面への切りかえスイッチ

詳しくは、「マルチインフォメーション画面」(29ページ)を参照してください。

8. マルチゲート画面への切りかえスイッチ

詳しくは、「マルチゲート画面」(26ページ)を参照してください。

9. 自転車位置マーク

現在地と車が向いている方角が表示されます。

10.

タッチすると、サウンド・映像モードに切りかわります。



携帯電話通話中のみ表示されます。タッチすると通話画面を表示します。

🔊 アドバイス

- ナビゲーションシステムが作動してからしばらくの間は、電波を受信しやすい場所にも測位ができません。また、ナビゲーションシステムが作動したあとすぐに走行すると、GPSが測位するまでの時間が長くなります。GPS信号を受信してから走行することをおすすめします。
- バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなどは、GPSが測位するまでの時間が長くなる場合があります。



スクロール後の画面

地図の検索やスクロールをしたあとの画面には、カーソルや以下の情報が表示されます。地図の検索については「行き先を探す」(59ページ)、スクロールについては「地図をスクロールする」(45ページ)を参照してください。



1. カーソルマーク

十字カーソルマークが表示されます。カーソル地点の詳細情報を見たり、その地点を目的地や経由地に登録することができます。

建物情報やランドマーク情報など情報がある地点に合わせて、**情報**スイッチが表示されます(「ランドマーク情報を見る」53ページ参照)。

2. 現在地からの距離

現在地からカーソル位置(十字の中央)までの距離が表示されます。

3. 戻るスイッチ

1つ前の画面に戻ります。

アドバイス

- 現在地画面に戻すには、**現在地**スイッチを押します(「現在地を表示する」45ページ参照)。

ルート案内画面



1. 到着情報表示

目的地案内中に、通過点(目的地、経由地など)までの残距離や到着予想時刻などが表示されます。
詳しくは、「到着情報の表示」(88ページ)を参照してください。

2. ルート表示

目的地案内中に、目的地までのルートが青色で表示されます。
案内が行われるのは、青色のライン上に自車位置マークがあるときのみです。**ルート**にタッチすると、ルートに関する情報の確認や変更ができます(「案内中のルートを確認する」79ページ参照)。

3. レーン(車線)表示

レーン情報のある交差点の手前では、走行する交差点までの距離とレーン図が表示されます。
詳しくは、「レーン(車線)ガイド表示」(87ページ)を参照してください。

4. 警告アイコン

踏切、合流地点、事故多発地点ではアイコンが表示されます。
詳しくは、「目的地案内中の音声案内の例」(89ページ)を参照してください。

5. 案内ポイント

目的地案内中に、交差点案内(レーン(車線)情報表示・交差点案内画面など)が表示される交差点に表示されます。レーン情報がある直進の交差点では「●」が、右左折の交差点では「◎」が表示されます。
交差点案内については、「交差点・高速分岐案内」(86ページ)を参照してください。

6. 直線誘導線

目的地案内中に、現在地から見た目的地の方向を直線で示します。
直線誘導線表示については、「誘導方向を表示する」(133ページ)を参照してください。

7. **音声案内**

タッチすると、音声案内を行います。

8. **ルート**

ルート画面を表示します。

地図を表示する

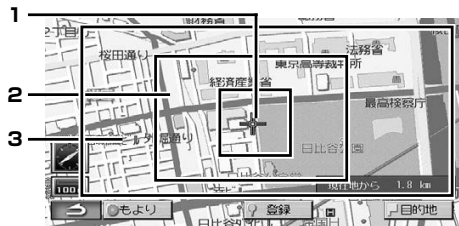
見たい地域の地図を表示するには、地図を上下左右に動かす(スクロールする)方法と、施設や住所からその場所を探し出して表示する方法があります。

地図をスクロールする

地図のタッチスイッチ以外の位置にタッチすると、タッチした位置を中心として地図がスクロールされます(ワンタッチスクロール)。

スクロールしたあとは、地図画面に十字カーソルと現在地からの距離が表示されます。

また、画面にタッチし続けると、その方向に一気にスクロールされます。手を離すとスクロールが止まります。タッチし続けるエリアによってスクロールする速さがかわります。



1. エリア1: ゆっくりスクロールします。
2. エリア2: 3段階でスクロールが速くなります。
3. エリア3: 速くスクロールします。

① アドバイス

- 走行中は安全のため、連続スクロールはできません。
- 現在地の地図に戻すには **(現在地)** スイッチを押します。
- 3Dマップをスクロールすると、自動的に平面地図に切りかわってスクロールされます。

施設名や住所を指定して地図を表示する

表示させたい場所の施設名、電話番号、住所、緯度経度などがわかっている場合は、メニュー画面から条件を指定して、地図を表示させることができます。詳しい操作方は、「行き先を探す」(59ページ)を参照してください。

現在地を表示する

地図をスクロールしたときや、検索などで他の地図を表示したり、メニュー画面を表示したときには、現在地周辺の地図に戻すことができます。

1 **現在地** スイッチを押します。



現在地画面が表示されます。



② アドバイス

- 表示された自車位置がズレている場合、しばらく走行しているとGPS機能によって自動的に修正されます(場合によっては数分かかることがあります)。それでも正しい位置に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地を指定してください(「自車位置を修正する」135ページ参照)。
- カメラ画面、VICS緊急・注意警戒画面表示中は現在地画面に戻りません。

地図表示のしかたをかえる

縮尺を切りかえる

地図を拡大したり、縮小することができます。広範囲の地図を見たいときは縮小し、詳しく見たいときは拡大します。縮尺は1/2560万～1/1000の範囲で設定でき、画面にはスケールが表示されます(初期設定値は「100m」)。たとえば、500mスケール図では、スケールバーの長さが実際には500mであることを示しています。縮尺によって、地図に示される情報の種類が異なります。たとえば、ランドマークは地図のスケールが200m以下の詳細な地図で表示されます。

縮尺	スケール表示	スイッチ
1/2560万	300km	▲ ↑
1/640万	50km	
1/160万	20km	
1/80万	10km	
1/40万	5km	
1/20万	2km	
1/10万	1km	
1/5万	500m	
1/2万	200m	 ↓ ▼
1/1万	100m	
1/5千	50m 市街地図	
1/2千5百	25m 市街地図	
1/千	10m 市街地図	

1 にタッチします。



スケールバーが表示され、現在設定されている縮尺が表示されます。

2 ▲ または ▼ にタッチして縮尺を指定します。



- ▲ にタッチするたびに地図が縮小され、▼ にタッチするたびに地図が拡大されます。
 - ▲ または ▼ にタッチし続けると無段階に縮尺を指定できます。
- 地図表示が指定した縮尺で表示されます。

市街地図について

市街地図が収録されている都市では、「50m」「25m」「10m」スケール図にすると市街地図を表示し、さらに詳細な道路、建物形状、一方通行、建物名称などが表示されます。都市部の住宅密集地域などでも迷うことなく目的地まで正確に案内できます。



🔊 アドバイス

- 市街地図データが収録されている都市については、「市街地図収録都市リスト」(187ページ)を参照してください。
- 市街地図を表示しているときに時速80Km以上で走行すると、100mスケールの地図に切りかわります。そのまま縮尺を切りかえないで時速60Km以下の走行になると、再び市街地図表示に戻ります。



方位を切りかえる

方角と進行方向のどちらを固定するかによって、地図の向きを変更できます。常に北方向を上にして表示する地図（ノースアップ）と、進む方向を上にした地図（ヘディングアップ）があります。また、立体的な地図（3Dマップ）に切りかえることもできます。

1    にタッチします。



- タッチするたびに、ヘディングアップ→3Dマップ→ノースアップの順に方位が切りかわります。

■ ノースアップ

北方向が画面の上になるよう固定します。自車マークの方向は進行方向によってかわります。



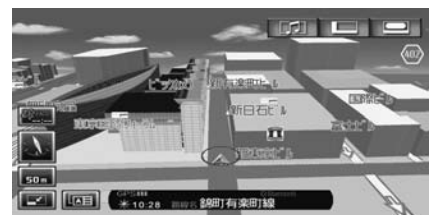
■ ヘディングアップ

常に進行方向が画面の上になるよう、自車方向を固定します。方位マークの方向は進行方向によってかわります。



■ 3Dマップ表示

ヘディングアップの状態で立体的な地図（3Dマップ）を表示します。角度をかえることもできます（「3Dの角度を変更する」50ページ参照）。



地図表示を切りかえる

地図の表示のしかたを、1画面、2画面、行程ガイドから選択できます。

1 現在地画面で にタッチします。



-  が表示されていない時は  にタッチしてください。

2 **1画面** **2画面** **行程ガイド** のいずれかにタッチします。



タッチした画面表示に切りかわります。

■ 1画面表示



■ 2画面表示

画面を左右に分割します。

左右の画面に別々の縮尺や方位を指定できます。



🔊 アドバイス

- 縮尺を変更して詳細スケールと広域スケールの2画面を表示させたり、3D市街地図とノースアップ地図とを組み合わせることなどができます。
- 2画面表示のときに左右の自転車位置が若干ずれることがあります。これは左右別々に描画しているためで故障ではありません。
- 2画面表示時、右画面では3Dマップ表示を行うことはできません。
- 一般道路モード地図、高速/有料道路モード地図は左画面にのみ表示されます(「一般道路モード地図設定」135ページ、「高速/有料道路モード地図設定」135ページ参照)。

■ 行程ガイド表示

目的地案内中に、走行中のルートを簡易な行程図で示したものです。行程ガイド画面では、交差点や高速道路のインターチェンジ、SA/PAなどが現在地に近いほうから表示されます(「行程ガイド画面について」49ページ参照)。



行程ガイド画面について



1. VICS情報

VICS規制マークを表示します。また、渋滞・混雑情報を色別表示します(「渋滞・混雑/空き道表示」116ページ、「規制マーク表示」117ページ参照)。

2. 現在地

3. マーク

交差点やインターチェンジ、SA/PAなどを識別するためのマークが表示されます。

地点	マーク
現在地	▲
目的地	📍
経由地	📍~📍
高速道路入り口	IN
高速道路降り口	OUT
料金所	¥
インターチェンジ(IC)	IC
サービスエリア(SA)	SA
パーキングエリア(PA)	PA
ジャンクション(JCT)	JCT
案内交差点	📍
フェリー乗り場	🚢

4. 地点名称

5. 所要予測時間と距離

6. スクロールスイッチ(📶 📶)

行程ガイドをスクロールするときにタッチします。

📶にタッチすると先の行程を表示し、📶にタッチすると手前の行程を表示することができます。タッチし続けると連続で行程ガイドをスクロールします。行程ガイドを現在の位置に戻すには、**▲現在地へ**にタッチするか、**現在地**スイッチを押します。

🔊 アドバイス

- 交差点に表示されるマークは、曲がる方向によってかわります。
- 高速道路を走行するとSA/PA情報が表示されます。SA/PAでは、SA/PA内の施設がマークで表示されます。**i**にタッチすると詳細情報が表示されます。



- 詳細情報を表示するには**i**にタッチしてください。SA/PA/IC名称部分はタッチスイッチではないので、タッチしても反応しません。
- **✕**にタッチすると詳細情報を終了します。
- 料金所では、料金も表示されます。
- 目的地へ到着すると行程ガイド表示を終了し、2画面表示に切りかわります。ただし、地図切換モードは行程ガイドのままです。
- 行程ガイド表示中に案内ルートを外れると、一時的に2画面表示に切りかわります。再び案内ルート上を走行すると行程ガイド表示に戻ります。
- 目的地を設定していない場合は、行程ガイドは表示できません。

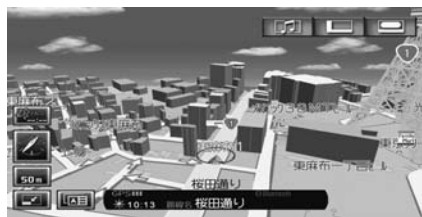
●施設マーク一覧

マーク	内容
	ガソリンスタンド
	レストラン
	コーヒー/軽食
	インフォメーション/ハイウェイ情報ターミナル
	キャッシュコーナー
	宝くじ
	ドラッグ
	お風呂
	コイン洗車
	コインランドリー
	コインシャワー
	休憩所
	ベビーベッド
	ベッド
	ポスト
	FAX
	名産(ショッピングセンター)
	自動販売機
	身障者施設
	公衆電話
	トイレ

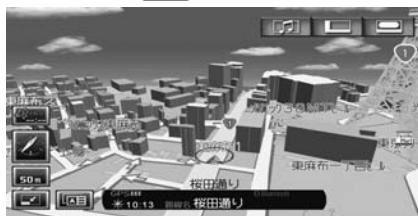
- ガソリンスタンドはブランド別のアイコンになります。

3Dの角度を変更する

立体的な地図(3Dマップ)を表示しているときの視点の角度をかえることができます。



1 現在地画面で **3D** にタッチします。



- 3D** が表示されていない時は **2D** にタッチしてください。

2 **3D角度調整** タッチします。



3 **3D** または **2D** にタッチして表示角度を調整します。



- 3D** にタッチするたびに立体的になり、**2D** にタッチするたびに平面に近づきます。
- 13段階で調整できます。

4 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。



インジケーターバーを表示する

画面下のインジケーターバーには、現在時刻、GPS受信感度など様々な情報が表示されます。

- 1 現在地画面で  にタッチします。



インジケーターバーが表示されます。



GPS  :GPSの測位状態を表示します。

- GPS**  三次元測位
- GPS**  二次元測位
- GPS**  非測位

ETC :ETCユニット接続時に表示されます。

- ETCカード未挿入時はトーンダウンします。

REC :HDDにリッピング中、表示されます。

Bluetooth :Bluetooth接続中、表示されます。

電界強度 :携帯電話電界強度が表示されます。電界強度はレベル0→3の順に強くなります。

- 圏外**  圏外
-  電界強度レベル0
-  電界強度レベル1
-  電界強度レベル2
-  電界強度レベル3
- 圏内**  圏内でレベル不明時

00:00 :GPSで受信した現在の時刻が表示されます。時刻によってアイコンが変わります。

-  18:00～5:59 (PM6:00～AM5:59)
-  6:00～17:59 (AM6:00～PM5:59)
- 「時計表示の設定」(36ページ)で設定された表示方法(12時間/24時間表示)になります。また、表示を「しない」に設定してある場合は時刻は表示されません。

現在地/走行中 :現在地または走行中の路線名称が表示されます。

- 2 インジケーターバーを消すには、 にタッチします。

地図表示を設定する

ここでは、ランドマーク表示と軌跡表示に関する設定を行います。1/左画面と右画面、それぞれで設定を行うことができます。

アドバイス

- VICSに関する設定項目については、「VICS地図表示を設定する」(126ページ)を参照してください。

設定操作

1画面/左画面、または右画面の地図表示に関する設定を行います。

次の手順1～4は、設定の共通操作になります。各項目の詳しい操作方法については、該当ページを参照してください。

- 1 現在地画面で  にタッチします。



地図切画面が表示されます。

-  が表示されていない時は  にタッチしてください。

- 2 **1/左画面表示設定** または **右画面表示設定** にタッチします。



左画面(1画面)設定画面、または右画面設定画面が表示されます。

- 3 各項目にタッチし、設定を行います。

- 4 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。

-  にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

ランドマーク表示を設定する

コンビニ・ガソリンスタンド・・・お好みの施設のランドマークを地図上に表示します(初期設定値は「する」)。

設定項目：ランドマーク表示

設定値：する/しない

する：地図上にランドマークを表示します。

しない：地図上にランドマーク表示を行いません。

① アドバイス

- ランドマークは200mスケール図よりも詳細な地図で表示させることができます。

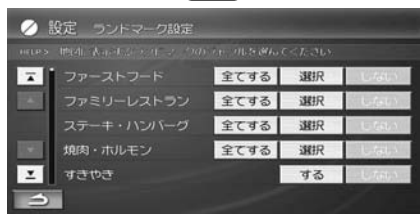
ランドマーク表示ジャンルを設定する

「ランドマーク表示」を「する」設定時に、ランドマークごとに表示するブランド名を選択できます。

- 1 設定画面で「ランドマーク表示ジャンル」の**変更する**にタッチします。



- 2 各ランドマークの**選択**にタッチします。



ブランド選択画面が表示されます。

- すべてのブランドを表示するには**全て表示**にタッチします。

- 3 各ブランド名の**する**または**しない**にタッチします。



① アドバイス

- 1つのランドマークに設定できるブランド名は最大5つです。6つ以上設定するときは、「全てする」に設定してください。

軌跡表示を設定する

走行した道に沿って「点(黒色)」を残し、どのような道を走行したか知ることができます。表示可能な距離(50km)を超えると古い点から消えていきます(初期設定値は「しない」)。

設定項目：軌跡表示

設定値：する/しない

する：地図上に軌跡を表示します。

しない：地図上に軌跡表示を行いません。

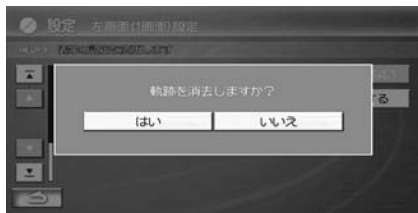
軌跡を消去する

地図上の軌跡を消去することができます。

- 1 設定画面で「軌跡情報を消去」の**する**にタッチします。



- 2 メッセージが現れたら、**はい**にタッチします。
軌跡情報が消去されます。



① アドバイス

- 軌跡の消去は、左画面(1画面)設定画面でのみ行うことができます。

スクロールや検索して表示させた地図の操作

スクロールした地図や地点を検索して表示した地図では、目的地に設定したり、周辺施設を検索することができます。

ランドマーク情報を見る

地図上のランドマークやVICSマークにタッチすると、施設の名称などの情報が表示されます。

たとえば、ここでは最寄りのコンビニエンスストアの内容を表示させる手順を説明します。

1 地図上のランドマークにタッチします。



施設の名称が表示されます。

2 さらに詳しく知りたい場合は「情報」にタッチします。



詳細情報が表示されます。



- ランドマークが隣接している場合は、「次へ」にタッチしてランドマークを切りかえます。

3 ☒ にタッチします。

詳細情報が閉じます。

4 「現在地」スイッチを押して現在地画面に戻します。

アドバイス

- ランドマークによっては、詳細情報がない場合があります。
- ランドマークを表示するには、「ランドマーク表示を設定する」(52ページ)を参照してください。

周辺施設を検索する

表示した地図の十字カーソルの周辺施設を検索することができます。

アドバイス

- 検索結果は十字カーソルから近い順に表示されます。

1 「もより」にタッチします。



施設のジャンル名が表示されます。



- 以降の操作は、「現在地周辺/目的地周辺から探す」(69ページ)の手順4へ進んでください。

アドバイス

- 選択できるジャンルについては「施設ジャンル一覧」(192ページ)を参照してください。

地点を登録する

十字カーソル位置の地点情報を地図に登録します。住所や電話番号などの情報も登録され、地図上には登録したマークが表示されます。また、登録した地点を簡単に呼び出すことができます。

登録できる地点には登録地点、特別地点(自宅、よく行く地点)、迂回地点があります。

1 「登録」にタッチします。



- **地点を登録** :以降の操作は、「地点を登録する」(94ページ)の手順3へ進んでください。
- **特別地点** :以降の操作は、「特別地点(自宅/よく行く地点)を登録する」(92ページ)の手順3へ進んでください。
- **迂回する地点** :以降の操作は、「迂回地点を登録する」(101ページ)の手順3へ進んでください。
- **現在地** :以降の操作は、「自転車位置を修正する」(135ページ)の手順5へ進んでください。

目的地や経由地として設定する

十字カーソル位置の地点を目的地や経由地に設定します。経由地は、すでに目的地がセットされている場合のみ設定できます。

1 「目的地」または「経由地」にタッチします。



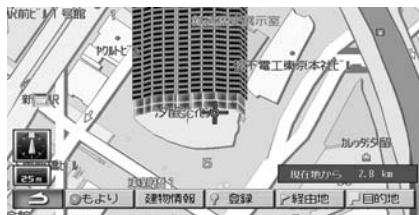
- 以降の操作は、目的地をセットした場合は「ルートの探索結果画面」(74ページ)、経由地をセットした場合は「経由地を設定する」(76ページ)の手順3へ進んでください。

建物情報を見る

市街地図(46ページ参照)を表示しているときは、建物のフロア案内などを見ることができます。

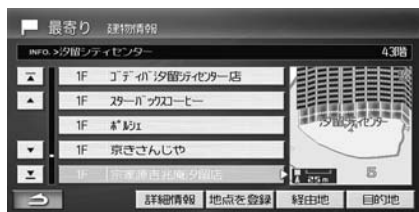
1 市街地図画面で情報を見たい建物にタッチします。

2 「建物情報」にタッチします。



建物のフロア案内が表示されます。

3 フロアの施設名称にタッチし、「詳細情報」にタッチします。



詳細情報が表示されます。



4 「現在地」スイッチを押して現在地画面に戻します。

アドバイス

- 建物によってはフロア案内が表示されない場合があります。その場合は、建物(施設)名称のみが表示されます。
- 詳細情報でQRコード(62ページ参照)を利用することができます。

案内音量を調整する

ナビゲーション案内音声の音量を調整します。音声をOFFにすることもできます。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**音量調整** にタッチします。



音量調整画面が表示されます。

- 2 「ガイド音声」の ◀ または ▶ にタッチして音量レベルを設定します。



- ◀ にタッチするたびに音量レベルが1つ下がり、▶ にタッチするたびに音量レベルが1つ上がります。
- 8段階で設定できます。
- 一番下のレベルに設定すると音声をOFFにできます。
- ガイド音声を調整すると「この音声で案内します。」と出力され、設定した音量を音声で確認することができます。

- 3 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。

アドバイス

- 案内音量をOFFにすると、目的地案内画面に表示される ◀ ▶ スイッチは色がトーンダウンし操作できません。



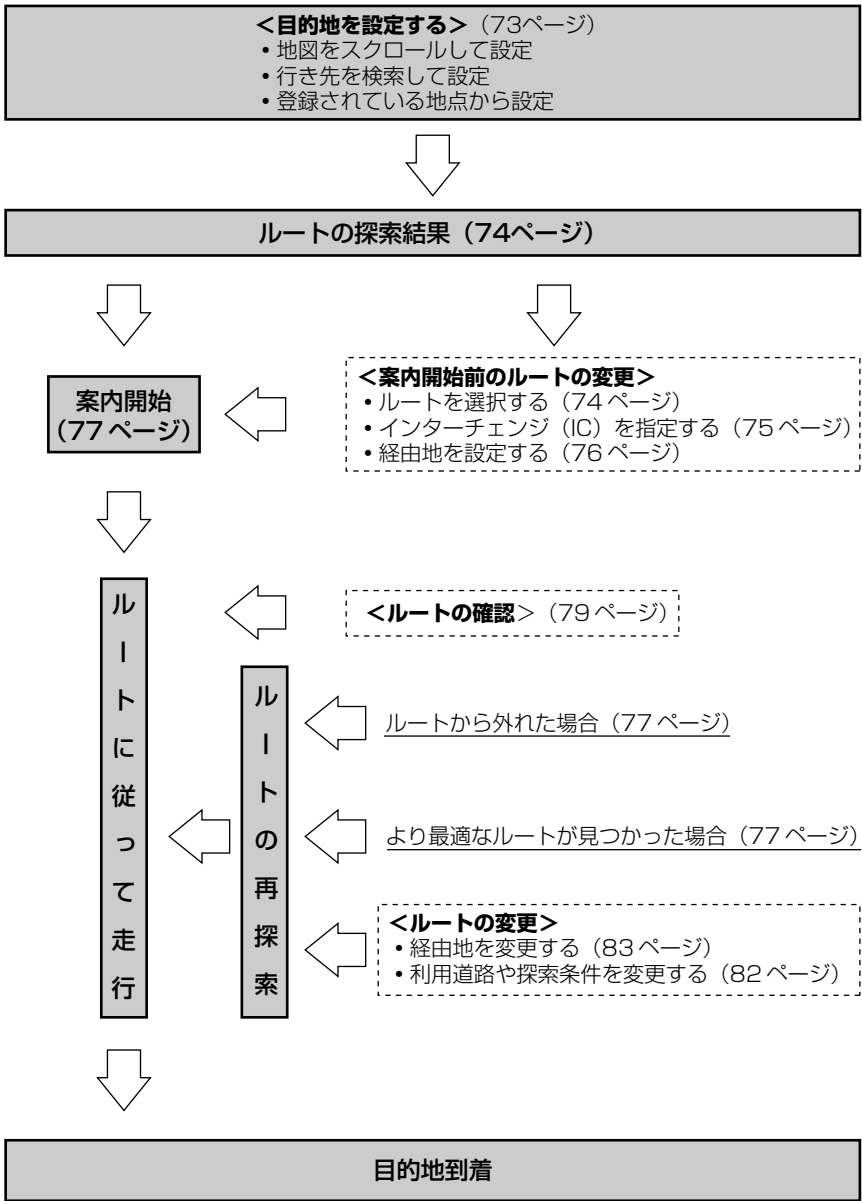
ナビゲーション案内

ナビゲーション編

目的地設定・ルート探索について	58
行き先を探す	59
選んで探す	60
名称で探す	64
番号で探す	66
近くで探す	69
目的地を設定してルートを探索する	72
目的地を設定する	73
ルートの探索結果画面	74
インターチェンジ(IC)を指定する	75
経由地を設定する	76
目的地案内を開始する	77
より最適なルートが見つかった場合 (アクティブルートサーチ)	77
抜け道ルートが見つかった場合	78
案内中のルートを確認する	79
ルートをスクロールする	79
全ルートを表示する	80
ルート情報(案内道路情報)を表示する	81
探索したルートを確認する(デモ走行)	81
案内中のルートを変更する	82
別のルートを選択する	82
利用道路を変更する(条件変更)	82
経由地を変更する	83
迂回する	84
ルートを消去する	85
目的地案内表示	86
交差点・高速分岐案内	86
フェリー航路の案内	88
到着情報の表示	88
料金案内	88
音声案内	88

目的地設定・ルート探索について

目的地や経由地の追加、ルート探索の条件を設定して目的地へ案内するまでの流れを説明します。



行き先を探す

ナビゲーション案内を行うときは、まず行き先を探す必要があります。施設や住所など、さまざまな条件で行き先を検索して、目的地に設定することができます。

検索方法は以下のとおりです。

■ 選んで探す



■ 名称で探す



■ 番号で探す



■ 近くで探す



タブ	機能	説明	参照先
選んで探す	住所	都道府県から順に住所を絞り込みます。	60ページ
	施設	ジャンルを指定して施設を絞り込みます。	61ページ
	路線別	高速道路の出入口または鉄道の駅を路線別に絞り込みます。	62ページ
	登録地点	登録されている地点をリストから選択します。	63ページ
	目的地履歴	過去に目的地として設定した地点をリストから選択します。	64ページ
名称で探す	施設50音	施設の名称を50音で入力して検索します。	64ページ
	住所50音	住所を50音で入力して検索します。	65ページ
番号で探す	電話番号	電話番号を入力して検索します。	66ページ
	郵便番号	郵便番号を入力して検索します。	67ページ
	マップコード	マップコードを入力して検索します。	68ページ
	緯度経度	緯度と経度を指定します。	68ページ
近くで探す	現在地周辺	周辺にある施設を検索し、リストから選択します。	69ページ
	ルート周辺	ルート周辺にある施設を検索し、リストから選択します。	69ページ
	目的地周辺	目的地周辺にある施設を検索し、リストから選択します。	69ページ
	周辺の建物	現在地周辺にある建物(ビルなど)を検索し、リストから選択します。	70ページ

🔊 アドバイス

- 走行中は安全のため、行き先を探すメニューは操作できません。

選んで探す

住所リストから探す

住所がわかっている場合は、都道府県名から順に住所を絞り込んでいくことができます。

アドバイス

- 住所の絞り込みは、都道府県名→市区町村名→大字→丁目・字→番地→戸番の順に行われます。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニュー画面が表示されます。
- 3 **選んで探す** タブにタッチし、**住所** にタッチします。
- 4 地方名タブにタッチし、都道府県名にタッチします。



- 5 50音タブにタッチし、市区町村名にタッチします。



さらに詳しい住所が表示されます。

- 6 町名、丁目、番地などを順に指定します。



検索した住所周辺の地図が画面右側に表示されます。

- **数字入力** にタッチすると、番地を直接入力することができます(「数字で番地を入力する」60ページ参照)。
- **完了** にタッチすると、該当する住所周辺の地図が表示されます(「スクロールや検索して表示させた地図の操作」53ページ参照)。

数字で番地を入力する

- 1 番地を入力します。



- 丁目、番地、戸番の間には「-」(ハイフン)を入力します。
- **リスト** にタッチすると、入力した番地のリスト画面に戻ります。
- **完了** にタッチすると、該当する住所周辺の地図が表示されます(「スクロールや検索して表示させた地図の操作」53ページ参照)。

アドバイス

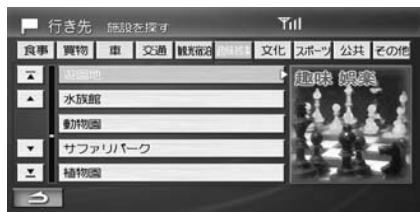
- 住所の整備状況により検索できない場合があります。その際はエラーメッセージが表示されます。**戻る** にタッチしたあと、**完了** にタッチして周辺地図を表示させ、位置を指定してください。

施設を探す

ジャンルと都道府県名を指定して、施設を探し出すことができます。

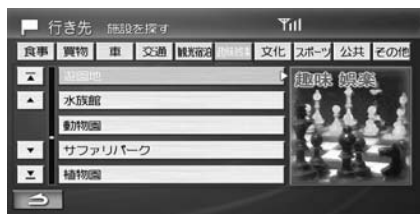
選択できるジャンル一覧については、「施設ジャンル一覧」(192ページ)を参照してください。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニュー画面が表示されます。
- 3 **選んで探す** タブにタッチし、**施設** にタッチします。
- 4 ジャンルタブにタッチします。



ジャンル一覧が表示されます。

- 5 施設のジャンルにタッチします。



都道府県名リストが表示されます。

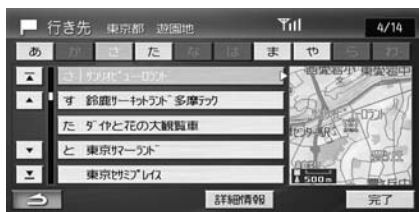
- ジャンルによっては、ブランド名を指定することができます。ブランド名にタッチして選びます。
全てのブランド にタッチすると全てのブランド名を対象にします。



- 6 地方名タブにタッチし、都道府県名にタッチします。



- 7 50音タブにタッチし、施設名称にタッチします。



- 完了** にタッチすると、施設周辺の地図が表示されます(「スクロールや検索して表示させた地図の操作」53ページ参照)。
- 「観光宿泊」の「祭事」を選んだ場合、**50音順** と **月順** にタッチして並べかえを行うことができます。

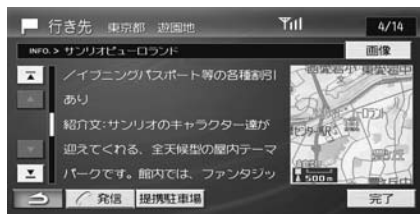


アドバイス

- 全国の駅など、使用頻度の高い場所のスポットをジャンル別に収録。豊富なデータで、素早く、簡単に検索できます。
- 収録されている施設ジャンルはNTTタウンページ登録時のジャンルとなるため、実際と異なる場合があります。
- 「道の駅」とは一般道路にある施設で自由に立ち寄り、利用できる快適な休憩のための空間。
施設内容
 - ・ 休憩目的の利用者が無料で利用できる十分な容量の駐車場
 - ・ 清潔なトイレ
 - ・ 道路や地域の情報を提供する施設
 - ・ さまざまなサービス施設

次ページに続く→

- **詳細情報** にタッチすると、施設の詳細情報が表示されます。



詳細情報を表示すると以下の操作ができます。

- 1) **発信**
携帯電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。
- 2) **提携駐車場**
施設と提携している駐車場を指定することができます。
- 3) **画像**
施設に画像情報がある場合は、画像を表示することができます。
- 4) QRコード
QRコードを携帯電話で読み取ると、地図情報などをインターネットに接続して取得することができます。



🔊 アドバイス

- 本サービスは、株式会社ゼンリンデータコムが提供する携帯電話向け地図情報サービスを利用しております。
- QRコードをご利用いただくには、QRコード読み取り機能を搭載した、インターネット接続可能な携帯電話が必要です。
- 携帯電話をWEB接続する際の通信費及び拡張機能の利用費は、お客様負担になります。
- 本サービスの利用により、トラブル・損害が生じましても弊社は一切の責任を負いかねますので、ご承知ください。

路線別で探す

高速道路、有料道路などのインターチェンジ(IC)または鉄道の駅を、地域と路線を指定して探し出すことができます。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニューが表示されます。
- 3 **選んで探す** タブにタッチし、**路線別** にタッチします。
- 4 「道路」の **高速** または「鉄道」の **全線** **JR** **私鉄** **地下鉄** のいずれかにタッチします。



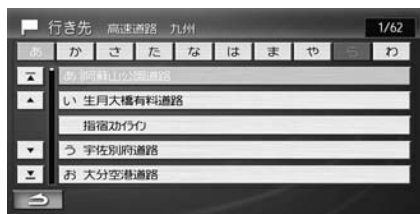
地域メニューが表示されます。

- 5 地域にタッチします。



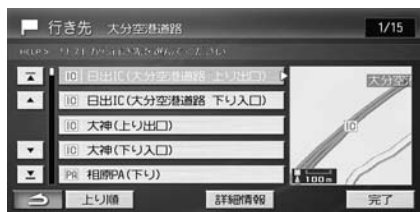
高速道路/有料道路路線リストまたは鉄道路線リストが表示されます。

6 50音タブにタッチし、路線名にタッチします。



インターチェンジリストまたは駅名リストが表示されます。

7 インターチェンジ名または駅名にタッチします。



- **完了** にタッチすると、インターチェンジまたは駅周辺の地図が表示されます(「スクロールや検索して表示させた地図の操作」53ページ参照)。
- **上り順**、**下り順** にタッチして並び替えることもできます。
- **詳細情報** にタッチすると、インターチェンジまたは駅の詳細情報が表示されます。詳細情報を表示すると以下の操作ができます。
 - 1) **発信**
携帯電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。

登録地点から探す

登録されている地点のリストから目的地を探し出すことができます。

アドバイス

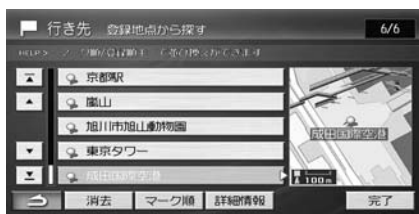
- あらかじめ地点を登録しておく必要があります(「地点を登録する」94ページ参照)。

1 **メニュー/PWR** スイッチを押したあと、**ナビメニュー** にタッチします。

2 **行き先を決める** にタッチします。 行き先メニュー画面が表示されます。

3 **選んで探す** タブにタッチし、**登録地点** にタッチします。 登録地点リストが表示されます。

4 登録地点にタッチします。



- **マーク順** ↔ **登録順** にタッチするたびに登録地点リストを並べかえられます。
登録順 : 新しく登録した順。
マーク順 : マークの種類ごと。
- **完了** にタッチすると、登録地点周辺の地図が表示されます(「スクロールや検索して表示させた地図の操作」53ページ参照)。
- **詳細情報** にタッチすると、登録地点の詳細情報が表示されます。登録地点情報画面については、「地点情報を確認する」(96ページ)を参照してください。

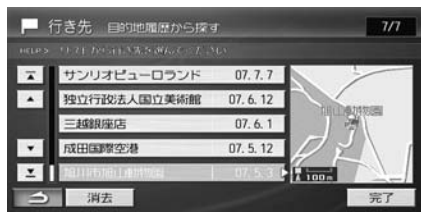
アドバイス

- 選択した登録地点を消去するには **消去** にタッチします。すべての登録地点を消去するには **消去** にタッチし続けます。詳しくは、「特別地点/登録地点を消去する」(100ページ)を参照してください。

目的地履歴から探す

以前目的地に設定した地点(200件まで)をリストから選択することができます。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニュー画面が表示されます。
- 3 **選んで探す** タブにタッチし、**目的地履歴** にタッチします。
目的地履歴が新しいものから順にリスト表示されます。
- 4 目的地履歴にタッチします。



- **完了** にタッチすると、目的地履歴の周辺地図が表示されます(「スクロールや検索して表示させた地図の操作」53ページ参照)。

④ アドバイス

- 200件を超えた場合は、古いものから順に削除されます。
- 目的地履歴の地点を目的地に設定した場合は、古い履歴を消去して新しいものだけを記憶します。
- 履歴には、目的地に設定したときの日付が表示されます。
- 選択した目的地履歴を消去するには **消去** にタッチします。すべての目的地履歴を消去するには **消去** にタッチし続けます。メッセージが表示されたら **はい** にタッチします。

名称で探す

施設を50音で探す

施設の名称を50音入力し、ジャンル・地域や市区町村名などで候補を絞り込んで施設を探し出すことができます。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニュー画面が表示されます。
- 3 **名称で探す** タブにタッチし、**施設50音** にタッチします。
- 4 施設の名称の読みを入力します。



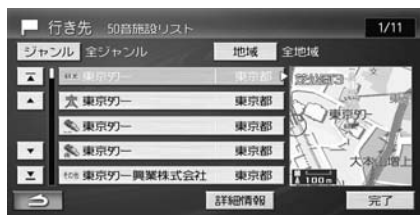
- 施設名の頭文字や最初の数文字だけを入力して検索することもできます。
- 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは色がトーンダウンし、タッチしても入力できません。
- 1文字タッチするたびに、該当する施設名称の件数が表示されます。
- 数字や英字も読みで入力します(例:「1」→「いち」、「Z」→「ぜっと」)。
- 濁点、半濁点、長音を省略しても、小文字を大文字で入力しても検索ができます。

- 5 **完了** にタッチします。



検索された施設リストが表示されます。

6 施設名称にタッチします。



- **ジャンル** にタッチすると、ジャンルを絞り込んで再検索できます(「ジャンルを絞り込む」65ページ参照)。
- **地域** にタッチすると、地域を絞り込んで再検索できます(「地域を絞り込む」65ページ参照)。
- **完了** にタッチすると、施設周辺の地図が表示されます(「スクロールや検索して表示させた地図の操作」53ページ参照)。
- **詳細情報** にタッチすると、施設の詳細情報が表示されます。詳細情報を表示すると以下の操作ができます。
 - 1) **発信**
携帯電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。
 - 2) **提携駐車場**
施設と提携している駐車場を指定することができます。

■ ジャンルを絞り込む

1 **ジャンル** にタッチします。

2 ジャンルタブにタッチし、施設のジャンルにタッチします。



該当する施設が表示されます。

- **地域** にタッチすると、さらに地域で絞り込むことができます。

■ 地域を絞り込む

1 **地域** にタッチします。

2 地方名タブにタッチし、都道府県にタッチします。



該当する施設が表示されます。

- **ジャンル** にタッチすると、さらにジャンルで絞り込むことができます。

🔊 アドバイス

- 入力中に検索先の候補が絞り込まれたときは、自動的に検索された施設名称のリスト画面が表示される場合があります。
- 入力した施設名称で検索できない場合、施設の正式名称を入力して再度お試しください。または「選んで探す」の「施設を探す」(61ページ)から検索してください。

住所を50音で探す

地名を50音入力して探し出すことができます。

1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。

2 **行き先を決める** にタッチします。 行き先メニュー画面が表示されます。

3 **名称で探す** タブにタッチし、**住所50音** にタッチします。

4 地名の読みを入力します。



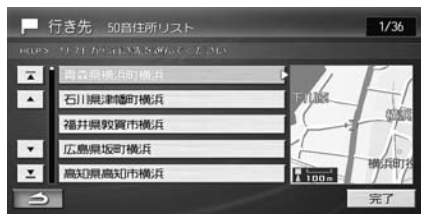
- 住所の頭文字や最初の数文字だけを入力して検索することもできます。
- 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは色がトーンダウンし、タッチしても入力できません。
- 1文字タッチするたびに、該当する住所の件数が表示されます。
- 数字や英字も読みで入力します(例:「1」→「いち」、「Z」→「ぜっと」)。
- 濁点、半濁点、長音を省略しても、小文字を大文字で入力しても検索ができます。

5 完了 にタッチします。



検索された住所がリスト表示されます。

6 住所にタッチします。



- 完了** にタッチすると、住所周辺の地図が表示されます(「スクロールや検索して表示させた地図の操作」53ページ参照)。

番号で探す

電話番号から探す

電話番号がわかっているれば、目的地をすばやく探し出すことができます。また、地点登録されている地点に電話番号が設定してある場合(「特別地点/登録地点情報を確認・変更する」95ページ参照)は、登録されている地点が呼び出されます。

アドバイス

- 市外局番から入力してください。
- 局番が変更になった場合は検索できません。また、一部地域では検索できない場合があります。検索できない場合は、他の方法で探してください。

1 メニュー/PWR スイッチを押した後、ナビメニュー にタッチします。

2 行き先を決める にタッチします。 行き先メニュー画面が表示されます。

3 番号で探す タブにタッチし、電話番号 にタッチします。

4 電話番号を入力し、完了 にタッチします。



- 「市外局番」と「市内局番」は必ず入力してください。
 - 市内局番までで検索する場合は、6桁入力します。5桁の場合は検索できません。
- 入力した電話番号が検索されます。

■「施設」の電話番号を入力した場合

- 検索の結果が1件の場合は、地点の名称と周辺地図が表示されます。



- 検索の結果が複数力所の場合は、候補地がリスト表示されます。リストから希望の施設名称にタッチすると、検索された地図が表示されます。

■個人の電話番号を入力した場合

- 検索の結果が個人宅の場合は、名前入力画面が表示されます。「名字」を入力後、「完了」にタッチしてください。



- 該当箇所が見つからなかった場合は、加入番号の近い番号を検索して地図を表示しますので、電話番号の付近にならない場合があります。



郵便番号から探す

郵便番号がわかっている場合は、郵便番号から目的地を探し出すことができます。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。

- 2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニューが表示されます。

- 3 **番号で探す** タブにタッチし、**郵便番号** にタッチします。

- 4 郵便番号を入力し、**完了** にタッチします。



- 郵便番号の7桁をすべて入力してください。
- 先頭の3桁まで入力すると、自動的に「-」が表示されます。

入力した郵便番号で検索されます。

- 検索の結果が1件の場合は、代表地点の名称と周辺地図が表示されます。



- 検索の結果が複数力所の場合は、候補地がリスト表示されます。リストから地点名称にタッチしてください。
- 該当箇所が見つからなかった場合は、メッセージが表示されます。もう一度、正しい郵便番号を入力してください。
- 住所検索** にタッチすると、続けて住所で検索することができます（「住所で検索する」68ページ参照）。

指定した場所の周辺地図が表示されます。

- 「スクロールや検索して表示させた地図の操作」（53ページ）を参照してください。

🔊 アドバイス

- 企業など専用の郵便番号は検索できない場合があります。

■ 住所で検索する

- 1 **住所検索** にタッチします。
郵便番号から該当する住所を検索し、リスト表示します。
- 2 リストから住所を選び、タッチします。
 - **数字入力** にタッチすると、数字で番地を入力できます。「数字で番地を入力する」(60ページ)を参照してください。
 - 「スクロールや検索して表示させた地図の操作」(53ページ)を参照してください。

マップコードから探す

マップコードから目的地を探し出すことができます。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニュー画面が表示されます。
- 3 **番号で探す** タブにタッチし、**マップコード** にタッチします。
- 4 マップコードを入力し、**完了** にタッチします。



- 10桁までの標準マップコードに加え、「*」のあとに2桁まで追加することで高度な検索ができます。

指定した場所の周辺地図が表示されます。

- 「スクロールや検索して表示させた地図の操作」(53ページ)を参照してください。

④ アドバイス

- マップコードとは、日本全国のあらゆる位置を数字としてコード化し、6～10桁の番号(標準マップコードの場合)でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところ(川や渓谷などの景勝地、友人との待ち合わせ場所など)もマップコードで位置を特定することができるようになります。
- マップコードについては、インターネットでもご覧いただけます。(http://guide2.e-mapcode.com)
- マップコードは、登録地点の位置情報に登録されています。詳しくは、「地点情報を確認する」(96ページ)を参照してください。
- 10桁までの標準マップコードに加え、「*」を使用したマップコードHR(高分解能)に対応しています。
- マップコードについては、株式会社 昭文社から出版されている「スキーマップル」「どこでもアウトドア」「家族でお出かけ」シリーズなどを参照してください。

緯度経度から探す

地点の「緯度(北緯)、経度(東経)」がわかっているれば、その数値を入力して探し出します。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニュー画面が表示されます。
- 3 **番号で探す** タブにタッチし、**緯度経度** にタッチします。
- 4 北緯と東経を入力し、**完了** にタッチします。



- 1桁の数字を入力するときは頭に「0」を付けてください。

指定した位置の周辺地図が表示されます。

- 「スクロールや検索して表示させた地図の操作」(53ページ)を参照してください。



近くで探す

現在地周辺/目的地周辺から探す

現在地または目的地の周辺にある施設を検索して、ジャンルで絞り込むことができます。

🔊 アドバイス

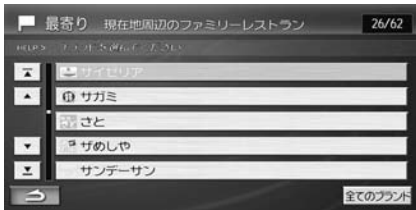
- 検索結果は最大で50件まで表示され、現在地または目的地から近い順に表示されます。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニュー画面が表示されます。
- 3 **近くで探す** タブにタッチし、**現在地周辺** または **目的地周辺** にタッチします。
- 4 **ジャンル** にタッチします。



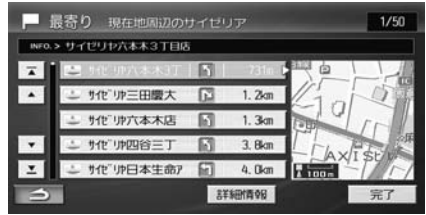
- **その他施設** にタッチすると、施設一覧から選択できます。

- 5 **ブランド名称** にタッチします。



- ジャンルによってはブランド名を指定できない場合があります。
- **全てのブランド** にタッチすると全てのブランド名を対象にします。

- 6 **施設名称** にタッチします。



- **完了** にタッチすると、施設周辺の地図が表示されます (「スクロールや検索して表示させた地図の操作」J53ページ参照)。
- **詳細情報** にタッチすると、施設の詳細情報が表示されます。詳細情報を表示すると以下の操作ができます。
 - 1) **発信**
携帯電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。
 - 2) **提携駐車場**
施設と提携している駐車場を指定することができます。
 - 3) **画像**
施設に画像情報がある場合は、画像を表示することができます。

ルート周辺から探す

目的地が設定されている場合は、ルートの周辺にある施設を検索して、ジャンルで絞り込むことができます。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
行き先メニュー画面が表示されます。
- 3 **近くで探す** タブにタッチし、**ルート周辺** にタッチします。

4 ジャンルにタッチします。



- **【その他の施設】** にタッチすると、施設一覧から選択できます。

5 ブランド名称にタッチします。



- ジャンルによってはブランド名を指定できない場合があります。
- **【全てのブランド】** にタッチすると全てのブランド名を対象にします。

6 施設名称にタッチします。



ルートの進行方向に向かって位置(左右)と距離が表示されます。

- **【完了】** にタッチすると、施設周辺の地図が表示されます(「スクロールや検索して表示させた地図の操作」53ページ参照)。
- **【詳細情報】** にタッチすると、施設の詳細情報が表示されます。詳細情報を表示すると以下の操作ができます。
 - 1) **【発信】**
携帯電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。
 - 2) **【提携駐車場】**
施設と提携している駐車場を指定することができます。

3) **【画像】**

施設に画像情報がある場合は、画像を表示することができます。

【アドバイス】

- ルートが設定されていない状態では使用できません。
- 検索結果は最大で50件表示され、自転車位置に近いものから順に表示されます。

周辺の建物から探す

現在地の周辺にある建物を検索できます。また、建物内の施設を検索することもできます。

【アドバイス】

- 検索結果は最大で40件表示され、現在地から近い順に表示されます。
- 現在地周辺に登録されている建物がない場合は、メッセージが表示され検索することができません。

1 **【メニュー/PWR】** スイッチを押した後、**【ナビメニュー】** にタッチします。

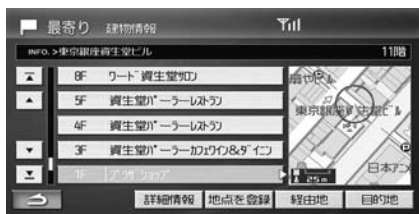
2 **【行き先を決める】** にタッチします。
行き先メニューが表示されます。

3 **【近くで探す】** タブにタッチし、**【周辺の建物】** にタッチします。

4 建物名称にタッチします。



- **完了** にタッチすると、建物周辺の地図が表示されます（「スクロールや検索して表示させた地図の操作」53ページ参照）。
- **建物情報** にタッチすると、建物のフロア案内が表示されます。



さらに、詳細情報を見たい場合は、施設名称にタッチし、**詳細情報** をタッチします。



詳細情報を表示すると以下の操作ができます。

- 1) **発信**
電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。
- 2) **提携駐車場**
施設と提携している駐車場を指定することができます。

目的地を設定してルートを探索する

目的地案内(ルート案内)を行うには、目的地を設定することから始めます。

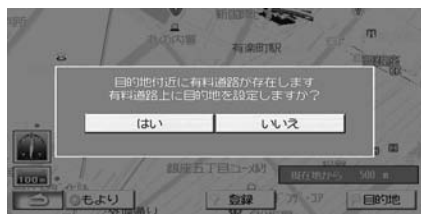
目的地を設定するには以下の方法があります。

項目	設定方法
地図から設定	地図をスクロールして 目的地 にタッチして設定します(「地図から設定する」73ページ参照)。
登録地点から設定	自宅を目的地に設定します(「自宅へ帰る」73ページ参照)。
	よく行く地点を目的地に設定します(「よく行く地点を設定する」73ページ参照)。
	登録されている地点の中から目的地を選択して設定します(「登録地点を設定する」74ページ参照)。
行き先を検索して設定	メインメニューの 行き先を探す を利用して、さまざまな方法で目的地を検索して設定します(「行き先を検索して設定する」74ページ参照)。

目的地を設定すると、自動的にルートの探索が始まります。探索された推奨ルート以外のルートを選択したり、経由地やインターチェンジなどを指定して再探索することもできます。

🔊 アドバイス

- 目的地を設定した地点は、自動的に記憶(最大200カ所まで)され、目的地の設定のときなどに、履歴から呼び出すことができます。200カ所を超えたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は消去することもできます(「目的地履歴から探す」64ページ参照)。
- 経由地の設定は目的地と同じ手順で行えます。
- 目的地付近に高速道路・有料道路がある場合、次のようなメッセージが表示されます。**はい** または **いいえ** にタッチしてください。ただし、登録地点の地点属性に「一般道路」「有料道路」が設定されている場合は表示されません(「地点に属性(一般道路/有料道路)を設定する」99ページ参照)。





目的地を設定する

地図から設定する

地図をスクロールして目的地にしたい地点を表示し、目的地に設定することができます。

1 目的地にしたい地点に十字カーソルを合わせます。

- 地図のスクロールについては、「地図をスクロールする」(45ページ)を参照してください。

2 目的地 にタッチします。



目的地が設定され、現在地から目的地までのルートが探索されます(「ルートの探索結果画面」74ページ参照)。

- イグニッションキーをOFFにしても目的地(ルート)は消去されません。

自宅へ帰る

自宅が登録されていれば、簡単な操作で自宅を目的地に設定することができます。

1 アドバイス

- あらかじめ自宅が登録されていることが必要です。自宅を登録する方法については、「特別地点(自宅/よく行く地点)を登録する」(92ページ)を参照してください。

1 メニュー/PWR スイッチを押した後、ナビメニュー にタッチします。

2 自宅 にタッチします。



目的地が設定され、現在地から自宅までのルートが探索されます(「ルートの探索結果画面」74ページ参照)。

1 アドバイス

- 自宅が登録されていない場合は、自宅を登録することができます。自宅の位置に十字カーソルを合わせ「登録」にタッチします。

よく行く地点を設定する

よく行く地点が登録されていれば、簡単な操作でよく行く地点を目的地に設定することができます。

1 アドバイス

- あらかじめよく行く地点が登録されていることが必要です。よく行く地点を登録する方法については、「特別地点(自宅/よく行く地点)を登録する」(92ページ)を参照してください。

1 メニュー/PWR スイッチを押した後、ナビメニュー にタッチします。

2 地点1 地点2 地点3 のいずれかにタッチします。



目的地が設定され、現在地から目的地までのルートが探索されます(「ルートの探索結果画面」74ページ参照)。

1 アドバイス

- 選択した地点番号に地点が登録されていない場合は、地点を登録することができます。登録したい地点に十字カーソルを合わせ、「登録」にタッチします。

登録地点を設定する

登録されている地点を目的地に設定します。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
- 3 **選んで探す** タブにタッチし、**登録地点** にタッチします。
登録地点リストが表示されます。
- 4 登録地点にタッチして選び、**完了** にタッチします。
- 5 **目的地** にタッチします。
目的地が設定され、現在地から目的地までのルートが探索されます(「ルートの探索結果画面」74ページ参照)。

行き先を検索して設定する

施設や住所などから行き先を探し出して目的地に設定します。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **行き先を決める** にタッチします。
- 3 行き先を検索します。



- 検索方法については、「行き先を探す」(59ページ)を参照してください。

- 4 **目的地** にタッチします。
目的地が設定され、現在地から目的地までのルートが探索されます(「ルートの探索結果画面」74ページ参照)。

ルートの探索結果画面

目的地を設定すると自動でルートの探索が始まり、現在地から目的地までの全ルートが地図に表示されます。

探索結果画面には、以下の5つのルートが表示され、それぞれ目的地までの時間と料金が表示されます。



5ルート

- 1) **推奨**
VICS情報、VICS統計情報(渋滞予測)、ルート学習情報、渋滞学習情報を利用して、目的地まで最短の時間で行ける代表的なルート
 - 2) **一般**
一般道路を通る代表的なルート
 - 3) **距離**
最短の距離を通る代表的なルート
 - 4) **道幅**
道幅の広い道路を通る代表的なルート
 - 5) **別ルート**
上記4つのルートを通らないルート
- 推奨以外のルートを選択するには、そのルートにタッチします。
 - **案内開始**
現在地画面に戻り、選択されたルートで目的地案内を開始します(「目的地案内を開始する」77ページ参照)。
 - **IC変更**
利用するインターチェンジ(IC)を指定することができます(「インターチェンジ(IC)を指定する」75ページ参照)。

アドバイス

- 5ルートの中には同じルートが検索される場合があります。
- 本機に収録されたVICS統計情報を使用するため、ビーコン情報を受信しなくても時間帯によって異なる渋滞回避ルート探索を行うことができます。
- 「距離」…条件によって最短ルートを表示しない場合があります。
- 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります(「車種設定」110ページ参照)。



- 所要時間は設定した平均車速(「平均車速を設定する」137ページ参照)やVICS旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ルート探索中に、ほかの画面に切りかえると、選択中のルートで案内を開始します。
- 案内開始にタッチせずしばらく経つと、選択中のルートで案内を開始します。
- 高速道路や有料道路のインターチェンジ(IC)・サービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索(「ルートから外れた場合」77ページ参照)を行ってください。
- 登録した迂回地点(「迂回地点を登録する」110ページ参照)が目的地または現在地から離れている場合、迂回エリアを通るルートを探してしまうことがあります。その時はメッセージが表示されます。「回避エリア考慮」を「しない」に設定しているときは、メッセージは表示されません。(「迂回地点を回避する」140ページ参照)

冬期閉鎖区間を回避する

探索されたルート上に冬期に通行できなくなる区間が含まれる場合は、探索画面にメッセージが表示されます。冬期閉鎖区間を自動回避しない設定になっているとき(「冬期閉鎖区間を考慮する」140ページ参照)は、以下のよう

- 1 メッセージが表示されたあと、回避する場合は、**規制考慮**にタッチします。



冬期閉鎖区間を通らないルートが再探索されます。

- 規制区間を回避しない場合は、**案内開始**にタッチします。

目的地案内が開始され、案内が開始されます。

④ アドバイス

- 規制考慮**にタッチして冬期閉鎖区間を回避すると、「冬期閉鎖区間を考慮する」(140ページ)設定が自動的に「する」に変更されます。

インターチェンジ(IC)を指定する

利用するインターチェンジ(IC)を指定します。

- 1 ルート探索結果画面で **IC変更** にタッチします。
利用予定のインターチェンジが表示されます。
- 2 変更したいインターチェンジの **変更** にタッチします。



選択されているインターチェンジの前後のインターチェンジが表示されます。

- 3 **▲ ▼ ◀ ▶** にタッチして利用したいインターチェンジを表示させます。



- ジャンクションでは、分岐先のインターチェンジも表示されます。

- 4 **登録** または利用したいインターチェンジ名称にタッチします。

- ☐** にタッチすると、指定したインターチェンジを解除し元のインターチェンジに戻ります。

- 5 **完了** にタッチします。
ルートが再探索され、案内が開始されます。

経由地を設定する

目的地に向かう途中で経由したい地点を設定します。経由地は最大で5カ所設定できます。

設定した経由地の変更や順番を入れかえたり、削除することもできます(「経由地を変更する」83ページ参照)。

🔊 アドバイス

- 目的地の設定と同様にさまざまな条件を指定して経由地を検索することができます(「行き先を探す」59ページ参照)。その場合は、検索した場所の地図を表示させ、**経由地** にタッチします。

1 経由地にしたい地点に十字カーソルを合わせます。

- 「行き先を探す」メニューで経由地を検索した場合は、**完了** にタッチして周辺地図を表示します。

2 **経由地** にタッチします。



経由地リストが表示されます。

3 **未登録** にタッチするか、経由地を追加したい区間の **追加** にタッチします。



- 経由地が何も設定されていない場合、または5カ所すべて設定されている場合は、**追加** はトーンダウンされ操作することができません。
- すでにセットされている経由地にタッチすると、新たに指定した経由地が上書きされます。ルートが再探索され、案内が開始されます。

🔊 アドバイス

- 経由地を追加すると、経由地追加前のルート探索条件が適用されます。

目的地案内を開始する

探索されたルートにしたがって案内走行を開始します。

- 1 ルート探索結果画面で **案内開始** にタッチします。



ナビゲーション案内が開始されます。



① アドバイス

- **[D]** にタッチすると、直近の案内を任意で聞くことができます。
- 目的地案内画面を2画面にして左右別々の縮尺や方向を表示させたり、ルートの行程ガイドを表示させることができます(「地図表示を切りかえる」48ページ参照)。
- ルート走行中の案内については、「目的地案内表示」(86ページ)を参照してください。

ルートから外れた場合

目的地案内中にルートから外れると、その位置から目的地までのルートが自動的に再探索されます。自動で再探索されないときは、**ルート** にタッチしたあと、**リルート** にタッチしてください。

ルートを変更する場合

目的地案内中に利用する道路を変更したり、経由地を追加したい場合などは、ルートを変更することができます。詳しくは、「案内中のルートを変更する」(82ページ)を参照してください。

より最適なルートが見つかった場合(アクティブルートサーチ)

本機には、目的地までのルートを走行中に最新情報に基づいて最適なルートを探し出す機能「アクティブルートサーチ」があります。

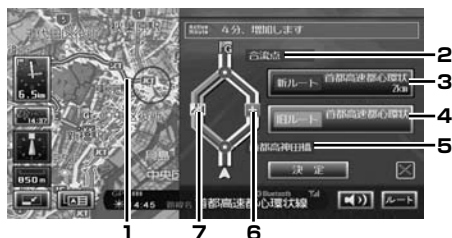
最適ルートが見つかった場合は、音声案内とメッセージを表示してお知らせします。現在のルートが新ルートを選択することができます。

アクティブルートサーチは、以下の情報を基に行われます。

- VICS規制情報(通行止め、インターチェンジの閉鎖など)
- 時間曜日規制情報
- 迂回地点
- VICSビーコンユニット(別売)による時間短縮ルート of 発見
- 渋滞学習情報
- 抜け道情報
- より短距離ルート of 発見

■ 最適ルートが見つかったと

アクティブルート画面が表示され、音声で案内されます。



1. ルート

新ルート にタッチしたときは、新ルートが青色のラインで表示されます。

旧ルート にタッチしたときは、現在のルートが紫色のラインで表示されます。

- 新ルートと旧ルートは地図上に同時に表示されません。

2. 合流交差点名

3. 新ルート情報

道路名、短縮(増加)距離と短縮時間表示。

4. 現在のルート情報

道路名、現ルート迂回原因事象表示。

5. 分岐交差点名

6. 距離増減アイコン

- ➕ : 現ルートに対し、距離が増加する
- ➖ : 現ルートに対し、距離が減少する
- ≡ : 現ルートと同じ位の距離

7. 現ルート迂回原因事象アイコン

- 🚧 : オンランプ規制
- 🚧 : オフランプ規制
- 🚫 : 通行止め

- 1 **新ルート** または **旧ルート** にタッチし、
決定 にタッチします。



ルートが変更または継続され、案内を開始します。

- **決定** にタッチしないまま約10秒間経過すると、選択しているルートに自動的に変更されます。または10秒以上何もしなければ、自動的に旧ルートが決定されます。
- アクティブルートサーチウィンドウを閉じるには **[X]** にタッチします。

④ アドバイス

- 新ルートは現ルートに比べて距離が増加する場合があります。
- アクティブルート画面は、ノースアップ画面で表示されます。
- アクティブルートをキャンセルしたい場合は、**[X]** にタッチするか、**旧ルート** を選択して **決定** にタッチしてください。
- アクティブルート画面表示中に、新ルートを走行した場合は、自動的に新ルートへルートを変更します。また、新ルートまたは現ルート以外のルートを走行した場合は、アクティブルート画面を終了し、ルートを変更します。
- 現在地から次の分岐交差点までの距離が50kmを超える場合は、アクティブルート画面は表示されません。
- アクティブルートサーチ機能を有効にするかどうか、また、到着時刻が何分以上縮まる場合にルート変更するか(5分~30分)などを設定できます(「アクティブルートサーチを設定する」139ページ参照)。
- 表示される区間通過の短縮時間はあくまで目安であり、走行速度、交通状況により短縮時間は異なる場合があります。
- 「アクティブルートサーチ」での「交通状況の考慮」および「回避ルート探索(渋滞考慮案内)」は通行止め等の交通規則が発生した場合等、距離、時間ともに増加するルートを表示する場合があります。また、常に渋滞からの回避が行えるわけではありません。
- VICS情報を利用した渋滞回避を行うには、別売のVICS光・電波ビーコンが必要となります。

抜け道ルートが見つかった場合

本機には、抜け道ルート探索機能があります。「抜け道探索」を「する」に設定している場合、自動的に抜け道ルートを探索します。

■ 抜け道ルートが見つかったと

抜け道ルート画面が表示され、音声で案内されます。



1. ルート

抜け道 にタッチしたときは、抜け道ルートが青色のラインで表示されます。**現ルート** にタッチしたときは、現在のルートが紫色のラインで表示されます。

2. 合流交差点名

3. 抜け道情報

道路名表示。

4. 現在のルート情報

道路名表示。

5. 分岐交差点名

- 1 **抜け道** または **現ルート** にタッチし、
決定 にタッチします。



ルートが変更または継続され、案内を開始します。

- 決定にタッチしないまま約10秒間経過すると、選択しているルートに自動的に変更されます。
- 抜け道ウィンドウを閉じるには **[X]** にタッチします。

④ アドバイス

- 抜け道探索機能を有効にするかどうかを設定することができます(「抜け道を探索する」139ページ参照)。
- 抜け道ルートの場合、細街路を通るルートを探ることがあります。その場合は音声案内は行われません。

案内中のルートを確認する

ルート案内中に、ルート全体や各区間について確認することができます。

🔊 アドバイス

- 走行中は安全のため、「ルート情報」表示、「ルートブラウザ」表示、「デモ走行」はできません。安全な場所に停車してから操作してください。

ルートをスクロールする

ルートブラウザ画面を操作して、探索したルートに沿って地図を目的地までスクロールして確認します。

ルート画面からルートブラウザを表示する

- 1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッチします。
ルートメニューが表示されます。

- 2 **ルートブラウザ** にタッチします。



ルートブラウザ画面が表示されます。

- 操作については、「ルートブラウザ画面を操作する」(79ページ)を参照してください。

- 3 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。

地図画面からルートブラウザを表示する

- 1 ルート案内中の地図画面で、到着情報表示にタッチします。



——到着情報表示

ルートブラウザ画面が表示されます。

- 操作については「ルートブラウザ画面を操作する」を参照してください。

- 2 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。

ルートブラウザ画面を操作する

- 1 スライダーバーの任意の箇所にタッチし、右方向へスライドします。または **◀ ▶** にタッチします。



スライダーバー

現在地から目的地に向けて、自動的にスクロールが開始されます。

■ スライダーバー操作

- ・スライダーバーを右方向にスライドすること、または▶️にタッチすること、スクロール速度が速くなります。(3段階)
- ・スライダーバーを左方向にスライドすること、または◀️にタッチすること、スクロール速度が遅くなります。(3段階)
- ・スライダーバーの半分以上を右方向にスライドするとスクロール速度が速くなります。左方向にスライドすると、スクロール速度が遅くなります。
- ・スライダーバーの任意の箇所にタッチすると、スクロールが停止します。

■ スライダーバーについて



1 ルート行程表示

出発地、経由地、目的地、フェリー、インターチェンジ(IC)をマークで表示します。

2 ルート情報表示

ルート行程を高速/有料道路は緑色、一般道路は青色で区別して表示します。

3 VICS規制情報表示

VICS規制情報を、現在地から近い順に3つマークで表示します。

4 目的地までの距離表示

📢 アドバイス

- 3Dマップへの切りかえはできません。
- 方位や縮尺を変更することもできます(「方位を切りかえる」47ページ、「縮尺を切りかえる」46ページ参照)。

全ルートを表示する

画面にルート全体(全ルート)を表示させます。

1 ルート案内中の地図画面で「ルート」にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

2 「全ルート表示」にタッチします。

現在地から目的地までのルートが表示され、乗り降りするインターチェンジと料金が表示されます。



- ・全ルート表示では、スクロール、方位変更、縮尺変更が行えます。

3 「現在地」スイッチを押して現在地画面に戻します。

📢 アドバイス

- 3Dマップへの切りかえはできません。
- ルートの一部が画面に表示されない場合があります。



ルート情報(案内道路情報)を表示する

目的地までの全ルートを高速道路のインターチェンジや
経由地などで分割し、区間の距離、高速道路などの料金ま
たはインターチェンジの通過予想時刻を一覧で表示する
ことができます。

ルート情報で確認できる情報は以下のとおりです。

地点	マーク
目的地	
経由地	
フェリー乗り場	
料金所	
JCT	
高速道路入口	
高速道路出口	
現在地	

ⓘ アドバイス

- 料金は、道路によって表示されない場合があります。
- 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 到着予想時刻は設定した平均車速(「平均車速を設定する」137ページ参照)やVICS旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより、誤差が生じることがあります。

1 ルート案内中の地図画面で「ルート」にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

2 「ルート情報」にタッチします。

区間ごとのルート情報が表示されます。



3 ▲▼ にタッチしてルート情報をスクロールします。

- ▲▼ にタッチし続けると連続でスクロールします。

4 「現在地」スイッチを押して現在地画面に戻します。

探索したルートを確認する(デモ走行)

ルート探索後、目的地案内が開始される前に目的地案内のデモを見ることができます。また音声案内の内容を確認することができます。

1 ルート案内中の地図画面で「ルート」にタッチします。

2 「デモ走行」にタッチします。



デモ走行を開始します。

- 方位や縮尺、地図表示方法を変更することができます。

3 「メニュー/PWR」または「現在地」スイッチを押すと、デモ走行を終了します。

ⓘ アドバイス

- 走行中は安全のためデモ走行を行うことはできません。

案内中のルートを変更する

目的地案内中に別のルートに変更したい場合は、以下のよう
に操作してルートを再探索することができます。

別のルートを選択する

5つのルート候補をもう一度探索し、他のルートに切りか
えます。

1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッ
チします。

2 **5ルート** にタッチします。
5つのルートが表示されます。各ルートについては、
「ルートの探索結果画面」(74ページ)を参照してくだ
さい。



3 お好みのルートにタッチします。



4 **案内開始** にタッチします。
目的地案内が再開されます。

🔊 アドバイス

- 経由地がセットされている場合は、5ルートの再探索
はできません。
- 走行中は安全のため **5ルート** にタッチすることは
できません。
- 5ルートについては「ルートの探索結果画面」(74
ページ)を参照してください。

利用道路を変更する(条件変更)

利用する道路を指定してルートを変更できます。経由地を
設定した場合は、経由地までの区間ごとに探索条件を変更
することができます。

1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッチ
します。
ルートメニューが表示されます。

2 **条件変更** にタッチします。
区間ごとに使用する道路が表示されます。

3 変更したい区間の **推奨** **一般道** **距離**
道幅 のいずれかにタッチします。



- すでに通過した区間は表示されません。

4 **完了** にタッチします。
ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

🔊 アドバイス

- 走行中は安全のため、条件変更画面をスクロールでき
ません。



経由地を変更する

経由地を追加・変更・消去または順番を入れかえることができます。

経由地を追加する

経由地は最大5カ所まで設定できます。5カ所未満の場合は、経由地を追加することができます。

- 1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

- 2 **経由地編集** にタッチします。



経由地編集画面が表示されます。

- 3 追加したい経由地番号の **未登録** にタッチし、**探して登録** にタッチします。



- 4 経由地を検索します。

- 検索方法については、「行き先を探す」(59ページ)を参照してください。

- 5 **登録** にタッチします。



経由地が設定されます。

- 続けて経由地を追加する場合は、手順3～5を繰り返します。

- 6 **完了** にタッチします。



ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

- **アドバイス**

- 走行中は安全のため、経由地を追加することはできません。
- 経由地を追加すると、設定されているルート検索条件が新しい経由地の前後にも適用されます(「利用道路を変更する(条件変更)」82ページ参照)。

経由地の順番を入れかえる

- 1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

- 2 **経由地編集** にタッチします。

- 3 入れかえる経由地にタッチします。



- 通過済みの経由地には、「通過」と表示されます。

- 4 **上へ移動** または **下へ移動** にタッチします。

タッチするたびに経由地の順番が入れかわります。

- 続けて経由地の順番を入れかえるには、手順3～4を繰り返します。

- 5 **完了** にタッチします。

ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

- **アドバイス**

- 走行中に経由地の順番を入れかえると、自動的にルートの再探索が行われます。

経由地を自動で並べかえる

経由地の順序を、現在地から近い順に自動で並べ替えることができます。経由地が2箇所以上設定されているときに操作することができます。

1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

2 **経由地編集** にタッチします。

3 **周遊** にタッチします。

周遊前と周遊後の経由地順序が表示されます。



4 **完了** にタッチします。

ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

経由地を消去する

1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

2 **経由地編集** にタッチします。

3 消去したい経由地にタッチし、**経由地消去** にタッチします。



経由地が消去されます。

- 続けて経由地を消去するには、手順3を繰り返します。

4 **完了** にタッチします。

ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

アドバイス

- 走行中に経由地を消去すると、自動的にルートの再探索が行われます。
- 経由地を削除すると、経由地までの検索条件が新しい区間に適用されます。

迂回する

自車位置から一定の距離を迂回するルートを探します。前方の道路が工事などで通行できないときなどに利用します。

アドバイス

- 迂回地点をあらかじめ登録しておくこともできます（「迂回地点を登録する」101ページ参照）。
- 迂回する距離を設定できます（「迂回距離の設定」140ページ参照）。
- 案内中のルートから外れている場合は、迂回ルートは探索できません。
- 周辺の道路によっては、迂回できない場合があります。

1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

2 **周辺迂回** にタッチします。



ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。



ルートを消去する

現在のルート、目的地、経由地を消去します。

1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

2 **ルート消去** にタッチします。



ルートの消去を確認するメッセージが表示されます。

3 **はい** にタッチします。

ルート、目的地、経由地が消去され現在地画面に戻ります。

🔊 アドバイス

- 目的地に近づくと「到着した」と判断して、ルート案内を終了します。
近づき加減が不足しているときなどは「到着した」と判断できず、いつまでも目的地への案内を繰り返します。そのようなときは、ルートを消去してください。

目的地案内表示

目的地までのルート走行中に、さまざまな表示や音声によって案内をします。

交差点・高速分岐案内

目的地案内中に案内ポイントが表示されている交差点が近づくと、交差点案内が行われます。



1. 距離メーター
交差点までの距離が表示されます。
2. レーン(車線)表示
通過・分岐する交差点の車線が表示されます。
3. 交差点名称表示
通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

アドバイス

- 交差点・高速分岐案内を行うかどうかを設定できます(「詳細案内図表示を設定する」138ページ参照)。以下の項目が設定できます。
 - 3Dイラスト拡大図
 - 3Dリアル交差点拡大図
 - 高速入口案内図
 - 高速分岐案内
 - 高速IC拡大図
- 地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示はされません。
- 交差点名称表示・車線表示が実際の交差点と異なることがあります。
- 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われないことがあります。
- 交差点案内は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図案内画面が表示されます。
- 交差点拡大図案内画面が表示されているとき、交差点名称表示・車線表示は分岐する交差点のものが表示されます。
- 交差点拡大図画面を解除するには、**[X]**にタッチします。解除した交差点拡大図画面を表示するには**[<D>]**にタッチします。

3Dイラスト拡大図(詳細案内図)

3Dイラスト情報のある交差点が近づくと、デフォルメしたイラストで拡大図が表示されます。



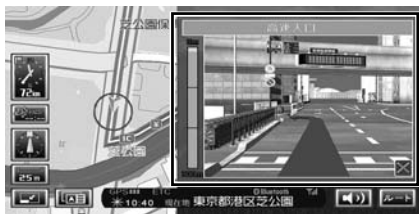
3Dリアル交差点拡大図(詳細案内図)

3Dリアル交差点情報のある交差点が近づくと、動画と静止画でよりリアルな拡大図を表示します。



高速入口案内図(詳細案内図)

情報のある都市高速のインターチェンジ(IC)入口が近づくと、入口の案内図が表示されます。



高速分岐案内(詳細案内図)

有料道路や高速道路を走行しているとき、情報がある分岐点(JCT)が近づく(約1000m以内)と、高速分岐案内画面が表示されます。



1. 分岐点名称

ジャンクション(JCT)の名称が表示されます。

2. 方面名称

レーンごとの方面名称が表示されます。

ETCレーン表示

ETCレーン情報のある料金所が近づくと、ETCレーン案内図が表示されます。



① アドバイス

- ETC車載器(別売)を装着してありETCカードが挿入されている場合は、ETCレーンに矢印が表示されます。
- ETCレーンは、実際のレーンと異なる場合があります。
- ETCレーン案内をするかどうかを設定できます(「ETC案内を設定する」137ページ参照)。

レーン(車線)ガイド表示

レーン情報のある分岐交差点の手前(約10km以内)では、走行する交差点までの距離、およびレーン図が表示されます。



1. 1つめ(手前)のレーン情報

直進の交差点では「●」が、右左折する交差点では「◎」が表示されます。

① アドバイス

- レーン情報のない交差点では、交差点での進行方向(直進を除く)が矢印で表示されます。
- レーンガイドを表示するかどうかを設定できます(「レーンガイドを表示する」138ページ参照)。

方面看板の表示

方面看板情報のある交差点の手前(約500m手前)では、方面看板が表示されます。



① アドバイス

- 方面看板を表示するかどうかを設定できます(「方面看板を表示する」133ページ参照)。

高速ガイド表示

高速道路走行中、「行程ガイド」に切りかえると高速ガイド表示を行います。

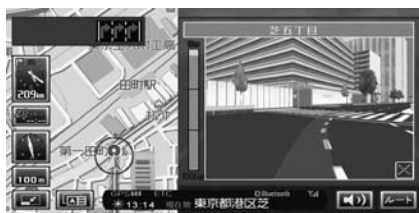


① アドバイス

- 高速ガイドを表示するかどうかを設定できます(「高速ガイド表示の設定」134ページ参照)。

リアルジャンクションガイド表示

動画データのある交差点では、実際の見え方と同じように交差点拡大図がアニメ表示されます。



① アドバイス

- リアルジャンクションガイドを表示するかどうかを設定できます(「リアルジャンクションガイドを設定する」137ページ参照)。

フェリー航路の案内

フェリーの航路は――(破線)で表示され、フェリーターミナルまで音声案内が行われます。フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。



アドバイス

- ルート探索でフェリーを使用するかどうかを設定できます(「フェリー航路を含むルートを探る」140ページ参照)。

到着情報の表示

目的地案内中は通過点(目的地、経由地、フェリー乗り場)の到着予想時刻と残距離が表示されます。

■ 全画面



1. 案内地点マーク
2. 到着予想時刻表示
3. 残距離

到着情報

- ・ 到着情報にタッチすると、ルートブラウザ画面に切りかわります(「地図画面からルートブラウザを表示する」79ページ参照)。

アドバイス

- 到着予想時刻は設定した平均車速(「平均車速を設定する」137ページ参照)やVICS旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ルートから外れると、全画面では到着情報が消えます。
- 到着予想時刻を音声で案内することができます(「到着予想時刻を音声案内する」137ページ参照)。
- 目的地までの到着情報を表示するか、経由地までの到着情報を表示するか設定することができます(「ルート行程情報表示の設定」136ページ参照)。

料金案内

目的地案内中は、有料道路や高速道路の料金所の手前で、地図右上に料金が表示され、音声で案内されます。



料金案内

アドバイス

- 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります(「車両情報を設定する」137ページ参照)。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは料金案内は行いません。
- 地図データに情報のない料金所では、料金案内は表示されません。
- 料金が前納の出口料金所またはETC車載器(別売)を装着している場合、料金案内は表示されません。
- ETC車載器を接続している場合の料金案内表示については、「ETCの料金表示について」(176ページ)を参照してください。

音声案内

目的地案内中は、交差点、分岐点、通過点、インターチェンジ(IC)の入口/出口、ジャンクション、到着案内などが自動的に音声案内されます。音声案内はPCM音声(肉声)で案内します。

アドバイス

- 「音声案内例」は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が行われることがあります。音声案内はあくまでも参考としてください。
- 案内音声の音量を調整することができます(「案内音量を調整する」55ページ参照)。
- 自車位置と案内地点までの距離が近いときは、音声案内が行われなかったり、遅れたり、誤った音声案内が行われることがあります。

音声案内の確認

音声案内を聞きのがしてしまったときなどに、任意のタイミングで直近の情報を音声で確認することができます。

1 にタッチします。



アドバイス

- 案内音量をOFFにしているときは、 はトーンダウンされ操作することができません。
- たとえば「およそ700m先左方向です。」の音声案内のあと、しばらく走行してから  にタッチすると、「およそ600m先左方向です。」というように案内内容が状況に合わせて変化します。

目的地案内中の音声案内の例

■ 一般道音声機能

交差点などで交差点名や残りの距離、方向を案内します。また、登録地点が近づいたことも音声案内します。

[音声案内例]

- およそ500m先、〇〇を右折です。
- まもなく、〇〇です。
- まもなく、右折です。

アドバイス

- 登録地点に接近音を設定する方法については、「接近音を変更する」(98ページ)を参照してください。

■ 踏み切り、合流の音声案内

ルート案内中、踏み切り地点を事前に音声とアイコンで案内します。

また、高速道路をルート走行中に合流点がある場合、音声とアイコンにて合流を知らせます。

[音声案内例]

- この先、踏み切りです。
- この先、右からの合流があります。

[アイコン例]

形状	警告マーク
踏切	
合流道路	

アドバイス

- それぞれの地点で案内するかどうかを設定できます（「踏み切り案内を設定する」136ページ、「合流案内を設定する」136ページ参照）。
- 細街路走行中は、踏み切り案内は行われません。

■ 事故多発地点音声案内

一般道または高速道路をルート走行中、事故多発地点を事前に音声とアイコンで案内します。

[音声案内例]

- この先、事故多発地点です。ご注意ください。
- この先、事故多発区間です。ご注意ください。

[アイコン例]

	警告マーク
事故多発地点	

アドバイス

- 事故多発地点案内をするかどうかを設定できます（「交通事故多発区間警告」137ページ参照）。
- 「事故多発地点」と「踏み切り、合流地点」が同じ場合は、踏み切り、合流地点音声案内が優先されます。

■ 高速分岐音声案内

高速道路をルート走行中は、分岐点で拡大表示を行い、音声で進行方向を案内します。

[音声案内例]

- およそ〇〇km先、〇〇方向、〇〇方面です。

■ 高速料金音声案内

ルート走行中に高速道路料金所手前で高速道路の料金を案内します。

[音声案内例]

- この先料金所です。料金は〇〇です。

目的地、経由地、フェリー乗り場に到着したときの音声案内の例

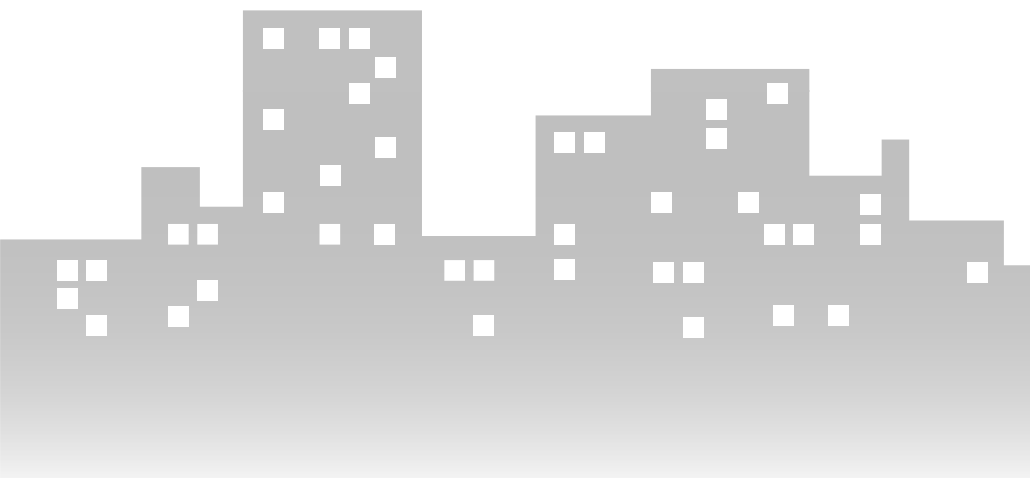
[音声案内例]

- 目的地周辺です。
- 経由地周辺です。
- フェリー乗り場周辺です。

地点の登録

ナビゲーション編

特別地点(自宅/よく行く地点)を登録する	92
地点を登録する	94
特別地点/登録地点情報を確認・変更する	95
特別地点リスト画面を表示する	95
登録地点リスト画面を表示する	95
地点情報を確認する	96
地点情報を変更する	97
特別地点/登録地点の位置を変更する	100
特別地点/登録地点を消去する	100
迂回地点を登録する	101
迂回地点情報を確認・変更する	102
地点リスト画面を表示する	102
地点情報を確認する	102
地点情報を変更する	102
地点の位置を変更する	103
地点を消去する	103



特別地点(自宅/よく行く地点)を登録する

自宅を1カ所、よく行く地点を3カ所まで特別地点に登録することができます。

自宅またはよく行く地点を登録しておくと、目的地設定時に1回の操作でルート探索を開始させることができます(「自宅へ帰る」73ページ、「よく行く地点を設定する」73ページ参照)。

地図画面から自宅/よく行く地点を登録する

1 登録したい地点に十字カーソルを合わせます。

- 地図のスクロールについては、「地図をスクロールする」45ページを参照してください。
- 住所や電話番号などから地図を検索する方法については、「行き先を探す」59ページを参照してください。

2 **登録** にタッチします。



3 **特別地点** にタッチします。



4 **自宅** **地点1** **地点2** **地点3** のいずれかにタッチします。



- 自宅を登録するときは **自宅** にタッチします。
- よく行く地点を登録するときは **地点1** **地点2** **地点3** のいずれかにタッチします。地点情報画面が表示されます。
- 登録した地点の情報が自動的に表示されます。

5 表示された情報を確認し、必要に応じて変更します。



- 地点情報を変更する場合は、「地点情報を変更する」(97ページ)を参照してください。

6 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。

登録したマークが地図に表示されます。

アドバイス

- すでに自宅または地点1～3に登録されている場合、同じタッチスイッチに登録しようとすると、上書きを確認する画面が表示されます。
- 自宅を登録する場合は、車を自宅または自宅周辺の安全な場所に停車させ、現在地画面で自転車位置マーク周辺にタッチすると、簡単に自宅地点に十字カーソルを合わせることができます。
- 自宅または地点1～3に同じ地点を登録すると、それぞれに登録します。

メニューから自宅/よく行く地点を登録する

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押したあと、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **自宅** **地点1** **地点2** **地点3** のいずれかにタッチします。

アドバイス

- すでに地点が登録されている場合は、案内が開始されます。登録されていない場合のみ、手順3に進みます。

- 3 地図画面が表示されたら、登録したい地点に十字カーソルを合わせます。

- 地図のスクロールについては、「地図をスクロールする」(45ページ)を参照してください。

- 4 **登録** にタッチします。



十字カーソルの位置に地点が登録されます。

検索して自宅/よく行く地点を登録する

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押したあと、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **設定を変える** にタッチします。
- 3 **地点編集** にタッチします。
- 4 **特別地点** にタッチします。



- 5 **自宅** **地点1** **地点2** **地点3** のいずれかにタッチして選択し、**探して登録** にタッチします。



- 6 登録する地点を検索します。



- 検索する方法については、「行き先を探す」(59ページ)を参照してください。

- 7 **登録** にタッチします。



選んだ地点が登録されます。

- 続けて地点を追加する場合には、手順5～7を繰り返します。

- 8 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。

登録したマークが地図に表示されます。

アドバイス

- すでに自宅または地点1～3に登録されている場合、同じタッチスイッチに登録しようとすると、上書きを確認する画面が表示されます。

地点を登録する

よく利用する地点などを最大で700カ所登録することができます。

地点を登録しておく、以下の利点があります。

- 地図にマークが表示されます。
- 近づいたときに音声案内を流すことができます。
- 目的地や経由地を設定するときに、登録されている地点のリストから探し出すことができます(「登録地点から探す」(63ページ)参照)。

🔊 アドバイス

- 700カ所を超えて登録するときは、先に不要な地点を消去してください。
- 地点を登録すると、地点の名称のほか、地図にデータが存在する場合は電話番号や住所も自動的に登録されます。
- 「読み」に記号が混在して表示される場合がありますが、これはマーク読み出し時にアクセントをつけるための記号です。
- 同じ地点を登録すると、上書きされずに新しく登録されます。

1 登録したい地点に十字カーソルを合わせます。

- 地図のスクロールについては、「地図をスクロールする」(45ページ)を参照してください。
- 施設や住所などから地図を検索する方法については、「行き先を探す」(59ページ)を参照してください。

2 登録 にタッチします。



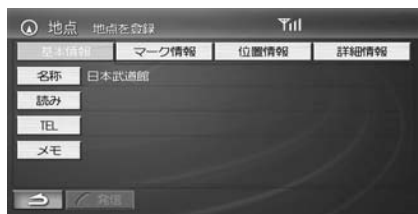
3 地点を登録 にタッチします。



地点情報画面が表示されます。

- 登録した地点の情報が自動的に表示されます。

4 表示された情報を確認し、必要に応じて変更します。



- 地点情報を変更する場合は、「地点情報を変更する」(97ページ)を参照してください。

5 現在地 スイッチを押して現在地画面に戻します。

登録したマークが地図に表示されます。

特別地点/登録地点情報を確認・変更する

特別地点(自宅、よく行く地点)や登録地点の情報を確認したり、変更・消去することができます。

特別地点リスト画面を表示する

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押したあと、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **設定を変える** にタッチします。
- 3 **地点編集** にタッチします。
- 4 **特別地点** にタッチします。



特別地点リスト画面が表示されます。



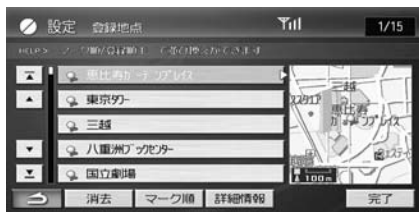
- リスト画面から、特別地点の登録(92ページ)、地点情報の確認(96ページ)、特別地点の消去(100ページ)の操作が行えます。

登録地点リスト画面を表示する

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押したあと、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **設定を変える** にタッチします。
- 3 **地点編集** にタッチします。
- 4 **登録地点** にタッチします。



登録地点リスト画面が表示されます。



- **マーク順** / **登録順** にタッチすると登録地点リストを並べかえられます。現在マーク順を選択していると **登録順** が、登録順を選択していると **マーク順** が表示されます。
登録順 : 新しく登録した順。
マーク順 : マークの種類ごと。
- いずれかの地点にタッチすると画面右側に地図が表示されます。さらに、**完了** にタッチすると、周辺地図画面が表示されます。
- リスト画面から、地点情報の確認(96ページ)、登録地点の消去(100ページ参照)の操作が行えます。

アドバイス

- 登録地点が設定されていない場合は、リストを表示することができません。

地点情報を確認する

名称や電話番号など、地点に関する詳しい情報を表示します。

1 特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で詳細を確認したい地点にタッチし、

詳細情報 にタッチします。

- 「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、
「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。

2 基本情報 マーク情報 位置情報

詳細情報 のいずれかにタッチします。

登録内容が表示されます。

各地点情報画面に登録される内容は以下のとおりです。

■ 基本情報



- **名称**
名称が表示されます。
- **読み**
読み情報がある場合は、名称の読みが表示されます。
- **TEL**
電話番号情報がある場合は、電話番号が表示されます。
- **メモ**
メモが登録されている場合は、コメントなどが表示されます。

■ マーク情報



- **マーク**
地図に表示させるマークが表示されます。

● 接近音

接近したときに鳴らす音が表示されます。

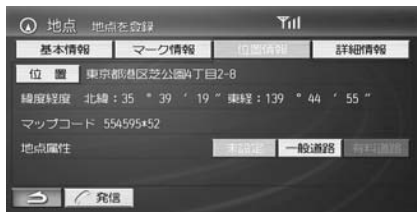
● 接近距離設定

接近音を鳴らすときの接近距離を設定できます。

● 接近方向設定

接近音を鳴らすときの接近する方向を設定できます。

■ 位置情報



● 位置

住所情報がある場合は、地点の住所が表示されます。

● 緯度経度

緯度と経度が表示されます。

● マップコード

マップコードが表示されます。

■ 詳細情報



現在地からの距離や画像、URLなどが登録されている場合は、その情報が表示されます。**画像** にタッチすると画像が表示されます。

📞 アドバイス

- 携帯電話を接続している場合は、**発信** にタッチすると、登録されている電話番号に電話をかけることができます。



地点情報を変更する

登録されている地点情報を変更します。
「詳細情報」を変更することはできません。

地点名称を変更する

画面に表示される地点の名称を変更します。

- 1 特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。
地点情報画面が表示されます。
 - ・「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、
「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。
- 2 **基本情報** タブにタッチし、**名称** にタッチします。
- 3 名称を入力します。



- ・入力できる名称は、最大で全角35文字、半角70文字です。

- 4 **完了** にタッチします。

地点の読みを変更する

名称の読みを変更します。

- 1 特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。
地点情報画面が表示されます。
 - ・「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、
「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。
- 2 **基本情報** タブにタッチし、**読み** にタッチします。

- 3 読みを入力します。



- ・入力できる読みは、最大で半角カタカナ35文字です。

- 4 **完了** にタッチします。

電話番号を変更する

登録地点に電話番号を入力しておくと、「電話番号」から地点を探し出すことができます。

- 1 特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。
地点情報画面が表示されます。
 - ・「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、
「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。
- 2 **基本情報** タブにタッチし、**TEL** にタッチします。
- 3 電話番号を入力します。



- ・市外局番から入力します。
- ・携帯電話番号(11桁)にも対応しています。
- ・個人宅の電話番号にも対応しています。
- ・最大15桁まで入力可能です。

- 4 **完了** にタッチします。

メモを入力する

コメントなどを入力します。

- 1 特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。

地点情報画面が表示されます。

- 「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、
「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。

- 2 **基本情報** タブにタッチし、**メモ** にタッチします。

- 3 メモの内容を入力します。



- 入力できるメモは、最大で全角/半角50文字です。

- 4 **完了** にタッチします。

マークを変更する

地図に表示させるマークの種類を変更します。あらかじめ用意されているマークの中から好きなマークを選択できます。

- 1 特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。

地点情報画面が表示されます。

- 「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、
「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。

- 2 **マーク情報** タブにタッチし、**マーク** にタッチします。

- 3 登録したいマークにタッチします。



マークが変更され、地点情報画面に戻ります。

- 4 **アドバイス**

- 自宅、よく行く地点、登録地点では、表示されるマークは異なります。

接近音を変更する

地点が近づいたときに流す音や音声を変更します。あらかじめ用意されているものの中から選択できます。

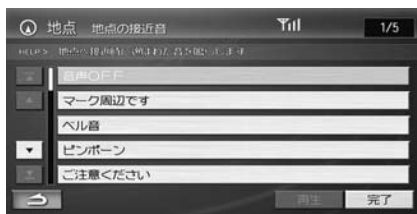
- 1 特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。

地点情報画面が表示されます。

- 「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、
「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。

- 2 **マーク情報** タブにタッチし、**接近音** にタッチします。

- 3 登録したい音や音声にタッチします。



- タッチすると、音や音声は再生されます。
- **再生** にタッチすると選択した音や音声は再生されます。

- 4 **完了** にタッチします。

🔊 アドバイス

- 案内音量が最小(OFF)の場合は、接近音は鳴りません。

接近音を鳴らす範囲を設定する

地点に近づいたときに接近音を鳴らす距離と方向を設定できます(初期設定値は「500m」「全方向ON」)。

1 特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、

詳細情報 にタッチします。

地点情報画面が表示されます。

- 「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。

2 **マーク情報** タブにタッチします。

3 「接近距離設定」の **100m** **300m** **500m** のいずれかにタッチします。

4 「接近方向設定」の **全方向ON** **全方向OFF** **方向設定** のいずれかにタッチします。

- **方向設定** にタッチした場合は、ノースアップの地図画面に方向を示す範囲が表示されます。
- **全方向ON** にタッチするとすべての方向に設定され、**全方向OFF** にタッチするとすべての方向で接近音は鳴りません。
- **全方向ON** または **全方向OFF** にタッチした場合は、以降の操作は必要ありません。

5 方向を指定します。

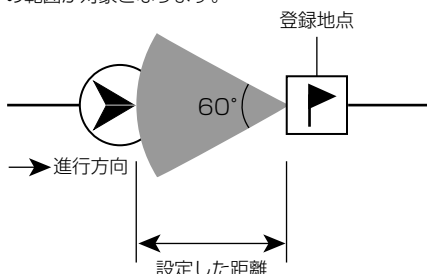


- 🔄 にタッチすると5°左に回転し、🔄 にタッチすると5°右に回転します。

6 **完了** にタッチします。

🔊 アドバイス

- 方向を指定したときは、指定した方向に向かって60°の範囲が対象となります。



例えば、指定した方向に60°の範囲から登録地点に接近したときは接近音が鳴りますが、それ以外の方向から接近したときは接近音が鳴りません。

- 接近音が鳴った登録地点から約1km以上離れないと、再度接近しても接近音は鳴りません。

地点に属性(一般道路/有料道路)を設定する

地点が一般道路(付近)にあるのか、または有料道路上にあるのかを設定することができます。どちらの場合も有り得る場合は「未設定」に設定してください(初期設定値は「未設定」)。

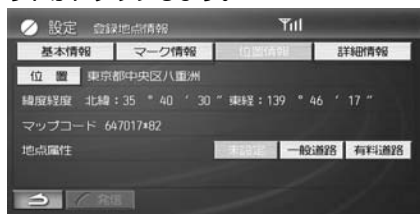
1 特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、

詳細情報 にタッチします。

地点情報画面が表示されます。

- 「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。

- 2 **位置情報** タブにタッチし、「地点属性」の**未設定**、**一般道路**、**有料道路**のいずれかにタッチします。



地点の属性が設定されます。

未設定 : 地点の属性(一般道路/有料道路)を設定しません。

一般道路 : 地点を一般道路(付近)に設定します。

有料道路 : 地点を高速道路・有料道路上に設定します。

🔊 アドバイス

- 地点付近に一般道路/有料道路がない場合は、それぞれのタッチスイッチはトーンダウンして選択することができません。
- 一般道路/有料道路に設定してある場合は、目的地設定の際、近くに有料道路があっても目的地を有料道路上に設定するかどうかの確認メッセージが表示されなくなります(「目的地を設定してルートを探す」72ページ参照)。

特別地点/登録地点の位置を変更する

登録地点の位置を変更することができます。

- 1 **特別地点リスト画面**または**登録地点リスト画面**で情報を変更したい地点にタッチし、**詳細情報**にタッチします。
- 地点情報画面が表示されます。
- 「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。

- 2 **位置情報** タブにタッチし、**位置**にタッチします。
- 登録地点周辺の地図が表示されます。

- 3 変更したい地点に十字カーソルを合わせます。



- 4 **地点を変更** にタッチします。



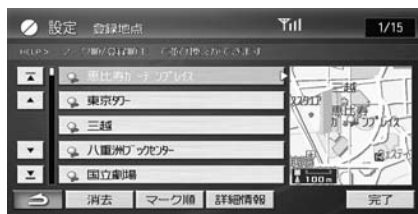
住所などの内容が変更されます。

特別地点/登録地点を消去する

登録地点を1件またはすべて消去します。

- 1 **特別地点リスト画面**または**登録地点リスト画面**で消去したい地点にタッチし、**消去**にタッチします。

- 「特別地点リスト画面を表示する」(95ページ)、「登録地点リスト画面を表示する」(95ページ)参照。



- すべての地点を消去するには、**消去**にタッチし続けます。
- 消去を確認するメッセージが表示されます。

- 2 **はい** にタッチします。
- 地点が消去されます。

迂回地点を登録する

迂回地点は、地図に最大5カ所まで登録することができます。迂回地点を登録しておく、と、ルートを探するとき、登録したエリアを迂回させることができます。工事や事故による通行止め・渋滞地点があらかじめわかっているときなどに便利です。

1 登録したい迂回地点に十字カーソルを合わせます。

- 地図のスクロールについては、「地図をスクロールする」(45ページ)を参照してください。
- 施設や住所などから地図を検索する方法については、「行き先を探す」(59ページ)を参照してください。

2 「登録」にタッチします。



3 「迂回する地点」にタッチします。



迂回地点情報画面が表示されます。

- 登録した迂回地点の情報が自動的に表示されます。

4 表示された情報を確認し、必要に応じて変更します。



- 迂回地点情報を変更する場合は、「地点情報を変更する」(102ページ)を参照してください。

5 「現在地」スイッチを押して現在地画面に戻します。

アドバイス

- 迂回地点を登録すると、迂回地点を中心とした100m～500m四方のエリアが設定されます。このエリアを迂回することができます。



- 5カ所を超えて登録するときは、先に不要な迂回地点を消去してください。
- 登録した迂回地点には、付近の名称や住所などが自動的に登録されます。
- 同じ地点を登録すると、上書きされずに新しく登録されます。
- 目的地などを設定した位置、および現在地の位置などにより迂回しない場合があります。

迂回地点情報を確認・変更する

登録されている迂回地点情報を確認したり、変更・消去することができます。

地点リスト画面を表示する

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押したあと、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **設定を変える** にタッチします。
- 3 **ナビゲーション** タブにタッチした後、**地点編集** にタッチします。
- 4 **迂回地点** にタッチします。



地点リスト画面が表示されます。



- いずれかの地点にタッチすると画面右側に地図が表示されます。
- リスト画面から、地点情報の確認(102ページ参照)、地点の消去(103ページ参照)などの操作が行えます。

🔊 アドバイス

- 地点が登録されていない場合は、リストを表示することができません。

地点情報を確認する

地点の名称や位置情報を表示します。

- 1 地点リスト画面で詳細を確認したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。
地点情報画面が表示されます。
• 「地点リスト画面を表示する」(102ページ)参照。



- **名称**
名称が表示されます。
- **位置**
住所情報がある場合は、地点の住所が表示されます。
- **範囲**
迂回するエリアの範囲を設定できます。

地点情報を変更する

登録されている地点情報を変更します。

地点名称を変更する

画面に表示される地点の名称を変更します。

- 1 地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。
地点情報画面が表示されます。
• 「地点リスト画面を表示する」(102ページ)参照。
- 2 **名称** にタッチします。
- 3 名称を入力します。



- 入力できる名称は、最大で全角35文字、半角70文字です。

4 **完了** にタッチします。

迂回エリアの範囲を設定する

迂回地点を中心として、何m四方のエリアを迂回するのかが設定することができます。(初期設定値は「300m」)

- 1 地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。
地点情報画面が表示されます。
 - 「地点リスト画面を表示する」(102ページ)参照。

- 2 「範囲」の **100m**、**300m**、**500m** のいずれかにタッチします。

地点の位置を変更する

地点の位置を変更することができます。

- 1 地点リスト画面で情報を変更したい地点にタッチし、**詳細情報** にタッチします。
地点情報画面が表示されます。
 - 「地点リスト画面を表示する」(102ページ)参照。

- 2 **位置** にタッチします。
地点周辺の地図が表示されます。

- 3 変更したい地点に十字カーソルを合わせます。



- 4 **地点を変更** にタッチします。



迂回地点情報画面が表示されます。
住所の内容が変更されます。

地点を消去する

地点を1件またはすべて消去します。

- 1 地点リスト画面で消去したい地点にタッチし、**消去** にタッチします。
 - 「地点リスト画面を表示する」(102ページ)参照。



- すべての地点を消去するには、**消去** にタッチし続けます。
消去を確認するメッセージが表示されます。

- 2 **はい** にタッチします。
地点が消去されます。

ドライブインフォメーション

ナビゲーション編

ドライブインフォメーション画面を表示する	106
ドライブインフォメーション画面の見かた	107
VICS情報を見る	107
カメラ映像を見る	107
車速・横加速度を見る	108
ナビ画面を見る	108
エコドライブガイドを見る	108
走行距離を見る	109
GPS表示を見る	109
標高表示を見る	109
ドライブインフォメーション設定	110
設定操作	110
車種設定	110
INFO.表示設定	110



ドライブインフォメーション画面を表示する

ドライブインフォメーションでは、車速やGPS、ジャイロ等の情報を元に、ドライブに役立つ車の様々な情報を表示できます。また、エコガイド機能をご利用頂くことで、より低燃費になる運転の補助も行います。

ドライブインフォメーション画面は、画面全部で表示する全画面表示の他に、マルチゲート画面とマルチインフォメーション画面でも一部の情報が表示されます。マルチゲート画面については「マルチゲート画面」(26ページ)、マルチインフォメーション画面については「マルチインフォメーション画面」(29ページ)を参照してください。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ドライブインフォメーション** にタッチします。

- 2 **DRIVE INFO.表示** にタッチします。
ドライブインフォメーション画面が表示されます。



🔊 アドバイス

エコガイド機能に関して

- 本機能はエコノミー運転を支援する機能です。
- すでにエコノミー運転をされている場合、著しい燃費変化がない場合がございます。
- 本機能による効果は実測による参考値で、車や運転方法などの状況で異なる場合があります、燃費向上を保証するものではありません。
- 運転中、本機能の指示はあくまで参考とし、安全、交通の流れなどを配慮した運転を行ってください。

ドライブインフォメーションに関して

- 本機の数値表示機能はあくまで目安です。実際の速度はお車のスピードメーター等で確認の上、制限速度を守り安全運転に心がけてください。
- 本機の高さ表示機能はGPSデータを元にした目安です。直前に走行した一定区間の平均表示であり、リアルタイムでの表示ではありません。また、GPS信号の受信状態等により、実際と異なる高さを示す場合があります。

ドライブインフォメーション画面の見かた

ドライブインフォメーション画面では、ドライブに役立つ様々な情報を表示します。

この章では主に、ドライブインフォメーション画面の見方について説明します。

＜画面表示例＞



＜マルチインフォメーション画面時表示例＞



ドライブインフォメーション表示

＜マルチゲート画面時表示例＞



ドライブインフォメーション表示

VICS情報を見る



1. VICSレベル1文字情報表示

情報が複数存在する場合は、10秒ごとに切りかわります。ただし走行中の情報切りかえは、新規情報を受信した時のみになります。

情報がない場合は、文字情報を表示しません。

2. 渋滞・規制情報表示

ルート設定時に、約10キロ先までの渋滞・規制情報が表示されます。VICS道路交通情報マーク、渋滞・規制の内容、自車位置からの距離を表示します。

カメラ映像を見る



1. カメラ映像表示

「リアカメラを接続する」(182ページ)または「フロントカメラを接続する」(182ページ)が「あり」に設定されている時は、リア/フロントカメラの映像を表示します。

車速・横加速度を見る



1. 車速バー表示
2. 瞬間車速表示
3. 横加速度表示

横方向の加速度を表示します(0.1G~1.0G)。加速の増減に伴い、矢印の色も変化します。

ナビ画面を見る



1. ナビ画面表示

自車位置が地図上に表示されます。

- ヘディングアップ画面で表示されます。
- 地図縮尺は左画面(1画面)と同じスケールで表示されます。

<交差点案内表示例>



2. 交差点名称
3. 進行方向
4. 交差点までの距離



アドバイス

- 交差点案内、高速分岐案内を「する」に設定している場合は、拡大案内図表示中はドライブインフォメーション画面は解除されます。

エコドライブガイドを見る



1. エコガイド点数表示

走行中の加速度から、走行状態を採点します。横加速度が大きいと高く採点されます。

車速が30km/hを超えると1つの区間として採点し、車速が28km/hを下回ると区間終了になります。

- 停車中: 「SECT.」が表示され、区間毎の採点結果を表示します。
- 走行中: 「AVE.」が表示され、平均採点結果を表示します。

2. エコガイドバー表示

- 停車中: 区間採点結果表示

過去6区間の採点結果履歴を表示します。

最新の結果が1番上に表示されます。また、古い履歴は消去され、常に最新の6つの履歴のみが表示されます。

- 0~20点: 赤色バー
- 21~80点: 黄緑色バー
- 81~100点: 青色バー

- 走行中: ECO走行状態表示

加速時または減速時の加速度/減速度表示が大きいほど、点灯するバーが多くなります。

3. エコガイドインジケーター表示

- 停車中: 区間採点結果表示

エコガイド点数表示と連動して表示されます。

- 0~20点: BAD
- 21~80点: NORMAL
- 81~100点: GOOD

- 走行中: 走行状態表示

走行状態を表示します。急加速・急減速時には、点滅表示を行います。

- 加速中 : ACCELE
- 一定走行中 : NORMAL
- 減速中 : BRAKE

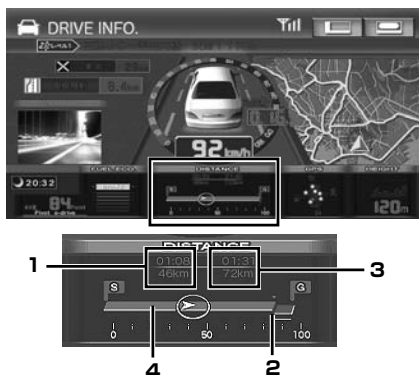
- 急加速時、急減速時には赤色で点滅表示します。

🔊 アドバイス

- 急加速/急減速を行うと、警告音が鳴ります。警告音をOFFにするには「ECOガイドーン出力設定」(110ページ)を「しない」に設定してください。

走行距離を見る

<ルート設定時>



1. 案内開始～現在までの走行時間、走行距離
2. 一般道路と、高速道路/有料道路の乗り降り地点
3. 目的地までの到着所要時間、残距離
4. 走行距離バー表示
青色：一般道
緑色：高速道路、有料道路

<ルートがない場合>



5. 走行中の道路名称または現在地名称

GPS表示を見る



1. GPS/方位表示:

- : GPS受信中
- : GPSサーチ中

方位表示: 方位表示が回転して、現在の方位が表示される。

標高表示を見る



1. 標高履歴バー表示
2. 現在地の標高表示

ドライブインフォメーション設定

設定操作

ドライブインフォメーションに関する設定を行います。

次の手順1～5は、ドライブインフォメーション設定の共通操作になります。各項目の詳しい操作方法については、該当ページを参照してください。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ドライブインフォメーション** にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **車種設定** または **INFO.表示設定** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。

- 5 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。

- **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

車種設定

お車の形状を選択します(初期設定値は「SEDAN」)。

設定項目 : 車種設定

設定値 : SEDAN/COUPE/RV/Station Wagon/
HATCHBACK/CONVERTIBLE/MINIVAN/
KEI-CAR

INFO.表示設定

ECOガイドトーン出力設定

ECOガイドの警告音を出力するかしないかを設定します(初期設定値は「する」)。

設定項目 : ECOガイドトーン

設定値 : する/しない

する : ECOガイドトーンを出力する

しない : ECOガイドトーンを出力しない

ECO情報を初期化する

ECO走行ガイドに表示されるECO情報を初期化します。

設定項目 : ECO情報

設定値 : 初期化

- 1 **初期化** にタッチします。

初期化を確認するメッセージが表示されます。

- 2 **はい** にタッチします。

標高最大値を設定する

「標高表示を見る」(109ページ)で表示される標高の最大値を設定することができます(初期設定値は「300m」)。

設定項目 : 標高最大値

設定値 : 300m/500m/1500m/2500m

VICS情報を見る

ナビゲーション編

VICSってこんなこと	112
提供される情報	113
情報を提供する媒体	113
利用できる情報	114
VICS情報の画面	114
FM多重/ビーコン情報について	114
VICS情報画面の呼び出しかた	118
VICS情報画面の操作	119
FM多重放送を見る	120
自動で選局する	120
マニュアルで選局する	120
VICS情報を見る	121
割込み情報を見る	122
割込み情報を呼び出す	122
駐車場情報を見る	123
駐車場リスト画面の表示	123
駐車場の詳しい情報を見る	123
駐車場の地図を見る	124
SA(サービスエリア)・PA(パーキングエリア) 情報を見る	124
VICS設定	125
VICS設定操作	125
VICS設定	125
VICS地図表示を設定する	126
VICSに関する補足事項	128
VICS道路交通情報マーカー一覧	130

VICSってこんなこと

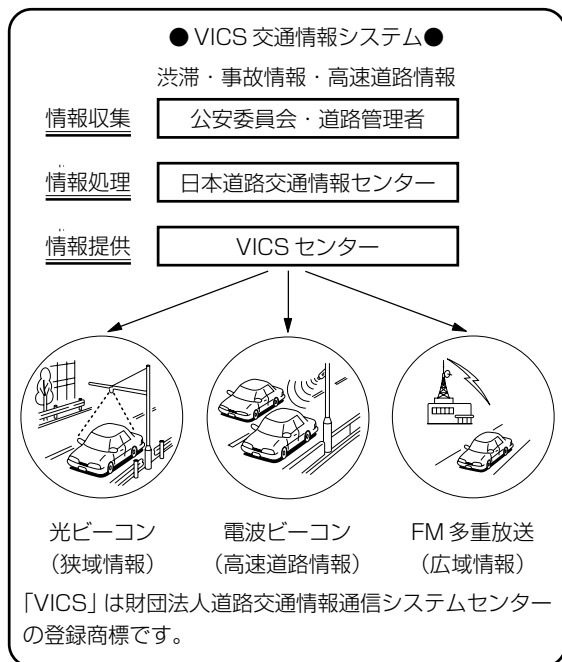
■ 「VICS(ビークル インフォメーション アンド コミュニケーションシステム)」とは

「楽しいドライブなのに突然渋滞。なんでこんなに混んでいるの？ 空から見下ろしてみたい！」

この要求に答えたのが「VICS」です。「VICS」は、渋滞情報や駐車場の空き情報などのさまざまな交通情報をリアルタイムに提供します。

この情報を利用すれば渋滞を減らすことができ、交通の流れが分散されます。

さらにイライラによる精神的なストレス/経済的なロス/排気ガスの削減なども期待できるのです。



- VICSによる渋滞・混雑などの情報を地図上に表示するためあらかじめ「地図」に情報提供用の道路単位(VICSリンク)を設定しています。道路形状や交通情報収集施設の変化にともない、より正確な情報提供表示を行うために毎年情報提供単位が追加・変更されます。

このためにVICSによる地図情報表示は「本製品」発売後概ね3年程度で一部のエリアでVICSの地図情報が表示されなくなる場合があります。より正確な情報を表示するためには最新の「地図」をご使用ください。(本製品の道路単位は2006年11月版です)

- VICSに関する最新情報はインターネット(<http://www.vics.or.jp>)でも確認できます。

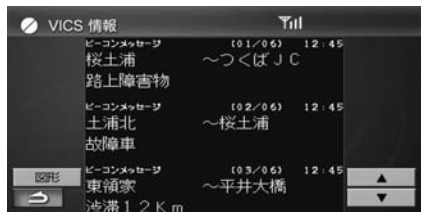


提供される情報

レベル1～レベル3の3段階が用意されています。

■ レベル1(文字表示型)FM文字多重放送

モニターに3ページ分の文字を表示
走行中は1ページ(2行30文字程度)の文字を表示します。



■ レベル2(簡易図形表示型)VICS図形情報

モニターに簡単な道路図形を表示



■ レベル3(地図表示型)

モニター上の地図画面に交通情報を重ね書き表示
レベル3(地図表示型)は、常に最新の情報を地図上に表示します。最新の情報を受信すると、渋滞情報などの表示が更新されます。



情報を提供する媒体

次の3種類があります。

■ FM多重放送(広域ゾーン型)

見えるラジオのようにFM波のすき間にVICS情報を盛り込みます。FM局を受信していれば利用できるので広い範囲の情報をリアルタイムに提供します。

■ ビーコン(間欠極小ゾーン型)

ビーコンには、主に次の2種類があります。ともにビーコンが設置された周辺の情報を提供します。

- ・電波ビーコン
高速道路に設置されています。
- ・光ビーコン
一般道路に設置されています。

● アドバイス

- 本機には、レベル1～レベル3のVICS情報が利用できるプログラムが入っています。
- ビーコン情報を見るには、別売のビーコンユニットが必要です。
- VICSリンクデータの著作権は(財)デジタル道路地図協会、(財)日本交通管理技術協会にあります。

 VICS[®]マークはVICSの登録商標です。

利用できる情報

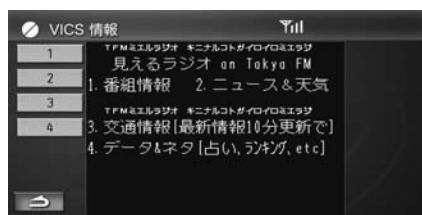
VICS情報の画面

■ 現在地画面表示例

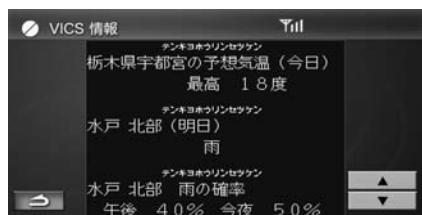


1. VICSタイムスタンプ

■ 目次画面表示例



■ 情報画面表示例



① アドバイス

- タイムスタンプは、VICS情報が提供された時刻であり、現在時刻やVICSが受信された時刻ではありません。
- タイムスタンプの時刻は、VICS情報が継続して受信されないと、約30分または約60分後に自動的に消去されます（「情報保持時間を設定する」125ページ参照）。

FM多重/ビーコン情報について

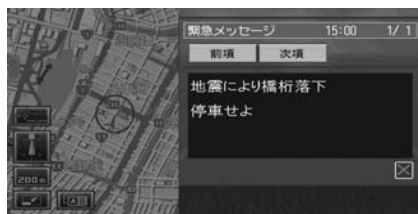
- VICS情報を見るためには、交通情報を放送しているFM多重放送局を受信する必要があります。
- 番組のメニュー数や内容は放送局により異なります。
- データのダウンロード中は、情報を表示することができません。また、正確に情報を表示しない場合があります。

■ 規制情報受信時の案内

推奨ルート上に何らかの規制や渋滞が発生すると、画面上の表示でこれを知らせます。運転に集中しながら、新しい情報をより確実にキャッチできます。

■ 緊急・注意警戒表示

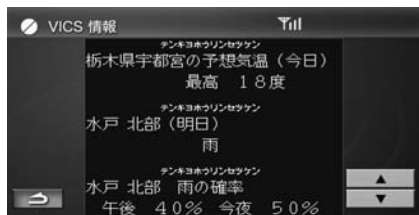
FM多重放送/ビーコンに関わらず地震や災害時の停車、避難の場所など、行動指示の情報を強制的に表示します。
(レベル1)





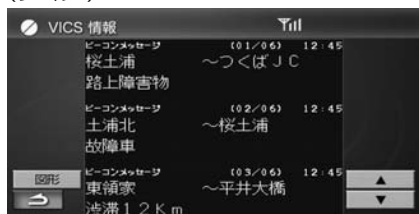
■ FM文字多重放送(120ページ参照)

FM放送局の文字放送(見えるラジオ)の番組を選んで、交通情報や気象情報などを見ることができます。(レベル1)

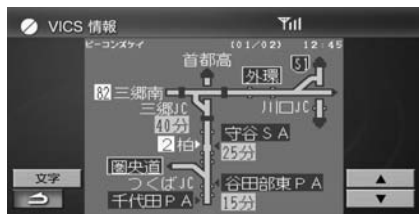


■ VICS情報(121ページ参照)

VICSから受信した交通に関する簡易図形情報などを表示します。(レベル1)



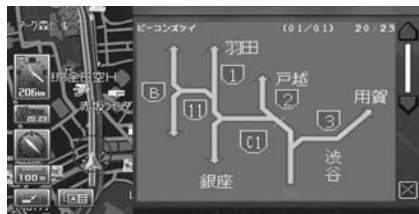
(レベル2)



■ ビーコン図形/文字情報(122ページ参照)

走行予定交差点の混雑状況などを簡易図形として表示します。ビーコン情報は、割込み表示が「する」に設定されている場合は、ビーコン受信時に自動的に表示されます。

(レベル2)



(レベル1)



- ビーコン図形文字情報を割り込み表示するかどうかを設定できます(「割り込み情報表示を設定する」125ページ参照)。

[BEACON]ビーコンユニットが必要です。

■ 渋滞・混雑/空き道表示

渋滞地点や渋滞区間などを地図上に表示します。混雑具合や混雑方向は以下のように表示されます。

渋滞情報渋滞度	表示	内容
渋滞	赤色	交通の流れが非常に悪い状態
混雑	橙色	交通の流れがやや悪い状態
空き道	水色	交通の流れが良い状態

(レベル3)



- 渋滞・混雑/空き道表示は、地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。
- 渋滞・混雑/空き道表示をするかどうかを設定できます(「渋滞・混雑表示を設定する」126ページ、「空き道表示を設定する」126ページ参照)。

■ 駐車場情報の表示

VICSに提供された駐車場等のマークを地図上に表示します。さらにマークにタッチすると詳しい情報が表示されます。また、見たいときに周辺のVICS提携駐車場を探すこともできます(「駐車場リスト画面の表示」123ページ、「駐車場の地図を見る」124ページ参照)。

駐車場情報例

状況	表示(マーク)	内容
空車	(青)P	利用が可能な状態
満車	(赤)P	ほぼ満車の状態
混雑	(橙)P	利用率が高い状態
不明	(黒)P	駐車場情報がない状態

(レベル3)



- 駐車場マークは、地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。
- 駐車場マークを表示するかどうかを設定できます(「駐車場マークを表示する」127ページ参照)。



■ 規制マーク表示

速度、車線、チェーンなど、さまざまな規制情報を規制マークとして進行方向の左側に表示します。対象区間は黒色で地図上(道路上)に表示します。さらにマークにタッチすると詳しい情報が表示されます。

マーク	表示(マーク)
	進入禁止
	入口閉鎖
	事故
	工事

(レベル3)



- 規制マークを表示するかどうかを設定できます(「規制マークを表示する」127ページ参照)。

🔊 アドバイス

- 規制マークにタッチすると、詳しい情報が表示されます。**情報**にタッチすると、規制の詳細情報が表示され、**次へ**にタッチすると、近くの規制マークを選択します。



🔊 注意

- VICS、FM多重放送の受信について
FM多重放送で提供される一般文字情報およびVICS情報の受信はラジオアンテナを利用しております。したがって受信するときは、ポール式のラジオアンテナの場合、必ずアンテナを伸ばした状態にしてください。

🔊 アドバイス

- VICS対象道路は将来の計画も含めた情報提供の可能性のある道路です。したがって、現時点では情報提供されていない道路もあります。
- 行程ガイドを表示しているときは、行程ガイドにもVICS情報が表示されます。行程ガイドについては、「行程ガイド画面について」(49ページ)を参照してください。
- 左記以外のVICS情報マークについては、「VICS道路交通情報マーク一覧」(130ページ)を参照してください。

VICS情報画面の呼び出し方

VICS機能を使用するときは、以下のように操作します。

1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。

2 **情報を見る** にタッチします。



情報メニュー画面が表示されます。



3 見たい項目にタッチします。

以降の操作は、各ページを参照してください。

- **FM多重**
FM多重放送を見る(120ページ参照)
- **VICS情報**
VICS情報を見る(121ページ参照)
- **VICS割込み情報**
割込み情報を見る(122ページ参照)
- **VICS駐車場情報**
駐車場情報を見る(123ページ参照)

④ アドバイス

- データを受信していない、またはビーコンユニット(別売)を接続していない場合、タッチスイッチはグレーになり、タッチすることができません。

VICS情報画面の操作

FM多重放送やVICS情報を受信すると、情報番組の目次が表示され、番組を選ぶと情報画面が表示されます。FM多重放送やVICS情報には、文字情報と図形情報があり、停車中と走行中では表示される情報番組が以下のように異なります。

- 停車中は、文字情報と図形情報のうち先に受信したほうが表示されます。
- 停車中は、目次の1画面に3ページ分表示され、走行中は1ページずつ表示されます。

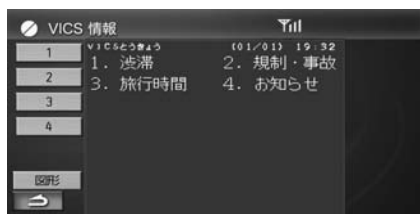
🔊 アドバイス

- 走行中に表示が許可されている番組は以下のとおりです。
総目次/最初の画面、緊急情報、交通情報、番組番号1、気象情報

ここでは、VICS情報を例にして説明します。

1 見たい番組の番号にタッチします。

■ 交通FM文字情報



↓ ① にタッチ



- 複数ページある場合は、▲▼にタッチすると前後のページが表示されます。
- 図形にタッチすると、図形情報に切りかわります。

■ 交通FM図形情報



↓ ③ にタッチ



- 複数ページある場合は、▲▼にタッチすると前後のページが表示されます。
- 文字にタッチすると、文字情報に切りかわります。

2 番組を終了するには、⏮にタッチします。

FM多重放送を見る FM多重

FM放送局の文字放送(見えるラジオなど)を見ることが出来ます。選択できる番組は受信する放送局によって異なります。現在地で受信可能な放送局を自動で検索したり、周波数を指定して選択することができます。また、ラジオのFM放送に周波数を合わせたり、放送局の地域を指定して受信することもできます。

自動で選局する

現在地の都道府県にある放送局が受信されます。

1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。

2 **情報を見る** にタッチします。

3 **FM多重** にタッチします。
受信可能な放送局が表示されます。

アドバイス

- 受信可能な放送局が表示されていない場合は、**再サーチ** にタッチして放送局をサーチします。

4 受信したい放送局にタッチします。



受信が開始され、情報画面が表示されます。

- 情報画面については、「VICS情報画面の操作」(119ページ)を参照してください。

マニュアルで選局する

選んだ周波数の放送局が受信されます。

1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。

2 **情報を見る** にタッチします。

3 **FM多重** にタッチします。
受信可能な放送局が表示されます。

4 **◀▶** または **▶▶** にタッチします。



◀▶ **▶▶** にタッチするたびに、画面左上の周波数が0.1MHzずつ増減します。

5 合わせたい周波数が表示されたら、**受信開始** にタッチします。

受信が開始され、情報画面が表示されます。

- 情報画面については、「VICS情報画面の操作」(119ページ)を参照してください。

アドバイス

- **再サーチ** にタッチすると、放送局をサーチします。

VICS情報を見る

VICS情報は、地域の道路状況などが文字または簡易図形として表示されるので、地域道路の混雑状況を一目で確認できます。

1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。

2 **情報を見る** にタッチします。



3 **VICS情報** にタッチします。



受信が開始され、受信中の情報画面が表示されます。

- VICS情報を受信していないときは、**VICS情報** はトーンダウンされ操作することはできません。
- 情報画面については、「VICS情報画面の操作」（119ページ）を参照してください。

割込み情報を見る ビーコン

割込み情報とは、ビーコンユニット(別売)によって受信した直後に、他の画面に割り込んで提供される情報のことです。

ビーコンから受信できる情報には、以下のような種類があります。

● 緊急情報

地震や災害時の停車、避難の場所など、行動指示の情報を表示します。

● 注意警戒情報

通行止めや規制などの注意情報を表示します。

● ビーコン図形情報

走行予定交差点の道路状況などを簡易図形として表示するので、次の交差点の混雑状況が一目で確認できます。

● ビーコン文字情報

ビーコン通過時に受信したさまざまな文字情報を画面に表示します。

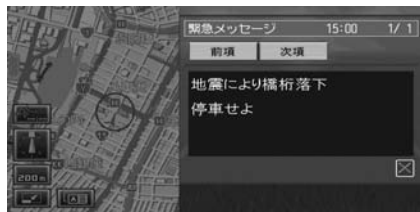
● ことわり情報

VICS情報センターからのメッセージなどを表示します。

アドバイス

- 割込み情報を自動で表示するかどうかを設定できます(「割り込み情報表示を設定する」125ページ参照)。
- 緊急情報および注意警戒情報は、「割り込み情報表示を設定する」(125ページ)の設定に関係なく割り込み表示されます。
- ビーコン図形/文字情報、ことわり情報は、「割り込み情報の表示時間を設定する」(125ページ)で設定した時間を経過するか  にタッチすると表示を終了します。緊急情報、注意警戒情報は  にタッチするまで終了しません。

■ 緊急情報/注意警戒情報表示画面の操作



-  にタッチすると、表示が消えます。
-  前頁  次頁 にタッチすると、前後のページに切りかわります。

割込み情報を呼び出す

「割り込み情報表示を設定する」(125ページ)を「しない」に設定しているときに、受信された割込み情報を表示させることができます。また、一度表示された割込み情報を再度表示させることができます。

メニューから呼び出す

- 1  **メニュー/PWR** スイッチを押した後、 **ナビメニュー** にタッチします。
- 2  **情報を見る** にタッチします。
- 3  **VICS割込み情報** にタッチします。



- 割込み情報を受信していないときは、 **VICS割込み情報** スイッチはトーンダウンされ操作することはできません。ビーコンから受信した図形/文字情報が表示されます。



- 情報画面については、「VICS情報画面の操作」(119ページ)を参照してください。

VICSタイムスタンプから呼び出す

- 1 VICSタイムスタンプにタッチします。



VICSタイムスタンプ
ビーコンから受信した図形・文字情報が表示されます。

駐車場情報を見る

VICSと提携している駐車場をリスト表示し、現在の混み具合のほか、地図や詳細情報を確認することができます。

駐車場リスト画面の表示

駐車場の情報を確認することができます。

1 アドバイス

- 走行中は安全のため、駐車場リスト画面は表示されません。

1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。

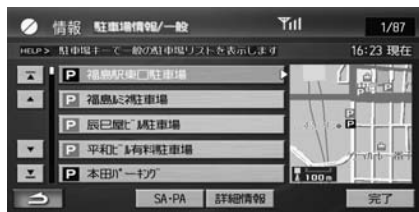
2 **情報を見る** にタッチします。

3 **VICS駐車場情報** にタッチします。

- 駐車場情報を受信していないときは、**VICS駐車場情報** スイッチはトーンダウンされ操作することはできません。

駐車場リスト画面に、付近の駐車場名と混み具合が表示されます。

4 いずれかの駐車場にタッチし、必要に応じて以下の操作を行います。



- **詳細情報**
駐車場の詳しい情報を見る(123ページ参照)
- **完了**
駐車場の地図を見る(124ページ参照)
- **SA・PA**
SA(サービスエリア)・PA(パーキングエリア)情報を見る(124ページ参照)

■ 駐車場アイコン表示

状況	警告マーク	警告マーク
空車	 (青)	利用が可能な状態
満車	 (赤)	ほぼ満車の状態
混雑	 (橙)	利用率が高い状態
不明	 (黒)	駐車場情報がない状態

1 アドバイス

- 走行中は安全のため、リストはトーンダウンして操作できません。

■ 駐車場の詳しい情報を見る

1 アドバイス

- 走行中は安全のため、詳細情報は表示されません。

1 駐車場リスト画面で **詳細情報** にタッチします。

駐車場の詳細情報が表示されます。

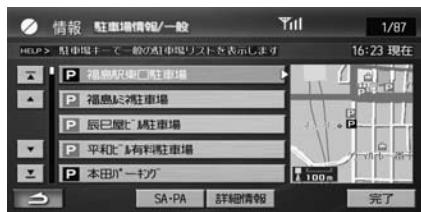
- 「駐車場リスト画面の表示」(123ページ)参照。



- **完了** にタッチすると、駐車場周辺の地図が表示されます。

駐車場の地図を見る

- 1 駐車場リスト画面または詳細情報画面で
完了 にタッチします。



駐車場の地図が表示されます。

- 「駐車場リスト画面の表示」(123ページ)、「駐車場の詳しい情報を見る」(123ページ)参照。
- 地図の操作については、「スクロールや検索して表示させた地図の操作」(53ページ)を参照してください。

アドバイス

- 地図上の駐車場マークにタッチして情報を表示させることもできます。



- **情報** にタッチすると、駐車場の詳細情報が表示されます。
- **次へ** にタッチすると、近くの駐車場を選択します。



SA(サービスエリア)・PA(パーキングエリア)情報を見る

アドバイス

- 走行中は安全のため、リストはトーンダウンして操作できません。

- 1 駐車場リスト画面で **SA・PA** にタッチします。

サービスエリア(SA)とパーキングエリア(PA)のリストが表示されます。

- 「駐車場リスト画面の表示」(123ページ)参照。

- 2 いずれかのSA・PAにタッチし、必要に応じて以下の操作を行います。



- **詳細情報**
SA・PAの詳細情報を見る(「駐車場の詳しい情報を見る」(123ページ)参照)
- **完了**
SA・PAの地図を見る(「駐車場の地図を見る」(124ページ)参照)
- SA・PAリスト画面で **駐車場** にタッチすると、駐車場リスト画面が表示されます。

アドバイス

- SA・PA情報は1kmスケール図よりも詳細な地図で表示させることができます。



VICS設定操作

VICSに関する設定を行います。

次の手順1～5は、VICS設定の共通操作になります。
各項目については、該当ページを参照してください。

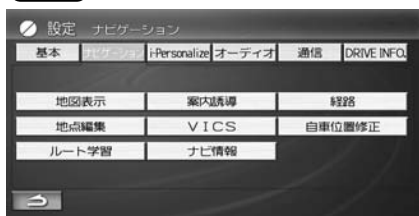
- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **VICS** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。

- 5 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。
• **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

VICS設定

情報保持時間を設定する

受信したVICS情報の保存時間を設定できます(初期設定値は「60分」)。ここで設定した時間が経過すると、情報が自動的に消去されます。

設定項目：情報保持時間

設定値：30分/60分

30分：受信した情報を30分間保存する。

60分：受信した情報を60分間保存する。

割り込み情報表示を設定する

ビーコンによる図形・文字情報を、他の画面に割り込ませて表示するかどうか設定できます(初期設定値は「する」)。

設定項目：情報割り込み

設定値：する/しない

割り込み情報の表示時間を設定する

割り込み画面の表示時間を5秒刻みで設定することができます。(初期設定値は「10秒」)。

- 1 **戻る** または **進む** にタッチして、表示時間を指定します。

設定項目：割り込み時間

設定値：5～20秒



VICS地図表示を設定する

VICSの地図表示に関する設定を行います。1画面/左画面と右画面、それぞれで設定を行うことができます。

設定操作

1画面/左画面、または右画面のVICS地図表示に関する設定を行います。

次の手順1～4は、設定の共通操作になります。各項目については、該当ページを参照してください。

1 現在地画面で にタッチします。



地図切換画面が表示されます。

2 **1/左画面表示設定** または **右画面表示設定** にタッチします。



左画面(1画面)設定画面、または右画面設定画面が表示されます。

3 各項目にタッチし、設定を行います。

4 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。

-  にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

渋滞・混雑表示を設定する

渋滞している箇所がわかるように、渋滞線を表示することができます(渋滞:赤実線矢印、混雑:橙実線矢印)(初期設定値は「する」)。

設定項目: 渋滞・混雑表示

設定値: する/しない

する: 地図上に渋滞線を表示します。

しない: 渋滞線表示を行いません。



空き道表示を設定する

「する」に設定すると、渋滞が発生していない道路に青実線矢印を表示します(初期設定値は「する」)。

設定項目: 空き道表示

設定値: する/しない

する: 地図上に空き道の表示を行います。

しない: 空き道表示を行いません。



渋滞予測表示(渋滞・混雑)

渋滞が予想される箇所を、地図に破線で表示することができます(渋滞:赤破線矢印、混雑:橙破線矢印)(初期設定値は「する」)。

設定項目: 渋滞予測表示(渋滞・混雑)

設定値: する/しない

する: 地図上に破線(渋滞・混雑)を表示します。

しない: 渋滞予測表示を行いません。



🔊 アドバイス

- 実線矢印で表示されるVICS情報と破線表示の渋滞予測が両方ある場合は、VICS情報が優先して表示されます。

渋滞予測機能について

- 本機能はJARTIC/VICSセンターから提供された、現状情報を元に、NTTデータが独自に作成した渋滞予測データを利用しています。
- 渋滞予測は現況の渋滞情報を考慮したものではありません。

渋滞予測表示(空き道)

渋滞が発生しないと予想される箇所を、青破線矢印で表示することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：渋滞予測表示(空き道)

設定値：する/しない

する：地図上に破線(空き道)を表示します。

しない：渋滞予測表示を行いません。



🔊 アドバイス

- 実線矢印で表示されるVICS情報と破線表示の渋滞予測が両方ある場合は、VICS情報が優先して表示されます。

駐車場マークを表示する

VICS提携駐車場のマークを案内画面に表示することができます(初期設定値は「しない」)。

設定項目：VICS駐車場マーク表示

設定値：する/しない

する：地図上にVICS提携駐車場マークを表示します。

しない：駐車場マークの表示を行いません。



駐車場マーク

🔊 アドバイス

- 駐車場マークは1kmスケール図よりも詳細な地図で表示させることができます。

規制マークを表示する

規制区間のマーク(130ページ参照)を案内画面に表示することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：規制マーク表示

設定値：する/しない

する：地図上にVICS規制マークを表示します。

しない：規制マークの表示を行いません。



規制マーク

🔊 アドバイス

- 規制マークは1kmスケール図よりも詳細な地図で表示させることができます。

VICS情報提供道路の設定

VICS情報を提供する道路を全道路、高速道、一般道から選択することができます(初期設定値は「全道路」)。

設定項目：VICS提供道路

設定値：全道路/高速/一般

全道路：高速・有料道路、一般道路どちらにもVICS道路交通情報マークや渋滞線などを表示します。

高速：高速・有料道路のみVICS情報が表示されます。

一般：一般道路のみ、VICS情報が表示されます。

路上駐車場マークを表示する

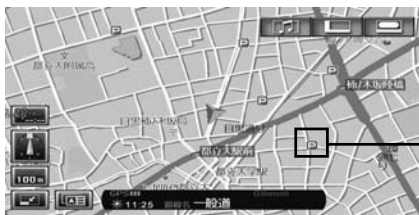
路上駐車場のマーク(角丸の四角形)を案内画面に表示することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：路上駐車場マーク表示

設定値：する/しない

する：地図上に路上駐車場マークを表示します。

しない：路上駐車場マークの表示を行いません。



路上駐車場マーク

🔊 アドバイス

- 駐車場マークは1kmスケール図よりも詳細な地図で表示させることができます。
- VICS提携駐車場同様、混雑の程度を色別表示します。色の意味については「駐車場情報の表示」(116ページ)を参照してください。

VICSに関する補足事項

■ VICS情報が受信できる代表的な周波数

VICS代表局一覧		
サービスエリア	局名	周波数
北海道(旭川地区)	VICS旭川	85.8MHz
北海道(札幌地区)	VICS札幌	85.2MHz
北海道(函館地区)	VICS函館	87.0MHz
北海道(釧路地区)	VICS釧路	88.5MHz
北海道(北見地区)	VICS北見	86.0MHz
青森県	VICS青森	86.0MHz
宮城県	VICS宮城	82.5MHz
岩手県	VICS岩手	83.1MHz
秋田県	VICS秋田	86.7MHz
山形県	VICS山形	82.1MHz
福島県	VICS福島	85.3MHz
茨城県	VICS茨城	83.2MHz
栃木県	VICS栃木	80.3MHz
群馬県	VICS群馬	81.6MHz
埼玉県	VICS埼玉	85.1MHz
千葉県	VICS千葉	80.7MHz
東京都	VICS東京	82.5MHz
神奈川県	VICS神奈川	81.9MHz
新潟県	VICS新潟	82.3MHz
富山県	VICS富山	81.5MHz
石川県	VICS石川	82.2MHz
福井県	VICS福井	83.4MHz
山梨県	VICS山梨	85.6MHz
長野県	VICS長野	84.0MHz
岐阜県	VICS岐阜	83.6MHz
静岡県	VICS静岡	88.8MHz
愛知県	VICS愛知	82.5MHz
三重県	VICS三重	81.8MHz
滋賀県	VICS滋賀	84.0MHz
京都府	VICS京都	82.8MHz
大阪府	VICS大阪	88.1MHz
兵庫県	VICS兵庫	86.5MHz
奈良県	VICS奈良	87.4MHz
和歌山県	VICS和歌山	84.7MHz
鳥取県	VICS鳥取	85.8MHz
島根県	VICS島根	84.5MHz
岡山県	VICS岡山	88.7MHz
広島県	VICS広島	88.3MHz
山口県	VICS山口	85.3MHz
徳島県	VICS徳島	83.4MHz
香川県	VICS香川	86.0MHz
愛媛県	VICS愛媛	87.7MHz
高知県	VICS高知	87.5MHz
福岡県	VICS福岡	84.8MHz
佐賀県	VICS佐賀	81.6MHz
長崎県	VICS長崎	84.5MHz
熊本県	VICS熊本	85.4MHz
大分県	VICS大分	88.9MHz
宮崎県	VICS宮崎	86.2MHz
鹿児島県	VICS鹿児島	85.6MHz
沖縄県	VICS沖縄	88.1MHz

■ ビーコン送受信機をご利用のお客様へ

ビーコンからの情報はFM多重情報と違い、ビーコン近傍の限られた場所でしか受信できません。そのため次のような動作をする場合がありますので、ご注意ください。

1) 他のVICS情報を受信してしまう

- 近くにビーコンのある道路を走行していませんか。
- 対向車線にビーコンはありませんか。

2) 受信しないときがある

- ビーコンが大型車両の陰になっていませんか。
- VICS運用が休止していませんか。
- 道幅の広い道路ではありませんか。
- ビーコンアンテナの前に電波や光をさえぎるものはありませんか。
- トンネルの中ではありますか。
- (ビーコンが設置されていても受信できない場合があります)
- ビーコンアンテナの前面が汚れていませんか。
(前面のフィルタを傷つけないよう、柔らかい布で拭き取ってください)
- フロントガラスがひどく汚れていませんか。

■ VICSの運用時間

- FM多重
24時間(第1、第3月曜AM1:00～AM5:00は
休止する場合があります)
- ビーコン
24時間

■ VICSに関するお問い合わせ

● VICSの概念・計画、表示された情報内容

表示内容(レベル1) 表示内容(レベル2)

(財) VICSセンター(東京センター)

TEL (0570) 00-8831

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になります。

※ PHSからはご利用できません。

PHS専用(03)3592-2033(東京)

PHS専用(06)6209-2033(大阪)

電話受付時間 9:30～17:45

(土日、祝祭日は除く)

FAX (03)3592-5494(24時間受付)

- 情報提供地域の違いによって情報内容が異なります。
VICSのホームページをご覧ください。



● 地図表示型(レベル3)

サービスエリア 受信可否 車載機の調子、機能、
使い方

アルパイン インフォメーションセンター

<一般回線ご利用のお客様用>

TEL: 0570-006636

※ 全国どこからでも市内通話
料金でご利用頂けます。



<携帯電話、IP電話、光電話等をご利用のお客様用>

TEL: 048-662-6636

電話受付時間 9:30~12:00 13:00~17:30

(土日、祝日、弊社休業日を除く)

FAX: 048-662-6676 (24時間受付)

FAXは24時間受け付けています。

● アルパイン ホームページ

<http://www.alpine.co.jp>

VICS道路交通情報マーク一覧

- 地図画面に表示されるVICS交通情報マークの意味を以下に示します。
- 実際の交通規制表示とは異なります。
- 複数の情報を代表して1つのマークのみ表示することがあります。

表示	内容	表示	内容	表示	内容
	事故		入り口閉鎖		駐車場 不明(黒)
	故障車		大型通行止め		駐車場 閉
	路上障害		入口制限		速度規制 10km/h
	工事		オフランプ 規制		速度規制 20km/h
	凍結		片側交互通行		速度規制 30km/h
	作業		チェーン規制		速度規制 40km/h
	通行止め 閉鎖		進入禁止		速度規制 50km/h
	対面通行		駐車場 空(青)		速度規制 60km/h
	車線規制		駐車場 満(赤)		速度規制 70km/h
	徐行		駐車場 混雑(橙)		速度規制 80km/h

設定

ナビゲーション編

地図表示設定	132
地図表示設定操作	132
地図表示設定	132
自車位置を修正する	135
案内誘導設定	136
案内誘導設定操作	136
案内誘導設定	136
経路設定	139
経路設定操作	139
経路設定	139
ルート学習設定	141
ルート学習設定操作	141
ルート学習設定	141
ナビ情報設定	143
ナビ情報設定操作	143
ナビ情報	143
情報消去	146
情報を消去する	146

地図表示設定

地図表示設定操作

地図表示に関する設定を行います。

次の手順1～5は、地図表示設定の共通操作になります。
各項目については、該当ページを参照してください。

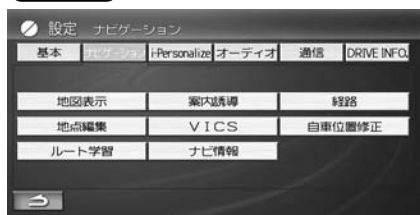
- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **地図表示** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。



- 5 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。

• **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

地図表示設定

地図色を切りかえる

本機は画面を見やすくするため、昼画面と夜画面を切りかえることができます。昼、夜それぞれの地図表示色を4種類から選択することができます(初期設定値は、昼「モダン」、夜「クルーズ」)。

設定項目：地図色切換

設定値：昼/夜→シック/モダン/ファイン/クルーズ

- 1 「地図色切換」の **昼** または **夜** にタッチします。

昼 にタッチすると昼色設定画面が表示され、

夜 にタッチすると夜色設定画面が表示されます。

- 2 **シック**、**モダン**、**ファイン**、**クルーズ** いずれかの色にタッチします。



昼画面/夜画面の設定

本機は、昼画面/夜画面の切りかえを何に連動させるのかを選ぶことができます(初期設定値は「イルミ運動」)。

設定項目：地図色昼/夜切換

設定値：イルミ運動/ディマー運動/しない

イルミ運動：スモールランプの点灯・消灯により昼画面と夜画面が切りかわります。

ディマー運動：車内の明るさに連動して、昼画面と夜画面が切りかわります。

しない：昼画面のまま固定され、夜画面に切りかわりません。

行政界色分け表示の設定

市街地図で行政界(大字)の色を分けて表示するかどうかが設定することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：行政界色分け

設定値：する/しない

する：市街地図で行政界で色分け表示をします。

しない：行政界での色分け表示を行いません。

現在地情報表示の設定

インジケータバーに表示される現在地の表示を、地名で表示するか路線名で表示するか選ぶことができます(初期設定値は「路線名」)。

設定項目 : 現在地情報表示

設定値 : 地名/路線名

地名 : 現在地の地名を表示します。

路線名 : 走行中の路線名を表示します。



現在地表示

誘導方向を表示する

ルート案内中、目的地の方向を直線の誘導線を表示するかどうかを設定することができます(初期設定値は「しない」)。

設定項目 : 誘導方向表示

設定値 : する/しない

する : 目的地方向への誘導線を表示します。

しない : 誘導線の表示を行いません。



誘導線

方面看板を表示する

交差点の手前で方面看板を表示するかどうかを設定することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 方面看板表示

設定値 : する/しない

する : 方面看板表示を行います。

しない : 方面看板表示を行いません。



方面看板

ビルを立体的に表示する

3Dマップで、ビルを立体的に表示するかどうかを設定することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目 : ビル立体表示

設定値 : する/しない

する : ビルを立体的に表示します。

しない : ビルの立体表示を行いません。



アドバイス

- ビルの立体表示は1km以下のスケールの地図で表示されます。

3Dランドマークを表示する

主要施設のリアルな立体的アイコンを地図上に表示させることができます(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 3Dランドマーク表示

設定値 : する/しない

する : 施設の立体的なアイコンを表示します。

しない : 施設アイコンの立体表示を行いません。



アドバイス

- 3Dランドマーク表示は200m以下のスケールの地図で表示されます。

登録地点アイコンを表示する

「地点の登録」(91ページ)で登録した地点にアイコンを表示するかどうか設定します(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 登録地点アイコン表示

設定値 : する/しない

する : 登録地点にアイコンを表示します。

しない : 登録地点にアイコンを表示しません。

冬期規制アイコンを表示する

冬に通行止めとなる箇所アイコン表示をするかどうか設定します(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 冬期規制アイコン表示

設定値 : する/しない

する : 地図上に冬期規制箇所をアイコン表示します。

しない : 冬期規制箇所のアイコン表示を行いません。



アドバイス

- 冬期規制アイコンは1kmスケール以下の地図で表示されます。
- 「する」に設定すると、冬期(11月～3月)の間、冬期規制アイコンが表示されます。道路によっては、4月～10月の期間内でも冬期閉鎖になっている場合があります。

高速ガイド表示の設定

ルート案内中、高速道路を走行し行程ガイド表示を行うと、右画面に高速ガイドを表示します(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 高速ガイド表示

設定値 : する/しない

する : 高速ガイドを表示します。

しない : IN/OUT/JCT/料金所の表示は行いますが、IC/PA/SAの表示は行われなくなります。



細街路オートスケールの設定

細街路を走行すると、自動的に2画面表示に切りかわります。右画面には25mスケール市街地図が表示され、細街路の案内を行います(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 細街路オートスケール

設定値 : する/しない

する : 細街路走行時、自動的に2画面に切りかわって右画面で25m市街地図を表示します。

しない : 細街路オートスケールを行いません。

アドバイス

- 市街地図が収録されていない地域では、50mスケール地図が表示されます。
- 音声案内は行われません。

走行中の地図表示を切りかえる

走行中、市街地図表示を簡略化し、見やすくすることができます(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 走行連動地図切替

設定値 : する/しない

する : 走行中の地図表示を簡略化します。

しない : 走行連動地図切替を行いません。

一般道路モード地図設定

一般道路を走行中は、一般道路を見やすく強調した地図表示を行います(初期設定値は「する」)。

設定項目：一般道路モード地図

設定値：する/しない

する：一般道路を見やすく表示します。

しない：通常地図を表示します。

高速/有料道路モード地図設定

高速/有料道路走行中は、高速/有料道路を見やすく強調した地図表示を行います(初期設定値は「する」)。

設定項目：高速・有料モード地図

設定値：する/しない

する：高速/有料道路を見やすく表示します。

しない：通常地図を表示します。

地図表示言語を英語にする

地図上の表示言語を英語に設定することができます(初期設定値は「日本語」)。

設定項目：地図表示言語設定

設定値：日本語/英語

日本語：地図上の表示言語を日本語に設定します。

英語：地図上の表示言語を英語に設定します。

＜英語設定時＞



地図の文字サイズを設定する

地図上に表示される文字サイズを、お好みに合わせて設定することができます(初期設定値は「標準」)。

設定項目：施設文字

設定値：標準/拡大

拡大：地図上の文字サイズが大きくなります。

標準：標準の文字サイズで表示します。

自車マーク表示を設定する

自車マークの表示をお好みに合わせて変更することができます。

設定項目：自車マーク

設定値：設定する→マーク1/マーク2/マーク3

自車位置を修正する

GPS受信状況の変化により実際の車の向きと画面上の自車マークの位置・方位が異なったときに修正することができます。ただし、修正しなくても走行を続ければ、情報が補正され正しい位置・方位になります。

1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。

2 **設定を変える** にタッチします。

3 **自車位置修正** にタッチします。
地図に現在の自車位置が表示されます。

4 地図をスクロールして自車位置を修正します。

- スクロールの方法については、「地図をスクロールする」(45ページ)を参照してください。

5 **左回り** **右回り** にタッチして自車マークの向きを修正します。



- 左回り** にタッチすると左回りに、**右回り** にタッチすると右回りに自車マークが回転します。

アドバイス

- 自車位置修正画面では、自動的にノースアップ/100mスケール表示に切りかえられます。

6 **登録** にタッチします。
自車位置がセットされます。

案内誘導設定

案内誘導設定操作

案内誘導に関する設定を行います。

次の手順1～5は、案内誘導設定の共通操作になります。
各項目については、該当ページを参照してください。

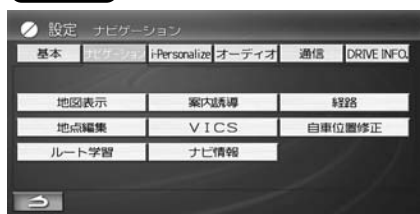
- 1 **メニュー/PWR** スwitchを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **案内誘導** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。



- 5 **現在地** スwitchを押して現在地画面に戻します。

• **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

案内誘導設定

ルート行程情報表示の設定

経由地が設定してある場合、到着情報表示を経由地まで表示するか、目的地まで表示するかを設定することができます(初期設定値は「目的地まで」)。

設定項目 : ルート行程情報表示

設定値 : 目的地まで/経由地まで

目的地まで : 目的地までの到着情報を表示します。

経由地まで : 次の経由地までの到着情報を表示します。



到着情報表示

県境案内を設定する

都道府県境を越えたとき、音声とメッセージで案内します(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 県境案内

設定値 : する/しない

する : 県境案内を音声とメッセージで行います。

しない : 県境案内を行いません。

合流案内を設定する

一般道路、高速道路のインターチェンジ(IC)・ジャンクション(JCT)・SA/PA出口など、合流が近づいた時に警告するかどうかを設定することができます(初期設定値は全て「する」)。

設定項目 : 一般道合流案内/SA・PA合流案内/IC合流案内/JCT合流案内

設定値 : する/しない

する : 合流案内を音声とアイコン表示で行います。

しない : 合流案内を行いません。

踏み切り案内を設定する

踏み切りが近づいたときに警告するかどうかを設定することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 踏み切り案内

設定値 : する/しない

する : 踏み切り案内を音声とアイコン表示で行います。

しない : 踏み切り案内を行いません。

交通事故多発区間警告

交通事故が多発している区間に近づいたときに、警告するかどうかを設定することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：事故多発警告

設定値：する/しない

する：事故多発区間警告を音声とアイコン表示で行います。

しない：事故多発区間警告を行いません。

サウンド・映像画面に割り込み表示する

サウンド・映像モードにナビの音声案内と案内映像を割り込み表示させるかどうか、設定することができます。(初期設定値は「する」)。

設定項目：ナビ案内画面割り込み

設定値：する/しない

する：サウンド・映像画面にナビ案内が割り込み表示します。

しない：サウンド・映像画面にナビ案内は割り込みません。

車両情報を設定する

車両情報を設定し、検索および料金を計算する基準とすることができます。車両種別(初期設定値は「普通」)と、車両寸法(初期設定値は「長さ・450cm」「幅・160cm」「高さ・150cm」)を設定します。

設定項目：車両種別

設定値：軽/普通/中型/大型/特大

設定項目：長さ/幅/高さ

設定値：(数字)cm

1 「車両情報」の **設定する** にタッチします。

2 「車両種別」の **軽** **普通** **中型** **大型** **特大** のいずれかにタッチします。

3 「駐車場条件」の「長さ」「幅」「高さ」の **戻る** または **進む** にタッチして車両寸法を設定します。



アドバイス

- 車両寸法については、車検証を参照してください。
- 提携駐車場は車両種別、車両寸法から検索しています。
- 料金案内・表示は車両種別から計算しています。

平均車速を設定する

目的地到着時間予想のための条件(速度)を設定します(初期設定値は「一般道・30km」「有料道路・60km」「高速道・80km」)。

設定項目：一般道車速設定/有料道車速設定/高速道車速設定

設定値：(数字)km/h

1 「一般道車速設定」「有料道車速設定」「高速道車速設定」の **戻る** または **進む** にタッチして平均車速を設定します。



到着予想時刻を音声案内する

到着予想時刻を音声案内するかどうか、設定することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：到着予想時刻音声案内

設定値：する/しない

する：到着予想時刻を音声案内します。

しない：到着予想時刻の音声案内は行いません。

ETC案内を設定する

入口や出口のインターチェンジにて、ETCの情報を表示や音声で知ることができます(初期設定値は「しない」)。

設定項目：ETC案内

設定値：する/しない

する：ETC情報や料金を案内します。

しない：ETCの案内を行いません。

リアルジャンクションガイドを設定する

動画データのある交差点の拡大表示(87ページ参照)を設定します(初期設定値は「する」)。

設定項目：リアルジャンクションガイド

設定値：する/しない

する：動画データのある交差点を拡大表示して案内します。

しない：リアルジャンクションガイドを行いません。

詳細案内図表示を設定する

詳細案内図表示を設定します(初期設定値は「する」)。

設定項目 : 詳細案内図表示

設定値 : する/しない

する : 詳細図を表示して案内します。

しない : 詳細案内図表示を行いません。



アドバイス

- 詳細案内図の種類については、「交差点・高速分岐案内」(86ページ)を参照してください。

レーンガイドを表示する

ルート走行中、右左折専用などのレーン情報を表示することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目 : レーンガイド表示

設定値 : する/しない

する : 交差点手前でレーン情報を表示します。

しない : レーンガイドの表示を行いません。

経路設定

経路設定操作

経路に関する設定を行います。

次の手順1～5は、経路設定の共通操作になります。各項目については、該当ページを参照してください。

- 1 **メニュー/PWR** スwitchを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **経路** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。



- 5 **現在地** スwitchを押して現在地画面に戻します。

• **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

経路設定

アクティブルートサーチを設定する

ルートを走行中に、距離や時間、VICS電波・光ビーコンの渋滞情報などあらゆる道路情報を常時演算し最短時間でけるルートを発見した場合、リアルタイムに表示します。

ここではアクティブルートサーチ機能を利用するかどうか設定できます(初期設定値は「する」)。また、到着予想時刻が何分以上短縮された場合に変更するのかを5分刻みで設定できます(初期設定値は「5分以上」)。

設定項目：アクティブルートサーチ

設定値：する/しない

する：アクティブルートサーチを利用します。

しない：アクティブルートサーチ機能を利用しません。

設定項目：短縮時間

設定値：5分以上～30分以上

- 1 「アクティブルートサーチ」の **する** または **しない** にタッチします。

- 2 **する** にタッチした場合は、「短縮時間」の **戻る** または **進む** にタッチして時間を設定します。

設定した時間よりも到着予想時刻が短縮できる場合のみ、アクティブルートサーチ案内が行われます。



アドバイス

- 「する」に設定していても最適なルートが見つからない場合は、アクティブルートサーチ機能が働かません。

抜け道を探る

本機は、抜け道道路データを使用することにより、渋滞地点を回避するルートを探ることができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：抜け道探索

設定値：する/しない

する：抜け道探索機能を使用します。

しない：抜け道探索機能を使用しません。

設定

フェリー航路を含むルートを探索する

フェリー航路を利用したルートを探索するかどうかを設定することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：フェリー使用

設定値：する/しない

する：フェリー航路を利用したルートを探索します。

しない：出来るだけフェリーを使用しないルートを探索します。

時間曜日規制を考慮する

時間や曜日によって規制される区間を避けて、ルートを探索することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：時間曜日規制考慮

設定値：する/しない

する：時間曜日規制を考慮してルートを探索します。

しない：ルート探索時に時間曜日規制を考慮しません。

迂回地点を回避する

ルート探索時に、登録した迂回地点を回避することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：回避エリア考慮

設定値：する/しない

する：迂回地点を考慮してルートを探索します。

しない：ルート探索時に迂回地点を考慮しません。

冬期閉鎖区間を考慮する

冬に通行止めとなる区間を避けてルートを探索することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：冬期閉鎖区間考慮

設定値：する/しない

する：冬期(11月～3月)は閉鎖区間を考慮したルート探索を行います。

しない：ルート探索時に冬期閉鎖区間を考慮しません。

🔊 アドバイス

- 「する」にした場合は、冬期(11月～3月)の期間に考慮されます。4月～10月は通常ルートとなります。道路によっては4月～10月の期間内でも冬期閉鎖になっている場合があります。
- 「しない」に設定すると、冬期閉鎖区間が発見された時点でメッセージが表示され、避けるかどうかを選択できます(「冬期閉鎖区間を回避する」75ページ参照)。

迂回距離の設定

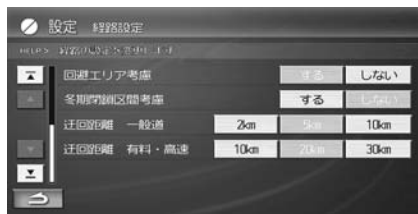
迂回する場合、自転車位置から何km先まで迂回するかを選択します。一般道路と、有料/高速道路とそれぞれで設定することができます(初期設定値は一般道「5km」、有料/高速道路「20km」)。

設定項目：迂回距離 一般道

設定値：2km/5km/10km

設定項目：迂回距離 有料・高速

設定値：10km/20km/30km



ルート学習設定



ルート学習設定操作

ルート学習に関する設定を行います。

次の手順1～5は、ルート学習設定の共通操作になります。各項目については、該当ページを参照してください。

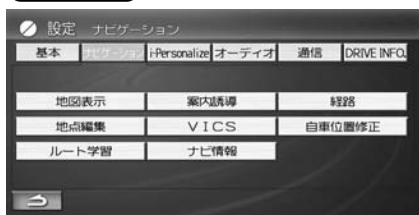
- 1 **メニュー/PWR** スwitchを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **ルート学習** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。



- 5 **現在地** スwitchを押して現在地画面に戻します。

- **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

ルート学習設定

ルート学習の設定

「ルート学習」を「する」に設定すると、お好みのルートをナビが記憶し、探索結果に反映させることができます。ルート走行中、ルートから外れた(離脱)地点と、ルートに復帰した地点、その間の走行ルートをナビが記憶します。ナビの初期ルート(推奨ルート)から3回以上同じ地点で離脱・復帰を行い、またその間は同じルートを走行すると、次のルート探索で、そのルートが推奨ルートとして探索されます(初期設定は「する」)。

設定項目：ルート学習

設定値：する/しない

する：ルートをナビが記憶し、探索結果に反映します。

しない：ルートを記憶しません。

アドバイス

- 案内対象外道路は、ルート学習に反映されません。離脱・復帰地点が同じでも、途中のルートが案内対象外道路になると、学習結果は無効になります。
- ルート学習中に目的地や経由地を変更したり、別のルートの選択や周辺迂回を行った場合は、ルート学習は中止されます。
- 最大100ルートまで学習することができます。

ルート学習結果を消去する

ナビに記憶した走行ルートを全て消去します。

設定項目：ルート学習結果を消去

設定値：する

- 1 設定画面で「ルート学習結果を消去」の

する にタッチします。

- 2 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。

渋滞学習の設定

ルート探索対象道路を季節別・曜日別・時間帯別にナビが走行速度を記憶します。渋滞・混雑に関しては、同じ箇所を同じ時間帯に3回以上走行することで学習し、学習後はルート探索に反映するようになります(初期設定値は「する」)。

設定項目：渋滞学習

設定値：する/しない

する：走行速度をナビが記憶し、探索結果に反映します。

しない：走行速度を記憶しません。

渋滞学習結果を消去する

ナビに記憶した走行速度を全て消去します。

設定項目 : 渋滞学習結果を消去

設定値 : する

- 1 設定画面で「渋滞学習結果を消去」の
する にタッチします。
- 2 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。

ナビ情報設定



ナビ情報設定操作

ナビ情報に関する設定を行います。

次の手順1～5は、ディスプレイ設定の共通操作になります。各項目について詳しくは、該当ページを参照してください。

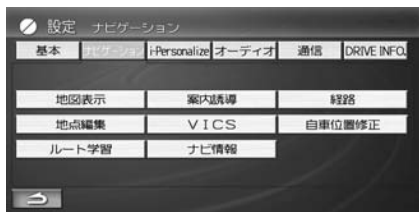
- 1 **メニュー/PWR** スwitchを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **ナビ情報** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。



- 5 **現在地** スwitchを押して現在地画面に戻します。
 - **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

ナビ情報

距離を補正する

通常はそのままご使用いただけますが、自車位置が大きすぎる場合には、「距離補正值初期化」を行ってください。その後見通しの良い道路を数十km程度走行すると、自動補正が完了します。

それでも地図の自車位置マークの進み方が実際の車の進み方と合わない時は、手動補正を行ってください。

● 距離を手動で補正する

お客様のお車の条件によって、またタイヤ・ホイールの交換をされた場合に、地図上の自車位置の進み方と実際の車の進み方がずれる場合があります。本機能によって、自車位置の進み方を微調整することができます（初期設定値は「-1.2%」）。

設定項目 : 距離補正值

設定値 : -100.0%～+600.0%

- 1 **距離補正** にタッチします。



- 2 「自動距離補正值」の **OFF** にタッチします。



自動距離補正值で表示されていた値が、距離補正值にコピーされます。

- 3 「距離補正值」の **+** または **-** にタッチして調整を行います。

地図上の自車位置の進み方が実際よりも遅れる場合には **+**、進む場合には **-** にタッチして調整を行ってください。

最初に0.5～1.0%程度の調整で様子を見ることをお勧めします。

設定

●距離を自動で補正する

通常(初期設定)は自動補正されていますので、「自動距離補正值」を設定する必要はありません。手動補正を行って自動補正に戻したい時に設定してください。

設定項目 : 自動距離補正值

設定値 : ON/OFF

1 **距離補正** にタッチします。

2 「自動距離補正值」の **ON** にタッチします。
走行すると自動的に距離補正を行います。

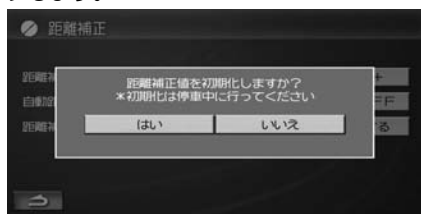
●距離補正值を初期化する

タイヤを交換した時は、距離補正值を初期化してください。

1 **距離補正** にタッチします。

2 「距離補正值初期化」の **する** にタッチします。

3 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。



① アドバイス

- 極端な補正は誤動作の原因になる場合がありますので、ご注意ください。
- 自動補正
GPS信号や車速パルス信号のデータを使い、自車位置を自動的に補正し続けます。
- お車の条件などにより、手動補正後に再びずれが生じる場合があります。その場合は自動補正に戻してください。
- バッテリーを外すと距離補正值がクリアされるため、次にバッテリーをつないで使用し始めると一時的に自車位置がずれる場合があります。

GPS情報を見る

GPS情報画面が表示されます。

設定項目: GPS情報



接続情報を知る

GPSアンテナ、車速、パーキングブレーキや周辺機器の接続状況などの情報を表示することができます。

設定項目: 接続情報



🔊 アドバイス

- 接続については、取付説明書も参照してください。
 - ・ PARKING : パーキングブレーキコード
 - ・ ILL : イルミネーションコード
 - ・ VSP : スピードセンサーコード
 - ・ REVERS : リバースコード

地図データを更新する

本機の地図データなどを、DVDディスクを使用してバージョンアップすることができます。操作方法については、ディスク側の取扱説明書を参照してください。

設定項目: 地図差分更新

🔊 アドバイス

- DVDディスク発売時に、アルパインのホームページにて詳しい案内を致します。詳しくはアルパインホームページ<http://www.alpine.co.jp>をご覧ください。

デモンストレーション機能

本機には、本機機能を紹介するデモンストレーション機能が用意されています。手動で開始させる方法と、一定時間後に自動で開始させる方法の、2つの方法があります。

設定項目: 店頭デモ

● デモ自動起動を設定する

「する」に設定した場合、自転車位置画面で停車したまま何も操作しない状態が5分間続くと、自動でデモンストレーション機能が開始されます。通常は「しない」に設定してください。

1 **店頭デモ** にタッチします。

2 「店頭デモ自動起動」の **する** にタッチします。

● デモンストレーションを開始する

1 **店頭デモ** にタッチします。

2 「店頭デモ」の **実行する** にタッチします。
デモメニュー画面が表示されます。

3 メニューから見たい項目を選択し、**実行** にタッチします。



- 全てのデモをご覧になるには、「店頭デモ 全実行」を選択してください。

4 デモンストレーションを終了させるには、画面にタッチするか、本体またはリモコンのスイッチのいずれかを押してください。

🔊 アドバイス

- デモンストレーション機能実行中は、現在のサウンド・映像モードの音声出力されます。

バージョン情報を見る

使用中のプログラムのバージョンやデータベースの情報を見ることができます。

設定項目: バージョン情報



情報消去

情報を消去する

システムの情報を初期化することができます。DVD/CD ディスクやSDメモリーカードを取り出してから操作を行ってください。

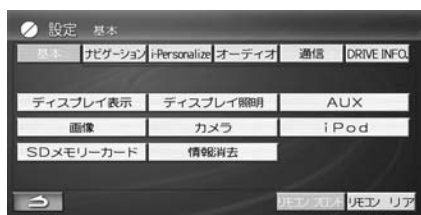
- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **基本** タブにタッチし、**情報消去** にタッチします。



- 4 「全設定項目初期化」または「全情報初期化」の**する** にタッチします。

消去を確認するメッセージが表示されます。



- 「全設定項目初期化」を行うと、全ての設定項目の設定値が初期化されます。
- 「全情報初期化」を行うと、登録地点、HDDに記憶した音楽・画像データ、設定項目の設定値など全ての情報を初期化し、工場出荷時の状態になります。

- 5 **はい** にタッチします。

情報消去後、本機が再起動します。

アドバイス

- 一度消去したものは復活できませんので、ご注意ください。

ハンズフリー電話を使う

ナビゲーション編

ハンズフリー電話について	148
携帯電話を接続する	149
接続ケーブルで接続する	149
Bluetooth接続を設定する	149
電話を受ける	151
通話中の表示	152
電話を切る	156
電話をかける	157
番号を入力して電話をかける	157
直前にかけた電話番号に電話をかける	157
電話帳から電話をかける	158
短縮ダイヤルから電話をかける	159
発信履歴/着信履歴から電話をかける	159
他モード画面から電話をかける	160
電話帳を編集する	161
電話帳を消去する	161
短縮ダイヤルへ登録する	162
画像を登録する	162
発信履歴機能を利用する	164
発信履歴の表示	164
発信履歴を消去する	165
着信履歴機能を利用する	166
着信履歴の表示	166
着信履歴を消去する	167
通話音量を調整する	168
電話・通信設定	169
電話・通信設定操作	169
接続電話設定	169
データ通信設定	170
Bluetooth設定	173
通話画面設定	174
通話音量設定	174

ハンズフリー電話について

本機に携帯電話を別売の専用ケーブルで接続すると、ハンズフリー電話として利用することができ、本機の画面から操作することができます。

また、本機は、世界標準規格のワイヤレス通信テクノロジーである「Bluetooth®」に対応しています。Bluetooth対応の携帯電話でハンズフリー通話ができます。

- ハンズフリー電話を使用するには、別売マイクKAE-500MCが必要です。

注意

- 交通量の多い市街地や狭い道でのご利用は避けてください。
- 携帯電話を直接操作しないでください。事故の原因となります。

アドバイス

- 本機は下記の方式の携帯電話に対応しています。
 - PDC(NTTドコモ)
 - PDC(ソフトバンク)
 - PDC(Tu-Ka)
 - cdmaOne(au)
 - IMT-2000(NTTドコモ:FOMA)
 - CDMA 1x
 - CDMA 1x WIN
- Bluetooth対応以外の携帯電話と接続するには、別売の専用ケーブルが必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 通話中は、大きめの声ではっきりとお話ください。
- 通話中は、窓を閉めてお話ください。
- 話し方によっては相手に声が伝わりにくい場合や、相手の声が聞こえにくい場合があります。
- ハンズフリー電話同士の通話、騒音の大きい場所での通話など、使用状況によっては話しにくい場合があります。
- 相手の電話の種類や電話回線の組み合わせにより、不自然な音声になる場合があります。
- 携帯電話の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。また、サービス契約が必要な場合もあります。
- 携帯電話をUSBモードに設定している場合は、使用できない場合があります。設定を通信モードに変更してください。

携帯電話を接続する

本機をハンズフリー電話として利用するには、まず携帯電話を接続する必要があります。
専用の別売ケーブルで接続するか、Bluetooth接続設定を行ってください。

接続ケーブルで接続する

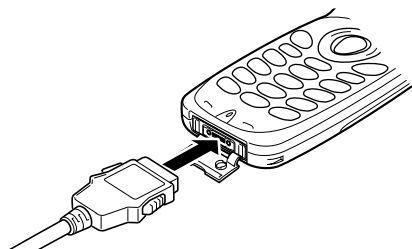
注意

- 携帯電話の接続ケーブルを頻繁に抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 電話を使用しているときは、接続ケーブルを抜き差ししないでください。
- イグニッションキーがACCまたはONのとき、接続ケーブルの抜き差しはしないでください。

アドバイス

- 携帯電話の種類によって、外部端子の向きや端子キャップの形状などが異なります。
- 接続ケーブルから携帯電話に電源を供給することはできません。

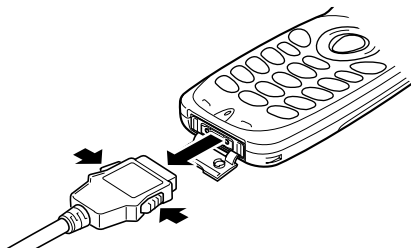
- 1 携帯電話の外部接続端子の端子キャップを開けて、接続ケーブルを差し込みます。



- “カチッ”と音がするまで差し込んでください。

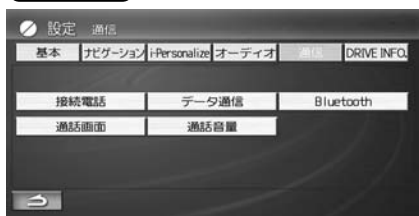
携帯電話を外す

- 1 接続ケーブルの左右のロックボタンを押しながら、接続ケーブルを携帯電話から外します。



Bluetooth接続を設定する

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。
- 2 **設定を変える** にタッチします。
- 3 **Bluetooth** にタッチします。



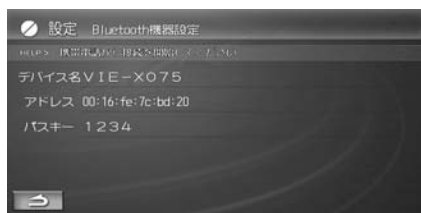
- 4 「Bluetooth機器設定」の**設定する**にタッチします。



5 未登録の「B.T1」～「B.T2」のいずれかにタッチして選択し、「登録」にタッチします。



6 Bluetooth機器設定画面が表示され(デバイス名、アドレス、パスキー表示)、携帯電話からの接続待機状態になります。



- 以降は携帯電話からの操作になります。携帯電話の機器登録の操作方法については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

7 携帯電話で本機のデバイス名を検索して認証します。

- 本機のデバイス名は、初期設定は「VIE-X075」になります。デバイス名を変更することもできます(「本機のデバイス名を変更する」173ページ参照)。

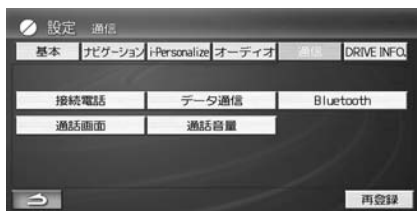
8 携帯電話にパスキーを入力して、本機を登録します。

本機画面に「登録が完了しました」とメッセージが表示され、Bluetooth接続設定が終了します。

- パスキーは初期設定は「1234」です。パスキーを変更することもできます(「本機のパスキーを変更する」174ページ参照)。

🔊 アドバイス

- 携帯電話を置く場所によっては、障害物や電波の状態により音声にノイズがのったり、通信が中断される場合があります。このような場合は、携帯電話を本機の近くや障害物のない場所に置くようにしてください。
- 本機は携帯電話を4台まで登録しておくことができます。実際に接続できるのはその中の1台になります。
- Bluetooth接続時、本機と携帯電話の接続が切れてから30分経過したり、エンジン始動後30分間設定してある携帯電話と接続できなかった場合には、設定画面に「再登録」が表示されます。タッチして再接続を行ってください。



- 携帯から設定する際、本機は「ハンズフリー機器」として設定してください。

電話を受ける

本機をハンズフリー電話として利用することができます。

1 アドバイス

- 本機をハンズフリー電話として利用する場合は、必ず携帯電話を接続してください。
- 携帯電話によっては、条件や設定により電話を受けられない場合があります。携帯電話に付属の説明書も必ずご覧ください。

1 電話がかかってくると着信音が鳴り、着信メッセージが表示されます。



- 相手の電話番号が通知されてきたときに、相手の名前と電話番号が電話帳に登録されている場合は、相手の名前と電話番号が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、相手の電話番号が表示されます。

2 開始 にタッチします。

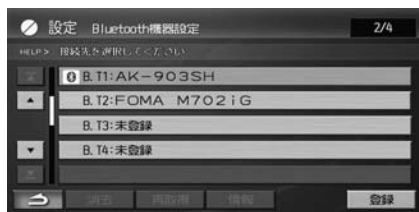


通話が始まります。

- 「自動着信」設定を「する」に設定していると、**開始** にタッチしなくても着信してから5秒後に通話状態になります（「自動着信を設定する」174ページ参照）。

アドバイス

- 通話中は、オーディオ・テレビの音が一時的に消えます。
- 通話音量の調整については、「通話音量を設定する」（174ページ）を参照してください。
- 自動着信するかどうかを設定できます。（「自動着信を設定する」174ページ参照）。
- 携帯電話の応答時間を設定している場合は、「自動着信を設定する」（174ページ）を「する」に設定していても、5秒経過前に通話状態になる場合があります。
- リアカメラ接続時、シフトレバーをバックギア(R)に入れてリアカメラ映像を出力している間は、着信画面は表示されません。
- 自動着信設定時、Bluetooth接続で複数の携帯電話が登録されている場合、**Ⓜ**マークが表示されている携帯電話に接続されます。



通話中の表示

■ 全画面表示



1 状況表示

相手の名前や電話番号、通話時間が表示されます。

2 送話音量/受話音量

送話音量や受話音量を調整するときに使用します(「通話音量を調整する」168ページ参照)。

3

元の画面に戻ります。

4

通話を終了するときに使用します。

5 電波レベル

電波の受信レベルの目安を表示します。携帯電話の電波レベルと異なる場合があります。

- Bluetoothから電界強度情報が得られない場合は「圏内」と表示されます。

6 イメージ表示

着信時や通話中に電話モード画像が表示されます。電話帳に画像を登録すれば、お好みの画像を表示することができます(「画像を登録する」162ページ参照)。

7

トーン発信を行うことができます(「トーン発信機能」154ページ参照)。

■他モード画面表示



8

通話中表示されます。タッチすると通話画面に切りかわります。

映像モード全画面表示時には、画面にタッチすると  が表示されます。

- タッチスイッチは通話中のみ表示されます。
非通話中は、電波レベルの表示になります。

すぐに電話に出られないとき

かかってきた電話にすぐに出られないときは、一時的に保留することができます。

1 電話の着信中に「応答保留」にタッチします。



かかってきた電話を保留にします。

2 電話に出られる状態になったら「開始」にタッチします。



保留が解除され、通話が開始されます。

アドバイス

- 応答保留中に「終了」にタッチすると、電話が切れます。
- 応答保留中に相手が電話を切ると、電話が切れます。
- 応答保留中でも、電話をかけてきた相手には通話料金が掛かります。

割り込み通話機能

通話中、別の電話の着信を画面に表示して通知します。本機から通話を切りかえることはできません。本機能は、接続する携帯電話が割り込み通話機能サービスに加入している場合のみ、使用することができます。

1 通話中、別の電話がかかってくると着信が表示されます。



アドバイス

- 通話中にかかってくる電話も、着信履歴に記録されます。

トーン発信機能

通話中に、トーン発信を行うことができます。

1 通話画面で「トーン」にタッチします。



トーン発信画面が表示されます。

2 番号を入力します。



発話用マイクを切りかえる

通常は車内に取り付けたハンズフリー発話用のマイク(別売)がお客様の音声を拾います。携帯電話に向かって話したい時には、音声切換を行ってください。Bluetooth接続時のみ有効です。

1 通話画面で **音声切換** にタッチします。



マイクが携帯電話に切りかわります。携帯電話を使用してお話しください。

2 携帯電話からマイクに切りかえるには、再度 **音声切換** にタッチします。

電話を切る

通話中の電話を終了します。

- 1 通話が終わったら、**終了**にタッチします。



- ナビ画面、オーディオ画面などを表示している場合は、**電話**にタッチして電話画面に切りかえてから**終了**にタッチします。



メッセージが表示され通話が終了します。

🔊 アドバイス

- **電話**スイッチは、ほかの画面に重ねて表示されるため、画面の情報やタッチスイッチを隠してしまう場合があります。

電話をかける

① アドバイス

- 携帯電話によっては、条件や設定により電話がかけられない場合があります。携帯電話に付属の説明書も必ずご覧ください。
- 走行中は安全のため、短縮ダイヤル、リダイヤルからのみ電話をかけることができます。

番号を入力して電話をかける

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。



電話・通信画面が表示されます。

- 2 **番号入力** にタッチします。



- 3 相手の市外局番から入力します。



- **削除** にタッチすると、入力した数字が1文字ずつ削除されます。

- 4 **発信** にタッチします。



② アドバイス

- 本機で入力できる電話番号は15桁までです。

直前にかけた電話番号に電話をかける

直前にかけた電話番号に電話をかけ直します。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。

- 2 **リダイヤル** にタッチします。



電話番号が発信されます。

- 一度も発信していない場合は、**リダイヤル** にタッチすることはできません。

電話帳から電話をかける

携帯電話の電話帳を利用して、電話をかけます。まず、携帯電話の電話帳を本機に読み込む必要があります。

電話帳を読み込む

■ 接続ケーブルで接続している場合

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。

- 2 **電話帳** にタッチします。

- 3 **電話帳読み込み** にタッチします。



携帯電話の暗証番号を入力する画面が表示されます。

- 4 携帯電話の暗証番号を入力します。

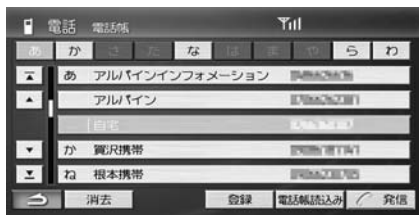
- 携帯電話の暗証番号については、携帯電話に付属の説明書を参照してください。
- 「FOMA」では認証パスワードを入力します。
- 「FOMA」では **説明** にタッチすると、電話帳を読み込み際の説明が表示されます。



- 5 **完了** にタッチします。

- 「FOMA」では携帯電話に暗証番号と認証パスワードを入力するメッセージが表示されます。携帯電話に正しい暗証番号と認証パスワードを入力します。

電話帳の読み込みが開始されます。電話帳の読み込みが終了すると、電話帳の一覧(50音順)が表示されます。



■ Bluetooth接続の場合

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。

- 2 **電話帳** にタッチします。

- 3 **電話帳読み込み** にタッチします。



- 4 本機のデバイス名が表示され、携帯電話からの接続待機状態になります。



- 以降は携帯電話からの操作になります。携帯電話の電話帳送信の操作方法については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

- 5 携帯電話から本機に接続し、電話帳を本機に転送する操作を行います。
転送が完了すると、本機にメッセージが表示されます。

🔊 アドバイス

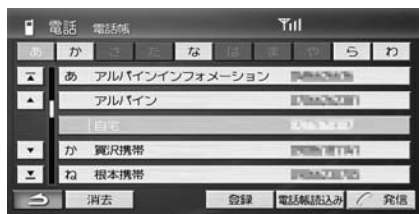
- 電話帳の読み込み中は、携帯電話を外したり、電源をOFFにしないでください。
- 本機の電話帳に登録できる件数は、最大1000件です。



- 電話帳を書きかえるときは、再度読み込み操作を行ってください。古い電話帳(短縮ダイヤル、画像を含む)が消去され新しい電話帳が書き込まれます。
- 電話帳の読み込み中は、電話を受けたり、かけたりすることができません。
- 携帯電話でシークレット登録した電話番号は、リストには表示されません。表示するには、携帯電話のシークレット登録を解除し、再度電話帳を読み込んでください。
- 携帯電話によっては、同じ名称で数人分の登録をする場合があります。また、携帯電話によっては、一人に対して複数の電話番号が電話帳に登録されていても、一番上の電話番号のみ読み込む場合があります。
- 携帯電話が待ち受け画面以外の場合は、電話帳の読み込みが開始されない場合があります。
- 本機はハイフンは認識しません。その為、携帯電話の電話帳にハイフンを付けて番号を登録してある場合は、ハイフンの前の数字までしか認識することができません。
- 本機が読み込むことができる電話番号は15桁までです。
- Bluetooth接続の場合4台まで本機に登録できますが、電話帳を読み込むことができるのはその中の1台になります。

電話帳から電話をかける

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。
- 2 **電話帳** にタッチします。
電話帳に登録されている電話番号が一覧で表示されます。
- 3 電話をかけたい相手にタッチします。



- 4 **発信** にタッチします。

短縮ダイヤルから電話をかける

短縮ダイヤルに登録されている電話番号に、スイッチ1つで早く電話をかけることができます。短縮ダイヤルに登録する方法については、「短縮ダイヤルへ登録する」(162ページ)を参照してください。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。

- 2 **短縮1** **短縮2** **短縮3** のいずれかにタッチします。



登録してある電話番号が発信されます。

発信履歴/着信履歴から電話をかける

以前かけた電話やかかってきた電話は、発信履歴/着信履歴として記憶されます。これらの履歴の一覧から相手を選択して電話をかけます。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。
- 2 **発信履歴** または **着信履歴** にタッチします。
履歴に記憶されている電話番号が、新しいものから順に一覧で表示されます。
 - かけた電話やかかってきた電話が1件もない場合は、**発信履歴** または **着信履歴** にタッチすることはできません。
- 3 電話をかけたい相手にタッチします。



- 4 **発信** にタッチします。

アドバイス

- リストには、最大30件の履歴が表示されます。30件を超えた場合は、古いものから順に削除されます。
- リストを編集するには、「発信履歴機能を利用する」(164ページ)、「着信履歴機能を利用する」(166ページ)を参照してください。

他モード画面から電話をかける

施設情報画面から電話をかける

施設情報に電話番号の情報があある場合は、ナビ画面からその施設に電話をかけることができます。

1 施設情報画面を表示させます。

- 画面の表示方法については、「施設を探す」(61ページ)を参照してください。

2 発信 にタッチします。



④ アドバイス

- 施設情報画面以外に現在地周辺施設情報画面やルート周辺施設情報画面などで電話番号の情報があある場合は、それぞれの画面からも電話をかけることができます。

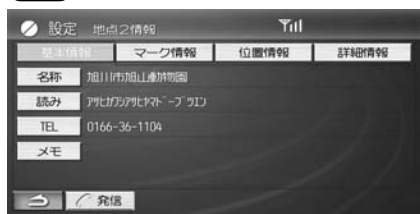
特別地点/登録地点情報画面から電話をかける

登録地点に電話番号を登録してある場合は、ナビ画面からその施設に電話をかけることができます。

1 登録地点情報画面を表示させます。

- 画面の表示方法については、「登録地点から探す」(63ページ)、「地点情報を確認する」(96ページ)を参照してください。

2 発信 にタッチします。



COMMUNICATION画面から電話をかける

マルチゲート画面からCOMMUNICATION画面を表示し、電話をかけることができます。

1 マルチゲート画面の通信状態表示にタッチします。



通信状態表示

COMMUNICATION画面が表示されます。

2 発信履歴、着信履歴、短縮番号を利用して電話をかけます。



1 着信履歴

最新の着信履歴を1件表示します。**着信履歴**にタッチすると、着信履歴画面を表示します(「発信履歴/着信履歴から電話をかける」159ページ参照)。

2 発信履歴

最新の発信履歴を1件表示します。**発信履歴**にタッチすると、発信履歴画面を表示します(「発信履歴/着信履歴から電話をかける」159ページ参照)。

3 短縮ダイヤル

短縮1、**短縮2**、**短縮3**のいずれかにタッチすると、登録した番号に発信されます(「短縮ダイヤルから電話をかける」159ページ参照)。

電話帳を編集する

携帯電話の電話帳を本機に読み込み、利用・編集することができます。電話帳を本機に読み込む方法については、「電話帳を読み込む」(158ページ)を参照してください。

① アドバイス

- 読み込んだ電話帳の内容変更を行うことはできません。

電話帳を消去する

本機の電話帳を1件、または全件消去します。

電話帳を1件消去する

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。

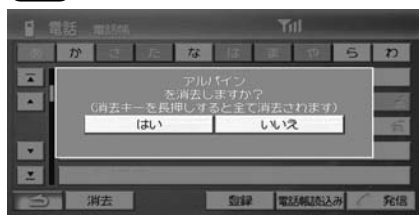
- 2 **電話帳** にタッチします。

- 3 消去したい電話番号にタッチします。



- 4 **消去** にタッチします。
消去を確認するメッセージが表示されます。

- 5 **はい** にタッチします。



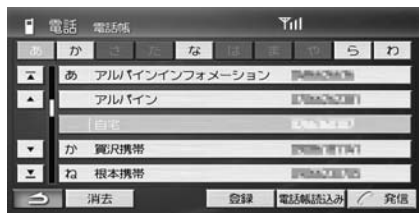
選択した電話番号が消去されます。

すべての電話帳を消去する

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。

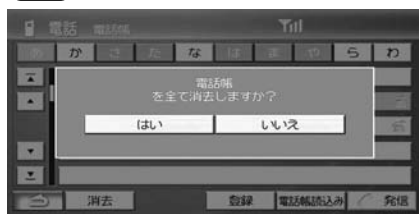
- 2 **電話帳** にタッチします。

- 3 **消去** にタッチし続けます。



消去を確認するメッセージが表示されます。

- 4 **はい** にタッチします。



すべての電話帳が消去されます。

短縮ダイヤルへ登録する

よくかける電話番号を短縮ダイヤルに登録することができます。短縮ダイヤルに登録すると、スイッチ1つで電話をかけることができます。



アドバイス

- 短縮ダイヤルを使って電話をかける方法については、「短縮ダイヤルから電話をかける」(159ページ)を参照してください。
- 短縮ダイヤルに登録した電話番号は、電話帳に / と表示されます。

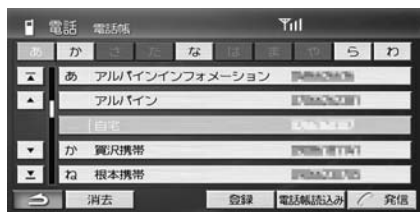
1 [メニュー/PWR] スイッチを押した後、

電話・通信 にタッチします。

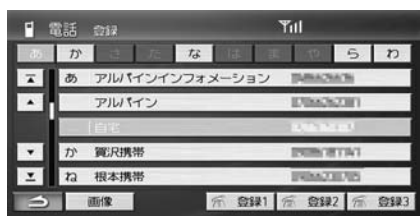
電話・通信画面が表示されます。

2 電話帳 にタッチします。

3 登録 にタッチします。



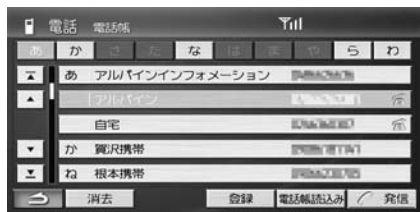
4 短縮ダイヤルに登録したい電話番号にタッチします。



- すでに短縮ダイヤルに登録されている電話番号には、 ~ のアイコンが表示されます。

5 登録1 ~ 登録3 のいずれかにタッチします。

選択した電話番号が、指定した短縮ダイヤルに登録されます。



6 にタッチして電話帳画面に戻します。



アドバイス

- 登録済みの短縮ダイヤルに別の番号を登録すると、元の電話番号は登録が解除されます。例えば、「短縮3」に登録されている電話番号を「短縮1」に変更した場合、「短縮3」は登録が解除され、未登録状態になります。

画像を登録する

着信や通話中などに表示する画像を電話帳に登録します。画像を登録した相手との通話中画面などに画像が表示されます。



アドバイス

- あらかじめ画像データが本機にコピーされていることが必要です。画像をコピーする方法については、「SDメモリーカードの画像をHDDに追加する」(266ページ)を参照してください。
- 電話帳に登録されている相手から電話がかかってきた場合は、相手の電話番号が通知されているときにのみ登録した画像を表示することができます。
- 携帯電話に登録されている画像は、電話帳に登録できないため表示できません。

1 [メニュー/PWR] スイッチを押した後、

電話・通信 にタッチします。

電話・通信画面が表示されます。

2 電話帳 にタッチします。

3 登録 にタッチします。



登録画面が表示されます。

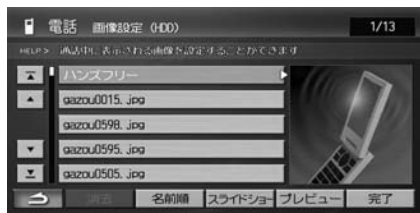
4 画像を登録したい電話番号にタッチします。

5 画像 にタッチします。



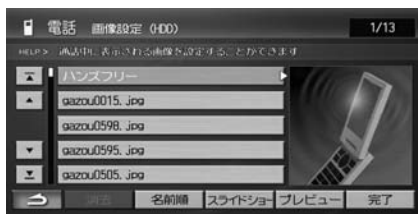
画像のリストが表示されます。

6 登録したい画像にタッチします。



- **プレビュー** にタッチすると、選択している画像を拡大表示できます。
- **スライドショー** にタッチすると、全ての画面を次々と表示します。スライドショーをやめるには **完了** にタッチしてください。

7 完了 にタッチします。

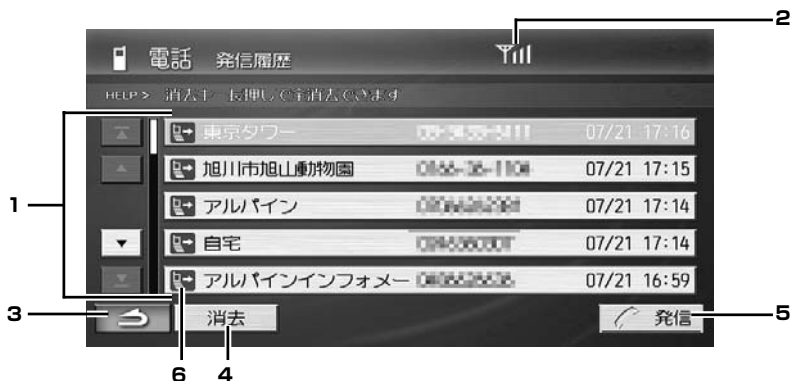


8 戻る にタッチして電話帳画面に戻します。

発信履歴機能を利用する

発信履歴の表示

以前かけた電話番号は、発信履歴として記憶され、発信時刻の新しいものから順にリスト(最大30件)で表示されます。



1. 名前/電話番号

電話をかけた相手の名前と電話番号が電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。それ以外、電話番号が表示されます。

電話をかけた日付と時刻が表示されます。ただし、GPSから時刻を取得できない状態で発信した場合は、表示されません。

2. 電波レベル

電波の受信レベルの目安を表示します。

3. 戻る

元の画面に戻ります。

4. 消去

発信履歴を1件または全件消去するときに使用します(「発信履歴を消去する」(165ページ)参照)。

5. 発信

電話をかけるときに使用します(「発信履歴/着信履歴から電話をかける」(159ページ)参照)。

6. 発信アイコン

アドバイス

- 発信履歴に記憶されている相手(電話番号)にかけた場合は、前回の履歴を消去して新しいものだけを記憶します。



発信履歴を消去する

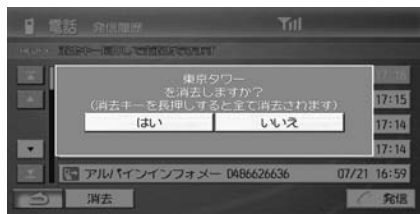
発信履歴を1件、または全件消去します。

発信履歴を1件消去する

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。
- 2 **発信履歴** にタッチします。
- 3 消去したい発信履歴にタッチします。



- 4 **消去** にタッチします。
消去を確認するメッセージが表示されます。
- 5 **はい** にタッチします。



選択した発信履歴が消去されます。

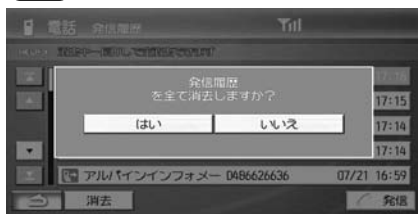
すべての発信履歴を消去する

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。
- 2 **発信履歴** にタッチします。
- 3 **消去** にタッチし続けます。



消去を確認するメッセージが表示されます。

- 4 **はい** にタッチします。



すべての発信履歴が消去されます。

着信履歴機能を利用する

着信履歴の表示

以前かかってきた電話は、着信履歴として記憶され、着信時刻の新しいものから順にリスト(最大30件)で表示されます。



1. 名前/電話番号

電話がかかってきた相手の名前と電話番号が電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。それ以外は、電話番号が表示されます。

電話がかかってきた日付と時刻が表示されます。ただし、GPSから時刻を取得できない状態で着信した場合は、表示されません。

2. 電波レベル

電波の受信レベルの目安を表示します。

3.

前の画面に戻ります。

4. 消去

着信履歴を1件または全件消去するときに使用します(「着信履歴を消去する」(167ページ)参照)。

5. 発信

電話をかけるときに使用します(「発信履歴/着信履歴から電話をかける」(159ページ)参照)。

6. 着信アイコン

 (赤): 電話を受けた場合
 (緑): 電話を受けられなかった場合

アドバイス

- 着信履歴に記憶されている相手から着信があった場合は、前回の履歴を消去して新しいものだけを記憶します。



着信履歴を消去する

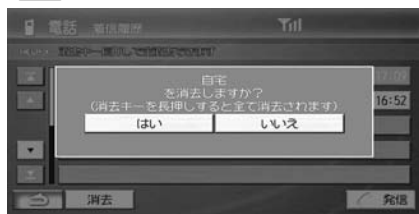
着信履歴を1件、または全件消去します。

着信履歴を1件消去する

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。
- 2 **着信履歴** にタッチします。
- 3 消去したい着信履歴にタッチします。



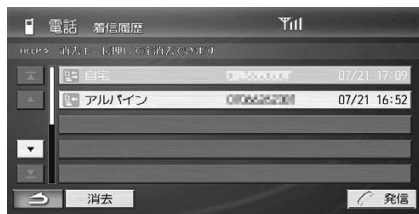
- 4 **消去** にタッチします。
消去を確認するメッセージが表示されます。
- 5 **はい** にタッチします。



選択した着信履歴が消去されます。

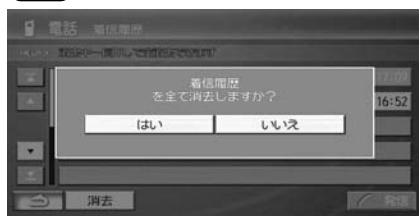
すべての着信履歴を消去する

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。
電話・通信画面が表示されます。
- 2 **着信履歴** にタッチします。
- 3 **消去** にタッチし続けます。



消去を確認するメッセージが表示されます。

- 4 **はい** にタッチします。



すべての着信履歴が消去されます。

通話音量を調整する

送話音量や受話音量を調整することができます。

- 1 通話中に「送話音量」/「受話音量」の◀または▶にタッチして、音量を調整します。



- 音量は11段階で調整できます。
◀にタッチするたびに、音量が小さくなります。
▶にタッチするたびに、音量が大きくなります。

🔊 アドバイス

- 通話音量は電話設定メニューから設定することもできます（「通話音量設定」(174ページ)参照）。



電話・通信設定操作

電話・通信に関する設定を行います。

次の手順1～4は、電話・通信設定の共通操作になります。各項目の詳しい操作方法については、該当ページを参照してください。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**電話・通信** にタッチします。



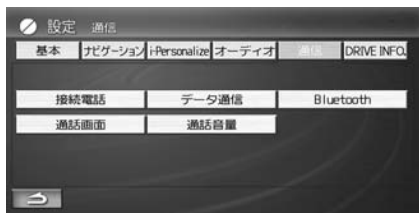
電話・通信画面が表示されます。

- 2 **設定を変える** にタッチします。



通信画面が表示されます。

- 3 各項目にタッチし、設定を行います。



- 4 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。

• **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

接続電話設定

接続電話の設定

接続する携帯電話を選択します(初期設定値は「自動選択」)。

設定項目：接続電話

設定値：自動選択/ケーブル接続/Bluetooth接続

- 1 通信画面で **接続電話** にタッチします。
- 2 **自動選択**、**ケーブル接続**、**Bluetooth接続** のいずれかにタッチして、接続する携帯電話を選択し、**登録** にタッチします。



• 選択した接続には ☒ マークが表示されます。

自動選択：自動的に接続を検出します。ケーブル接続とBluetooth接続の両方が存在する場合は、ケーブル接続を優先します。

ケーブル接続：専用ケーブルを使用して本機と携帯電話を接続します。

Bluetooth接続：Bluetoothで本機と携帯電話を、無線接続します。

データ通信設定

HDD AUDIOでGracenoteデータベースからデータダウンロードを行う前に、通信設定を行う必要があります。通信設定には、あらかじめ用意されている接続先を選ぶだけで簡単に設定できる「接続先を選んで通信設定をする」と、新たな接続先を追加したり、設定内容が変更できる「接続先を追加/変更する」があります。

- 「Gracenote®音楽認識サービス」を携帯電話を用いて利用する場合、各携帯電話会社のプロバイダーを利用するか、インターネット接続サービスプロバイダーと接続契約を行い、設定する必要があります。この場合、別途インターネット接続サービスの利用料金が発生する場合があります。

接続先を選んで通信設定をする

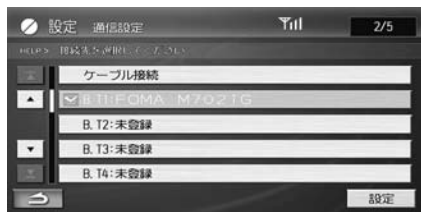
使用する携帯電話を選択するだけで、接続先の設定などが自動的に行われます。ケーブル接続とBluetooth接続とそれぞれを設定することができます。

設定項目：データ通信

設定値：ケーブル接続/B.T1/B.T2/B.T3/B.T4
→NTT DoCoMo FOMA/[Packet]
au(WIN)/[au.net]
Softbank/[アクセスインターネット
パケット通信]
NTT DoCoMo(mova)/[mopera]
au/[au.net]
Softbank/[アクセスインターネット
データ通信]
NTT DoCoMo FOMA/[64k]
ツーカーセルラー東京・東海/[Internet
Freeway]
NTT DoCoMo(dopa)/[dopa]

1 通信画面で **データ通信** にタッチします。

2 **ケーブル接続** または **B.T1** ~ **B.T4** にタッチして設定する接続を選択します。



3 **設定** にタッチします。

- **B.T1** ~ **B.T4** が未登録の場合は、**設定** にタッチすることはできません。

4 リストから携帯電話の種類を選んでタッチします。



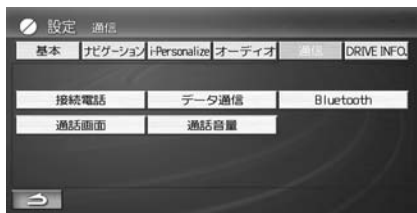
5 **登録** にタッチします。

選択した接続先が登録され、☒マークが表示されます。

接続先を追加/変更する

あらかじめ登録されている接続先以外の接続先を利用している場合に、新しく設定します。通信設定の内容は最大で5種類保存できます。

1 通信画面で **データ通信** にタッチします。



2 **ケーブル接続** または **B.T1** ~ **B.T4** にタッチして設定する接続を選択します。

3 **設定** にタッチします。

4 **新規接続先** または **詳細設定** にタッチします。



- 新規に設定する場合は、**新規接続先** にタッチします。通信設定の内容を変更したり、別の通信設定に変更する場合は、接続先を選択した後に **詳細設定** にタッチします。通信設定画面が表示されます。

5 各項目にタッチし、設定を行います。



- 接続先名称**
接続先の名称を入力します(171ページ参照)。
- 電話番号**
電話番号を入力します(171ページ参照)。
- ユーザーID**
ユーザーIDを入力します(172ページ参照)。
- パスワード**
パスワードを入力します(172ページ参照)。
- 「通信方式」
通信方式を指定します(172ページ参照)。
- 「DNS設定」
DNSサーバーを指定します(172ページ参照)。

6 **完了** にタッチします。

設定した接続先が自動的に登録されます。

ⓞ アドバイス

- 登録した新規接続先を消去するには、「通信設定」画面で消去したい新規接続先を選んで **消去** にタッチします。
- 接続先設定内容を初期設定に戻す場合には、**初期値** にタッチしてメッセージが表示されたら **はい** にタッチします。
- 「接続先名称」、「電話番号」を入力しないと、**完了** にタッチできません。

接続先の名称を入力する

接続先の名称を入力します。ここで設定した名称が、通信設定リストに表示されます。

ⓞ アドバイス

- あらかじめ登録されている接続先を選んだあとで、**詳細設定** にタッチした場合は、変更することができません。

1 通信設定画面で **接続先名称** にタッチします。

2 名称を入力します。



- 入力できる名称は、最大で全角/半角32文字です。

3 **完了** にタッチします。

電話番号を入力する

接続先の電話番号を入力します。

1 通信設定画面で **電話番号** にタッチします。

2 電話番号を入力します。



- 入力できる電話番号は最大で15桁です。

3 **完了** にタッチします。

ユーザーIDを入力する

接続先との契約で登録されたユーザーIDを入力します。

- 1 通信設定画面で **ユーザーID** にタッチします。
- 2 ユーザーIDを入力します。



- 入力できるユーザーIDは、最大で半角32文字です。

- 3 **完了** にタッチします。

パスワードを入力する

接続先との契約で登録されたパスワードを入力します。

- 1 通信設定画面で **パスワード** にタッチします。
- 2 パスワードを入力します。



- 入力できるパスワードは、最大で半角32文字です。
- 入力したパスワードは*で表示されます。

- 3 **完了** にタッチします。

通信方式を指定する

通信方式を回線交換またはPacketから選択します。

- 1 通信設定画面で通信方式の **回線交換** または **Packet** にタッチします。

🔊 アドバイス

- 「回線交換」に設定しても、パケットのみ対応のエリアにいるときは、回線接続できない場合があります。

DNSサーバーを指定する

DNSサーバーのIPアドレスを自動または手動で設定します。

なお、DNSサーバーについては、利用する接続先にご確認ください。

- 1 通信設定画面で「DNS設定」の **自動** または **手動** にタッチします。

- **自動** にタッチした場合は、以降の操作は必要ありません。

- 2 **DNS1** にタッチします。



- 3 IPアドレスを入力します。



- 0～255の範囲で入力します。

- 4 **完了** にタッチします。

- 5 **DNS2** にタッチし、同様にIPアドレスを入力します。

- 6 **完了** にタッチします。



Bluetooth設定

Bluetoothを接続する方法については、「Bluetooth接続を設定する」(149ページ)を参照してください。ここでは登録済みのBluetooth機器に関する設定を行います。また、本機のデバイス名、パスキーを変更することができます。

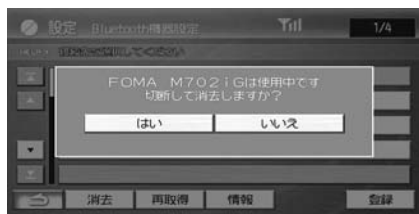
Bluetooth機器を設定する

設定項目: Bluetooth機器設定

- 1 通信画面で **Bluetooth** にタッチします。
- 2 「Bluetooth設定」画面で「Bluetooth機器設定」の **設定する** にタッチします。
- 3 各項目にタッチし、設定を行います。
 - **消去**
Bluetooth機器の登録を消去します(173ページ参照)。
 - **再取得**
登録したBluetooth機器のデバイス名を取得します(173ページ参照)。
 - **情報**
登録したBluetooth機器のデバイス名、アドレスを表示します(173ページ参照)。

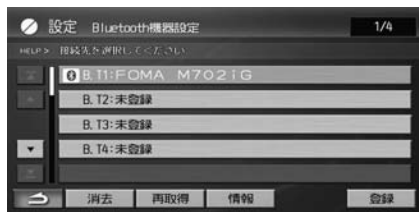
Bluetooth機器登録を消去する

- 1 Bluetooth機器設定画面で消去したい接続先をタッチして選択し、**消去** にタッチします。
- 2 確認のメッセージが表示されたら **はい** にタッチします。



Bluetooth機器名称を取得する

- 1 Bluetooth機器設定画面で接続先をタッチして選択し、**再取得** にタッチします。取得されたデバイス名が表示されます。



Bluetooth機器情報を見る

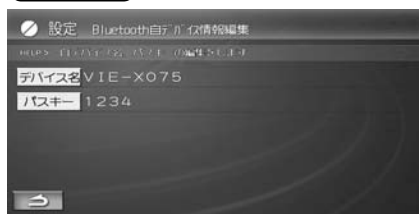
- 1 Bluetooth機器設定画面で接続先をタッチして選択し、**情報** にタッチします。デバイス名、アドレスが表示されます。



本機のデバイス名を変更する

本機のデバイス名を変更することができます。

- 1 通信画面で **Bluetooth** にタッチします。
- 2 「Bluetooth設定」画面で「Bluetooth自デバイス情報編集」の **設定する** にタッチします。
- 3 **デバイス名** にタッチします。



デバイス名称編集画面が表示されます。

次ページに続く→

4 名称を入力します。



- 入力できる名称は、最大で全角20文字です。

5 **完了** にタッチします。

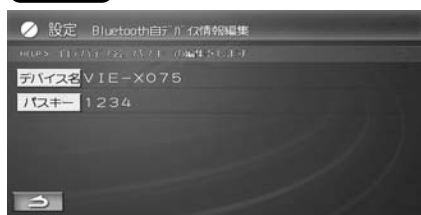
本機のパスキーを変更する

本機のパスキーを変更することができます。

1 通信画面で **Bluetooth** にタッチします。

2 「Bluetooth設定」画面で「Bluetooth自デバイス情報編集」の **設定する** にタッチします。

3 **パスキー** にタッチします。



パスキー設定画面が表示されます。

4 パスキーを入力します。



- 入力できるパスキーは、最大で8文字です。

5 **完了** にタッチします。

通話画面設定

着信全画面割込み

電話がかかってきた時に、着信全画面を自動で表示するかどうか設定します(初期設定値は「しない」)。

設定項目: 着信全画面割込み

設定値: する/しない

する: 着信全画面を自動で表示します。

しない: 着信メッセージのみを表示します。

着信・通話画面の情報を表示する

着信時または通話時に、画面に情報を表示するかどうか設定します(初期設定値は「する」)。

設定項目: 着信・通話画面情報表示

設定値: する/しない

する: 相手の名前・電話番号を表示します。

しない: 相手の名前・電話番号を表示しません。また、画像の表示も行いません。

通話音量設定

自動着信を設定する

電話がかかってきた時に、自動的に電話を受けるかどうか設定します(初期設定値は「しない」)。

設定項目: 自動着信

設定値: する/しない

する: 着信があると5秒後に、自動的に電話を受けます。

しない: 手動で電話を受けます。

着信音量を設定する

着信音量を11段階で設定できます(初期設定値は「4」)。

設定項目: 着信音量

設定値: 1~11

- ◀ にタッチすることにより音量レベルが1ずつ下がり、▶ にタッチすることにより音量レベルが1ずつ上がります。

通話音量を設定する

受話音量/送話音量を11段階で設定できます(初期設定値は受話音量は「4」、送話音量は「6」)。

設定項目: 受話音量/送話音量

設定値: 1~11

- ◀ にタッチすることにより音量レベルが1ずつ下がり、▶ にタッチすることにより音量レベルが1ずつ上がります。

オプション機能

ナビゲーション編

ETCについて	176
ETCの料金表示について	176
ETC料金履歴を見る	176
ETCユーザー情報を見る	177
フロントカメラ／リアカメラの操作	178
フロントカメラの映像について	178
リアカメラの映像	179
リアカメラのガイドを調整する	181
カメラ設定	182
リアモニターについて	183

ETCについて

ETC(Electronic Toll Collection System:有料道路自動料金収受システム)とは、自動車に装備した車載器と料金所に設置したアンテナとの間で無線通信により料金支払いに必要な情報がやりとりされ、ノンストップで自動的に通行料金をお支払いいただけるシステムです。

本機では別売のETC車載器を装着することにより、料金所の手前でETC専用レーンの案内を表示するなど、ナビゲーション機能に連動してETC情報を提供します。

また、ETCを利用したインターチェンジと料金の履歴を確認したり(176ページ参照)、ETC契約のユーザー情報を表示させる(177ページ参照)こともできます。

ETCを使用するには、ETC車載器(別売)とETCカードが必要です。

接続しているETC車載器側の取扱説明書も合わせてご覧ください。

ETCの料金表示について

ETC車載器(別売)にETCカードを挿入している場合は、ルート走行中、料金所のETCレーンを通るときに、利用料金が表示されます。

ETCのレーンガイドを行うには、「ETC案内を設定する」(137ページ)を「する」に設定してください。

■ ETCレーン表示

ETCレーンがある料金所に近づくと、ETCレーンに矢印が表示されます。



■ ETC料金表示

料金所のETCアンテナから情報を受信すると、利用料金が表示されます。



🔊 アドバイス

- 料金所のレーン情報がない場合は、案内は行われません。

ETC料金履歴を見る

ETCを利用した日時や料金をリスト表示したり、利用したインターチェンジ(IC)名などの詳細情報を確認することができます。

🔊 アドバイス

- ETCカードを挿入していないときは利用できません。
- ETCカードより取得できる料金履歴は、最大で100件です。それを超えると古い順に消去されます。
- 走行中は安全のため操作できません。安全な場所に停車してから操作してください。

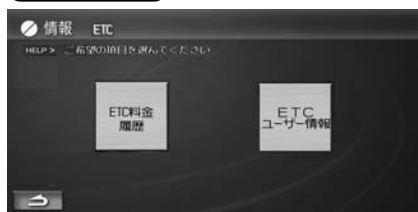
1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。

2 **情報を見る** にタッチします。

3 **ETC** にタッチします。

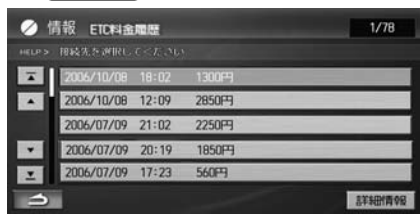


4 **ETC 料金履歴** にタッチします。



ETC料金履歴リストが表示され、新しい順に上から履歴が表示されます。

- 5 詳細を確認したい場合は、料金履歴にタッチし、**詳細情報** にタッチします。



- 6 詳細料金情報を確認します。



- 7 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。

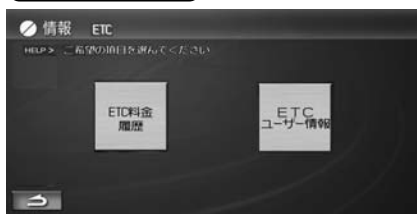
ETCユーザー情報を見る

ETCに登録されているユーザー情報を確認します。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。
- 2 **情報を見る** にタッチします。
- 3 **ETC** にタッチします。



- 4 **ETCユーザー情報** にタッチします。



車載器管理番号などのユーザー登録情報が表示されます。

- 5 ユーザー情報を確認します。



- 6 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。

フロントカメラ／リアカメラの操作

別売のアルパイン製フロントカメラHCE-C200Fを装着して、見通しの悪い道路などで車両前方の状況を確認することができます。

別売のリアカメラHCE-C200R/HCE-C100を装着した場合、バックギアにシフトすると、本機の画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド(車両の車幅や距離感覚を補う補助マーク)を映すことができます。

重 要

- バックカメラ・HCE-C100接続時に、ドライブインフォメーション画面でリアカメラ映像を表示させるには、バックカメラのリバース線(橙/白)を本機など製品側のACC電源コードか、車両側のACC電源コードに接続してください。本機のリバースコード(橙/白)はお車のバックランプ信号線のプラス側に接続します。

※ 他社製カメラとの接続は動作保証対象外になります。

- タイヤおよびサスペンションを交換すると、画面に表示される距離目安マークやガイドの示す位置に誤差が生じることがあります。
- 接続しているカメラ側の取扱説明書も合わせてご覧ください。

① 注 意

- カメラは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- フロントカメラで映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見ながら走行することは絶対にしないでください。必ず目視で確認し、前方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- リアカメラで映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用しながら目視で確認し、後方および周囲の安全を十分確保してください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 乗車人数・積載量により、車両が傾き画面のリアカメラガイドの示す位置と実際の路面上の距離・障害物との距離は変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
 - ・ 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - ・ ドアが完全に閉まっていないとき
 - ・ タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
 - ・ 坂道など平坦でない道
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

- 寒いときにお湯をかけるなど、カメラに急激な温度変化をあたえると、カメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- リアカメラ接続時、バックギアにシフトした瞬間は、一旦白画面になりますが、その後次第に安定します。
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
- 湿度の高いとき(雨の日など)は、カメラが曇り、映像が見づらくなる場合があります。

フロントカメラの映像について

前方の映像を映す

フロントカメラ付属のスイッチを操作することにより、本機にフロントカメラの映像を表示させることができます。操作については、フロントカメラ側の取扱説明書を参照してください。

フロントカメラの映像を確認する

カメラの映像を表示し確認することができます。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

- 2 **カメラ** にタッチします。



フロントカメラの映像が表示されます。

- 3 元の画面に戻るには **戻る** にタッチします。

- **メニュー/PWR**、**現在地**、**開/閉/TILT** スイッチを押しても、フロントカメラ映像は解除されません。



リアカメラの映像

リアカメラの操作については、リアカメラ側の取扱説明書を参照してください。

後方の映像を映す

1 シフトレバーをバックギア(R)に入れます。
後方の映像が自動で画面に映し出されます。

2 シフトレバーをバックギア(R)以外に入れます。
通常画面に戻ります。

④ アドバイス

- 「リアカメラ接続」を「あり」に設定してください(182ページ参照)。
- 電源をONにした直後、本機が完全に起動するまでは、シフトレバーをバックギア(R)に入れてもリアカメラ映像は表示されません。
- 「ガイド線表示」を「しない」に設定していると、ガイドは表示されません。(182ページ参照)

リアカメラの映像を確認する

シフトレバーの位置に関係なく、カメラの映像を表示し確認することができます。

1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、
サウンド・映像 にタッチします。

2 **カメラ** にタッチします。



リアカメラの映像が表示されます。

3 元の画面に戻すには **戻る** にタッチします。

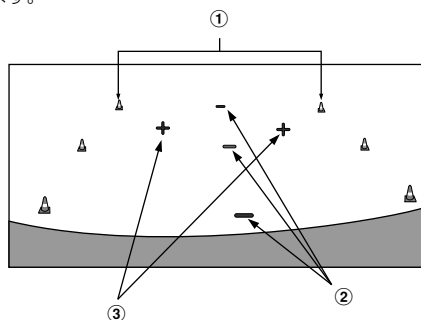
- **メニュー/PWR**、**現在地**、**開/閉/TILT** スイッチを押しても、リアカメラ映像は解除されず。

画面の見方について

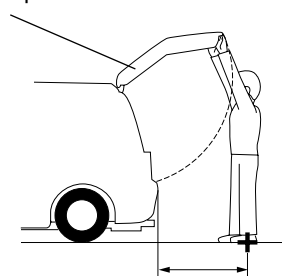
- ガイドを表示するには、「ガイド線表示」を「する」に設定してください(182ページ参照)。

■ 表示マークの見方

バックギアにシフトすると、モニター画面がリアカメラの映像に切りかわり、車幅や距離感覚を補うガイドが表示されます。



テールゲート



車両から③までの距離

- ① 車幅延長マーク(手前より赤色、黄色、緑色)
車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。
車の後方(バンパー後端から)の距離を示します。
● ハンドル操作と連動しません。
● それぞれの中心位置で、約0.5m先(赤色)・約1m先(黄色)・約2m先(緑色)を示します。
- ② 距離目安マーク
車の後方(バンパー後端から)の距離を示します。
● ハンドル操作と連動しません。
● それぞれの中心位置で、約0.5m先(赤色)・約1m先(黄色)・約2m先(緑色)を示します。
- ③ テールゲート距離目安マーク
テールゲートなどの開閉に必要な距離を示します。

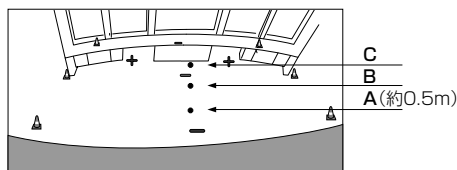
🔊 アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 車両によりガイドが左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

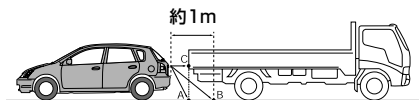
■ 距離目安マーク

距離目安マークは路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

<画面>



<A,B,Cの位置>



画面では、距離目安マークにより約1m 先(B の位置)にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはA の位置まで後退すると、ぶつかります。画面ではA、B、C の順に近く見えますが、実際の距離はA とCは同じ距離で、B はA、Cより遠い距離にあります。

🔊 アドバイス

- 車幅延長マークは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映しだされた場合は実際の距離感とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
 - ・ 暗いところ。(夜間など)
 - ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。(雨天時など)
 - ・ カメラ付近に異物(泥など)がついたとき。
 - ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
 - ・ CCDカメラ接続時は、高輝度の点(車体に反射した太陽など)がカメラに映ると、CCDカメラ特有のスマイ現象*が発生することがあります。

<画面の状況>



※ スマイ現象: 高輝度の点(車体に反射した太陽など)がカメラに映るとその点の上下(縦方向)に尾を引く現象。

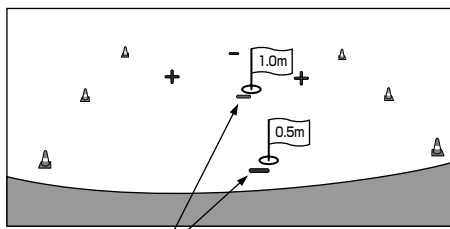
高輝度の点

画面と実際の路面との誤差

以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。(イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します)

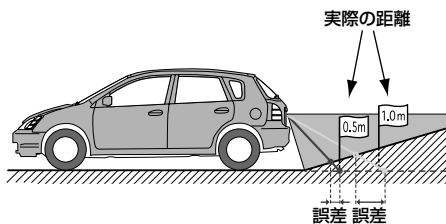
■ 急な上り坂が後方にあるとき(例)

<画面>



距離目安マーク

<車の状況>

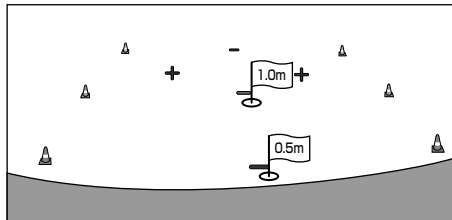


距離目安マークは、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安マークが表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くに見えるように見えます。

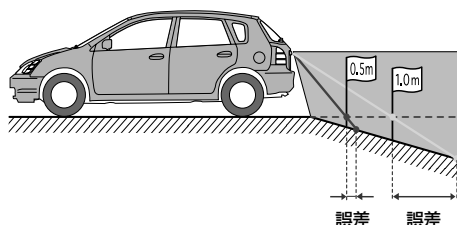
同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■ 急な下り坂が後方にあるとき(例)

<画面>



<車の状況>



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安マークが表示されます。

下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。

同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

リアカメラのガイドを調整する

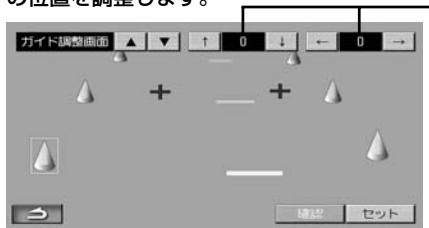
ガイドの調整を行うことができます。

- 1 リアカメラ画面表示時に、画面の任意の場所にタッチします。
 ・「リアカメラの映像を確認する」(179ページ)参照。
- 2 「ガイド調整画面」の ▲ または ▼ にタッチします。



調整画面が表示されます。

- 3 ▲ にタッチして調整したいガイドを選択し、↑ ↓ ← → にタッチしてガイドの位置を調整します。



移動した方向(矢印)と、距離(数字)が表示される

- 4 調整が済んだら、**セット** にタッチして調整値を記憶します。

- ・ **初期値** にタッチすると、お買い上げ時の設定に戻ります。確認メッセージが表れたら **はい** にタッチします。

- 5 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。

🔊 アドバイス

- 走行中は調整を行うことはできません。お車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作を行ってください。
- 車幅延長マークは、駐車場の駐車スペースの枠を利用すると設定しやすくなります。距離目安マークは、駐車場に駐車されている他の車の前に適切な間隔で駐車して、調整を行います。

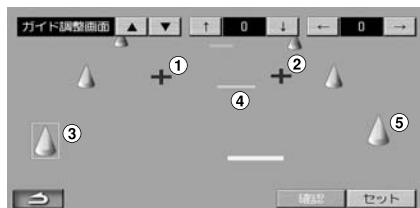
調整結果の確認

ガイドの調整後、調整結果を確認し、再調整を行うことができます。

- 1 リアカメラ画面表示時に、画面の任意の場所にタッチします。
 - ・「リアカメラの映像を確認する」(179ページ)参照。

- 2 **確認** にタッチします。
調整画面が表示されます。

- 3 **▲** にタッチして調整したいガイドを選択し、**↑** **↓** **←** **→** にタッチしてガイドの位置を調整します。



- ・確認画面で調整可能なガイドは上図①～⑤の5つになります。
- ・①～⑤のガイドの調整は、他の2色のガイドにも反映されます。

- 4 調整が済んだら、**セット** にタッチして調整値を記憶します。

- 5 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。

カメラ設定

リアカメラに関する設定を行います。

次の手順1～5は、リアカメラ設定の共通操作になります。各項目の詳しい操作方法についてはそれぞれの項目を参照してください。

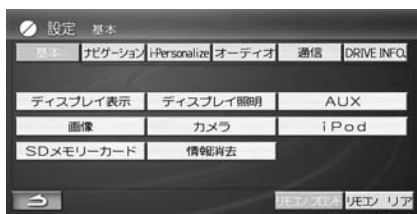
設定操作

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。

- 3 **基本** タブにタッチし、**カメラ** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。



- 5 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。
 - ・**戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

リアカメラを接続する

リアカメラを接続する場合は、「あり」に設定してください。

設定項目：リアカメラ接続

設定値：あり/なし

あり：リアカメラを接続します。

なし：リアカメラの接続をしません。

ガイドを表示する

ガイドを表示する場合は、「する」に設定してください。

設定項目：ガイド線表示

設定値：する/しない

あり：調整画面でガイドを表示します。

なし：ガイドの表示を行いません。

フロントカメラを接続する

フロントカメラを接続する場合には、「あり」に設定してください。

設定項目：フロントカメラ接続

設定値：あり/なし

あり：フロントカメラを接続します。

なし：フロントカメラを接続しません。

リアモニターについて



リアモニター(別売)を装着すると、運転席でナビゲーション画面などを表示しながら、同時に後部座席でDVDやTVなどの映像を楽しむことができます。

リモコンRUE-4208でチャンネル切り替えやDVD再生操作なども行えます。



アドバイス

- 本機側で映像ソース(DVD、TVなど)のいずれかがONになっている場合にのみ、リアモニターに映像が映し出されます。
- リアモニターからリモコン操作を行うには、「リモコン受光部を切りかえる」(35ページ)で「リモコンリア」に設定してください。

各種データ一覧

ナビゲーション編

地図マーカー一覧	186
市街地図収録都市リスト	187
施設ジャンル一覧	192

地図マーク一覧

表示	内容	表示	内容	表示	内容
	病院		交差点		公園
	学校		冬期規制区間		動物園
	郵便局		商業施設		植物園
	消防署		ホテル		水族館
	警察署		銀行		遊園地、テーマパーク
	都道府県庁		工場、工場敷地		博物館
	市役所、区役所		教会		図書館
	町村役場		神社		美術館
	官公署(特定記号無)		寺		ガソリンスタンド
	インターチェンジ、ランプ		墓地		カー用品店
	サービスエリア		温泉		国防施設(自衛隊、米軍など)
	パーキングエリア		海水浴場		JRA競馬場、ウイNZ
	ジャンクション		スキー場		レジャー一般
	ランプ出口		ゴルフ場		バス停
	料金所		運動施設(スタジアムなど)		事故多发地点記号
	駐車場		城、城跡		路上パーキングメーター
	飛行場		キャンプ場		その他施設
	港、フェリー発着場		山		
	マリナ、ヨットハーバー		史跡、名所		

🔊 アドバイス

● 情報検索精度について

電話番号検索および50音検索などは、電話番号登録時の登録内容によっては、周辺地域による検出になる場合があります。

本機に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があります。使用に際しては、実際の道路状況、および交通規制に従ってください。

本機は、天変地異による規制には対応しておりません。該当する地域周辺を走行される場合は、警察・交通情報センター等にご確認ください。

● 地図データベースについて

地図データベース上、最終更新されたものを使用していますが、地域によっては最終更新日が古い場所も存在し、現在の状況と異なる場合があります。

● 交差点拡大図に表示される地図マークは、形状が異なる場合があります。

市街地図収録都市リスト

都道府県	市区町村名
北海道	札幌市
	函館市
	小樽市
	旭川市
	室蘭市
	釧路市
	帯広市
	北見市
	夕張市
	岩見沢市
	網走市
	留萌市
	苫小牧市
	稚内市
	美瑛市
	虻別市
	江別市
	赤平市
	紋別市
	士別市
	名寄市
	三笠市
	根室市
	千歳市
	滝川市
	砂川市
	歌志内市
	深川市
	富良野市
	登別市
	恵庭市
	伊達市
	北広島市
	石狩市
	当別町
	江差町
	斜里町
	白老町
	音更町
	釧路町
青森県	青森市
	弘前市
	八戸市
	黒石市
	五所川原市
	十和田市
	三沢市
	むつ市
	つがる市
	藤崎町
岩手県	大鰐町
	東北町
	盛岡市
	宮古市
	大船渡市
	奥州市
	花巻市
	北上市
	久慈市

都道府県	市区町村名
岩手県	遠野市
	一関市
	陸前高田市
	釜石市
	二戸市
	八幡平市
	雫石町
	岩手町
	滝沢村
	紫波町
宮城県	矢巾町
	大槌町
	山田町
	岩泉町
	仙台市
	石巻市
	塩竈市
	大崎市
	気仙沼市
	白石市
	名取市
	角田市
	多賀城市
	岩沼市
	登米市
	栗原市
	東松島市
	大河原町
	山元町
	松島町
	七ヶ浜町
	利府町
	富谷町
	色麻町
	加美町
	美里町
秋田県	秋田市
	能代市
	横手市
	大館市
	男鹿市
	湯沢市
	鹿角市
	由利本荘市
	潟上市
	大仙市
	北秋田市
	にかほ市
	仙北市
	五城目町
	井川町
山形県	山形市
	米沢市
	鶴岡市
	酒田市
	新庄市
	寒河江市
	上山市
	村山市

都道府県	市区町村名
山形県	長井市
	天童市
	東根市
	尾花沢市
	南陽市
福島県	福島市
	会津若松市
	郡山市
	いわき市
	白河市
	須賀川市
	須多方市
	相馬市
	二本松市
	田村市
	南相馬市
	桑折町
	国見町
	伊達市
	本宮町
	鏡石町
	西郷村
	矢吹町
	小野町
茨城県	水戸市
	日立市
	土浦市
	古河市
	石岡市
	結城市
	龍ヶ崎市
	下妻市
	常総市
	常陸太田市
	高萩市
	北茨城市
	笠間市
	取手市
	牛久市
	つくば市
	ひたちなか市
	鹿嶋市
	潮来市
	守谷市
	常陸大宮市
	那珂市
	筑西市
	坂東市
	稲敷市
	かすみがうら市
	桜川市
	神栖市
	行方市
	鉾田市
	茨城町
	小美玉市
	大洗町
	東海村
	阿見町

都道府県	市区町村名
茨城県	つくばみらい市
	五霞町
	境町
	利根町
	宇都宮市
栃木県	足利市
	栃木市
	佐野市
	鹿沼市
	日光市
	小山市
	真岡市
	大田原市
	矢板市
	那須塩原市
	さくら市
	那須烏山市
	上三川町
	下野市
	河内町
	二宮町
	益子町
	市貝町
	芳賀町
	壬生町
	野木町
	大平町
	都賀町
	那須町
群馬県	前橋市
	高崎市
	桐生市
	伊勢崎市
	太田市
	沼田市
	館林市
	渋川市
	藤岡市
	富岡市
	安中市
	富士見村
	榛東村
	吉岡町
	吉井町
	甘楽町
	中之条町
	東吾妻町
	嬭恋村
	草津町
	みなかみ町
	玉村町
	みどり市
	板倉町
	明和町
	千代田町
	大泉町
	邑楽町
埼玉県	さいたま市
	川越市

都道府県	市区町村名
埼玉県	熊谷市
	川口市
	行田市
	秩父市
	所沢市
	飯能市
	加須市
	本庄市
	東松山市
	春日部市
	狭山市
	羽生市
	鴻巣市
	深谷市
	上尾市
	草加市
	越谷市
	蕨市
	戸田市
	入間市
	鳩ヶ谷市
	朝霞市
	志木市
	和光市
	新座市
	桶川市
	久喜市
	北本市
	八潮市
	富士見市
	三郷市
	蓮田市
	坂戸市
	幸手市
	鶴ヶ島市
	日高市
	吉川市
	ふじみ野市
	伊奈町
	三芳町
	毛呂山町
	越生町
	滑川町
	嵐山町
	小川町
	ときがわ町
	川島町
	吉見町
	鳩山町
	横瀬町
	皆野町
	長瀬町
	小鹿野町
	東秩父村
	美里町
	神川町
	上里町
	江南町
	寄居町

都道府県	市区町村名
埼玉県	騎西町
	北川辺町
	大利根町
	宮代町
	白岡町
	菖蒲町
	栗橋町
	鷲宮町
	杉戸町
	松伏町
千葉県	千葉市
	銚子市
	市川市
	船橋市
	館山市
	木更津市
	松戸市
	野田市
	香取市
	茂原市
	成田市
	佐倉市
	東金市
	八日市場市
	旭市
	習志野市
	柏市
	勝浦市
	市原市
	流山市
	八千代市
	我孫子市
	鴨川市
	鎌ヶ谷市
	君津市
	富津市
	浦安市
	四街道市
	袖ヶ浦市
	八街市
	印西市
	白井市
	富里市
	いすみ市
	酒々井町
	印旛村
	本埜村
	栄町
	神崎町
	多古町
	東庄町
	横芝光町
	大網白里町
	九十九里町
	山武市
	芝山町
	一宮町
	睦沢町
	長生村

都道府県	市区町村名
千葉県	白子町
	長柄町
	長南町
	大多喜町
	御宿町
	富浦町
	南房総市
	鋸南町
東京都	千代田区
	中央区
	港区
	新宿区
	文京区
	台東区
	墨田区
	江東区
	品川区
	目黒区
	大田区
	世田谷区
	渋谷区
	中野区
	杉並区
	豊島区
	北区
	荒川区
	板橋区
	練馬区
	足立区
	葛飾区
	江戸川区
	八王子市
	立川市
	武蔵野市
	三鷹市
	青梅市
	府中市
	昭島市
	調布市
	町田市
	小金井市
	小平市
	日野市
	東村山市
	国分寺市
	国立市
	福生市
	狛江市
	東大和市
	清瀬市
	東久留米市
	武蔵村山市
	多摩市
	稲城市
	羽村市
	あきる野市
	西東京市
	瑞穂町
	日の出町

都道府県	市区町村名
東京都	檜原村
	奥多摩町
神奈川県	横浜市
	川崎市
	横須賀市
	平塚市
	鎌倉市
	藤沢市
	小田原市
	茅ヶ崎市
	逗子市
	相模原市
	三浦市
	秦野市
	厚木市
	大和市
	伊勢原市
	海老名市
	座間市
	南足柄市
	綾瀬市
	葉山町
	寒川町
	大磯町
	二宮町
	中井町
	大井町
	松田町
	山北町
	開成町
	箱根町
	真鶴町
	湯河原町
	愛川町
	清川村
	城山町
	藤野町
新潟県	新潟市
	長岡市
	三条市
	柏崎市
	新発田市
	小千谷市
	加茂市
	十日町市
	見附市
	村上市
	燕市
	糸魚川市
	妙高市
	五泉市
	上越市
	阿賀野市
	佐渡市
	魚沼市
	南魚沼市
	胎内市
	聖籠町
	田上町



都道府県	市区町村名
新潟県	湯沢町
	富山県
	富山市
	高岡市
	魚津市
	氷見市
	滑川市
	黒部市
	砺波市
	小矢部市
	南砺市
	射水市
石川県	金沢市
	七尾市
	小松市
	輪島市
	珠洲市
	加賀市
	羽咋市
	かほく市
	白山市
	能美市
	野々市町
	津幡町
	内灘町
	志賀町
福井県	福井市
	敦賀市
	小浜市
	大野市
	勝山市
	鯖江市
	あわら市
	越前市
	坂井市
	美浜町
	高浜町
山梨県	甲府市
	富士吉田市
	都留市
	山梨市
	大月市
	韭崎市
	南アルプス市
	北杜市
	甲斐市
	笛吹市
	上野原市
	甲州市
	市川三郷町
	増穂町
	中央市
	昭和町
	富士河口湖町
長野県	長野市
	松本市
	上田市
	岡谷市
	飯田市
	諏訪市

都道府県	市区町村名
長野県	須坂市
	小諸市
	伊那市
	駒ヶ根市
	中野市
	大町市
	飯山市
	茅野市
	塩尻市
	佐久市
	千曲市
	東御市
	安曇野市
	軽井沢町
	御代田町
	下諏訪町
	富士見町
	辰野町
	箕輪町
	南箕輪村
岐阜県	松川町
	高森町
	阿智村
	白馬村
	筑北村
	坂城町
	小布施町
	山ノ内町
	岐阜市
	大垣市
	高山市
	多治見市
	関市
	中津川市
	美濃市
	瑞浪市
	羽島市
	恵那市
	美濃加茂市
	土岐市
	各務原市
	可児市
	山県市
	瑞穂市
	飛騨市
	本巣市
	郡上市
	下呂市
	海津市
	岐南町
	笠松町
	関ヶ原町
	神戸町
静岡県	北方町
	坂祝町
	富加町
	静岡市
	浜松市
	沼津市

都道府県	市区町村名
静岡県	熱海市
	三島市
	富士宮市
	伊東市
	島田市
	富士市
	磐田市
	焼津市
	掛川市
	藤枝市
	御殿場市
	袋井市
	下田市
	裾野市
	湖西市
	伊豆市
	御前崎市
	菊川市
	伊豆の国市
	牧之原市
	東伊豆町
愛知県	河津町
	松崎町
	西伊豆町
	函南町
	清水町
	長泉町
	小山町
	芝川町
	富士川町
	岡部町
	大井川町
	吉田町
	森町
	新居町
	名古屋市
	豊橋市
	岡崎市
	一宮市
	瀬戸市
	半田市
	春日井市
	豊川市
	津島市
	碧南市
	刈谷市
	豊田市
	安城市
	西尾市
	蒲郡市
	大山市
	常滑市
	江南市
	小牧市
	稲沢市
	新城市
	東海市
	大府市
	知多市

都道府県	市区町村名
愛知県	知立市
	尾張旭市
	高浜市
	岩倉市
	豊明市
	日進市
	田原市
	愛西市
	清須市
	東郷町
	長久手町
	豊山町
	北名古屋市
	春日町
	大口町
	扶桑町
	七宝町
	美和町
	甚目寺町
	大治町
	蟹江町
三重県	飛鳥村
	弥富市
	阿久比町
	東浦町
	南知多町
	美浜町
	武豊町
	一色町
	吉良町
	幡豆町
	幸田町
	三好町
	音羽町
	小坂井町
	御津町
	津市
	四日市市
	伊勢市
	松阪市
	桑名市
	鈴鹿市
	名張市
	尾鷲市
	龜山市
	鳥羽市
	熊野市
	いなべ市
	志摩市
	伊賀市
	東員町
	菰野町
	玉城町
	度会町
滋賀県	大津市
	彦根市
	長浜市
	近江八幡市
	草津市

都道府県	市区町村名
滋賀県	守山市
	栗東市
	甲賀市
	野洲市
	湖南市
	高島市
	東近江市
	米原市
	安土町
	日野町
	竜王町
京都府	京都市
	福知山市
	舞鶴市
	綾部市
	宇治市
	宮津市
	亀岡市
	城陽市
	向日市
	長岡京市
	八幡市
	京田辺市
	京丹後市
	南丹市
	大山崎町
	久御山町
	井手町
	宇治田原町
	山城町
	木津町
	加茂町
	笠置町
	和束町
	精華町
大阪府	南山城村
	大阪市
	堺市
	岸和田市
	豊中市
	池田市
	吹田市
	泉大津市
	高槻市
	貝塚市
	守口市
	枚方市
	茨木市
	八尾市
	泉佐野市
	富田林市
	寝屋川市
	河内長野市
	松原市
	大東市
	和泉市
	箕面市
	柏原市
	羽曳野市

都道府県	市区町村名
大阪府	門真市
	摂津市
	高石市
	藤井寺市
	東大阪市
	泉南市
	四條畷市
	交野市
	大阪狭山市
	阪南市
	島本町
	豊能町
	能勢町
	忠岡町
	熊取町
	田尻町
	岬町
	太子町
兵庫県	河南町
	千早赤阪村
	神戸市
	姫路市
	尼崎市
	明石市
	西宮市
	洲本市
	芦屋市
	伊丹市
	相生市
	豊岡市
	加古川市
	赤穂市
	西脇市
	宝塚市
	三木市
	高砂市
	川西市
	小野市
	三田市
	加西市
	篠山市
	養父市
	丹波市
	南あわじ市
	朝来市
	淡路市
	宍粟市
	たつの市
	猪名川町
	加東市
	多可町
	稲美町
	播磨町
	福崎町
	太子町
	上郡町
	香美町
	新温泉町
奈良県	奈良市

都道府県	市区町村名
奈良県	大和高田市
	大和郡山市
	天理市
	橿原市
	桜井市
	五條市
	御所市
	生駒市
	香芝市
	葛城市
	平群町
	三郷町
	斑鳩町
	安堵町
	川西町
	田原本町
	明日香村
	上牧町
	王寺町
	広陵町
和歌山県	河合町
	和歌山市
	海南市
	橋本市
	有田市
	御坊市
	田辺市
	新宮市
	紀の川市
	岩出市
	かつらぎ町
	湯浅町
	有田川町
	白浜町
	那智勝浦町
鳥取県	鳥取市
	米子市
	倉吉市
	境港市
	岩美町
	三朝町
島根県	松江市
	浜田市
	出雲市
	益田市
	大田市
	安来市
	江津市
	雲南市
	斐川町
	岡山市
岡山県	倉敷市
	津山市
	玉野市
	笠岡市
	井原市
	総社市
	高梁市
	新見市

都道府県	市区町村名
岡山県	備前市
	瀬戸内市
	赤磐市
	真庭市
	美作市
	建部町
	瀬戸町
	和気町
	早島町
	浅口市
	里庄町
	矢掛町
	鏡野町
	勝央町
	奈義町
	西栗倉村
広島県	久米南町
	美咲町
	吉備中央町
	広島市
	呉市
	竹原市
	三原市
	尾道市
	福山市
	府中市
	三次市
	庄原市
	大竹市
	東広島市
	廿日市市
	安芸高田市
山口県	江田島市
	府中町
	海田町
	熊野町
	坂町
	下関市
	宇部市
	山口市
	萩市
	防府市
徳島県	下松市
	岩国市
	光市
	長門市
	柳井市
	美祿市
	周南市
	山陽小野田市
	和木町
	平生町
	徳島市
	鳴門市
	小松島市
	阿南市
	吉野川市
	阿波市
	美馬市



都道府県	市区町村名
徳島県	石井町
	松茂町
	北島町
	藍住町
	板野町
香川県	上板町
	高松市
	丸亀市
	坂出市
	善通寺市
	観音寺市
	さぬき市
	東かがわ市
	小豆島町
	土庄町
	綾川町
	宇多津町
	まんのう町
	琴平町
	多度津町
	三豊市
愛媛県	松山市
	今治市
	宇和島市
	八幡浜市
	新居浜市
	西条市
	大洲市
	伊予市
	四国中央市
	西予市
	東温市
	久万高原町
	松前町
	砥部町
	伊方町
高知県	高知市
	室戸市
	安芸市
	南国市
	土佐市
	須崎市
	宿毛市
	土佐清水市
	四万十市
	春野町
	佐川町
	四万十町
	橋原町
	黒瀬町
福岡県	北九州市
	福岡市
	大牟田市
	久留米市
	直方市
	飯塚市
	田川市
	柳川市
	嘉麻市

都道府県	市区町村名
福岡県	朝倉市
	八女市
	筑後市
	大川市
	行橋市
	豊前市
	中間市
	小都市
	筑紫野市
	春日市
	大野城市
	宗像市
	太宰府市
	前原市
	古賀市
	福津市
	うきは市
	那珂川町
	宇美町
	篠栗町
	志免町
	須恵町
	新宮町
	久山町
	粕屋町
	芦屋町
	水巻町
	岡垣町
	遠賀町
	二丈町
	志摩町
	大刀洗町
佐賀県	刈田町
	椎田町
	吉富町
	佐賀市
	唐津市
長崎県	鳥栖市
	多久市
	伊万里市
	武雄市
	鹿島市
	小城市
	白石町
	嬉野市
	長崎市
	佐世保市
長崎県	島原市
	諫早市
	大村市
	平戸市
	松浦市
	対馬市
	杵岐市
	五島市
	西海市
	雲仙市
長崎県	長与町
	時津町

都道府県	市区町村名
長崎県	波佐見町
	熊本市
	八代市
	人吉市
	荒尾市
	水俣市
	玉名市
	天草市
	山鹿市
	菊池市
	宇土市
	上天草市
	宇城市
	阿蘇市
	植木町
	大津町
	菊陽町
	合志市
	南小国町
大分県	小国町
	高森町
	益城町
	大分市
	別府市
	中津市
	日田市
	佐伯市
	臼杵市
	津久見市
宮崎県	竹田市
	豊後高田市
	杵築市
	宇佐市
	豊後大野市
	由布市
	九重町
	玖珠町
	宮崎市
	都城市
宮崎県	延岡市
	日南市
	小林市

都道府県	市区町村名
宮崎県	日向市
	串間市
	西都市
	えびの市
	清武町
鹿児島県	鹿児島市
	鹿屋市
	枕崎市
	阿久根市
	奄美市
	出水市
	大口市
	指宿市
	西之表市
	垂水市
	薩摩川内市
	日置市
	曾於市
沖縄県	霧島市
	いちき串木野市
	南さつま市
	那覇市
	宜野湾市
	石垣市
	浦添市
	名護市
	糸満市
	沖縄市
	豊見城市
	うるま市
	宮古島市
	本部町
	読谷村
	嘉手納町
	北谷町
	北中城村
	中城村
	西原町
	八重瀬町
	南城市
	与那原町
	南風原町



アドバイス

- 家形までリアルに表現できる「市街地図(詳細市街地図)」を1,145エリア収録(2006年10月末までの市区町村合併に対応)。その他のエリアでも道路幅を分かりやすく表現できる「簡易市街地図」を収録し、日本全国でリアルな市街地図が表示できます。
- 一部の都市に関しては、「市街地図(詳細市街地図)」は中心部および一部のエリアのみの収録となります。

施設ジャンル一覧

ジャンル検索または周辺施設検索のときに使用できる施設ジャンルの一覧表です。実際に表示されるメニューの順序とは異なります。

タグ表示	ジャンル名	ブランド名	タグ表示	ジャンル名	ブランド名
食事	ファーストフード	ウェンディーズ	食事	ファミリー レストラン	ヴィクトリアステーション
		エクセルシオール カフェ			ウエスト
		Sガスト			大戸屋
		カフェドクリエ			カーサ
		銀だこ			海鮮三崎港
		ケンタッキー			ガスト
		フライドチキン			がってん寿司
		珈琲館			かっぱ寿司
		COCO壱番屋			かつや
		コメダ珈琲			かに道楽
		サーティワン			カプリチョーザ
		サブウェイ			木曽路
		サンマルクカフェ			北前そば高田屋
		スガキヤ			杵屋
		すき家			牛角
		スターバックス			餃子の王将
		コーヒー			くら寿司
		タリーズ			グラッチェ
		ちりめん亭			ガーデンズ
		てんや			くるまやラーメン
		ドトールコーヒー			元気寿司
		なか卯			幸楽苑
		ハーゲンダッツ			COCO'S
		はなまるうどん			ごはん処おはち
		日高屋			サイゼリヤ
		一口茶屋			サガミ
		ファーストキッチン			さと
		フレッシュネス			ザめしや
		バーガー			サンデーサン
		ペッパーランチ			サンマルク
		マクドナルド			しーじゃっく
		松屋			しゃぶしゃぶどん亭
		ミスタードーナツ			ジョイフル
		めしや宮本むなし			ジョナサン
		モスバーガー			ジョリーパスタ
		やよい軒			すかいらーく
		吉野家			スシロー
		ラーメン花月			すたみな太郎
		ラーメン坂内			ステーキのどん
		リトルスプーン			ステーキ宮
		レディーボーデン			ちゃんこ江戸沢
		ロッテリア			鶴橋風月
	ファミリー レストラン	藍屋			デニース
		あさくま			道とん堀
		味の民芸			トマトアンドオニオン
		アトムボーイ			とんかつ浜勝
		安楽亭			



タグ表示	ジャンル名	ブランド名
食事	ファミリー レストラン	とんでん
		バーミヤン
		はいから亭
		馬車道
		8番らーめん
		華屋与兵衛
		ピエトロ
		ビッグボーイ
		びっくりドンキー
		ビルディ
		フォルクス
		フラカッソ
		ふらんす亭
		フレンドリー
		ミルクィウェイ
		焼肉屋さかい
		夢庵
		リンガーハット
		レッドロブスター
		ロイヤルホスト
	ステーキ・ハンバーグ	あさくま
		ヴィクトリア
		ステーション
		ステーキ宮
		トマトアンド
		オニオン
		ビッグボーイ
		びっくりドンキー
		フォルクス
		はいから亭
		ミルクィウェイ
	焼肉・ホルモン	安楽亭
		牛角
		すたみな太郎
		はいから亭
	すきやき	焼肉屋さかい
	しゃぶしゃぶ	木曽路
		しゃぶしゃぶどん亭
	ジンギスカン	
	とんかつ	かつや
		とんかつ浜勝
	牛丼	すき家
		なか卯
		松屋
		吉野家
	牛たん	
	鳥料理	
	かに料理	かに道楽
		レッドロブスター

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
食事	かき料理	
	ぶく料理	
	うなぎ	
	魚料理	
	ちゃんこ	ちゃんこ江戸沢
	もつ鍋	
	和食ファミレス	藍屋
		大戸屋
		ごはん処おはち
		さと
		ざめしや
		とんでん
		華屋与兵衛
		めしや宮本むなし
		夢庵
	京料理	
	小料理	
	日本料理	
	懷石料理	
	割ぼう・料亭	
		てんぷら
	おでん	
	串揚げ・串かつ	
	郷土料理	
	沖縄料理	
	沖縄そば	
	仕出し料理	
	お茶漬・おにぎり	
	屋形船	
	寿司屋	
	回転寿司	アトムボーイ
		海鮮三崎港
		がってん寿司
		かっぱ寿司
		くら寿司
		元気寿司
		しーじゃっく
		スシロー
	持ち帰り寿司	小僧寿し・sushi花館
		味の民芸
		北前そば高田屋
		杵屋
		サガミ
	うどん・そば屋	はなまるうどん
		鶴橋風月
		道とん掘
		銀だこ
	お好み焼	一口茶屋
	たこ焼	
	もんじゃ焼	
	洋食ファミレス	カーサ

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
食事	洋食ファミレス	ガスト
		カプリチョーザ
		グラッチェ
		ガーデンズ
		COCO'S
		サイゼリヤ
		サンデーサン
		ジョイフル
		ジョナサン
		ジョリーパスタ
		すかいらーく
		デニーズ
		馬車道
		ピエトロ
		ビルディ
		フラカッソ
		フレンドリー
		ロイヤルホスト
	フランス料理	
	イタリア料理	
	スパゲティ専門店	
	ピザ	
	カレー	COCO壱番屋
		リトルスプーン
	中華ファミレス	餃子の王将
		バーミヤン
	中華料理	
	餃子・しゅうまい	
	広東料理	
	四川料理	
	上海料理	
	ラーメン	くるまやラーメン
		幸楽苑
		スガキヤ
		ちりめん亭
		8番らーめん
		日高屋
		ラーメン花月
		ラーメン坂内
		リンガーハット
	インド料理	
	その他各国料理	
	持ち帰り弁当	
	持ち帰り寿司	小僧寿司・sushi花館
	持ち帰りうなぎ料理	
	折詰弁当	
	仕出し弁当	
	コーヒーショップ	エクセルシオール
		カフェ
		カフェドクリエ

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
食事	コーヒーショップ	珈琲館
		コメダ珈琲
		サンマルクカフェ
		スターバックス
		コーヒー
		タリーズ
		ドトールコーヒー
	コーヒー専門店	
	喫茶店	
	甘味処	
	インターネット	
	カフェ	
	マンガ喫茶	
	カラオケ喫茶	
	居酒屋・バー・	
	スナック	
	その他飲食店	
買物	コンビニ	am/pm
		ココストアCOCO!
		コミュニティ・ストア
		サークルK
		サンクス
		SHOP99
		スーパー
		スリーエフ
		セイコーマート
		セーブオン
		セブンイレブン
		ファミリーマート
		ホットスパー
		ポプラ
		ミニストップ
		ヤマザキショップ
		ヤマザキデイリー
		ストアー
		ローソン
	デパート	
	ショッピング	
	センター	
	地下街	
	スーパーマーケット	アップルランド
		アピタ
		イズミ
		イズミヤ
		イトーヨーカドー
		いなげや
		エコス
		オークワ
		オザム
		オリンピック



タグ表示	ジャンル名	ブランド名
買物	スーパーマーケット	カスミ
		関西スーパー
		キューエイ
		近商ストア
		クイーンズ伊勢丹
		コモディイイダ
		サティ
		サニー
		サミット
		サンエー
		サンリブ
		三和
		ジャスコ
		成城石井
		セイフー
		西友
		そうてつローゼン
		ダイエー
		大丸ビーコック
		タイヨー
		タウンプラザかねひで
		つるかめ
		天満屋ハッピータウン
		東急ストア
		東部ストア
		トーホー
		とりせん
		長崎屋
		ニコニコ堂
		パロー
		阪急ニッショー
		フジ
		ベイシア
		平和堂
		マックスバリュ
		マミーマート
		マルエツ
		丸久
		マルキョウ
		マルショク
		マルナカ
		マルヤ
		丸和
		万代
		ヤオコー
		ヤマザワ
		ヤマナカ
		ユーストア
		ユニー
		ヨークベニマル

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
買物	スーパーマーケット	ヨークマート
		ヨシツヤ
		ライフ
	ドラッグストア	アイズドラッグストア
		イイズカ薬品
		いいのドラッグ
		ウィンダーランド
		ウエルシア
		ウェルパーク
		ウォンツ
		カワチ薬品
		キリン堂
		クスリのアオキ
		クスリのコダマ
		クスリのサンロード
		くすりの福太郎
		クリエイト
		コクミン
		コスモス薬品
		コメヤ薬局
		サッポロドラッグストア
		サンドラッグ
		ジップドラッグ
		シメノドラッグ
		スギ薬局
		セイジョー
		セキ薬品
		ダイコクドラッグ
		ダルマ薬局
		ツルハドラッグ
		トモズ
		ドラッグイレブン
		ドラッグスギヤマ
		ドラッグストアいわい
		ドラッグストアアサーバ
		ドラッグストア
		スマイル
		ドラッグストア
		バイゴー
		ドラッグストアモリ
		ドラッグセイムス
		ドラッグセガミ
		ドラッグてらしま
		ドラッグばばす
		ドラッグフジイ
		ドラッグユタカ
		ハックドラッグ
		ひまわり

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
買物	ドラッグストア	ヘルスバンク
		マツモトキヨシ
		マルエドラッグ
		ミドリ薬品
		メディコ21
		薬王堂
		ヤックスドラッグ
		よどやドラッグ
		龍生堂薬局
		レデイ薬局
	ディスカウントストア	ジェーソン
		ジャパン
		ダイレックス
		ドン・キホーテ
		ビッグ・エー
		ミスターマックス
	100円ショップ	SHOP99
	日用雑貨	東急ハンズ
		無印良品
	ホームセンター	アヤハディオ
		いない
		エンチャー
		OKホーム
		オージョイフル
		カーマ
		カインズホーム
		カンセキ
		グッデイ
		くろがねや
		ケーヨーデイツー
		コーナン
		コメリ
		サンコー
		サンデー
		サンワドー
		島忠
		ジュンテンドー
		ジョイ
		ジョイフル本田
		ジョイフル山新
		セキチュー
		ダイキ
		ダイシン
		ダイユーエイト
		ツルヤ
		ディック
		ドイト
		ナカイ
		ナフコ
		ビバホーム

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
買物	ホームセンター	ひらせいホームセンター
		ファミリーセンター
		タカヨシ
		ホームマック
		ホームセンター
		ムサシ
		ホームピック
		ホームワイド
		マルニ
		ミスタージョン
		本久デイツー
		ユーホー
		ロイヤル
		綿半
	スポーツ用品	アルベン
		ヴィクトリア
		ゴルフ5
		上州屋
		スポーツ
		オーソリティ
		スポーツデポ
		ゼビオ
		つるやゴルフ
		二本ゴルフ
		ポイント&ペグ
		本間ゴルフ
		ムラサキスポーツ
	衣料品	OUTLET-J
		アオキ
		青山
		アベイル
		アメリカ屋
		エフワン
		GAP
		ゴールウェイ
		コナカ
		サンキ
		ジーンズメイト
		チャンブル
		しまむら
		タカキュー
		バースデイ
		ハニーズ
		BEAMS
		はるやま
		フタタ
		マックハウス
		ユニクロ
		ライトオン



タグ表示	ジャンル名	ブランド名
買物	衣料品	ワークマン
	家電	エイデン
		ケースデンキ
		コジマ
		コスモスベリーズ
		さくらや
		サトームセン
		上新電機
		真電
		デオデオ
		デンキの
		ダイナマイト
		Denkodo
		ノジマ
		ビックカメラ
		100満ボルト
		ベスト電器
		マツヤデンキ
		ミドリ電化
		ヤマダ電機
		ヨドバシカメラ
		ラオックス
	携帯電話ショップ	ドコモショップ
		auショップ
		ソフトバンク
	CD・ビデオレンタル	TUTAYA
		ゲオ
	CD・ビデオ	
	書店	
	おもちゃ	トイザらス
		ハローマック
	文房具	
	家具・インテリア	
	ベビー用品	西松屋
	薬局・薬店	
	化粧品	
	めがね・コンタクト	
	くつ	
	かばん	
	時計	
	宝石・貴金属	
	パン	
	ケーキ・菓子	
	酒	
	食料品	肉
		青果
		魚
		米
		その他食料品
	特産物	

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
買物	朝市	
	地酒	
	伝統工芸品	
	民芸品	
	みやげ品	
	贈答用品	
	園芸品	
	花屋	
	手芸品	
	リサイクルショップ	
	パソコンショップ	
	釣り具・釣り餌	
	自転車	
	オートバイ	
	楽器店	
	レンタルショップ	
	市場	
	チケット販売	
	その他買物	
車	ガソリンスタンド	出光石油
		エッソ石油
		エネオス
		キグナス
		九州石油
		コスモ石油
		JA
		ジャパンエナジー
		昭和シェル石油
		ゼネラル石油
		太陽石油
		ホクレン
		三井石油
		モービル石油
	水素ステーション	
	駐車場	
	カー用品店	イエローハット
		オートアールズ
		オートウェイ
		オートウェーブ
		オートテック
		オートボックス
		オートハロース
		AUTOLAND
		カレスト
		グランドスラム
		クワハラ
		コクビット
		サンジョウ
		ジェームス
		タイヤガーデン

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
車	カー用品店	タイヤ館
		タイヤセレクト
		タイヤランド
		ドライバースタンド
		ファミリーユサ
		ミスタータイヤマン
		モンテカルロ
		山本無線
	カーディーラー	トヨタ
		トヨタカローラ
		トヨペット
		ネットトヨタ
		レクサス
		日産ブルーステージ
		日産レッド&ブルー ステージ
		日産レッドステージ
		ホンダ
		マツダ
		三菱
		スバル
		スズキ
		ダイハツ
		ヤナセ
		アルファロメオ
		アウディ
		BMW
		クライスラー
		GMDAT
		シトロエン
		フィアット
		フェラーリ
		フォード
		GM
		現代
		ジャガー
		ランドローバー
		メルセデスベンツ
		MINI
		オペル
		ブジョー
		ベントレー
		ボルシェ
		マセラティ
		ランボルギーニ
		ルノー
		シュテルン
		フォルクスワーゲン
		VOLVO
		ロータス

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
車	カーディーラー	ロールスロイス
	中古車販売・買取	
	自動車整備工場	
	交通教育センター	
	JAF	
	ロードサービス	
	交通情報センター	
	運転免許センター	
	運転代行サービス	
	洗車業	
	レンタカー	オリックス レンタカー
		ジャパレン
		トヨタレンタリース
		日産レンタカー
		ニッポンレンタカー
		マツダレンタカー
	その他車	
交通	JR駅	
	私鉄駅	
	地下鉄駅	
	空港	
	港	
	フェリータミナル	
	道の駅	
	IC	
	SA・PA	
観光 宿泊	ホテル	
	ビジネスホテル	
	旅館	
	民宿	
	ペンション	
	公共の宿	
	ブティックホテル	
	祭事	
	名所・旧跡	
	城・城跡	
	生物観察スポット	
	花の名所	
	音の名所	
	ビュースポット	展望ポイント
		タワー・展望施設
		夜景の名所・ ライトアップ
		夕日・夕焼けの ビューポイント
		初日の出 ビューポイント
		名山・山岳の ビューポイント
		ビューポイント



タグ表示	ジャンル名	ブランド名
観光 宿泊	ビュースポット	星の観察 天文台
	観光スポット	
	百選	名水百選 名木百選 都市公園百選 渚百選 白砂青松百選 名滝百選 桜の名所百選 かおり風景百選 森林浴の森百選
	観光船	
	遊覧飛行船	
	リフト・ロープウェイ	
	果実狩り	
	牧場・農場・農園	
	工場見学	
	巡礼めぐり	北海道三十三観音 津軽三十三観音 奥州三十三観音 最上三十三観音 会津三十三観音 関東八十八カ所 板東三十三観音 秩父三十四観音 武蔵野三十三観音 安房三十四観音 鎌倉三十三観音 信濃三十三観音 伊豆横道三十三観音 尾張三十三カ所 西国三十三観音 洛西三十三カ所 中国三十三観音 出雲三十三観音 四国巡礼八十八ヶ所 九州西国観音巡礼
	観光案内	
	遊園地	
	水族館	
	動物園	
	サファリパーク	
	植物園	
	温泉	
	サウナ・健康センター	
	キャンプ場	
	海水浴場・海岸	
	海洋・海洋公園	
	レジャー公園	
趣味 娯楽		

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
趣味 娯楽	公園・緑地	
	ボウリング	
	映画館	
	ゲームセンター	
	カラオケ	
	釣り	磯釣り 海釣り公園 防波堤釣り 船釣り・渡釣り 溪流釣り 築場 釣り堀・管理釣り場 湖沼釣り・穴釣り
	パチンコ・スロット	
	競馬場・WINS	
	競艇・競輪・オートレース	
	その他レジャー	
文化	美術館	
	博物館	
	資料館	
	図書館	
	ホール・劇場	
	プラネタリウム	
	神社	
	寺	
	協会	
	その他文化施設	
スポーツ	スキー場	
	スケート場	
	ゴルフ場	
	ゴルフ練習場	
	プール	
	テニスコート	
	陸上競技場	
	野球場	
	体育館	
	武道館・道場	
	サーキット場	
	オフロード場	
	マウンテンバイクコース	
	サイクリングコース	
	スノーモービル	
	フィールドアーチェリー	
	マリンスポーツ	
	マリナー・ヨットハーバー	
	スポーツクラブ	
	スポーツ教室	

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
スポーツ	その他スポーツ	
公共	役所	
	裁判所	
	法務局	
	税務署	
	保健所	
	社会保険事務所	
	大使館・領事館	
	警察署	
	交番・駐在所	
	トイレ	
	マスコミ	
	郵便局	
	その他公共施設	
	病院一般	
	病院(総合病院)	
	病院(内科)	
	病院(外科)	
	病院(胃腸科・消化器科)	
	病院(眼科)	
	病院(皮膚科)	
	病院(小児科)	
	病院(耳鼻咽喉科)	
	病院(歯科)	
	病院(産婦人科)	
	動物病院	
	その他病院・医療機関	
	都市銀行	埼玉りそな銀行
		みずほ銀行
		三井住友銀行
		三菱東京UFJ銀行
		りそな銀行
	地方銀行	愛知銀行
		青森銀行
		秋田銀行
		足利銀行
		阿波銀行
		池田銀行
		茨城銀行
		伊予銀行
		岩手銀行
		愛媛銀行
		大分銀行
		大垣共立銀行
		沖縄海邦銀行
		沖縄銀行
		香川銀行
		鹿児島銀行
		神奈川銀行
		関西アーバン銀行

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
公共	地方銀行	関東つくば銀行
		北日本銀行
		岐阜銀行
		紀陽銀行
		京都銀行
		近畿大阪銀行
		熊本ファミリー銀行
		群馬銀行
		京葉銀行
		高知銀行
		西京銀行
		佐賀共栄銀行
		佐賀銀行
		札幌銀行
		山陰合同銀行
		滋賀銀行
		四国銀行
		静岡銀行
		静岡中央銀行
		七十七銀行
		島根銀行
		清水銀行
		十八銀行
		十六銀行
		荘内銀行
		常陽銀行
		殖産銀行
		親和銀行
		スルガ銀行
		泉州銀行
		仙台銀行
		大光銀行
		第三銀行
		第四銀行
		大正銀行
		大東銀行
		但馬銀行
		筑邦銀行
		千葉銀行
		千葉興業銀行
		中京銀行
		中国銀行
		東京スター銀行
		東京都民銀行
		東邦銀行
		東北銀行
		東和銀行
		徳島銀行
		栃木銀行
		鳥取銀行



タグ表示	ジャンル名	ブランド名
公共	地方銀行	トマト銀行
		富山銀行
		富山第一銀行
		長崎銀行
		長野銀行
		名古屋銀行
		南都銀行
		西日本シティ銀行
		八十二銀行
		東日本銀行
		肥後銀行
		百五銀行
		百十四銀行
		広島銀行
		びわこ銀行
		福井銀行
		福岡銀行
		福岡中央銀行
		福島銀行
		福邦銀行
		豊和銀行
		北越銀行
		北都銀行
		北洋銀行
		北陸銀行
		北海道銀行
		北國銀行
		三重銀行
		みちのく銀行
		みなと銀行
		南日本銀行
		宮崎銀行
		宮崎太陽銀行
		武蔵野銀行
		もみじ銀行
		八千代銀行
		山形銀行
		山形しあわせ銀行
		山口銀行
		山梨中央銀行
		横浜銀行
		琉球銀行
	信用金庫	
	証券会社	
	その他金融機関	シティバンク
		新生銀行
		住友信託銀行
		中央三井信託銀行
		みずほ信託銀行
		三菱UFJ信託銀行

タグ表示	ジャンル名	ブランド名
公共	大学・短大	
	高校・高专	
	中学校	
	小学校	
	幼稚園	
	保育園	
	学童保育所・児童館	
	予備校	
	コンピューター学校	
	自動車学校	
	その他学校・教育施設	
	塾・進学教室	
	そろばん教室	
	幼児教室	
	英会話・外国語	
	スクール	
	パソコン教室	
	カルチャーセンター	
	音楽・ピアノ教室	
	ダンス教室	
	着付教室	
	書道教室	
	華道教室	
	その他教養施設	
その他	美容院	
	理容店	
	ベット	
	クリーニング	
	写真・カメラ	
	結婚式場	
	葬祭	
	霊園・墓地	
	住宅展示場	
	エステティック	
	不動産	
	高齢者福祉施設	
	ペットショップ	
	ペットホテル	
	ペット美容室	
	その他ペット関連	
	その他	

[illegible]

[illegible]

基本操作

サウンド・映像編

サウンド・映像モードのON/OFF	206
サウンド・映像モードをONにする	206
サウンド・映像モードをOFFにする	206
モードを切りかえる	207
各モードの操作画面	208
音量の調整	210

サウンド・映像モードのON/OFF

本機は、ナビゲーション画面を表示中も、選択したサウンド・映像モードの音声出力されます。サウンド・映像モードをOFFにして音声を消したり、ONにしてマルチゲート画面でナビ案内画面を見ながらDVDの映像と音声を楽しんだりすることができます。

サウンド・映像モードをONにする

サウンド・映像モードをONにするには、以下のいずれかの操作を行います。

CD/DVDディスクを挿入してONにする

- 1 CD/DVDディスクを挿入します。

メニューからONにする

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。



サウンド・映像画面が表示されます。

- 2 いずれかのモードにタッチします。

<画面例 (VIE-X075B1)>



- 接続や設定により、表示は異なります。

地図画面から切りかえる

- 1 地図画面で、**サウンド・映像** にタッチします。



サウンド・映像モードのメイン画面に切りかわります。

アドバイス

- マルチインフォメーション画面では、**サウンド・映像** は表示されません。

サウンド・映像モードをOFFにする

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**AV OFF** にタッチします。
AV OFF スイッチがオレンジ色になり、サウンド・映像モードの音声/映像共に出力されなくなります。

モードを切りかえる

「サウンド・映像」画面では、いずれかのモードスイッチにタッチするとCD、ラジオなどのオーディオモードや設定画面に切りかえることができます。

- 1 **メニュー/PWR**スイッチを押した後、**サウンド・映像**にタッチします。
サウンド・映像画面が表示されます。

- 2 いずれかのモードスイッチにタッチします。

<画面例(VIE-X075B1)>



- 接続や設定により、表示は異なります。

- 3 表示される画面にしたがって操作します。

各モードの操作画面

各モードの操作画面は、次のように表示されます。

■ ラジオ画面



■ SD AUDIO画面



■ HDD AUDIO画面



■ iPod画面



■ CD画面



■ DVD操作画面



■ MP3/WMA/AAC画面



■ ビデオCD操作画面

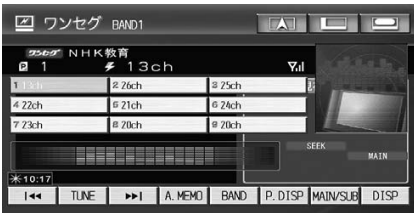




■ DivX[®]操作画面



■ ワンセグ操作画面



■ 地上デジタルテレビ操作画面



■ 外部DVDプレイヤー操作画面

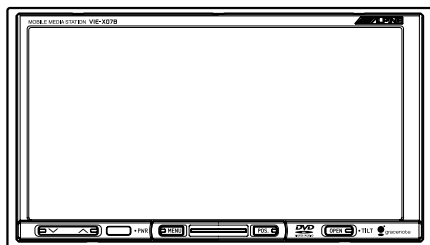


🔊 アドバイス

- 映像ソース(DVD、ワンセグなど)モードでは、走行中は映像は表示されません。

音量の調整

- 1  スイッチまたは 
スイッチを押します。



- 調整レベルは0～35です。



音量が大きくなります。



音量が小さくなります。



音量調整表示

🔊 アドバイス

- ナビゲーションの案内音量はわかりません(「案内音量を調整する」55ページ参照)。
- ナビゲーション音声案内割り込み中に、オーディオ音量を調整すると、その音量が音声案内割り込み時のオーディオ音量として設定されます。
設定しておくと、ナビゲーション音声案内割り込み時に、自動的にその設定したオーディオ音量値と割り込み画面になり、割り込みが解除されると、もとのオーディオ音量と画面に戻るようになります。
但し、設定した値より小さいオーディオ音量で聞いていた時に割り込みが入ると、割り込み時のオーディオ音量は、その小さいオーディオ音量に再設定されます。(ナビゲーション音声案内が割り込まれた場合、割り込む前のオーディオ音量より大きくなる事はありません)
- 本機では、DVDモード時の音量レベルは他のソースとは別に記憶されます。DVD以外のソースからDVDモードに切りかえると、最後にDVDモードで記憶した音量に自動的に切りかわります。

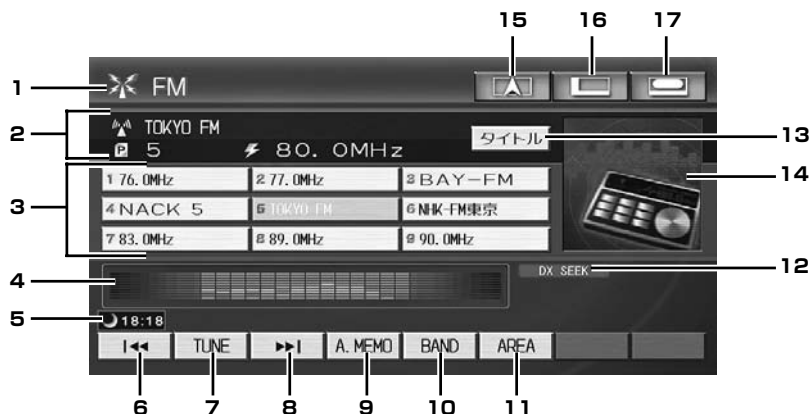
ラジオ操作

サウンド・映像編

画面の見かた	212
ラジオを聴く	213
聴きたい放送局を選ぶ	214
放送局を選ぶ	214
プリセットスイッチから選ぶ	214
放送局を記憶する	215
手動で記憶する	215
自動で記憶する(オートメモリー)	215
エリアで選局して設定する(エリアコール)	215
放送局にタイトルをつける	216
交通情報を受信する	217

画面の見かた

ラジオの受信画面は、以下のように表示されます。



1. BAND表示

受信しているBAND (FMまたはAM)が表示されます。

2. 放送局表示

上段に受信している放送局名が表示されます。下段にプリセットNo.とその周波数が表示されます。放送局名がない場合は、NO TITLEと表示されます。

3. プリセットスイッチ

記憶されている放送局名を表示します。タッチすると放送局を呼び出します。タッチし続けると、受信している放送局をそのスイッチに記憶します。放送局名がない場合は、周波数が表示されます(「プリセットスイッチから選ぶ」214ページ、「手動で記憶する」215ページ参照)。

4. スペアナ表示

音をデジタル表示で表現します。表示をOFFに設定することもできます。(「スペアナ表示を設定する」36ページ参照)。

5. 時計表示

6. ◀◀ / ◀◀

低い周波数に変更します。(「聴きたい放送局を選ぶ」214ページ参照)。

7. TUNE

チューニングモードを切りかえます(「放送局を選ぶ」214ページ参照)。

8. ▶▶ / ▶▶

高い周波数に変更します。(「聴きたい放送局を選ぶ」214ページ参照)。

9. A.MEMO

放送局を自動でプリセットスイッチに記憶します(「自動で記憶する(オートメモリー)」215ページ参照)。

10. BAND

ラジオのBAND (FM/AM)を切りかえます。

11. AREA

自車位置のエリアで受信可能な放送局を自動で設定します(「エリアで選局して設定する(エリアコール)」215ページ参照)。

12. 状態表示

A.MEMOのときは「A.MEMO」と表示します。スペアナ表示がOFF設定時は、画面左側に表示されます。

13. タイトル

タイトル編集画面が表示されます(「放送局にタイトルをつける」216ページ参照)。

14. イメージ表示

ラジオモード画像が表示されます。

15. ▲

タッチすると地図画面に切りかわります。



携帯電話通話中のみ表示されます。タッチすると通話画面を表示します。

16. □

マルチインフォメーション画面が表示されます(「マルチインフォメーション画面」29ページ参照)。

17. □

マルチゲート画面が表示されます(「マルチゲート画面」26ページ参照)。

ラジオを聴く

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、
サウンド・映像 にタッチします。

- 2 **FM/AM** にタッチします。

<画面例>



ラジオ画面を表示し、最後に聞いていた放送局を受信します。

- 3 **BAND** にタッチし、バンドを選びます。



タッチするたびに「FM→AM→FM・・・」とバンドが切りかわります。

聴きたい放送局を選ぶ

放送局を選ぶ

- 1 ラジオ画面で **TUNE** にタッチしてチューニングモードを選びます。

TUNE をタッチすることにより、**◀◀**、**▶▶** 表示がかわります。



- 2 **◀◀**、**▶▶** または **◀◀**、**▶▶** にタッチして、聴きたい放送局(周波数)をさがします。

🔊 アドバイス

- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。
- 初期設定はディスタンスモードに設定されています。
 - ディスタンスモードのとき
受信可能な放送局を自動的に受信します。(自動選局)
 - ローカルモードのとき
電波の強い放送局だけを自動的に受信します。(自動選局)
 - マニュアルモードのとき
1段階ずつ周波数が変わります。(手動選局)
タッチし続けると、連続で変化します。

プリセットスイッチから選ぶ

あらかじめ記憶(プリセット)されている放送局を受信します。

- 1 ラジオ画面で、記憶されている放送局のプリセットスイッチにタッチします。



- 放送局をプリセットスイッチに記憶させる操作については、「放送局を記憶する」(215ページ)を参照してください。

放送局を記憶する



手動で記憶する

- 1 記憶させたい放送局に周波数を合わせます。
- 2 記憶させたいプリセットスイッチに操作音があるまでタッチし続けます。



タッチしたプリセットスイッチに放送局が記憶されます。

アドバイス

- すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

自動で記憶する(オートメモリー)

- 1 ラジオ画面で **A.MEMO** にタッチします。



「A.MEMO」が表示され、自動的に選局を始めます。自動選局が終了すると、プリセットスイッチに記憶されます。

- A.MEMOの起動中にもう一度 **A.MEMO** にタッチするとA.MEMOは解除されます。

アドバイス

- 受信電波の弱い地域では、A.MEMOでの自動受信ができませんことがあります。受信できなかった場合は、オートメモリー前の状態に戻ります。
- 同じ放送局からの受信でも、手動で記憶した周波数とA.MEMOで記憶した周波数は一致しないことがあります。
- A.MEMOを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信感度のよい放送局を周波数の低い順にAM9局、FM9局まで自動的に記憶されます。

エリアで選局して設定する(エリアコール)

自転車位置のエリアで受信可能な放送局の中から、電界強度が強いと推定される9局を自動で選択して設定することができます。

- 1 ラジオ画面で **AREA** にタッチします。



自転車位置で受信可能な放送局9局が設定されます。

- **AREA** がオレンジ色の選択された状態になります。

- 2 エリアコールを解除するには、再度AREAにタッチします。

アドバイス

- エリアコール中は、手動で放送局を記憶することはできません。

放送局にタイトルをつける

受信中の放送局に好みのタイトルをつけることができます。

- 1 放送局を受信中、ラジオ画面で **タイトル** にタッチします。



タイトル編集画面が表示されます。

- 2 お好みのタイトルを編集します。



- タイトル入力画面の操作については、「文字・数字の入力方法」(33ページ)を参照してください。



アドバイス

- タイトルは全角12文字まで入力できます。
- 最大50局(FM/AM合わせて)まで、タイトルをメモリーできます。

交通情報を受信する



- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

- 2 **交通情報** にタッチします。



あらかじめセットされているAM 放送の1620kHzの交通情報を受信します。



- 1629kHzで交通情報を行っている地域では、**1629kHz** にタッチして周波数を変更してください。

- 3 解除するには、**戻る** にタッチします。
サウンド・映像画面が表示され、交通情報を受信する前のモードに戻ります。

CD/MP3/WMA/AAC操作

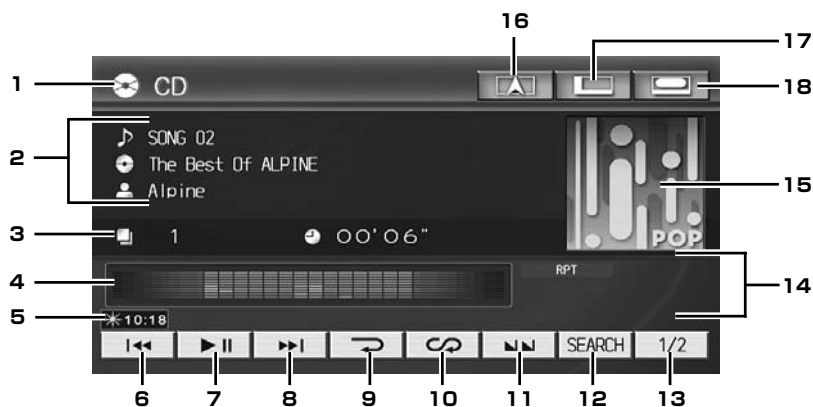
サウンド・映像編

画面の見かた	220
CD/MP3/WMA/AACを聴く	223
聴きたい曲(ファイル)を選ぶ	224
ソングサーチ(CDの場合)	224
フォルダ/ファイルサーチ(MP3/WMA/AAC)	224
フォルダを選ぶ(MP3/WMA/AACの場合)	225
早送り・早戻しする	226
曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)	227
CDの場合	227
MP3/WMA/AACの場合	227
曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)	228
CDの場合	228
MP3/WMA/AACの場合	228
繰り返し聴く REPEAT(リピート)	229
CDの場合	229
MP3/WMA/AACの場合	229
MP3/WMA/AACについて	230

画面の見かた

CD、MP3/WMA/AACの再生画面は、以下のように表示されます。

■ CD操作画面1/2



■ CD 操作画面2/2



■ MP3/WMA/AAC操作画面 1/2



■ MP3/WMA/AAC操作画面2/2



1. メディア名表示

2. 曲名/アルバム名/アーティスト名表示

再生している曲名が上段に、アルバム名が中段に、アーティスト名が下段に表示されます。

3. トラックNo./演奏経過時間表示

再生している曲のトラックNo.と演奏経過時間が表示されます。

4. スペアナ表示

音をデジタル表示で表現します。表示をOFFに設定することもできます。(「スペアナ表示を設定する」36ページ参照)。

5. 時計表示

6. ⏮

再生している曲の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲の頭出しをします(「聴きたい曲(ファイル)を選ぶ」224ページ参照)。タッチし続けると、再生している曲を早戻しします(「早送り・早戻しする」226ページ参照)。

7. ⏸

再生している曲を一時停止します。再度タッチすると再生を再開します。

8. ⏭

次の曲に進みます(「聴きたい曲(ファイル)を選ぶ」224ページ参照)。タッチし続けると、再生している曲を早送りします(「早送り・早戻しする」226ページ参照)。

9. 🔁

繰り返し(リピート)再生します(「繰り返し聴く REPEAT(リピート)」229ページ参照)。

10. 🔀

M.I.X.(ミックス)再生します(「曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)」228ページ参照)。

11. 🔍

スキャン再生します。曲を10秒間ずつ再生します(「曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)」227ページ参照)。

12. SEARCH

サーチモードになります(「ソングサーチ(CDの場合)」224ページ、「フォルダ/ファイルサーチ(MP3/WMA/AAC)」224ページ参照)。ACC ONまたはディスク挿入後しばらくは、タッチできない場合があります。

13. 1/2

操作画面を切りかえます。

14. 状態表示

再生モード(SCAN(スキャン再生)、M.I.X.(ミックス再生)、RPT(リピート再生))の状態が表示されます。

15. イメージ表示

再生しているCDのジャンルのイメージ画像が表示されます。ジャンル情報がない場合は、各モード画像が表示されます。

16.  タッチすると地図画面に切りかわります。
-  携帯電話通話中のみ表示されます。タッチすると通話画面を表示します。
17.  マルチインフォメーション画面が表示されます（「マルチインフォメーション画面」29ページ参照）。
18.  マルチゲート画面が表示されます（「マルチゲート画面」26ページ参照）。
19.  再生している曲をHDDに録音します。
-  録音中にタッチすると、録音を停止します。

20.  操作画面を切りかえます。
21. **フォルダNo./ファイルNo./演奏経過時間表示**
再生している曲のフォルダNo./ファイルNo.と演奏経過時間が表示されます。
22.  前のフォルダに戻ります（「フォルダを選ぶ（MP3/WMA/AACの場合）」225ページ参照）。
23.  次のフォルダに進みます（「フォルダを選ぶ（MP3/WMA/AACの場合）」225ページ参照）。

CD/MP3/WMA/AACを聴く

CDやMP3/WMA/AACデータが記録されたディスクを内蔵プレーヤーに挿入して、音楽を聴きます。MP3/WMA/AACを再生する場合は、「圧縮ファイルモードを設定する」(298ページ)を「音楽」に設定してください。

1 ディスクを本機に挿入します。

自動的にディスプレイが閉まり、再生が始まります。

- ディスクの出し入れの方法については、「DVD、CD、SDメモリーカードの出し入れ」(22ページ)を参照してください。
- MP3/WMA/AACファイルを再生すると、「MP3」「WMA」「AAC」のいずれかが表示されます。

2 すでにディスクが入っている場合や、CD/MP3/WMA/AAC操作画面を表示する場合は、**メニュー/PWR**スイッチを押した後、**サウンド・映像**にタッチし、**DVD/CD**にタッチします。

3 再生を一時停止するには **▶||** にタッチします。

再度 **▶||** にタッチすると再生を再開します。

🔊 注意

- ディスプレイの開閉時や各ディスクを出し入れするときは、変速レバーなどにぶつからないように注意してください。
- ディスプレイを開いたままにしないでください。故障や事故の原因になります。
- レーベル面を上にして挿入してください。
- ディスクを挿入するとき、ディスプレイなどに干渉しないように注意してください。

🔊 アドバイス

- 内蔵のCD/DVDプレーヤーでCDディスクを再生した場合、ハードディスクに収録されているGracenoteデータベースから検索したアルバム名やアーティスト名、曲名、ジャンル名などのタイトル情報を表示することができます。
- 録音設定の「自動録音」を「する」に設定している場合(初期設定値は「する」)は、CDを挿入すると同時にHDD(ハードディスク)への録音が始まります(録音できないCDもあります)。「HDDへ録音する」(237ページ参照)。自動録音をしたくない場合は、設定を「しない」に変更してください。
- 音楽データ(CD-DA)とMP3/WMA/AACデータを再生することができます。
- 音楽データ(CD-DA)とMP3/WMA/AACデータが混在するディスクでは、ファーストセッションがCD-DAの場合はCD-DAのみを再生し、ファーストセッションがMP3/WMA/AACの場合はMP3/WMA/AACのみを再生します。
- 本機で再生できるMP3/WMAは、ISO9660 level1またはlevel2フォーマットで記録されたディスクのみです。詳しくは、「MP3/WMA/AACについて」(230ページ)を参照してください。
- ディスクにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。
- MP3/WMA/AACのディスクは、再生が始まるまで時間がかかる場合があります。
- MP3/WMA/AACデータとフォルダ数を合わせて1,024を超えるディスクの再生には対応していません。
- CD、DVDが取り出せないとき(噛み込みなど)は、**開/閉/TILT**スイッチを3秒以上押してください。ディスクが押し出されます。
- DRM(著作権管理Digital Rights Management)システムのファイルは再生できません。
- シングルCD(8cmCD)はそのまま使用できますので、アダプター無しで挿入してください。

聴きたい曲(ファイル)を選ぶ

聴きたい曲(ファイル)の頭出しをします。

1 CD/MP3/WMA/AACの再生画面で

◀◀ または **▶▶** にタッチし、聴きたい曲(ファイル)を選びます。



- **◀◀** にタッチすると、再生している曲(ファイル)の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲(ファイル)の頭出しをします。
- **▶▶** にタッチすると、次の曲(ファイル)に進みます。

ソングサーチ(CDの場合)

曲名のリストを表示させて、曲を選びます。

1 CDの再生画面で **SEARCH** にタッチします。



2 リストの中から聴きたい曲名(ファイル名)にタッチします。



選択した曲が再生されます。

- 曲名(ファイル名)がない場合は、NO TITLEと表示されます。
- CDの場合、ハードディスクに収録されているGracenoteデータベースにタイトル情報が複数あるときは、MULTI HITと表示されます。

④ アドバイス

- リストに表示されるアイコンは次のとおりです。
 - : 本機HDDに録音されている曲
 - : 本機HDDに録音中の曲
 - : 再生中の曲
 - : 録音に失敗した曲
- ACC ONまたはディスク挿入後しばらくは、**SEARCH** にタッチできない場合があります。

フォルダ/ファイルサーチ(MP3/WMA/AAC)

1 MP3/WMA/AAC操作画面で

SEARCH にタッチします。
フォルダサーチ画面が表示されます。

フォルダサーチ

2 希望のフォルダの **▶** にタッチします。



選択したフォルダの1曲目が再生されます。

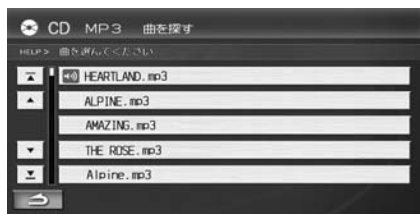
ファイルサーチ

2 希望のファイルが収録されているフォルダ名称にタッチします。



ファイルサーチ画面が表示されます。

3 希望のファイル名称にタッチします。



選択したファイルが再生されます。

フォルダを選ぶ(MP3/WMA/AACの場合)

MP3/WMA/AACで記録されたディスクは、フォルダ単位で選ぶことができます。フォルダ名がディスクに記録されているときは、フォルダ名も表示されます。

1 MP3/WMA/AACの再生画面で

▼FLDR または **FLDR▲** にタッチし、聴きたいファイルが収録されているフォルダを選びます。



選択したフォルダの1つ目のファイルが再生されます。

- **▼FLDR** にタッチすると、前のフォルダに戻ります。
- **FLDR▲** にタッチすると、次のフォルダに進みます。
- フォルダの設定がされていない1つ以上のファイルは、1つのフォルダとして再生されます。
- ファイル/フォルダの再生順については、「MP3/WMA/AACファイル、フォルダの演奏順について」(231ページ)を参照してください。

🔊 アドバイス

- フォルダを選択した後、**⏮** または **⏭** にタッチすると、同じフォルダ内の次のファイル、または再生しているファイルの頭から再生することができます。

早送り・早戻しする

再生中の曲を早送り、または早戻しすることができます。

- 1 CD/MP3/WMA/AACの再生画面で
⏮ または **⏭** にタッチし続けます。



スイッチから指を離すまで早送り(早戻し)します。

- **⏮** にタッチし続けると、早戻しします。
- **⏭** にタッチし続けると、早送りします。

アドバイス

- 1 曲目の先頭まで早戻しすると、通常再生になります。

曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)

再生中のディスクの曲のイントロ部分だけを聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

CDの場合

- 1 CD再生画面で **NN** にタッチします。



全曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。

- 2 聴きたい曲が見つかったら、もう一度 **NN** にタッチします。
その曲の再生を続けます。

アドバイス

- すべての曲のスキャンが終了してもそのままスキャン再生を続けます。**NN** にタッチして解除してください。
- M.I.X.またはREPEAT演奏中にSCANモードにすると、M.I.X./REPEATモードは解除されます。

MP3/WMA/AACの場合

- 1 MP3/WMA/AACの再生画面で **1/2** にタッチします。
- 2 **NN** にタッチします。



全曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。

- 3 聴きたい曲が見つかったら、もう一度 **NN** にタッチします。
その曲の再生を続けます。

アドバイス

- すべての曲のスキャンが終了してもそのままスキャン再生を続けます。**NN** にタッチして解除してください。
- M.I.X.またはREPEAT演奏中にSCANモードにすると、M.I.X./REPEATモードは解除されます。

曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)

再生中のディスクの曲を順不同に聴くことができます。

CDの場合

- 1 CD再生画面で  にタッチします。



順不同に曲が再生されます。

- ディスク内のすべての曲の再生が終了しても、ミックス再生が解除されるまでミックス再生を継続します。
- 2 解除するには、もう一度  にタッチします。

🔊 アドバイス

- SCANまたはREPEAT演奏中にM.I.X.モードにすると、SCAN/REPEATモードは解除されます。

MP3/WMA/AACの場合

- 1 MP3/WMA/AACの再生画面で **1/2** にタッチします。
- 2  にタッチします。



-  にタッチするたびに、M.I.X.モードがかわります。
M.I.X. FOLDER→M.I.X.→(OFF)→
M.I.X. FOLDER
M.I.X. FOLDER: フォルダ内のみを対象に順不同に演奏します。
M.I.X. : ディスク内の曲を順不同に演奏します。

- 3 解除するには、M.I.X.モードが解除するまで  にタッチします。

🔊 アドバイス

- SCANまたはREPEAT演奏中にM.I.X.モードにすると、SCAN/REPEATモードは解除されます。

繰り返し聴く REPEAT(リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し聴くことができます。

CDの場合

- 1 再生中に  にタッチします。



再生中の曲が繰り返し再生されます。

- 2 解除するには、もう一度  にタッチします。

アドバイス

- SCANまたはM.I.X.演奏中にREPEATモードにすると、SCAN/M.I.X.モードは解除されます。

MP3/WMA/AACの場合

- 1 MP3/WMA/AACの再生画面で **1/2** にタッチします。
- 2 再生中に  にタッチします。



-  にタッチするたびに、REPEATモードがかわります。

RPT→RPT FOLDER→(OFF)→RPT

RPT : 1曲のみを繰り返し演奏します。

RPT FOLDER : フォルダ内の曲のみを対象に繰り返し演奏します。

- 3 解除するには、REPEATモードが解除するまで  にタッチします。

アドバイス

- SCANまたはM.I.X.演奏中にREPEATモードにすると、SCAN/M.I.X.モードは解除されます。

MP3/WMA/AACについて

① 注意

- 個人で楽しむ以外は、オーディオデータ(MP3/WMA/AACデータ含む)を著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

MP3とは？

正式には「MPEG-1 Audio Layer3」といい、国際標準化団体のISOとIECの共同活動機関であるMPEGが定めた圧縮規格です。

MP3は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。また、CDクオリティに近い音質を実現しても約1/10の圧縮率を得ることができます。(サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsの場合)

このような高圧縮率を実現しているMP3フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

WMAとは？

正式には「Windows Media™ Audio」と言い、音声データを圧縮する方式です。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約半分)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにCD同等の音質を保ちます。

AACとは？

AACとは「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮の基本フォーマットです。本機ではiTunes®AACファイル(著作権保護されていない)のみ対応しています。

※ iPodおよびiTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。

ファイルの規格について

● 対応規格

MP3 :
MPEG-1 Audio Layer Ⅲ
MPEG-2 Audio Layer Ⅲ
MPEG-2.5
WMA : Ver7

● 対応サンプリング周波数

MP3 : 8kHz~48kHz
WMA : 8kHz~48kHz
AAC : 8kHz~48kHz

● 対応ビットレート

MP3 : 8kbps~320kbps
WMA : 8kbps~320kbps
AAC : 16kbps~320kbps
※ VBRに対応しています。
※ フリーフォーマットには対応していません。
※ MPEG1、2、2.5でビットレートが異なります。
※ 低ビットレートのMP3/WMA/AACファイル再生時は、十分な音質が得られない場合があります。

ID3タグ/WMAタグについて

ID3タグは、ID3 Tag v1.0、v1.1、v2.2、v2.3、v2.4とRIFF、SIFに対応しています。ただし、v2.xとRIFF、SIFは共存できません。

MP3/WMA/AACファイルにタグ情報が入っていれば、タイトル名(曲名)、アーティスト名、アルバム名のタグ情報を表示できます(最大64文字)。

MP3/WMA/AACを作成するには

MP3/WMA/AACファイルを用意し、ライティングソフトを利用して、CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWメディアに書き込みます。

- 本機で認識できるフォルダ数の上限
256個
- 本機で認識できるフォルダ階層数の上限
8階層
- 本機で再生可能なファイル数の上限
1024個※

※ DivX®のファイル数も含みます。
ルートフォルダ(384ページ「用語説明」参照)も1個のファイルとして数えます。

② アドバイス

- 収録ファイル数が多いと動作開始まで時間がかかります。そのような場合には、ファイル数を少なくしてディスクを作成してください。

使用できるメディアについて

再生できるメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RWです。
なお、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズをつけたときは、再生できない場合や音飛びする場合があります。

使用できるディスクのフォーマットについて

ISO9660レベル1、レベル2でフォーマットされたディスクに対応しています。

ISO9660規格では、フォルダのディレクトリ階層(最大8階層)やフォルダ/ファイル名の文字数、フォルダ/ファイル名で使用する文字(A～Z、0～9、_(アンダスコア)、日本語(シフトJIS(ただし、シフトJISには非対応文字も存在します)などの制限があります。

また、JolietなどのISO9660準拠であれば、再生は可能です。ただし、ファイル名/フォルダ名などは正しく表示されない場合があります。

日本語を含むフォルダ名/ファイル名を使用することもできますが、この場合はJoliet形式(Microsoft社が提唱しているCD-Rの論理フォーマット)で書き込まないと認識できない場合があります。

ファイル名について

本機で再生可能なMP3ファイルの拡張子は“mp3”です。WMAファイルの拡張子は“wma”です。(WMAはVer.2,7,8,9に対応)AACファイルの拡張子は“aac”、“m4a”、“mp4”です。

マルチセッションについて

マルチセッションには対応しておりません。

“Track at once”で書き込んだ場合、クローズセッションや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

MP3/WMA/AACの再生について

MP3/WMA/AACファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMA/AACファイルを再生します。ファイルをチェックしている間は、音は出ません。

MP3/WMA/AACの再生時間表示について

MP3/WMA/AACファイルの書き込み状況により、再生時間が一致しないことがあります。

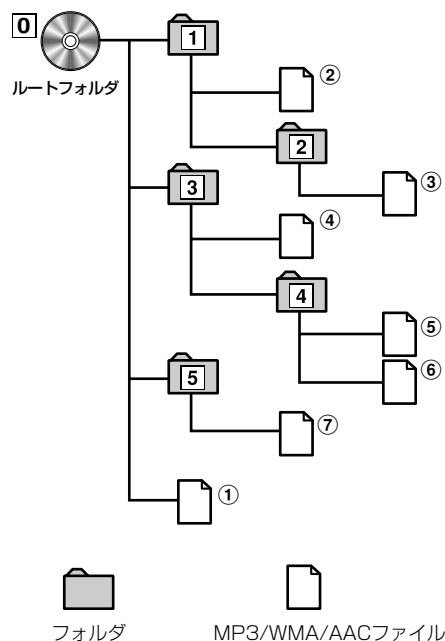
VBRのFAST UP/DOWN動作をすると再生時間が一致しないことがあります。

MP3/WMA/AACファイル、フォルダの演奏順について

演奏される順番

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

下図のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでの演奏順は次の通りです。(実際に表示される番号ではありません)



HDD AUDIO操作

サウンド・映像編

HDDをご使用になる前に	234
HDDについて	234
データベースについて	234
Gracenote®エンド ユーザー使用許諾契約書	234
録音について	236
HDDへ録音する	237
自動で録音する	237
手動で録音する	237
画面の見かた	238
HDDの曲を聴く	240
聴きたい曲を選ぶ	241
早送り・早戻しする	242
聴きたい曲を探す	243
ダイレクトアップ/ダウン機能	244
曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)	245
曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)	246
再生中のジャンル/アーティスト/アルバムの曲を ミックスする	246
HDD内全ての曲をミックス再生する	246
繰り返し聴く REPEAT(リピート)	247
プレイリストの編集	248
プレイリストを作成する	248
HDDの曲をプレイリストへ登録する	248
プレイリスト名称を編集する	249
曲を並べかえる	249
プレイリストを移動する	250
消去する	250
HDDの編集	253
アルバム情報を編集する	253
曲を並べかえる	256
消去する	256
タイトル情報を取得する	258
リストを表示して取得する	258
ダウンロードして取得する	258
設定	259
設定操作	259
HDD AUDIO設定	259

HDDをご使用になる前に

HDDについて

CDで再生している音楽の音声を本機のHDD(ハードディスク)へ録音することができます。

※1曲あたり128kbps、4分の曲を録音すると約2,000曲録音できます。

録音時間や録音モードによって、作成できるアルバム数、録音可能な曲数は異なります。

HDDへ録音された音楽は、聴きたい曲やアルバム、アーティストごとに選択して再生したり、お好みの曲を「プレイリスト」に登録/編集することができます。

データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバムをHDDに録音した場合は、ハードディスクに収録されているGracenoteデータベースから、アルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトルを検索し、録音した音楽データに自動で付与します。

本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote 音楽認識サービスのデータベース情報を使用しています。

Gracenote音楽認識サービスについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote® 社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.comをご覧ください。

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote® により提供されます。Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。

詳細については、次のWebサイトをご覧ください：www.gracenote.com

GracenoteからのCDおよび音楽関連データ：Copyright (c) 2000 - 2007 Gracenote.

Gracenote Software: Copyright (c) 2000 - 2007 Gracenote.

この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。

一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe, Inc. から提供されました。

GracenoteおよびCDDBIはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenote の商標です。

Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください：www.gracenote.com/corporate



🔊 アドバイス

- 「Gracenote®音楽認識サービス」によって提供されたデータについては、内容を100%保証するものではありません。

Gracenote® エンド ユーザー使用許諾契約書

バージョン 20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenoteソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenoteデータ」) などの音楽関連情報をオンライン サーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenoteサーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenoteデータを使用することができます。



お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーをお客様個人の非営利的目的のみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenoteとして行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーがエラーのない状態であることや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。

Gracenoteは、Gracenoteが将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote 2007

録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽/音声データについては保証できません。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをし、音楽/音声データが正しく録音されていることを確認してください。
- ACCの状態で録音しているときにイグニッションキーをONにすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップCD(曲と曲の間に無音部分が無いCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- SCMS(シリアルコピーマネジメントシステム)規格のCDは、メッセージが表示され、録音することができません。
- ハードディスクの容量がいっぱいの場合は、メッセージが表示され、録音することができません。
- 録音時間や録音モードによって、録音可能な曲の総数は異なります。
- HDDに録音可能な容量は最大5,000タイトル(アルバム/曲の総数)です。
- 本機は、CD-R等へ書き込まれた、MP3/WMA/AACの圧縮ファイルを録音することはできません。

録音モードの設定について

- 録音されるデータ形式は次の通りです。
録音形式 : WMA サンプルレート: 44.1 kHz
ビットレート: 96kbps/128kbps/192kbps
- CDを録音する場合に、CDを再生すると同時に録音を開始するかどうかを設定することができます(初期設定値は「する」)。詳しくは、「自動録音の設定」(259ページ)を参照してください。
- 録音するときの音質を設定することができます(初期設定値は「128k」)。詳しくは、「録音ビットレートの設定」(259ページ)を参照してください。

録音について

- 録音中にCDモードからほかのオーディオモード(HDD AUDIOとSDメモリーカードを除く)に切りかえても録音は継続しています。
- 録音中に以下の操作を行うと録音は停止します。
 -  にタッチする
 - イグニッションキーをOFFにする
 - CDを取り出す
 - オーディオモードをHDD AUDIO/SDに切りかえる録音中にイグニッションキーをOFFにしたり、CDを取り出したりすると、録音中の曲は消去されますが、それまで録音した曲は保存されます。録音設定の「自動録音」を「する」に設定している場合は、未録音の曲があるCDを挿入またはイグニッションキーをONにすると、未録音の曲から録音を開始します。ただし、他のオーディオモードでCDを録音中に  にタッチして録音を停止させたまま、イグニッションキーをOFF/ONしても録音は開始されません。
- すでに録音されている曲を、再度録音することはできません。
- 録音設定の「自動録音」を「する」に設定しているときにハードディスクの容量が不足している場合は、メッセージが表示され、すべての曲を録音することができません。
- 録音中はサウンド・映像モード操作画面では「REC中」、ナビ現在地画面インジゲーターバーでは「REC」と表示されます。

HDDへ録音する



自動で録音する

CDを本機に挿入すると、再生と同時にCD内の全曲を自動でHDDへ録音します。

🔊 アドバイス

- あらかじめ録音設定の「自動録音」を「する」(初期設定値は「する」)に設定してください(「自動録音の設定」259ページ参照)。

1 CDを挿入します。



CDが再生され、自動でHDDへの録音が始まります。

- CDを挿入する操作については、「DVD、CD、SDメモリーカードの出し入れ」(22ページ)を参照してください。
- 途中で録音を停止する場合は、CD操作画面で  にタッチして、確認メッセージが現れたら **はい** にタッチします。

手動で録音する

1 CD操作画面で **REC** にタッチします。

2 確認メッセージが現れたら **はい** にタッチします。



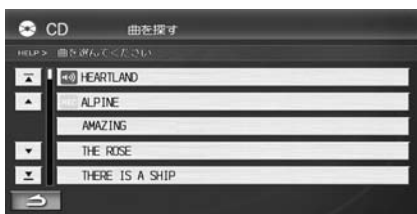
HDDへの録音が始まります。

- 途中で録音を停止する場合は、CD操作画面で  にタッチして、確認メッセージが現れたら **はい** にタッチします。

🔊 アドバイス

- CD-R、CD-RWなどは、HDDに録音できない場合があります。
- すでに録音されている曲を、再度録音することはできません。
- SCMS(シリアルコピーマネジメントシステム)規格のCDは、メッセージが表示され録音できません。
- 録音するときの音質を設定することができます(初期設定値は「128k」)。詳しくは、「録音ビットレートの設定」(259ページ)を参照してください。
- 録音時間は、再生時間よりも早い速度(約6倍)で録音されます。ただし、ミックス再生や未録音の曲を再生した場合などは、録音速度が若干低下します。また、ルート案内中の録音速度は6倍速に満たない場合があります。
- **SEARCH** にタッチしてリストを表示すると、曲名にアイコンが表示されます。

-  : 録音済みの曲
-  : 録音中の曲
-  : 再生中の曲
-  : 録音に失敗した曲

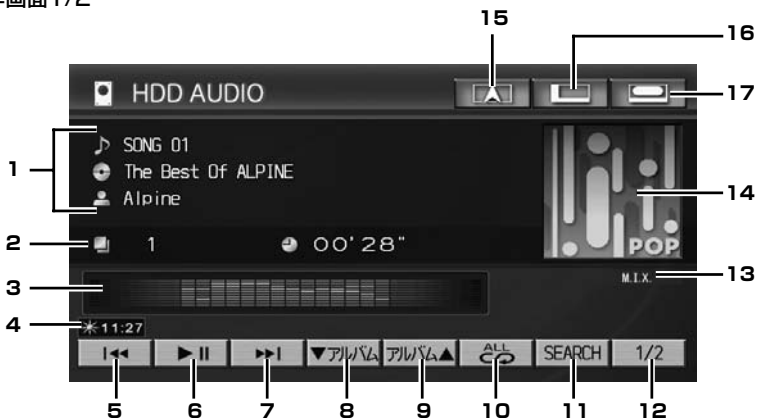


- 録音中にCDのミックス再生や他の曲を選曲しても、CDに収録されている順に録音します。
- 録音中にHDD AUDIO/SDモードに切りかえると、確認メッセージが表示されます。 **はい** にタッチすると録音を終了し、HDD AUDIOモードに切りかえます。
- CDをHDDに録音すると、本機に収録されているGracenoteデータベースから曲情報を検索し、自動で付与します。曲情報がない場合には携帯電話を接続してGracenote音楽認識サービスのサーバーにアクセスし、曲情報を取得することができます(「ダウンロードして取得する」258ページ参照)。

画面の見かた

HDDの再生画面は、以下のように表示されます。

■ HDD操作画面1/2



1. タイトル表示

再生している曲名が上段に、アルバム名が中段に、アーティスト名が下段に表示されます。タイトル情報がない場合は、NO TITLEと表示されます。また、ハードディスクに収録されているGracenoteデータベースにタイトル情報が複数ある場合は、MULTI HITと表示されます。

2. トラックNo./演奏経過時間表示

再生している曲のトラックNo.と演奏経過時間が表示されます。

3. スペアナ表示

音をデジタル表示で表現します。表示をOFFに設定することもできます。(「スペアナ表示を設定する」36ページ参照)。

4. 時計表示

5. ◀◀

再生している曲の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲の頭出しをします(「聴きたい曲を選ぶ」241ページ参照)。タッチし続けると、再生している曲を早戻しします(「早送り・早戻しする」242ページ参照)。

6. ▶▶

再生している曲を一時停止します。再度タッチすると再生を再開します。

7. ▶▶▶

次の曲に進めます(「聴きたい曲を選ぶ」241ページ参照)。タッチし続けると、再生している曲を早送りします(「早送り・早戻しする」242ページ参照)。

8. ▼ジャンル / ▼アーティスト / ▼アルバム

前のジャンル/アーティスト/アルバムに戻ります(「ダイレクトアップ/ダウン機能」244ページ参照)。

9. ジャンル▲ / アーティスト▲ / アルバム▲

次のジャンル/アーティスト/アルバムに進みます(「ダイレクトアップ/ダウン機能」244ページ参照)。

10. ALL

HDD内全ての曲をM.I.X.(ミックス)再生します(「HDD内全ての曲をミックス再生する」246ページ参照)。

11. SEARCH

サーチモードになります(「聴きたい曲を探す」243ページ参照)。ACC ONまたはディスク挿入後しばらくは、タッチできない場合があります。

12. 1/2

操作画面を切りかえます。

13. 状態表示

再生モード(SCAN(スキャン再生)、M.I.X.(ミックス再生)、RPT(リピート再生))の状態が表示されます。

14. イメージ表示

再生している曲のジャンルのイメージ画像が表示されます。アルバムに画像を登録すれば、お好みの画像を表示することができます(「イメージ画像を変更する」255ページ参照)。ジャンル情報がない場合は、HDDモード画像が表示されます。

15.

タッチすると地図画面に切りかわります。



携帯電話通話中のみ表示されます。タッチすると通話画面を表示します。

16.

マルチインフォメーション画面が表示されます (「マルチインフォメーション画面」29ページ参照)。

17.

マルチゲート画面が表示されます (「マルチゲート画面」26ページ参照)。

■ HDD操作画面2/2



18.

繰り返し(リピート)再生します (「繰り返し聴く REPEAT(リピート)」247ページ参照)。

19.

M.I.X.(ミックス)再生します (「曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)」246ページ参照)。

20.

スキャン再生します。曲を10秒ずつ再生します (「曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)」245ページ参照)。

21.

HDDの編集画面が表示されます。曲やプレイリスト、画像の編集ができます (「HDDの編集」253ページ参照)。

22.

操作画面を切りかえます。

HDDの曲を聴く

HDDに収録されている音楽を聴きます。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

- 2 **HDD AUDIO** にタッチします。



一番古く録音された曲(アルバムの場合はアルバムの1曲目)の再生が始まります。2回目以降は、最後に聴いた曲が再生されます。



- 3 再生を一時停止するには **▶||** にタッチします。
再度 **▶||** にタッチすると再生を再開します。



アドバイス

- タイトル情報が記録されていないときは、タイトル情報を取得して記録することができます。(「タイトル情報を取得する」258ページ参照)。

聴きたい曲を選ぶ

聴きたい曲の頭出しをします。

- 1 HDDの再生画面で **⏮** または **⏭** にタッチし、聴きたい曲を選びます。



- **⏮** にタッチすると、再生している曲の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲の頭出しをします。
- **⏭** にタッチすると、次の曲に進みます。

早送り・早戻しする

再生中の曲を早送り、または早戻しすることができます。

- 1 HDDの再生画面で **⏮** または **⏭** にタッチし続けます。



スイッチから指を離すまで早送り(早戻し)します。

- **⏮** にタッチし続けると、早戻しします。
- **⏭** にタッチし続けると、早送りします。

聴きたい曲を探す

アルバムやアーティストごとにリストを表示させて、リストの中から好みのアルバムなどを選んで曲を聴くことができます。

検索には大きく7つのサーチモードがあります。それぞれのサーチモードには下表のように階層があり、より絞り込んだ検索ができます。

第1階層	第2階層	第3階層	第4階層
ジャンル	アーティスト	アルバム	曲
アーティスト	アルバム	曲	—
アルバム	曲	—	—
曲	—	—	—
最近再生したアルバム	曲	—	—
よく聴くアルバム	曲	—	—
プレイリスト	曲	—	—



[名称スイッチ]
タッチすると次の階層に進みます。

選択したジャンル/アーティスト/アルバム/
プレイリストを再生します。

① アドバイス

- **○○○すべて** にタッチすると、次の階層の全てのタイトルを検索することができます。例えば、**アーティストすべて** アーティストすべてにタッチすると、全アルバムのリストが表示されます。
- **○○○すべて** の **▶** にタッチすると、現在の階層の全てのタイトルを繰り返し再生します。例えば、**アーティストすべて** の **▶** にタッチすると、全てのアーティストを繰り返し再生します。

ここでは、ジャンルサーチを例に説明します。他のサーチモードの場合でも、検索できる階層は異なりますが、同様の操作で検索を行うことができます。

1 HDDの再生画面で **SEARCH** にタッチします。



2 **ジャンル** にタッチします。



ジャンルリストが表示されます。

ジャンルを選択するには

3 リストの中から、聴きたいジャンル名の **▶** にタッチします。



選択したジャンルの曲が全曲繰り返し再生されます。

選んだジャンルの中のアーティストを探すには

3 リストの中から、聴きたい[ジャンル名スイッチ]にタッチします。

選択したジャンルのアーティストリストが表示されます。

- 4 リストの中から聴きたいアーティスト名の
▶ にタッチします。



選択したアーティストの曲が全曲繰り返し再生されます。

選んだジャンルの中のアルバムを探すには

- 3 リストの中から、聴きたい[ジャンル名スイッチ]にタッチします。

選択したジャンルのアーティストリストが表示されます。

- 4 リストの中から、聴きたい[アーティスト名スイッチ]にタッチします。

選択したアーティストのアルバムリストが表示されます。

- 5 リストの中から、聴きたいアルバム名の
▶ にタッチします。



選択したアルバムの曲が全曲繰り返し再生されます。

選んだジャンルの中の曲を探すには

- 3 リストの中から、聴きたい[ジャンル名スイッチ]にタッチします。

選択したジャンルのアーティストリストが表示されます。

- 4 リストの中から、聴きたい[アーティスト名スイッチ]にタッチします。

選択したアーティストのアルバムリストが表示されます。

- 5 リストの中から、聴きたい[アルバム名スイッチ]にタッチします。

選択したアルバムのソングリストが表示されます。

- 6 リストの中から、聴きたい[曲名スイッチ]にタッチします。



選択した曲の再生が始まり、曲が収録されているアルバムが繰り返し再生されます。

ダイレクトアップ/ダウン機能

例えばサーチモードでアルバムを選択して決定すると、そのアルバムを繰り返し再生します。その場合ダイレクトアップ/ダウン機能を使用すると、簡単に別のアルバムを選ぶことができます。

画面に表示されるタッチスイッチは、サーチモードで最後に決定したモードになります。

- 1 HDD再生画面で、ダイレクトアップ/ダウン
スイッチにタッチし、ファイルを選びます。



ダイレクトアップ/ダウンスイッチ

ダイレクトアップ/ダウンスイッチ種類：

▼ジャンル / ジャンル▲、▼アーティスト /
アーティスト▲、▼アルバム / アルバム▲

🔊 アドバイス

- サーチを行っていない、サーチで絞り込んだモードに1つしかアルバムなどがなかった場合は、操作できません。
- アーティストサーチからアルバムを絞り込んだ場合は、アルバムが対象となります。
- M.I.X. ALLを行うと絞り込みが解除されるため、本機能は操作できなくなります。(「HDD内全ての曲をミックス再生する」246ページ参照)
- 最後に行ったのが曲名サーチの場合は、アルバムを選択することができます。

曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)

曲のイントロ部分だけを聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

1 HDDの再生画面で **1/2** にタッチします。



2 **NN** にタッチします。



全曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。

3 聴きたい曲が見つかったら、もう一度

NN にタッチします。

その曲の再生を続けます。

🔊 アドバイス

- すべての曲のスキャンが終了してもそのままスキャン再生を続けます。**NN** にタッチして解除してください。
- M.I.X.またはREPEAT演奏中にSCANモードにすると、M.I.X./REPEATモードは解除されます。

曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)

曲を順不同に聴くことができます。

再生中のジャンル/アーティスト/ アルバムの曲をミックスする

1 HDDの再生画面で **1/2** にタッチします。

2  にタッチします。



M.I.X. LISTと表示し、順不同に曲が再生されます。

- 例えばサーチモードでアルバムに絞り込んでお聞きの場合は、選んだアルバムの中の曲をミックス再生します。曲を選んでお聞きの場合は、HDD内全曲をミックス再生します。
- ミックス再生が解除されるまでミックス再生を続けます。

3 解除するには、もう一度  にタッチします。

アドバイス

- SCANまたはREPEAT演奏中にM.I.X.モードにすると、SCAN/REPEATモードは解除されます。

HDD内全ての曲をミックス再生する

1 HDD再生画面で  にタッチします。



順不同に曲が再生されます。

- HDD内すべての曲の再生が終了しても、ミックス再生が解除されるまでミックス再生を続けます。

2 解除するには、もう一度  にタッチします。

アドバイス

- SCANまたはREPEAT演奏中にM.I.X.モードにすると、SCAN/REPEATモードは解除されます。

繰り返し聴く REPEAT(リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し聴くことができます。

1 HDDの再生画面で **1/2** にタッチします。

2 再生中に  にタッチします。



繰り返し曲が再生されます。

3 解除するには、もう一度  にタッチします。

🔊 アドバイス

- SCANまたはM.I.X.演奏中にREPEATモードにすると、SCAN/M.I.X.モードは解除されます。
- プレイリストを再生中にREPEATモードにすると、聴いている曲のみをリピート再生します。

プレイリストの編集

④ アドバイス

- プレイリストの曲を再生中は、プレイリストの編集はできません。

プレイリストを作成する

お好みの曲をHDDのプレイリストに登録することができます。

1 HDDの再生画面で **1/2** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。



3 **プレイリスト編集** にタッチします。



4 **作成** にタッチします。



文字入力画面が表示されます。

5 プレイリスト名を入力します。



- 入力できる文字数は最大で全角/半角52文字です。文字入力の方法は、「文字を入力する」(33ページ)を参照してください。

6 **完了** にタッチします。

入力したプレイリスト名がリストに追加されます。

⑤ アドバイス

- 登録できるプレイリスト数は最大1000件です。

HDDの曲をプレイリストへ登録する

再生中の曲をプレイリストへ登録します。

1 登録したい曲を再生します。

- 「聴きたい曲を探す」(243ページ)を参照してください。

2 **1/2** にタッチし、**編集** にタッチします。



3 **プレイリスト編集** にタッチします。

4 曲を登録したいプレイリスト名にタッチします。



5 曲を追加 にタッチします。

メッセージが表示され、再生中の曲が選択したプレイリストに登録されます。

🔊 アドバイス

- プレイリストに登録できる曲数は最大100件です。
- 同じ曲を違うプレイリストに登録することもできます。

プレイリスト名称を編集する

登録されているプレイリスト名を変更します。

1 プレイリストのリスト画面で名称を変更したいプレイリストにタッチします。



2 名称変更 にタッチします。



文字入力画面が表示されます。

3 プレイリスト名を入力します。



- 入力できる文字数は最大で全角/半角52文字です。文字入力の方法は、「文字を入力する」(33ページ)を参照してください。

4 完了 にタッチします。

入力したプレイリスト名が表示されます。



曲を並べかえる

プレイリストの中の曲順を変更します。

1 プレイリストのリスト画面で曲順を変更したい曲が保存されているプレイリストにタッチします。



2 編集 にタッチします。

3 曲順を変更したい曲名にタッチします。



- 4 変更したい位置まで **演奏順UP** または **演奏順DN** にタッチします。



1回タッチするたびに、選択した曲が上または下へ移動します。

- **演奏順UP** にタッチすると、曲順を上へ移動します。
- **演奏順DN** にタッチすると、曲順を下へ移動します。

プレイリストを移動する

プレイリストに登録されている曲を移動します。

- 1 プレイリストのリスト画面で移動したい曲が保存されているプレイリストにタッチします。



- 2 **編集** にタッチします。

- 3 プレイリストを変更したい曲名にタッチします。



- 4 **移動** にタッチします。

- 5 移動先のプレイリスト名にタッチします。



メッセージが表示され、選択した曲のプレイリストが移動します。

消去する

プレイリストに登録した曲や、プレイリストを消去します。

曲を消去する

選択した曲を消去します。

- 1 プレイリストのリスト画面で消去したい曲が保存されているプレイリストにタッチします。



- 2 **編集** にタッチします。

- 3 消去したい曲名にタッチします。



- 4 **消去** にタッチします。
確認のメッセージが表示されます。

5 はいにタッチします。



選択した曲が消去されます。

アドバイス

- プレイリストのリストから1曲消去を行っても、HDDの音楽データは消去されません。

プレイリスト内のすべての曲を消去する

選択したプレイリスト内のすべての曲を消去します。ただし、プレイリストは消去されません。

1 プレイリストのリスト画面で消去したいプレイリストにタッチします。



2 編集にタッチします。

3 消去にタッチし続けます。



確認のメッセージが表示されます。

4 はいにタッチします。



選択したプレイリスト内のすべての曲が消去されます。

アドバイス

- 選択したプレイリスト内の全曲消去を行っても、HDDの音楽データは消去されません。

プレイリストを消去する

選択したプレイリストを消去します。

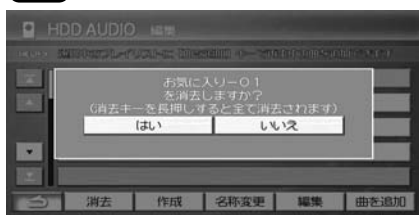
1 プレイリストのリスト画面で消去したいプレイリストにタッチします。



2 消去にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

3 はいにタッチします。



選択したプレイリストが消去されます。

アドバイス

- プレイリストのリストからプレイリスト消去を行っても、HDDの音楽データは消去されません。

すべてのプレイリストを消去する

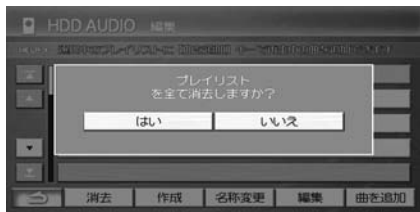
登録されているすべてのプレイリストを消去します。

- 1 プレイリストのリスト画面で **消去** にタッチし続けます。



確認のメッセージが表示されます。

- 2 **はい** にタッチします。



すべてのプレイリストが消去されます。

🔊 アドバイス

- プレイリストの全消去を行っても、HDDの音楽データは消去されません。

HDDの編集



アルバム情報を編集する

HDDに収録されている名称やジャンル・画像を編集します。

アドバイス

- 編集中はHDDの再生を一時停止します。編集終了後に再び再生を開始します。ただし、曲の消去や並べ換えを行った場合は、アルバムの先頭の曲が再生されます。アルバム消去を行ったときは、次のアルバムが再生されます。
- 走行中は安全のため、編集を行うことはできません。

曲タイトルを変更する

1 曲名を変更したい曲を再生します。

- 「聴きたい曲を探す」(243ページ)を参照してください。

2 1/2 にタッチします。

3 編集 にタッチします。

4 録音曲編集 にタッチします。



再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。

5 曲名を変更したい曲にタッチします。



6 名称変更 にタッチします。



7 曲名 にタッチします。



文字入力画面が表示されます。

8 曲名を入力します。



- 入力できる文字数は最大で全角/半角52文字です。
- 文字を入力する方法については、「文字・数字の入力方法」(33ページ)を参照してください。

9 完了 にタッチします。

入力した曲名がリストに表示されます。

10 戻る にタッチします。



アーティスト名を変更する

- 1 アーティスト名を変更したい曲が収録されているアルバムを再生します。
 - 「聴きたい曲を探す」(243ページ)を参照してください。
- 2 HDD操作画面で **1/2** にタッチします。
- 3 **編集** にタッチします。
- 4 **録音曲編集** にタッチします。
再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。
- 5 **名称変更** にタッチし、**アーティスト** にタッチします。



HDDに録音されているアーティストリストが表示されます。

- 6 設定したいアーティスト名にタッチします。



タッチしたアーティストに変更されます。

- 新しいアーティスト名称を登録するには、**入力** にタッチします。文字を入力する方法については、「文字・数字の入力方法」(33ページ)を参照してください。

- 7 **戻る** にタッチします。

アルバム名を変更する

- 1 アルバム名を変更したいアルバムを再生します。
 - 「聴きたい曲を探す」(243ページ)を参照してください。
- 2 **1/2** にタッチします。
- 3 **編集** にタッチします。
- 4 **録音曲編集** にタッチします。
再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。
- 5 **名称変更** にタッチし、**アルバム** にタッチします。



文字入力画面が表示されます。

- 6 アルバム名を入力します。



- 入力できる文字数は最大で全角/半角52文字です。
- 文字を入力する方法については、「文字・数字の入力方法」(33ページ)を参照してください。

- 7 **完了** にタッチします。
入力したアルバム名が表示されます。



8 にタッチします。

ジャンルを変更する

1 HDDの再生画面でジャンルを変更したいアルバムを再生します。

- 「聴きたい曲を探す」(243ページ)を参照してください。

2 にタッチします。

3 編集 にタッチします。

4 録音曲編集 にタッチします。

再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。

5 名称変更 にタッチし、 ジャンル にタッチします。



ジャンルリストが表示されます。

6 設定したいジャンル名称にタッチします。



タッチしたジャンルに変更されます。

- ジャンル数は11あります。同時にイメージ表示も切りかわります。
- イメージ画像を設定しているアルバムのジャンルを変更した場合は、イメージ画像を変更するメッセージが表示されます。

7 にタッチします。

イメージ画像を変更する

画面に表示するイメージ画像を、お好みの画像に変更することができます。

アドバイス

- あらかじめ画像データが登録されていることが必要です。画像を登録する方法については、「SDメモリーカードの画像をHDDに追加する」(266ページ)を参照してください。

1 HDDの再生画面でイメージ画像を変更したいアルバムを再生します。

- 「聴きたい曲を探す」(243ページ)を参照してください。

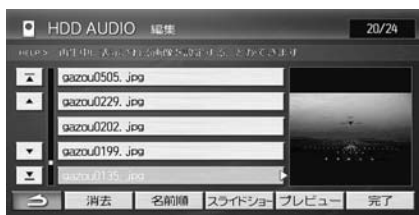
2 にタッチします。

3 編集 にタッチします。

4 画像編集 にタッチします。

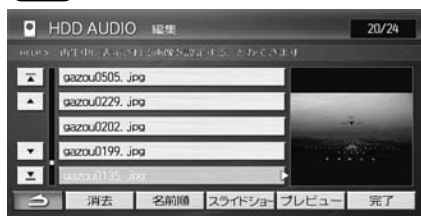
画像のリストが表示されます。

5 設定したい画像にタッチします。



- 変更前の画像は、リストの1番目に表示されます。
- いずれかの画像にタッチすると画面右側に画像が表示されます。画像によって表示するまで時間がかかる場合があります。
-  プレビュー にタッチすると、選択している画像を拡大表示できます。  にタッチして、前後の画像に切りかえることができます。プレビューをやめるには  にタッチしてください。
-  スライドショー にタッチすると、全ての画面を次々と表示します。スライドショーをやめるには  にタッチしてください。

6 完了 にタッチします。



7 再生 にタッチします。

選択した画像がイメージ画像に表示されます。

アドバイス

- 選択した画面が表示されるまで、時間がかかる場合があります。
- イメージ画像はアルバム単位で変更されます。

曲を並べかえる

HDDに収録されているアルバムの中の曲順を変更します。

1 曲順を変更したいアルバムを再生します。

- 「聴きたい曲を探す」(243ページ)を参照してください。

2 1/2 にタッチします。

3 編集 にタッチします。

4 録音曲編集 にタッチします。

再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。

5 曲順を変更したい曲名にタッチします。



6 変更したい位置まで 演奏順UP または 演奏順DN にタッチします。



- 演奏順UP にタッチするたびに、曲順が上へ移動します。
- 演奏順DN にタッチするたびに、曲順が下へ移動します。

7 再生 にタッチします。

消去する

HDDに収録されている曲やアルバムを消去します。

アドバイス

- プレイリストに登録されているHDDの曲を消去すると、プレイリストのリストからも消去されます。

曲を消去する

選択した曲を消去します。

1 消去したい曲が収録されているアルバムを再生します。

- 「聴きたい曲を探す」(243ページ)を参照してください。

2 1/2 にタッチします。

3 編集 にタッチします。

4 録音曲編集 にタッチします。

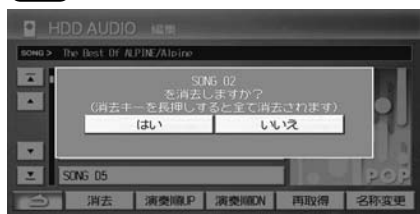
再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。

5 消去したい曲名にタッチします。



6 消去 にタッチします。 確認のメッセージが表示されます。

7 はい にタッチします。



選択した曲が消去されます。

8 戻る にタッチします。

アルバムを消去する

選択したアルバムとアルバム内のすべての曲を消去します。

1 消去したいアルバムを再生します。 • 「聴きたい曲を探す」(243ページ)を参照してください。

2 1/2 にタッチします。

3 編集 にタッチします。

4 録音曲編集 にタッチします。 再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。

5 消去 にタッチし続けます。



確認のメッセージが表示されます。

6 はい にタッチします。



選択したアルバムとアルバム内のすべての曲が消去されます。

7 戻る にタッチします。

タイトル情報を取得する

録音終了時に自動的に付与されなかったアルバムのタイトルデータを手動で取得することができます。

リストを表示して取得する

ハードディスクに収録されているGracenoteデータベースから、タイトル情報を取得します。

1 タイトルデータを取得したいアルバムを再生します。

- 「聴きたい曲を探す」(243ページ)を参照してください。

2 **1/2** にタッチします。

3 **編集** にタッチします。

4 **録音曲編集** にタッチします。

5 **再取得** にタッチします。



アルバム/アーティスト一覧が表示されます。

- 該当するタイトルデータがなかった場合は、メッセージが表示されます。

6 該当するアルバムにタッチします。

HDD編集画面に戻り、アルバム名、アーティスト名、曲名が表示されます。

7 **⏮** にタッチします。

ダウンロードして取得する

インターネットでGracenoteメディアデータベースにアクセスして、該当する音楽情報を検索し、タイトルデータをダウンロードすることができます。

📶 アドバイス

- ダウンロードするには、ハンズフリー電話の接続が必要です。

- ダウンロードするには、あらかじめ通信設定を行ってください(「データ通信設定」(170ページ)参照)。
- 一部の機種ではダウンロードできない場合があります。
- ダウンロードできなかった場合は、以下のメッセージを表示します。

- 「情報がありませんでした」:
Gracenoteデータベースにデータがない場合
- 「情報を取得できませんでした」:
通信エラーなどの場合

- 1アルバムずつ取得されます。

1 タイトルデータを取得したいアルバムを再生します。

- 「聴きたい曲を探す」(243ページ)を参照してください。

2 **1/2** にタッチします。

3 **編集** にタッチします。

4 **録音曲編集** にタッチします。

5 **再取得** にタッチします。

6 **通信** にタッチします。



インターネットに接続され、データを検索したあとダウンロードを開始します。

ダウンロードが終了すると、回線を切断しアルバム/アーティスト一覧が表示されます。

- ダウンロードして取得されたアルバムには、HDDの編集画面の曲名リストに「」アイコンが表示されます。

7 該当するアルバムにタッチします。

HDD編集画面に戻り、アルバム名、アーティスト名、曲名が表示されます。

8 **⏮** にタッチします。

HDD AUDIOに関する設定を行います。

設定操作

次の手順1～5は、HDD AUDIO設定の共通操作になります。各項目の詳しい操作方法については、該当ページを参照してください。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **オーディオ** タブにタッチし、**HDD AUDIO** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。



- 5 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。

- **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

HDD AUDIO設定

自動録音の設定

CDを挿入した時に、自動で録音するかどうかを設定します(初期設定値は「する」)。

設定項目：自動録音

設定値：する/しない

する：自動で録音を行います。

しない：録音は手動で行います。自動で録音を開始しません。

録音ビットレートの設定

録音時の音質を設定します(初期設定値は「128k」)。

設定項目：ビットレート

設定値：96k/128k/192k

アドバイス

- 録音ビットレートの数字が大きくなるほど音質は良くなりますが、データの容量も大きくなります。
- 多くの曲を録音したい時は「96k」を選択し、音質を重視したい時は「192k」を選択してください。

ハードディスク情報を表示する

表示する にタッチするとHDD(ハードディスク)の総曲数と空き容量を確認できます。

設定項目：ハードディスク情報



SDメモリーカード操作

サウンド・映像編

SDメモリーカードモードにする	262
再生モードを設定する	262
音楽/写真データを再生する	263
音楽データを再生する	263
写真データを再生する	263
登録地点をコピーする	264
SDメモリーカードを初期化する	264
SDメモリーカードに登録地点を保存する	264
SDメモリーカードに保存した地点をコピーする	265
SDメモリーカードの画像をHDDに追加する	266

SDメモリーカードモードにする

SDメモリーカードに記録された音楽データ(MP3/WMA/AAC)を本機内蔵プレーヤーで再生することができます。

また、画像ファイルのコピー、ナビの登録地点のコピーもSDメモリーカードを使用して行うことができます。

1 SDメモリーカードを挿入します。

- SDメモリーカード出し入れの方法については、「[DVD、CD、SDメモリーカードの出し入れ](22ページ)」を参照してください。

2 [メニュー/PWR]スイッチを押した後、

サウンド・映像 にタッチします。

3 **SD** にタッチします。



SDメモリーカードモードになります。

- 「再生モードを設定する」(262ページ参照)で希望のモードに設定してください。設定によって**SD**スイッチのアイコンが異なります。



写真



音楽

🔊 アドバイス

SDメモリーカードを使用するにあたって

- SDメモリーカードは、SDメモリーカード規格に準拠したカードをご使用ください。
- SDHCメモリーカードには対応していません。
- 高速タイプのSDメモリーカード(2GBまで)は、そのままではご使用になれません。本機で初期化してからご使用ください。([SDメモリーカードを初期化する] 264ページ参照)。
- 大切なデータはパソコン等を用いて、バックアップを取っておくことをお勧めします。
- SDメモリーカードの動作保証はしておりません。ご使用の際には、SDメモリーカードの使用条件内でのご利用をお願いいたします。
- パソコン側でSDメモリーカードの最適化やデータ圧縮をしないでください。
- SDメモリーカードは高温・低温時には正常に動作しない場合があります。
- SDメモリーカードで作成した地点登録ファイルは個人として利用するなどのほか、権利者に無断で使用できません。

再生モードを設定する

SDメモリーカードの再生モードを設定します(初期設定値は「音楽」)。

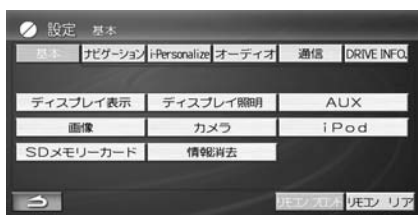
1 [メニュー/PWR]スイッチを押した後、

サウンド・映像 にタッチします。

2 [設定を変える] にタッチします。

3 [基本] タブにタッチし、

SDメモリーカード にタッチします。



4 「再生モード」の **写真** **音楽** のいずれかにタッチします。

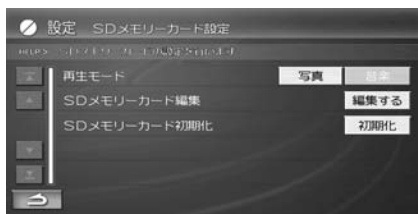


写真: SDメモリーカードの画像データを呼び出します。

音楽: MP3/WMA/AACの音楽データを再生します。

5 [現在地] スイッチを押して現在地画面に戻します。

-  にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

音楽/写真データを再生する



音楽データを再生する

「再生モードを設定する」(262ページ参照)を「音楽」に設定してください。

- 1 **メニュー/PWR** を押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

- 2 **SD** にタッチします。



再生が始まります。

- 操作方法はCDディスクに記録されたMP3/WMA/AACと同様になります。「CD/MP3/WMA/AAC操作」(219～231ページ)を参照してください。

写真データを再生する

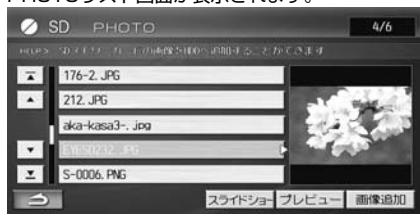
「再生モードを設定する」(262ページ参照)を「写真」に設定してください。

- 1 **メニュー/PWR** を押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

- 2 **SD** にタッチします。



PHOTOリスト画面が表示されます。



プレビューを見る

- 3 **プレビュー** にタッチします。
選択した画像が全画面表示されます。

- 4 **◀◀** または **▶▶** にタッチして、前後の画像を表示します。



- プレビューをやめるには、**⏮** にタッチしてください。

スライドショーを見る

- 3 **スライドショー** にタッチします。
全ての画像が次々と表示されます。

- スライドショーをやめるには、**⏮** にタッチしてください。

🔊 アドバイス

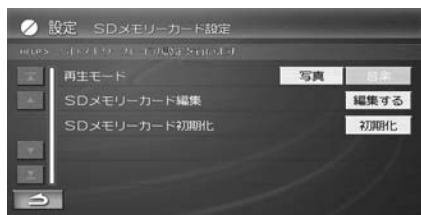
- 本機で再生できる画像の形式は以下の通りです。
 - ファイル形式: bmp, jpg, png, gif
 - ファイルサイズ: 最大1.5M、1024×768ピクセル
 - ファイル名最大文字数: 63文字 (拡張子含む)
- 画像は本機で表示できる大きさに拡大または縮小されて表示されます。
- 本機で認識できるフォルダ階層数の上限は8階層になります。

登録地点をコピーする

SDメモリーカードを初期化する

SDメモリーカードに登録地点をコピーするときは、はじめにSDメモリーカードを初期化してください。SDメモリーカードの情報がすべて消去されます。一度消去したものは復活できませんのでご注意ください。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。
- 2 **設定を変える** にタッチします。
- 3 **基本** タブにタッチし、**SDメモリーカード** にタッチします。
- 4 「SDメモリーカードの初期化」の **初期化** にタッチします。



- 5 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。
SDメモリーカードの初期化が行われます。

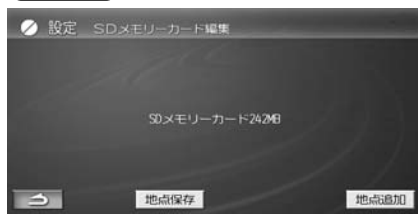
🔊 アドバイス

- 何らかの原因によりSDメモリーカードが正常に動作しなくなった場合には、本機でSDメモリーカードの初期化を行ってください。
- パソコンなどを用いて初期化したSDメモリーカードは、本機での動作を保証しません。

SDメモリーカードに登録地点を保存する

ナビゲーションで設定した登録地点を、SDメモリーカードにコピーして保存することができます。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。
- 2 **設定を変える** にタッチします。
- 3 **基本** タブにタッチし、**SDメモリーカード** にタッチします。
- 4 「SDメモリーカード編集」の **編集する** にタッチします。
- 5 **地点保存** にタッチします。



- 6 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。
SDメモリーカードに登録地点が保存されます。

🔊 アドバイス

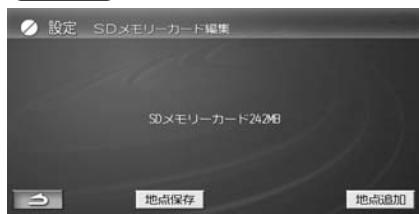
- 登録地点保存用のフォルダがSDメモリーカード内に自動的に作成されます。
フォルダ名: NAVDATDRフォルダ
|
POIXフォルダ
地点ファイル拡張子: .poix
- 作成したファイルの削除とファイル名の変更はパソコンから行うことができます。但し拡張子.poixを変更するとファイルが認識されなくなりますので、拡張子の変更は行わないでください。尚、ファイル名に使用できる文字は半角英数字のみになります。



SDメモリーカードに保存した地点をコピーする

SDメモリーカードに保存した地点を、本機のHDDにコピーすることができます。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。
- 2 **設定を変える** にタッチします。
- 3 **基本** タブにタッチし、**SDメモリーカード** にタッチします。
- 4 「SDメモリーカード編集」の **編集する** にタッチします。
- 5 **地点追加** にタッチします。



- 6 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。
SDメモリーカードの登録地点が本機の登録地点に追加されます。

④ アドバイス

- 本機の登録地点の最大数、700ヶ所を超えた場合は、地点のコピーは行われません。

SDメモリーカードの画像をHDDに追加する

SDメモリーカードに記録した画像データをHDDにコピーして、オーディオ操作画面や壁紙に表示させることができます。画像のコピーは下記の2通りの方法のいずれかでを行います。

① アドバイス

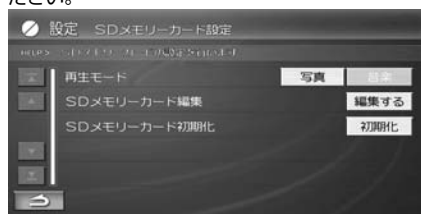
- HDDにコピーできる画像の形式は以下の通りです。
 - ・ ファイル形式: bmp、jpg、png、gif
 - ・ ファイルサイズ: 最大1.5M、1024×768ピクセル
 - ・ ファイル名最大文字数: 63文字(拡張子含む)
- 最大200ファイル(または190MB)までコピーできます。
- 画像は本機で表示できる大きさに拡大または縮小されて表示されます。
- 本機で認識できるフォルダ階層数の上限は8階層になります。

SD画面から追加する

1 SDメモリーカードの再生モードを

写真 に設定します。

「再生モードを設定する」(262ページ)を参照してください。



2 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、

サウンド・映像 にタッチします。

3 **SD** にタッチします。

4 HDDに追加したい画像をタッチして選択します。



5 **画像追加** にタッチします。

6 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。

HDDに選択した画像が追加されます。

設定画面から追加する

1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、

サウンド・映像 にタッチします。

2 **設定を変える** にタッチします。

3 **基本** タブにタッチし、**画像** にタッチします。

画像設定画面が表示されます。

4 **SD画像** にタッチします。



画像設定(SDカード)画面が表示されます。

5 HDDに追加したい画像をタッチして選択します。



6 **画像追加** にタッチします。

7 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。

HDDに選択した画像が追加されます。

DVD/ビデオCD/DivX®操作

サウンド・映像編

ご使用になる前に	268
DVDの機能	268
ディスクについて	269
DivX®について	269
画面の見かた	270
操作画面について	270
再生する	279
メニューを表示する	280
メニュー画面を操作する	280
メニュー番号で見たい映像を探す	281
再生中止(PRE STOP)する	282
再生停止する	283
早送り・早戻しする	284
静止(一時停止)する	285
コマ送り再生する	286
スローモーション再生する	287
見たい映像を探す	288
チャプター/トラック/ファイルの頭出しをする	288
チャプター/トラック/ファイル番号から探す	288
タイトル/グループ/プログラム/プレイリスト/ フォルダ番号から探す	289
プログラム/プレイリストを選ぶ	289
フォルダを選ぶ	290
プログラム/プレイリストサーチ	290
フォルダ/ファイルサーチ	290
ページ送り/戻し	291
繰り返し見る REPEAT(リピート)	292
DVD機能の切りかえ	293
アングルの切りかえ	293
音声言語の切りかえ	293
サブタイトル(字幕言語)切りかえ	294
DVD初期設定	295
DVD初期設定画面を表示する	295
メニューの言語を切りかえる	295
優先する音声を切りかえる	296
字幕の言語を切りかえる	296
カントリーコード設定を変更する	297
視聴制限を設定する	298
圧縮ファイルモードを設定する	298
ビデオCD再生モードを設定する	299
ダウンミックスを設定する	299
映像出力を切りかえる	300
DVDオーディオ再生モードを設定する	300
ボーナスグループを再生する	301
DivX®レジストレーションコードを表示する	301
初期値に戻す	301
視聴制限したDVDを再生する	302

ご使用になる前に

本機は、DVDの高画質な映像とデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDに記録されている複数の言語(音声や字幕など)を切りかえて再生/表示したり、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、お好みのアングルに切りかえて再生することができます。

DVDの機能

マルチ音声機能について

DVDソフトには複数の言語が記録されているものがあり、テレビの音声多重放送のように、再生する音声言語を切りかえることができます。

サブタイトル(字幕)表示機能について

DVDソフトには複数の言語が記録されているものがあり、再生する字幕言語を切りかえたり、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することができます。また、ソフトメニューの言語を切りかえることもできます。

マルチアングル機能について

DVDソフトには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの(マルチアングル)があり、再生するアングルを切りかえることができます。

マルチストーリー機能について

DVDソフトには、メインストーリー以外にサブストーリーやバージョンの違う映像が記録されているもの(マルチストーリー)があり、お好みのストーリーを選択することができます。操作方法はディスクによって異なります。マルチストーリーには、次のようなものがあります。

■ メインストーリー/サブストーリー

ディスクの中には、番外編のストーリーが作成されることがあります。例えば、主人公が友人と別れる場面があった場合に、サブストーリーでは別れた友人のその後のストーリーを紹介するというように、違うストーリーを再生することができます。

■ マルチバージョン

劇場公開版、完全版、ディレクターズカットなど、1つの作品で複数のバージョンを再生することができます。

■ ハイライト・シーン・スキャン

特定の人物やアニメのキャラクターの登場する場面だけを再生したり、音楽の場面だけを再生したりというように、特定の場面を再生することができます。

■ ブランディング・ストーリー

ロール・プレイング・ゲームのように、例えば登場人物の行動をメニューから選択して物語を展開しながら再生することができます。再生中に撮影のメイキングシーンを見ることもできます。

視聴制限について

DVDソフトには、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない映像の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は、以下の8段階のレベルがあり3種類に分類されます。

- **レベル1**
子供向けのDVDソフトのみを再生します(一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します)。
- **レベル2～7**
子供向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します(成人向けのDVDソフトの再生を禁止します)。
- **レベル8**
すべてのDVDソフトを再生します。
- **OFF**
視聴制限しません。すべてのDVDソフトを再生します(初期設定)。

視聴制限は、DVD初期設定の「視聴制限」から設定します(初期設定値は「OFF」)。設定の方法については、「視聴制限を設定する」(298ページ)を参照してください。

DVDモード時の音量について

本機では、DVDモード時の音量レベルは他のソースとは別に記憶されます。DVD以外のソースからDVDモードに切りかえると、最後にDVDモードで記憶した音量に自動的に切りかわります。



ディスクについて

再生できるディスクの種類について

本機はNTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）用のディスクは再生することができません。

① アドバイス

- DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。
- DVD-R/RW、DVD+R/RWで記録されたディスクはご使用にならない場合があります。

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVDソフトには<リージョンコード>（地域番号）が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または「ALL」が表示されていないディスクを再生することはできません。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できない場合があります。

ディスクに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには以下のようなものがあります。

マーク	意味
②))	再生できる言語の数を表します。
2	字幕に表示できる言語の数を表します。
3	アングルの数を表します。
16:9 LB 4:3	選択可能な画像の縦横の比率を表します。 ・「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面を表します。
① ②	再生可能な地域番号を表します。 ・「ALL」は全世界向け、数字は地域番号を表します（「2」は日本向け）。

DivX®について

DivX®とは、高画質を維持しながら動画を圧縮・伸張するコーデックです。圧縮効率や動作速度に優れています。本機では、拡張子(avi または divx)が付いているDivX®モードで記録されたCD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクを再生することができます。

● 本機で再生可能な範囲について

映像サイズ : 横32～720pixel×縦32～480 pixel (NTSC)

映像ビットレート : "平均4 Mbps, 最高8 Mbps".
Home Theater Profile 対応。

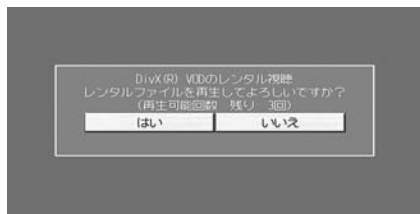
● 音声フォーマット

MPEG1 Layer II 8～320 kbps

MPEG1 Layer III 8～320 kbps

レンタルファイル再生について

DivX®ファイルには、視聴回数が設定されているレンタルファイルがあります。視聴回数が1回以上残っているファイルを再生しようとした場合は、下記のメッセージが表示されます。



再生する場合には **はい** にタッチしてください。

レンタルファイル再生中に、他のファイル/フォルダを選択しようとした場合には下記のメッセージが表示されます。この時、一時停止状態になっています。



再生を中断する時には **はい**、中断しないで再生を再開する時には **いいえ** にタッチしてください。
はい にタッチすると、視聴回数が1回減ります。

- ・ 視聴回数が残っていないファイルを再生しようとするとき「Rental Expired レンタル期限切れ」と表示して、自動的に次のファイルの再生が開始されます。

画面の見かた

操作画面について

再生画面にタッチすると、以下のような操作画面が表示されます。

■ DVDビデオ操作画面1/2



■ DVDオーディオ操作画面1/3



<VOFF設定時※>



※ VOFFモードはDVDセットアップで設定します。詳しくは、「DVDオーディオ再生モードを設定する」(300ページ)を参照してください。

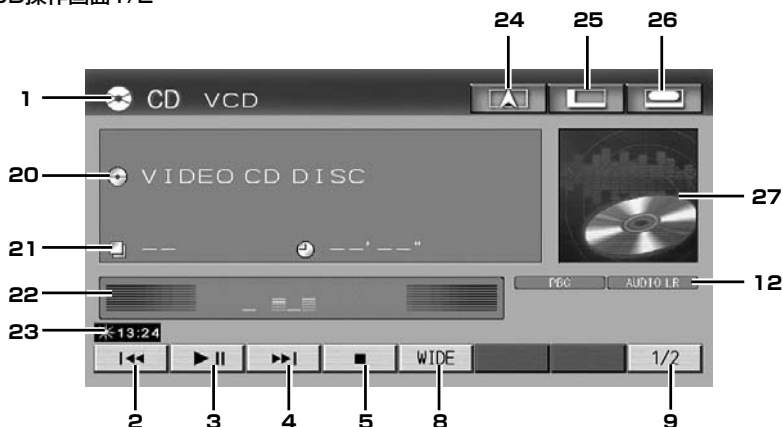
■ DVD-VR操作画面1/3



■ DivX®操作画面1/3



■ ビデオCD操作画面1/2



1. メディア名表示

2. ◀◀

現在のチャプター/トラック/ファイルの先頭に戻ります。続けてタッチすると前のチャプター/トラック/ファイルの頭出しをします。タッチし続けると、再生しているチャプター/トラック/ファイルを早戻しします(「チャプター/トラック/ファイルの頭出しをする」288ページ、「早送り・早戻しする」284ページ参照)。

3. ▶▶

一時停止します。

4. ▶▶▶

次のチャプター/トラック/ファイルの頭出しをします。タッチし続けると、再生しているチャプター/トラック/ファイルを早送りします(「チャプター/トラック/ファイルの頭出しをする」288ページ、「早送り・早戻しする」284ページ参照)。

5. ■

再生停止します。(「再生中止(PRE STOP)する」282ページ、「再生停止する」283ページ参照)。

6. MENU

メニュー画面を表示します。

7. TOP MENU

トップメニュー画面を表示します。

8. WIDE

画面モードを切りかえます(「画面モードを切りかえる」40ページ参照)。

9. 1/2 1/3

操作画面を切りかえます。

10. SEARCH

サーチ画面を表示します(「フォルダ/ファイルサーチ」290ページ参照)。

11. DVDビデオ情報表示

DVD VIDEO DISCと表示されます。

12. 状態表示

音声出力の種類、字幕言語、アングルなどが表示されます。

13. タイトルNo./チャプターNo./再生経過時間表示

再生しているタイトルNo.、チャプターのNo.と再生経過時間が表示されます。

14. DVDオーディオ情報表示

DVD AUDIO DISCと表示されます。

15. グループNo./トラックNo./再生経過時間表示

再生しているグループNo.、トラックのNo.と再生経過時間が表示されます。

16. DVD-VR情報表示

プログラム名またはプレイリスト名、レコーディング情報ディスク名が表示されます。

17. プログラムNo.またはプレイリストNo./チャプターNo./再生経過時間表示

再生しているプログラムまたはプレイリストNo.、チャプターNo.と、再生経過時間が表示されます。

18. DivX情報表示

曲名/アルバム名/アーティスト名が表示されます。

19. フォルダNo./ファイルNo./再生経過時間表示

再生している曲のフォルダNo.、ファイルNo.と再生経過時間が表示されます。

20. ビデオCD情報表示

VIDEO CD DISCと表示されます。

21. トラックNo./再生経過時間表示

再生しているトラックNo.と、再生経過時間が表示されます。

22. スペアナ表示

音をデジタル表示で表現します。表示をOFFに設定することもできます。(「スペアナ表示を設定する」36ページ参照)。

23. 時計表示

24.

タッチすると地図画面に切りかわります。



携帯電話通話中のみ表示されます。タッチすると通話画面を表示します。

25.

マルチインフォメーション画面が表示されます(「マルチインフォメーション画面」29ページ参照)。

26.

マルチゲート画面が表示されます(「マルチゲート画面」26ページ参照)。

27. イメージ表示

イメージ画像が表示されます。

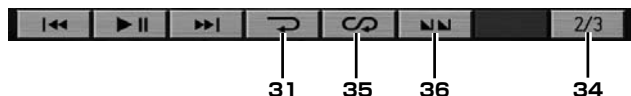
■ DVDビデオ操作画面2/2



■ DVDオーディオ操作画面2/3



<VOFF設定時*>



※ VOFFモードはDVDセットアップで設定します。詳しくは、「DVDオーディオ再生モードを設定する」(300ページ)を参照してください。

次ページに続く→

■ DVD-VR操作画面2/3



■ DivX®操作画面2/3



■ ビデオCD操作画面2/2



28. AUDIO

音声言語が切りかわります(「音声言語の切りかえ」293ページ参照)。

29. SUBT.

字幕言語が切りかわります(「サブタイトル(字幕言語)切りかえ」294ページ参照)。

30. ANGLE

アングルが切りかわります(「アングルの切りかえ」293ページ参照)。

31. ↺

再生中のグループやトラックを繰り返し再生します(「繰り返し見る REPEAT(リピート)」292ページ参照)。

32. 10KEY

トラック番号などを直接入力します。

33. MENU CONT

メニュー画面でのカーソル移動や項目選択などを行います。

34. 2/2 2/3

操作画面を切りかえます。

35. ⏮

M.I.X.(ミックス)再生します。CD/MP3/WMA/AAC操作「曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)」(228ページ)を参照してください。

36. ⏮

スキャン再生します。曲を10秒間ずつ再生します。CD/MP3/WMA/AAC操作「曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)」(227ページ)を参照してください。

37. ▼FLDR

1つ前のフォルダの頭出しをします(「フォルダを選ぶ」290ページ参照)。

38. ▲FLDR

次のフォルダの頭出しをします(「フォルダを選ぶ」290ページ参照)。

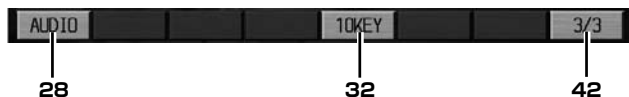
39. RETURN

1つ前の画面に戻ります。

■ DVDオーディオ操作画面3/3



<VOFF設定時*>



※ VOFFモードはDVDセットアップで設定します。詳しくは、「DVDオーディオ再生モードを設定する」(300ページ)を参照してください。

■ DVD-VR操作画面3/3



■ DivX®操作画面3/3



40. ▼PAGE

1つ前の静止画を表示します(「ページ送り/戻し」291ページ参照)。

41. ▲PAGE

次の静止画を表示します(「ページ送り/戻し」291ページ参照)。

42. 3/3

操作画面を切りかえます。

43. ▼プログラム ▼プレイリスト

1つ前のプログラム/プレイリストの頭出しをします(「プログラム/プレイリストを選ぶ」289ページ参照)。

44. プログラム▲ プレイリスト▲

次のプログラム/プレイリストの頭出しをします(「プログラム/プレイリストを選ぶ」289ページ参照)。



アドバイス

- ディスクまたは再生状態によっては、その操作を受け付けない場合があります。画面には⊗マークが表示されます。

操作画面への切りかえかた

1 再生画面で画面にタッチします。

操作画面が表示されます。



- しばらく(約5秒)操作しない場合は、元の画面に戻ります。

■ 本書で使用する、ディスクの種類のマークについて

各項目で利用できるディスクの種類を下記マークで表記します。

- DVD-V** 市販のDVDビデオディスク、またはビデオモードで記録されたDVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWのディスクが使用できる。
- DVD-A** 市販のDVDオーディオディスクが使用できる。
- DVD-VR** DVD-VRモードで記録されたDVD-R/DVD-RWのディスクが使用できる。
- DivX** DivX®モードで記録されたCD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWのディスクが使用できる。
- V-CD** ビデオCDディスクが使用できる。

DivX®を再生する場合は、「圧縮ファイルモードを設定する」(298ページ)を「動画」に設定してください。

1 ディスクを本機に挿入します。

自動的にディスプレイが閉まり、再生が始まります。

- ディスクの出し入れの方法については、「DVD、CD、SDメモリーカードの出し入れ」(22ページ)を参照してください。

- すでにディスクが入っているときは

メニュー/PWR スイッチを押した後、

サウンド・映像 にタッチし、サウンド・映像画

面で **DVD/CD** にタッチすると再生が始まります。

注意

- 安全上の配慮から、停車しているときにだけDVD/ビデオCDをご覧になれます。走行中は、映像は映らずに音声だけが聴こえます。
- ディスプレイの開閉時やディスクを出し入れするときは、変速レバーなどにぶつからないように注意してください。
- ディスプレイを開いたままにしないでください。故障や事故の原因になります。
- レーベル面を上にして挿入してください。
- ディスクを挿入するとき、ディスプレイなどに干渉しないように注意してください。

アドバイス

- 再生中に本機の電源を切る、イグニッションキーをOFFにする、サウンド・映像モードを切りかえるなどの操作をしても、次に電源をONにすると、続きから再生します(プレイポジションメモリ)。ディスクを取り出した場合は、プレイポジションメモリは解除されます。
- DVD/ビデオCDを再生するとメニュー画面が自動的に表示される場合があります。メニュー操作については「メニュー画面を操作する」(280ページ)を参照してください。
- ディスクによって本書で説明している操作とは異なる場合があります。ディスクの説明書もあわせてご覧ください。

メニューを表示する

DVD-V

DVD-A

V-CD

- 1 操作画面で **MENU** または **TOP MENU** にタッチします。



メニュー、またはトップメニューが表示されます。

アドバイス

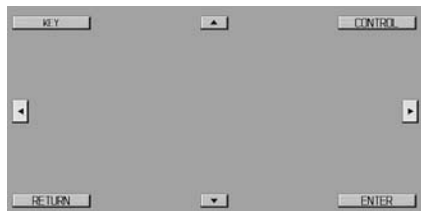
- 表示されるメニューの内容は、ディスクによって異なります。画面の指示にしたがって操作してください。

メニュー画面を操作する

DVDメニュー DVD-V DVD-A

メニュー画面でカーソルを移動して、メニュー項目を選択します。

- 1 操作画面で **MENU CONT** にタッチします。
- 2 **KEY** にタッチします。
- 3 必要に応じて **◀** **▶** **▲** **▼** **ENTER** にタッチします。



- **◀** **▶** にタッチすると、カーソルを左右に移動します。
- **▲** **▼** にタッチすると、カーソルを上下に移動したり、画面をスクロールします。
- **ENTER** にタッチすると、項目を選択します。
- **CONTROL** にタッチすると、DVD操作画面を表示します。

アドバイス

- 再生停止時、メニュー画面に表示される項目を、直接画面にタッチして選択することもできます。

ビデオCDメニュー V-CD

- 1 **1/2** にタッチします。
 - 2 **10KEY** にタッチします。
メニュー番号の入力画面が表示されます。
 - 3 **数字** にタッチしてメニュー番号を入力します。
 - 入力した番号を1つずつ消去する場合は **BS** にタッチします。入力した数字を全て消去する場合は **ALL DEL** にタッチします。
 - 4 **ENTER** にタッチします。
入力したメニュー番号が実行されます。
 - 5 **◀** にタッチします。
ビデオCD画面に戻ります。
- ## アドバイス
- PBCが「しない」に設定されている場合はメニュー画面は表示されません。詳しくは「ビデオCD再生モードを設定する」(299ページ)を参照してください。



メニュー番号で見たい映像を探す

メニュー画面に表示されるメニュー番号を入力して、見たい映像を探すことができます。

1 操作画面で **MENU CONT** にタッチします。

2 **KEY** に2回タッチします。



メニュー番号の入力画面が表示されます。

3 数字にタッチしてメニュー番号を入力します。



- 入力した数字を1つずつ消去する場合は **BS** にタッチします。入力した数字を全て消去する場合は **ALL DEL** にタッチします。

4 **ENTER** にタッチします。
入力したメニュー番号の映像が再生されます。

5 **←** にタッチします。
DVD画面に戻ります。

🔊 アドバイス _____
● ディスクによってはメニュー番号が記録されていないものがあります。

再生中止(PRE STOP)する

DVD-V

DVD-A

DVD-VR

DivX

V-CD

再生中に停止スイッチをタッチすると再生が停止し、その位置を記憶(プレイポジションメモリ)します。

1 操作画面で にタッチします。



PRE STOPと表示され、プレイポジションメモリが記録されます。



アドバイス

- PRE STOP中に  にタッチすると、再生中止した位置から再生されます。
- ディスクによってはPRE-STOPしたとき、再生中止位置を正しく記憶できない場合があります。
- VOFF設定時のDVDオーディオは、PRE-STOP機能はありません。(「DVDオーディオ再生モードを設定する」300ページ参照)

再生停止する

DVD-V

DVD-A

DVD-VR

DivX

V-CD

1 操作画面で に2回タッチします。



STOPと表示され、再生が停止します。



アドバイス

- 停止中に  にタッチすると、初めから再生されます。
- 「」を2秒以上タッチしても再生は停止します。
- VOFF設定時のDVDオーディオは、「」を1回タッチすると再生停止(STOP)になります。(「DVDオーディオ再生モードを設定する」300ページ参照)

再生している映像を早送り、または早戻しすることができます。

- 1 操作画面で **▶▶** または **◀◀** にタッチし続けます。



DVDビデオ/DVDオーディオ(VCAPモード)※/DVD-VR/DivX®/ビデオCD

再生中に **◀◀** (早戻し) または **▶▶** (早送り) をタッチし続けると、2倍速で早送り/早戻しします。さらにその状態で5秒以上タッチし続けると8倍速で早送り/早戻しができます。10秒以上タッチし続けると、32倍速(DivXは21倍速)で早送り/早戻しができる。

DVDオーディオ(VOFFモード)※

再生中に **◀◀** (早戻し) または **▶▶** (早送り) をタッチし続けると、21倍速で早送り/早戻しができます。

※ VCAPモード/VOFFモードはDVDセットアップで設定します。詳しくは「DVDオーディオ再生モードを設定する」(300ページ)を参照してください。

- 2 解除するには、**◀◀** または **▶▶** をはなします。

🔊 アドバイス

- 早送り/早戻し中に音声は出力されません。
- PBC(プレイバックコントロール)付きビデオCDでは、再生中のトラックのみ早送り/早戻しができます。
- DVDおよびプレイバックコントロール(PBC)付きビデオCDでは早送り/早戻し中にメニュー画面に戻ることがあります。
- ディスクによっては、**◀◀** (早戻し) スイッチの反応が悪くなる場合があります。
- 早送り/早戻しの速度は、おおよその速度です。ディスクによっても異なります。

静止(一時停止)する

DVD-V

DVD-A

DVD-VR

DivX

V-CD

再生中の映像を一時停止します。

- 1 操作画面で  にタッチします。



- 2 通常再生に戻すには、 にタッチします。



アドバイス

- 一時停止画像の状態から再生を開始すると、画像や音声が一時的に止まる場合がありますが故障ではありません。

コマ送り再生する

DVD-V DVD-VR V-CD

- 1 操作画面で **▶||** にタッチし、**◀◀** または **▶▶** にタッチします。



- タッチするたびに、1コマずつコマ送り/戻し再生されます。

- 2 通常再生に戻すには、**▶||** にタッチします。



アドバイス

- コマ送り/戻し再生中は、音声は再生されません。
- DVD-VRディスク、ビデオCDではコマ戻し再生はできません。

スローモーション再生する

DVD-V DVD-VR V-CD

- 1 操作画面で **▶||** にタッチし、**◀◀** または **▶▶** にタッチし続けます。



倍速表示

- 一時停止中に **◀◀** または **▶▶** を押し続けると、1/8倍速でスローモーション再生になります。
さらにその状態で5秒押し続けると1/2倍速にスローモーションの速度が変わります。

- 2 **◀◀** または **▶▶** をはなすと一時停止になります。通常再生に戻すには、**▶||** にタッチします。

🔊 アドバイス

- スローモーション再生中は、音声は再生されません。
- 1/2倍速、1/8倍速はおおよそその速さです。ディスクによっても異なります。
- DVD-VRディスク、ビデオCDではバックスローモーション再生はできません。

見たい映像を探す

再生している映像の前または次のチャプター/トラック/ファイルの頭出しをしたり、見たい映像をチャプター番号やタイトル/ファイル番号から探すことができます。

🔊 アドバイス

● 補足説明

チャプターとは、DVDに記憶されている映像や曲の区切りです。トラックとは、ビデオCDやCDに記憶されている映像や曲の区切りです。プレイリストとは、再生する映像の再生順を記録したリストです。グループとは、DVDオーディオに記憶されているトラック(1曲分)がいくつかのグループにまとまっているものです。ディスクによっては、グループ再生の仕方が異なります。

チャプター/トラック/ファイルの頭出しをする

(DVD-V) (DVD-A) (DVD-VR) (DivX) (V-CD)

- 1 操作画面で **◀◀** または **▶▶** にタッチし、見たいチャプター/トラック/ファイルを探します。



タッチするたびにチャプター/トラック/ファイルが切りかわります。

- **▶▶** にタッチすると、次のチャプター/トラック/ファイルを再生します。
- **◀◀** にタッチすると、現在のチャプター/トラック/ファイルの頭から再生します。続けてタッチすると前のチャプター/トラック/ファイルを再生します。
- PBC(プレイバックコントロール)付きビデオCDでは、トラックの頭出しができない場合があります。「ビデオCD再生モードを設定する」(299ページ)をしないに設定してください。
- DVDオーディオでは、一時停止中も本操作を行うことができます。

🔊 アドバイス

- ディスクによっては、チャプターが記録されていないものがあります。

チャプター/トラック/ファイル番号から探す

(DVD-V) (DVD-A) (DVD-VR) (DivX) (V-CD)

再生中、PRE-STOP中または一時停止中に操作を行ってください。

- 1 操作画面で **1/2** または **1/3** にタッチします。



- 2 **10KEY** にタッチします。



チャプター/トラック/ファイル番号の入力画面が表示されます。

- 3 数字にタッチしてチャプター/トラック/ファイル番号を入力します。



- 入力した数字を1つずつ消去する場合は **BS** にタッチします。入力した数字を全て消去する場合は **ALL DEL** にタッチします。

- 4 **ENTER** にタッチします。

入力したチャプター/トラック/ファイル番号の映像が再生されます。

- 5 **◀** にタッチします。

再生画面に戻ります。

④ アドバイス

- ディスクによってはチャプター/トラック/ファイル番号が記録されていないものがあります。

タイトル/グループ/プログラム/プレイリスト/フォルダ番号から探す

(DVD-V) (DVD-A) (DVD-VR) (DivX)

④ アドバイス

- 再生を停止させてから行ってください。

1 停止中に操作画面で **1/2** または **1/3** にタッチします。

2 **10KEY** にタッチします。



タイトル番号の入力画面が表示されます。

3 数字にタッチしてタイトル/グループ/プログラム/プレイリスト/フォルダ番号を入力します。



- 入力した数字を1つずつ消去する場合は **BS** にタッチします。入力した数字を全て消去する場合は **ALL DEL** にタッチします。

4 **ENTER** にタッチします。

入力したタイトル/グループ/プログラム/プレイリスト/フォルダ番号の映像が再生されます。

④ アドバイス

- ディスクによってはタイトル/グループ/プログラム/プレイリスト/フォルダ番号が記録されていないものがあります。

プログラム/プレイリストを選ぶ

(DVD-VR)

1 操作画面で **1/3** → **2/3** に続けてタッチします。

2 **▼プログラム** / **▼プレイリスト** または **プログラム▲** / **プレイリスト▲** にタッチし、前後のプログラム/プレイリストを選びます。



- **プログラム▲** / **プレイリスト▲** にタッチすると、次のプログラム/プレイリストの最初の曲から再生します。
- **▼プログラム** / **▼プレイリスト** にタッチすると、前のプログラム/プレイリストの最初の曲から再生します。

④ アドバイス

- プログラム再生時は **▼プログラム** / **プログラム▲**、プレイリスト再生時は **▼プレイリスト** / **プレイリスト▲** が表示されます。
- プレイリスト選択は、プレイリストが作成されているディスクでのみ操作できます。

フォルダを選ぶ

DivX

1 操作画面で **1/3** にタッチします。

2 **▲FLDR** または **FLDR▼** にタッチし、前後のフォルダを選びます。



- **▲FLDR** にタッチすると、次のフォルダの最初のファイルから再生します。
- **FLDR▼** にタッチすると、前のフォルダの最初のファイルから再生します。

プログラム/プレイリストサーチ

DVD-VR

1 操作画面で **TOP MENU** または **MENU** にタッチします。



- **TOP MENU** にタッチするとプログラムサーチ画面が表示されます。
- **MENU** にタッチするとプレイリストサーチ画面が表示されます。

2 希望のプログラムまたはプレイリスト名称にタッチします。



選んだプログラムまたはプレイリストが再生されます。

- プログラムサーチ画面で **プレイリスト** にタッチするとプレイリストサーチ画面が表示されます。
- プレイリストサーチ画面で **プログラム** にタッチするとプログラムサーチ画面が表示されます。

フォルダ/ファイルサーチ

DivX

1 操作画面 **SEARCH** にタッチします。
フォルダサーチ画面が表示されます。

フォルダサーチ

2 希望のフォルダの **▶** にタッチします。



選択したフォルダの最初のファイルが再生されます。



ファイルサーチ

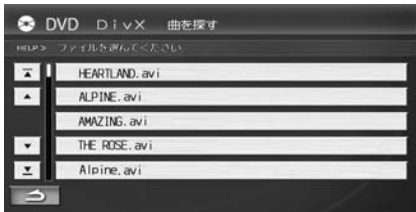
2 希望のファイルが収録されている

[フォルダ名称スイッチ]にタッチします。



フォルダ名称スイッチ

3 希望のファイル名称にタッチします。



選択したファイルが再生されます。

ページ送り/戻し

DVD-A

ページとは、DVDオーディオに静止画付きの画像が記憶されているものです。

- 再生中に **▼PAGE** または **PAGE▲** をタッチして、ページを切りかえます。静止画の Home Pageを表示するには、**▼PAGE** または **PAGE▲** を2秒以上タッチします。

▼PAGE : 1つ前の静止画を表示。

PAGE▲ : 次の静止画を表示。

🔊 アドバイス

- DVDオーディオディスクによっては、ページがないものもあります。また、スライドショー形式の映像は、操作できない場合があります。
- VCAPに設定している場合のみ、操作することができます。(「DVDオーディオ再生モードを設定する」300ページ参照)

繰り返し見る REPEAT(リピート)

DVD-V DVD-A DVD-VR
V-CD

気に入った場面を繰り返し再生させることができます。

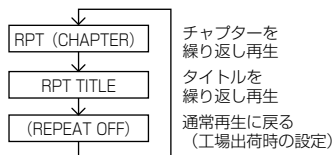
1 操作画面で **1/2** または **1/3** にタッチします。

2 再生中に  にタッチします。

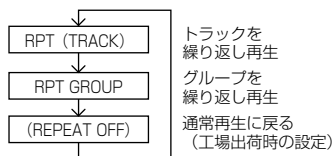


押すごとにリピートの種類がかわります。

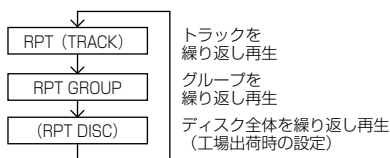
DVDビデオ



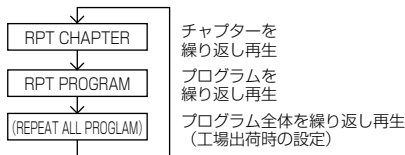
DVDオーディオ(VCAPモード)※



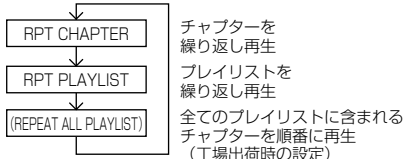
DVDオーディオ(VOFFモード)※



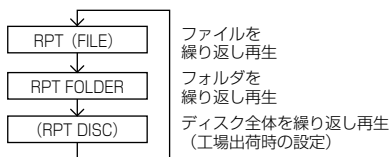
DVD-VR(プログラム再生時)



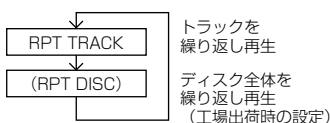
DVD-VR(プレイリスト再生時)



DivX®



ビデオCD



※ VCAP/VOFFモードはDVDセットアップで設定します。詳しくは「DVDオーディオ再生モードを設定する」(300ページ)を参照してください。

3 通常再生に戻すには、REPEATモードが解除するまで  にタッチします。

アドバイス

- プレイバックコントロール(PBC)付きビデオCDではトラックリピート/ディスクリピートは使用できません。「ビデオCD再生モードを設定する」(299ページ)をしないに設定してください。
- ディスクによってはリピートの種類が切りかえられない場合があります。
- DVDオーディオ/ビデオ再生時は、 を2秒以上タッチすると、強制的にREPEAT OFFになります。

DVD機能の切りかえ

再生する映像の音声言語や字幕言語、表示アングルを切りかえることができます。

アングルの切りかえ

DVD-V DVD-A

ディスクに複数のアングルが記録されている場合は、アングルを切りかえて表示することができます。

1 操作画面で **1/2** または **1/3** にタッチします。

2 **ANGLE** にタッチします。



- タッチすることにより、収録されているアングルが順番に切りかわり、映像のアングルが切りかわります。右上にアングル番号が表示されます。
- しばらく(約5秒)操作しない場合は、再生画面に戻ります。

① アドバイス

- アングル変更までに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによって異なりますがアングル切りかえには2種類あります。
 - シームレス:
つぎめなくスムーズにアングルが切りかわる。
 - ノンシームレス:
アングル切りかえ時、一瞬静止画となりその後アングルが切りかわる。
- DVDオーディオはVCAPに設定している場合、操作することができます。(「DVDオーディオ再生モードを設定する」300ページ参照)

音声言語の切りかえ

DVD-V DVD-A DVD-VR DivX V-CD

ディスクに複数の音声または音声言語が記録されている場合は、再生中に音声言語を一時的に切りかえることができます。

1 操作画面で **1/2** または **1/3** ※にタッチします。

※ DVDオーディオ(VOFF設定時)/DivXの場合には、**1/3** → **2/3** に続けてタッチします。

2 **AUDIO** にタッチします。



- タッチすることにより、収録されている音声言語が順番に切りかわります。右上に音声言語の番号が表示されます。

② アドバイス

- DVD初期設定の「音声言語」で、音声言語をあらかじめ設定しておくことができます(初期設定値は「オート」)。設定方法については、「優先する音声を切りかえる」(296ページ)を参照してください。
- ディスクによっては再生中の切りかえができない場合があります。そのときはメインメニューから言語を選択してください。
- 音声変更まで多少時間がかかる場合があります。

多重音声が記録されているDVD-VR/ビデオCD

■ DVD-VR

- 1 再生中に **AUDIO** に2秒以上タッチします。
タッチすることによりLチャンネル、Rチャンネル音声の
組み合わせがかわります。

LR→LL→RR→LR

■ ビデオCD

- 1 再生中に **AUDIO** にタッチします。
タッチすることによりLチャンネル、Rチャンネル音声の
組み合わせがかわります。

LR→LL→RR→LR

サブタイトル(字幕言語)切り換え

(DVD-V) (DVD-A) (DVD-VR) (DivX)

複数の字幕言語が記録されているDVDでは、再生中に字幕言語を切り換えたり非表示にすることができます。

- 1 操作画面で **1/2** または **1/3** * にタッチします。

※ DivXの場合には、**1/3** → **2/3** と続けてタッチします。

- 2 **SUBT.** にタッチします。



- タッチすることにより、収録されている字幕言語が順番に切りかわります。右上に字幕言語の番号が表示されます。

DVD-VRディスク再生時は、字幕表示のON/OFFを設定します。

🔊 アドバイス

- DVD初期設定の「字幕」で、表示される字幕言語をあらかじめ設定しておくことができます(初期設定値は「オート」)。設定方法については、「字幕の言語を切りかえる」(296ページ)を参照してください。
- 字幕言語変更までに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによっては再生中の切り換えができない場合があります。そのときはディスクメニューから選んでください。
- ディスクによってはOFFに設定しても、サブタイトルが表示される場合があります。
- DVDオーディオはVCAPに設定している場合、操作することができます(「DVDオーディオ再生モードを設定する」300ページ参照)

DVD初期設定

音声や字幕言語をあらかじめ設定することができます。また、視聴制限なども設定することができます。

アドバイス

- サウンド・映像ソースがDVDモードの時に設定することができます。
- DVDを再生中にDVD初期設定を行う場合は、DVD初期設定画面で**停止**にタッチして再生を停止させてから設定をしてください。

DVD初期設定画面を表示する

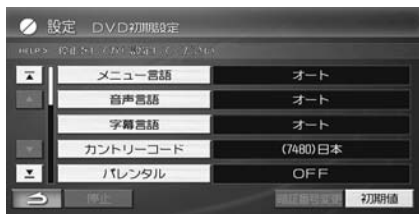
- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。
- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **オーディオ** タブにタッチし、**DVD初期設定** にタッチします。



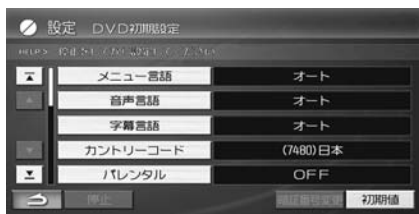
DVD初期設定画面が表示されます。



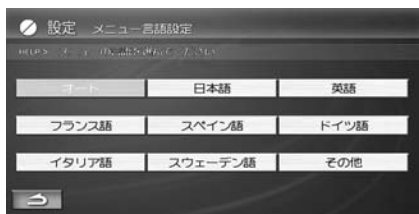
メニューの言語を切りかえる

タイトルメニューやメインメニューで表示される言語を設定します(初期設定値は「オート」)。

- 1 DVD初期設定画面で**メニュー言語** にタッチします。
「DVD初期設定画面を表示する」(295ページ参照)



- 2 お好みの言語にタッチします。



- **オート** に設定すると、DVDソフトに記録されている最優先の言語で再生されます。
- 選択したい言語が表示されていない場合は、手順3に進みます。言語が表示されている場合は希望の言語にタッチし、操作を終了します

- 3 **その他** にタッチします。

- 4 4桁の言語コードを入力します。



- 言語コードについては382ページ「言語コード一覧」を参照してください。

- 5 **完了** にタッチします。

入力したコードの言語がDVD初期設定画面に表示されます。

次ページに続く→

④ アドバイス

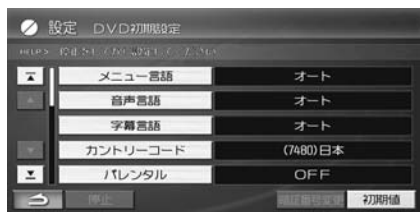
- 入力したコードが間違っている場合は、「コード番号が正しくありません」と表示した後、コード入力画面に戻ります。
- **削除** にタッチするたびに、入力した数字を1桁ずつ消去できます。

優先する音声を切りかえる

再生する映像の音声言語を設定します(初期設定値は「オート」)。

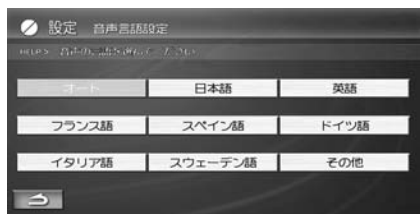
1 DVD初期設定画面で **音声言語** にタッチします。

「DVD初期設定画面を表示する」(295ページ参照)



音声言語設定画面が表示されます。

2 お好みの言語にタッチします。



- **オート** に設定すると、DVDソフトに記録されている最優先の音声言語で再生されます。
- 選択したい言語が表示されていない場合は、手順3に進みます。言語が表示されている場合は希望の言語にタッチし、操作を終了します。

3 その他 にタッチします。

4 4桁の言語コードを入力します。



- 言語コードについては378ページ「言語コード一覧」を参照してください。

5 **完了** にタッチします。

入力したコードの言語がDVD初期設定画面に表示されます。

④ アドバイス

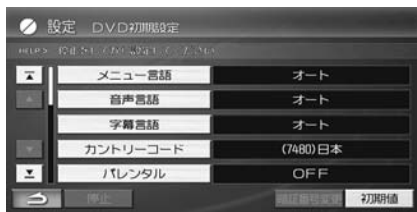
- ディスクによっては、設定した言語よりディスクに記録されている最優先の言語が優先される場合があります。
- 入力したコードが間違っている場合は、「コード番号が正しくありません」と表示した後、コード入力画面に戻ります。
- **削除** にタッチするたびに、入力した数字を1桁ずつ消去できます。

字幕の言語を切りかえる

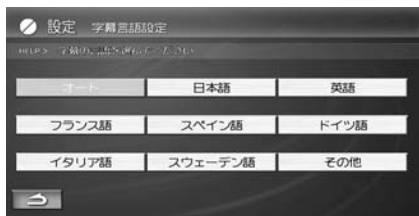
再生する映像の字幕言語を設定します(初期設定値は「オート」)。

1 DVD初期設定画面で **字幕言語** にタッチします。

「DVD初期設定画面を表示する」(295ページ参照)



2 お好みの言語にタッチします。



- **オート** に設定すると、DVDソフトに記録されている最優先の字幕言語で再生されます。
- 選択したい言語が表示されていない場合は、手順3に進みます。言語が表示されている場合は希望の言語にタッチし、操作を終了します。

3 その他 にタッチします。

4 4桁の言語コードを入力します。



- 言語コードについては378ページ「言語コード一覧」を参照してください。

5 完了 にタッチします。

入力したコードの言語がDVD初期設定画面に表示されます。

🔊 アドバイス

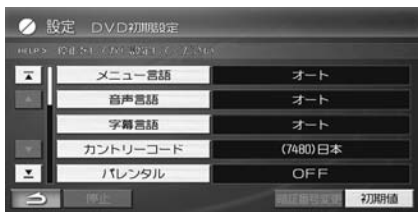
- 入力したコードが間違っている場合は、「コード番号が正しくありません」と表示した後、コード入力画面に戻ります。
- **削除** にタッチするたびに、入力した数字を1桁ずつ消去できます。

カントリーコード設定を変更する

視聴規制(パレンタルロック)を設定する時の、設定したい規制レベルの国番号を設定します。

1 DVD初期設定画面で **カントリーコード** にタッチします。

「DVD初期設定画面を表示する」(295ページ参照)



カントリーコード入力画面が表示されます。

2 4桁のカントリーコードを入力します。



3 完了 にタッチします。

🔊 アドバイス

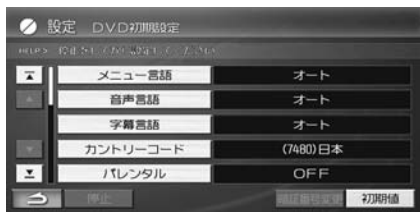
- 入力したコードが間違っている場合は、「コード番号が正しくありません」と表示した後、コード入力画面に戻ります。
- **削除** にタッチするたびに、入力した数字を1桁ずつ消去できます。
- 日本の国番号は7480です。

視聴制限を設定する

DVDソフトの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見てたくない映像の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は、8段階のレベルから設定します(初期設定値は「OFF」)。

1 DVD初期設定画面で **パレンタル** にタッチします。

「DVD初期設定画面を表示する」(295ページ参照)



暗証番号設定画面が表示されます。

2 4桁の暗証番号を入力し、**完了** にタッチします。



- 初回は、暗証番号が設定されていません。お好きな4桁の数字を入力してください。2回目以降は同じ暗証番号を入力してください。
- 暗証番号は必ず入力してください。入力しないと視聴制限の設定を行うことができません。
- 入力した暗証番号は、*で表示されます。

3 お好みの視聴制限レベル **1** ～ **8** にタッチします。



入力した視聴制限レベルがDVD初期設定画面に表示されます。

アドバイス

- 視聴制限レベルが記録されていないDVDソフトではレベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 2回目以降、設定を変更するときに、最初に入力した暗証番号が必要になります。暗証番号を忘れないように注意してください。
- 暗証番号を変更することもできます。DVD初期設定画面で **暗証番号変更** にタッチして元の暗証番号を入力後、新しい暗証番号を入力し **完了** にタッチします。
- 視聴制限レベルは、以下の3種類に分類されます。
 - レベル1
子供向けのDVDソフトのみを再生します(一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します)。
 - レベル2～7
子供向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します(成人向けのDVDソフトの再生を禁止します)。
 - レベル8
全てのDVDソフトを再生します。
 - OFF
視聴制限をOFFにします。全てのDVDソフトを再生します(初期設定)。

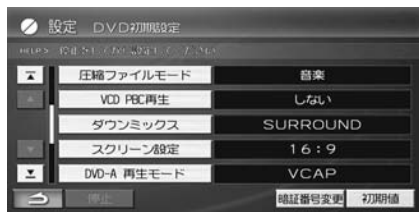
圧縮ファイルモードを設定する

圧縮ファイル再生時、音楽データを再生するか動画データを再生するか設定します。(初期設定値は「音楽」)

1 DVD初期設定画面で

圧縮ファイルモード にタッチします。

「DVD初期設定画面を表示する」(295ページ参照)。



- タッチするたびに以下のように設定が切りかわります。

音楽 → 動画 → 音楽

音楽

音楽データのみを再生します。

動画

動画データのみを再生します。



ビデオCD再生モードを設定する

プレイバックコントロール(PBC)付きのビデオCDを再生する場合に、PBCを「する」にするか「しない」にするかをあらかじめ設定できます(初期設定値は「する」)。

- 1 DVD初期設定画面で **VCD PBC 再生** にタッチします。
「DVD初期設定画面を表示する」(295ページ参照)



- タッチするたびに以下のように設定が切りかわります。

する → しない → する

する

ビデオCDに収録されているメニューを表示し、メニューの操作ができる。

しない

ビデオCDに収録されているメニューは表示できない。

🔊 アドバイス

- この設定はディスクを挿入する前に行ってください。既にディスクが挿入されている時は、ディスクを取り出すと設定が反映されます。

ダウンミックスを設定する

本機能は、ドルビーデジタル、DTSストリーム音声に有効です(初期設定値は「SURROUND」)。

- 1 DVD初期設定画面で **ダウンミックス** にタッチします。
「DVD初期設定画面を表示する」(295ページ参照)



- タッチするたびに以下のように設定が切りかわります。

SURROUND → STEREO → SURROUND

SURROUND

サラウンド互換ダウンミックス

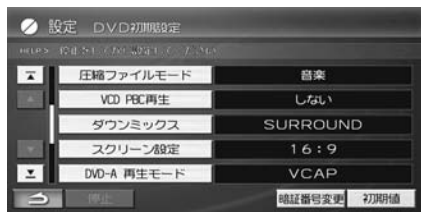
STEREO

ステレオダウンミックス

映像出力を切りかえる

画面のサイズを設定します(初期設定値は「16:9」)。

- 1 DVD初期設定画面で **スクリーン設定** にタッチします。
「DVD初期設定画面を表示する」(295ページ参照)



- タッチするたびに以下のように画面サイズが切りかわります。

16:9 → 4:3LB → 4:3PS → 16:9...

16:9

通常のワイドサイズで表示されます。

4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。

4:3LB(レターボックス)

上下両端が黒く表示された映像になります。

4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズちょうど(4:3)で表示されます。

4:3PS(パンスカン)

左右両端がカットされた映像になります。

4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズちょうど(4:3)で表示されます。

注意

- お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮/引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

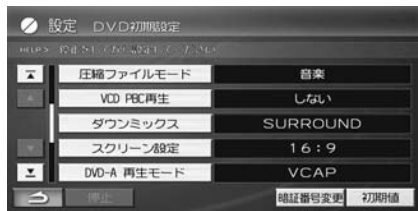
アドバイス

- DVDソフトによっては、画面サイズが変更されない場合があります、通常は16:9(初期設定値)に設定してください。

DVDオーディオ再生モードを設定する

DVDオーディオディスクの再生方法を設定することができます。DVDビデオ/オーディオ混在ディスクの場合、DVDオーディオを再生するにはVCAP (Video Capable Audio Player)またはVOFF (Video OFF)に設定してください(初期設定値は「VCAP」)。

- 1 DVD初期設定画面で **DVD-A再生モード** にタッチします。
「DVD初期設定画面を表示する」(295ページ参照)



- タッチするたびに以下のように設定が切りかわります。

VCAP → VOFF → VIDEO → VCAP

VCAP

映像と音声データを再生する。

VOFF

映像を出力せずに音声データのみを再生する。

VIDEO

DVDビデオ/オーディオ混在ディスクの、DVDビデオデータのみ再生する。

アドバイス

- この設定はディスクを挿入する前に行ってください。既にディスクが挿入されている時は、ディスクを取り出すと設定が反映されます。



ボーナスグループを再生する

DVDオーディオには、通常のグループの他にボーナスグループが収録されているものがあります。ボーナスグループを選んだときは暗証番号入力画面が表示されますが、あらかじめこの4桁の暗証番号を入力しておくことができます。

1 DVD初期設定画面で **ボーナスコード設定** にタッチします。

「DVD初期設定画面を表示する」(295ページ参照)



暗証番号入力画面が表示されます。

2 暗証番号を入力します。



3 **完了** にタッチします。

アドバイス

- ボーナスクーグループの暗証番号が本設定で設定されている暗証番号と異なる場合は、入力画面が自動的に表示されます。
- **削除** にタッチするたびに、入力した数字を1つつ消去できます。
- この設定はディスクを挿入する前に行ってください。既にディスクが挿入されている時は、ディスクを取り出すと設定が反映されます。

DivX® レジストレーションコードを表示する

DivX®のレジストレーションコードを表示します。

1 DVD初期設定画面で **DivX DRM情報** にタッチします。

「DVD初期設定画面を表示する」(295ページ参照)
DivX情報画面が表示されます。



アドバイス

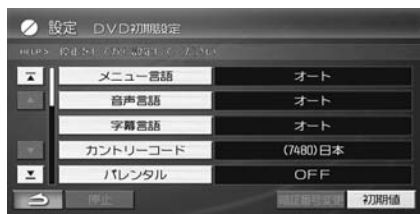
- この設定はディスクを挿入する前に行ってください。既にディスクが挿入されていると、操作を行うことができません。

初期値に戻す

DVD初期設定の内容を工場出荷時の状態に戻します。

1 DVD初期設定画面で **初期値** にタッチします。

「DVD初期設定画面を表示する」(295ページ参照)



2 メッセージが表示されますので、**はい** にタッチします。

設定内容が初期値に戻ります。

アドバイス

- この設定はディスクを挿入する前に行ってください。既にディスクが挿入されていると、操作を行うことができません。

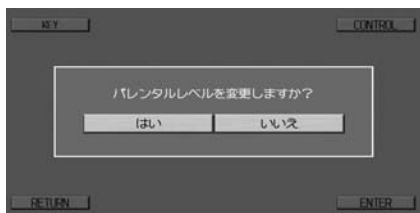
視聴制限したDVDを再生する

ディスクによっては、再生中にDVD初期設定で設定した視聴制限レベル(パレンタルレベル)の変更を要求する場合があります。この場合は正しい暗証番号を入力すると、視聴制限した映像が再生されます。

① アドバイス

- 視聴制限をするためには、あらかじめ設定を行ってください。(「視聴制限を設定する」298ページ参照)。

1 DVD再生中に、パレンタルレベル変更を要求するメッセージが表示された場合は、**はい**にタッチします。



暗証番号入力画面が表示されます。

2 パレンタル設定で入力した4桁の暗証番号を入力し、**ENTER**にタッチします。



暗証番号が正しいと視聴制限した映像が再生されます。

- 入力した数字を1つずつ消去する場合は **BS** にタッチします。入力した数字を全て消去する場合は **ALL DEL** にタッチします。

地上デジタルテレビ操作

サウンド・映像編

<VIE-X075B1の操作>

画面の見かた	304
ワンセグ操作画面について	304
画面表示を切りかえる	306
ワンセグ放送を見る	307
放送局を選ぶ	308
放送局を選ぶ	308
プリセットスイッチから選ぶ	308
放送局を記憶する	309
手動で記憶する	309
自動で記憶する(オートメモリー)	309
音声多重機能を使う(二重音声放送)	310

<VIE-X075Bの操作>

画面の見かた	311
地上デジタルテレビ操作画面について	311
地上デジタルテレビを見る	314
電源のON/OFF	314
地上デジタルテレビモードに切りかえる	314
放送局を選ぶ	315
手動で放送局を選ぶ	315
登録したチャンネルを呼び出す	315
ワンセグ放送を見る	316
ワンセグ放送の呼び出し	316
チャンネルを選ぶ	316
データ放送を見る	317
データ放送の呼び出し	317
データ放送画面を操作する	317
受信情報を表示する	318
番組情報を見る(EPG)	319
番組情報(EPG)を見る	319
番組詳細情報を見る	319

画面の見かた

<VIE-X075B1の操作>

VIE-X075B1にはワンセグチューナーが内蔵されていて、地上デジタルテレビのサービスのひとつであるワンセグ放送を視聴することができます。

🔊 アドバイス

- 「地上デジタル放送について」(404ページ)も参照してください。

ワンセグ操作画面について

テレビの受信画面からテレビ操作画面に切りかえると以下の画面が表示されます。

■ ワンセグ操作画面



1. BAND表示

2. 放送局表示

受信している放送局のプリセットNo.、チャンネルNo.が表示されます。

3. プリセットスイッチ

記憶されている放送局のチャンネルNo.を表示します。タッチすると放送局を呼び出します。タッチし続けると、受信している放送局をそのスイッチに記憶します(「プリセットスイッチから選ぶ」308ページ、「手動で記憶する」309ページ参照)。

4. スペアナ表示

音をデジタル表示で表現します。表示をOFFに設定することもできます。(「スペアナ表示を設定する」36ページ参照)。

5. 時計表示

6. ⏮️/⏪️

低い周波数に変更します。(「放送局を選ぶ」308ページ参照)。

7. TUNE

チューニングモードを切りかえます(「放送局を選ぶ」308ページ参照)。

8. ⏩️/⏭️

高い周波数に変更します。(「放送局を選ぶ」308ページ参照)。

9. A.MEMO

放送局を自動でプリセットスイッチに記憶します(「自動で記憶する(オートメモリー)」309ページ参照参照)。

10. BAND

バンドを選びます。

11. P.DISP

プリセットスイッチの表示/非表示を切りかえます。

12. MAIN/SUB

主音声/副音声を切りかえます。

13. DISP

番組情報画面表示と、映像全画面表示を切りかえます。



14. 状態表示

A.MEMOのときは「A.MEMO」と表示します。SEEKモードの時は「SEEK」と表示します。音声多重機能の設定により「MAIN」「SUB」が表示されます（「音声多重機能を使う（二重音声放送）」310ページ参照）。

15. イメージ表示

イメージ画像が表示されます。

16. 受信状態表示

受信状態を5段階で表示します。常時表示するかどうか設定することができます（「ワンセグの受信状態を表示する」37ページ参照）。

表示					
受信状態	圏外	微弱	弱	中	強

17.

マルチゲート画面が表示されます（「マルチゲート画面」26ページ参照）。

18.

マルチインフォメーション画面が表示されます（「マルチインフォメーション画面」29ページ参照）。

19.

タッチすると地図画面に切りかわります。



携帯電話通話中のみ表示されます。タッチすると通話画面を表示します。

ワンセグ操作画面への切りかえかた

- 1 ワンセグ画面で画面にタッチします。
地上デジタルテレビの操作画面が表示されます。



- しばらく(約5秒)操作をしない場合は、元の画面に戻ります。

画面表示を切りかえる

映像フル画面と番組情報画面を切りかえることができます。

- 1 ワンセグ操作画面で **DISP** にタッチします。

番組情報画面 ↔ 映像フル画面

<番組情報画面>



<映像フル画面>



- 1 **放送局名**
現在受信している放送局名を表示します。
- 2 **受信中の番組映像**
- 3 **現在番組**
現在受信している番組名が表示されます。

ワンセグ放送を見る

1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、
サウンド・映像 にタッチします。

2 **ワンセグ** にタッチします。



最後に見ていた放送局のテレビ画面が表示されます。

3 **BAND** にタッチしてバンドを選びます。

BAND1 → BAND2 → BAND1

地上デジタルテレビの受信について

安全上の配慮から、停車しているときにだけテレビをご覧になれます。走行中は、映像は映らずに音声だけが聴こえます。

設定変更操作、表示切りかえ操作も受け付けません。

🔊 アドバイス

- データデコード処理のため、ワンセグ放送を受信してから約3秒後に音声、約5秒後に映像が出力されます。

放送局を選ぶ

放送局を選ぶ

- 1 ワンセグ操作画面で **TUNE** にタッチしてチューニングモードを選びます。
TUNE をタッチすることにより、**◀◀**、**▶▶** 表示がかわります。

◀◀ ▶▶ SEEKモード



◀◀ ▶▶ マニュアルモード

- 2 **◀◀**、**▶▶** または **◀◀**、**▶▶** にタッチして、放送局(周波数)を探します。
 - マニュアルモードでは **◀◀**、**▶▶** を押すとチャンネルが1つずつ切りかわります。タッチし続けると、連続で変化します。SEEKモードでは受信可能なチャンネルを自動で探し出し受信します。
 - SEEKモードを途中で解除したいときは、もう一度 **◀◀** または **▶▶** にタッチします。

🔊 アドバイス

- SEEKモード時は、「SEEK」インジケータが表示されます。
- プリセット番号やイメージ画像などを非表示にして、現在の番組画面を見ながら番組を選ぶこともできます。操作画面で **P.DISP** にタッチしてください。

プリセットスイッチから選ぶ

あらかじめ記憶(プリセット)されている放送局を受信します。

- 1 ワンセグ操作画面で **BAND** にタッチしてバンドを選びます。
BAND1→BAND2→BAND1
- 2 見たい放送局のプリセットスイッチにタッチします。



🔊 アドバイス

- 放送局をプリセットスイッチに記憶させる操作については、「放送局を記憶する」(309ページ)を参照してください。

放送局を記憶する

放送局をプリセットスイッチに記憶させるには、マニュアル(手動)とA.MEMO(自動)2つのモードがあります。

手動で記憶する

- 1 ワンセグ操作画面で **BAND** にタッチしてバンドを選びます。
BAND1→BAND2→BAND1
- 2 記憶させたい放送局にchを合わせます。
- 3 記憶させたいプリセットスイッチに操作音がするまでタッチし続けます。



放送局がタッチしたプリセットスイッチに記憶されます。

アドバイス

- BAND1/BAND2それぞれに9局ずつプリセットすることができます。
- すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

自動で記憶する(オートメモリー)

- 1 ワンセグ操作画面で **BAND** にタッチしてバンドを選びます。
- 2 **A.MEMO** にタッチします。



「A.MEMO」が表示され、自動的に選局を始めます。自動選局が終了すると、プリセットスイッチに記憶されます。

放送局を記憶したあと、最も電界強度の強い放送局を表示します。

- A.MEMOの起動中にもう一度 **A.MEMO** にタッチするとA.MEMOは解除されます。

アドバイス

- 受信電波の弱い地域では、A.MEMOでの自動受信ができないことがあります。受信できなかった場合は、オートメモリー前の状態に戻ります。
- 受信状況によっては、手動で受信可能なチャンネルでも登録できない場合があります。
- A.MEMOを同じ場所で繰り返さえし操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信感度のよい放送局をch数の小さい順に9局まで自動的に記憶します。
- BAND1/BAND2それぞれに9局ずつプリセットすることができます。

音声多重機能を使う(二重音声放送)

ニュースや映画などの2ヶ国語放送や、スポーツの実況中継など、異なった2種類の音声放送(二重音声放送)を楽しむことができます。

- 1 ワンセグ操作画面で **MAIN/SUB** にタッチします。



MAIN → SUB → MAIN

MAIN : 主音声のみ。操作画面に「MAIN」インジケーターが表示されます。

SUB : 副音声のみ。操作画面に「SUB」インジケーターが表示されます。

🔊 アドバイス

- 副音声に設定した状態で副音声を放送していない放送局を受信した場合は、主音声を放送します。
- 本機は複数音声には対応していません。
- ステレオ放送時は設定に関係なく、ステレオで放送を受信します。



<VIE-X075Bの操作>

付属の地上デジタルテレビチューナーの操作を、本機から行うことができます。

地上デジタルテレビチューナー側の取扱説明書も参照してください。

- 地上デジタルテレビを操作するには、「外部入力に表示名をつける」(339ページ参照)を「EXT.DTV」に設定してください。
- 地上デジタルテレビチューナーの一部の操作は、本機から行うことができません。地上デジタルテレビチューナー添付のリモコンで操作してください。

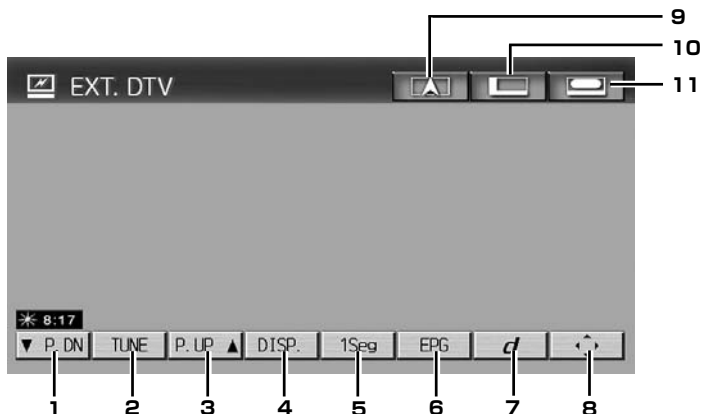
🔊 アドバイス

- 「地上デジタル放送について」(404ページ)も参照してください。

地上デジタルテレビ操作画面について

地上デジタルテレビ受信画面から操作画面に切りかえると、以下の画面が表示されます。

■ 地上デジタルテレビ操作画面 1/2



1 ◀ CH.DN

チャンネルが1つずつダウンします。タッチし続けると自動的にチャンネルを探し出し、受信します(SEEK)。

▼ P.DN

プリセット番号が1つずつダウンします。

2 TUNE

選局方法(チャンネルまたはプリセット番号)を切りかえます。

3 ▶ CH.UP

チャンネルが1つずつアップします。タッチし続けると自動的にチャンネルを探し出し、受信します(SEEK)。

P.UP ▲

プリセット番号が1つずつアップします。

4 DISP.

受信状態を表示します。番組情報画面(EPG)表示中に押すと、番組詳細情報が表示されます。

5 1 Seg

地上デジタルテレビ放送/ワンセグ放送を切りかえます。

6 EPG

番組情報画面(EPG)を呼び出します。

7 d

データ放送を呼び出します。

8 ◀▶

操作画面を切りかえます。

9 📍

タッチすると地図画面に切りかわります。



携帯電話通話中のみ表示されます。タッチすると通話画面を表示します。

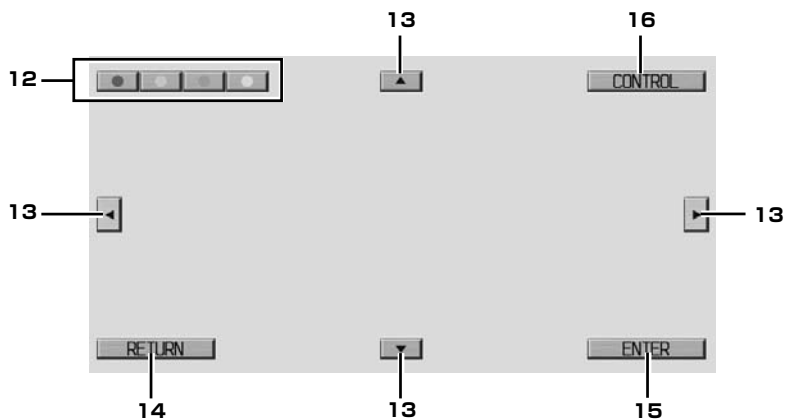
10 📺

マルチインフォメーション画面が表示されます(「マルチインフォメーション画面」29ページ参照)。

11 📶

マルチゲート画面が表示されます(「マルチゲート画面」26ページ参照)。

■ 地上デジタルテレビ操作画面2/2



12 ● (青) ● (赤) ● (緑)
● (黄)

データ放送受信時に使用します。

13 ▲、▼、◀、▶

画面に表示される項目を選択します。

14 RETURN

1つ前の画面に戻します。

15 ENTER

選択した項目を決定します。

16 CONTROL

操作画面を切りかえます。



地上デジタルテレビ操作画面への切りかえ方

- 1 地上デジタルテレビ画面で、画面にタッチします。

地上デジタルテレビの操作画面が表示されます。



にタッチ   **CONTROL** にタッチ



- しばらく(約5秒)操作しないと、元の画面に戻ります。

地上デジタルテレビを見る

電源のON/OFF

地上デジタルテレビチューナーの電源をON/OFFします。

- 1 地上デジタルテレビチューナー添付リモコンの **(PWR)** スイッチを押します。または、別売リモコンRUE-4208の **①** スイッチを押します。

地上デジタルテレビチューナーの電源がON/OFFされます。

🔊 アドバイス

- 別売リモコンRUE-4208背面の切りかえスイッチは、「DTV」に切りかえてください。

地上デジタルテレビモードに切りかえる

- 1 **(メニュー/PWR)** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

- 2 **EXT.DTV** にタッチします。



最後に見ていたチャンネルのテレビ画面が表示されます。

🔊 アドバイス

- 「外部入力に表示名をつける」(339 ページ)を「EXT.DTV」に設定してください。

🔊 注意

- 安全上の配慮から、停車しているときにだけ地上デジタルテレビをご覧になれます。走行中は、映像は映らずに音声だけが聴こえます。

放送局を選ぶ



手動で放送局を選ぶ

- 1 地上デジタルテレビの操作画面で **TUNE** にタッチして **◀ CH.DN**、**CH.UP ▶** を表示させます。



チャンネル選択モードに切りかわります。

◀ CH.DN、**CH.UP ▶** ⇄ **▼ P.DN**、**P.UP ▲**

- 2 **◀ CH.DN** または **CH.UP ▶** にタッチして、チャンネルを探します。

◀ CH.DN : チャンネルが1つずつダウンします。
タッチし続けると自動的にチャンネルを探し出し、受信します。

CH.UP ▶ : チャンネルが1つずつアップします。
タッチし続けると自動的にチャンネルを探し出し、受信します。

登録したチャンネルを呼び出す

あらかじめ記憶(プリセット)されているチャンネルを受信します。

- 1 地上デジタルテレビの操作画面で **TUNE** にタッチして **▼ P.DN**、**P.UP ▲** を表示させます。



プリセット番号選択モードに切りかわります。

◀ CH.DN、**CH.UP ▶** ⇄ **▼ P.DN**、**P.UP ▲**

- 2 **▼ P.DN** または **P.UP ▲** にタッチして、プリセット番号を探します。
▼ P.DN : プリセット番号が1つずつダウンします。
P.UP ▲ : プリセット番号が1つずつアップします。

アドバイス

- 本機からはチャンネルを記憶(プリセット)することはできません。地上デジタルテレビチューナーに付属のリモコンから操作を行ってください。

ワンセグ放送を見る

ワンセグ放送の呼び出し

- 1 地上デジタル放送視聴中に **1Seg** にタッチします。



ワンセグ放送に切りかわります。

- 2 地上デジタル放送に戻るには、もう一度 **1Seg** にタッチします。
地上デジタル放送に切りかわります。

チャンネルを選ぶ

ワンセグ放送は、地上デジタル放送がプリセット登録されている場合にチャンネルを選ぶことができます。

- 1 ワンセグ放送視聴中に、**▼ P.DN** または **P.UP ▲** にタッチして、プリセット番号を探します。



🔊 アドバイス

- 本機からはチャンネルを記憶(プリセット)することはできません。地上デジタルテレビチューナーに付属のリモコンから操作を行ってください。

データ放送を見る



データ放送の呼び出し

現在受信中の番組がデータ放送を行っている場合、番組に連動したいろいろな情報を見ることができます。

- 1 **d** にタッチします。



データ放送画面が表示されます。

<表示例>



データ放送画面を操作する

- 1 **<=>** にタッチして操作画面に切りかえます。



- 2 **<=>**、**<=>**、**<=>**、**<=>** にタッチして見たい項目を選び、ENTER にタッチします。



アドバイス

- 番組によってはカラーボタン(青 赤 緑 黄)が表示されます。画面に従ってカラーボタンにタッチして操作することができます。

受信情報を表示する

受信中のチャンネルについて、現在時刻、チャンネル情報、受信状態などを表示します。

- 1 地上デジタルテレビの操作画面で **DISP.** にタッチします。

画面に受信情報が約5秒間表示されます。



番組情報を見る(EPG)

受信中の番組情報や次番組の情報を見ることができます。
さらに詳細な情報を見ることができます。

番組情報(EPG)を見る

- 1 地上デジタルテレビの操作画面で **EPG** にタッチします。



受信中の番組情報と、次番組情報が表示されます。

- 2 EPG画面の操作を行うことができます。
◀、**▶**、**▲**、**▼**、**RETURN**、**ENTER** は **◀▶** にタッチすると表示されます。



- **ENTER** : 選んだ番組を受信します。
- **▲**、**▼** : 番組を選びます。
- **◀**、**▶** : プリセットチャンネルを選局します。
- **RETURN** : EPG画面を表示する前の画面に戻します。

番組詳細情報を見る

- 1 番組情報画面(EPG)で番組を選び、**DISP.** にタッチします。
選んだ番組の詳細な情報が表示されます。
- **RETURN** にタッチすると、番組情報画面に戻ります。

iPod操作

サウンド・映像編

画面の見かた	322
iPod®を再生する	324
iPodを接続する	324
iPodを再生する	324
iPodを外す	324
聴きたい曲/見たい映像を選ぶ	325
早送り・早戻しする	326
一時停止する	327
聴きたい曲を探す	328
ダイレクトサーチ機能	330
ダイレクトアップ/ダウン機能	330
見たい映像を探す	331
ファイル順を変えて聴く シャッフル (M.I.X. ミックス)	332
ミックス再生する	332
iPod内全てのファイルをミックス再生する	332
繰り返し聴く REPEAT(リピート)	333
iPod設定	334

画面の見かた

■ iPod操作画面1/2



1. 情報表示

再生しているファイルの情報が表示されます(「インジケータ表示について」28ページ参照)。情報がない場合は、NO TITLEと表示されます。

2. ファイルNo./現在の再生リストの総ファイル数、再生経過時間表示

再生しているファイルのNo.と再生経過時間が表示されます。

3. スペアナ表示

音をデジタル表示で表現します。表示をOFFに設定することもできます。(「スペアナ表示を設定する」36ページ参照)。

4. 時計表示

5. ⏮

再生しているファイルの頭に戻ります。続けてタッチすると前のファイルの頭出しをします(「聴きたい曲/見たい映像を選ぶ」325ページ参照)。タッチし続けると、再生しているファイルを早戻しします(「早送り・早戻しする」326ページ参照)。

6. ⏸

再生しているファイルを一時停止します。再度タッチすると再生を再開します。

7. ⏭

次のファイルに進めます(「聴きたい曲/見たい映像を選ぶ」325ページ参照)。タッチし続けると、再生しているファイルを早送りします(「早送り・早戻しする」326ページ参照)。

8. ▼プレイリスト / ▼ジャンル / ▼アーティスト / ▼アルバム / ▼作曲家 / ▼番組 / ▼

ダイレクトダウンスイッチ(「ダイレクトアップ/ダウン機能」330ページ参照)。

9. プレイリスト▲ / ジャンル▲ / アーティスト▲ / アルバム▲ / 作曲家▲ / 番組▲ / ▲

ダイレクトアップスイッチ(「ダイレクトアップ/ダウン機能」330ページ参照)。

10. ALL

iPod内全てのファイルをM.I.X.(ミックス)再生します(「iPod内全てのファイルをミックス再生する」332ページ参照)。

11. SEARCH

サーチモードになります(「聴きたい曲を探す」328ページ、「見たい映像を探す」331ページ参照)。ACC ON後しばらくは、タッチできない場合があります。

12. 1/2

操作画面を切りかえます。

13. ビデオアイコン表示

ビデオファイルが音声出力のみされている場合、ビデオアイコンが表示されます。

14. 状態表示

再生モード、M.I.X.(ミックス再生)、RPT(リピート再生)の状態が表示されます。

15. アートワーク表示/イメージ表示

アートワークデータを取得した場合はアートワークが表示されます。アートワークがない場合、iPodイメージ画像が表示されます。

16. 地図アイコン

タッチすると地図画面に切りかわります。



携帯電話通話中のみ表示されます。タッチすると通話画面を表示します。

17.

マルチインフォメーション画面が表示されます
 (「マルチインフォメーション画面」29ページ参照)。

18.

マルチゲート画面が表示されます (「マルチゲート画面」26ページ参照)。

■ iPod操作画面2/2



19.

再生中の曲を繰り返し再生します (「繰り返し聴くREPEAT(リピート)」333ページ参照)。

20.

M.I.X.(ミックス)再生します (「ミックス再生する」332ページ参照)。

21.

操作画面を切りかえます。

ビデオファイル再生時のiPod操作画面への切りかえ方

- 1 iPod再生画面で、画面にタッチします。
 iPod操作画面が表示されます。



- しばらく(約5秒)操作しないと、元の画面に戻ります。

iPod®を再生する

iPodを別売のiPod接続用ケーブルKCE-432iVを使用して本機に接続すると、本機から操作することができます。ビデオ対応iPodを接続して、音楽だけでなく動画ファイルを楽しむこともできます。

- iPod接続中は、iPodからの操作はできなくなります。
- iPodの機能については、iPodユーザーズガイドを参照してください。

本機対応のiPod®について

- 本機で対応しているiPodは次の通りです。
 - 第4世代iPod
 - 第5世代iPod
 - iPod photo
 - iPod mini
 - 第1世代iPod nano
 - 第2世代iPod nano
- 本機はiTunes 7.1.0.59より前のバージョンの動作保証および性能保証は致しかねます。
- 本機は、iPod shuffleには対応していません。
- Dockコネクタに対応していないタッチホイール、スクロールホイールタイプのiPodは、本機に接続することはできません。
- iPodのバッテリーが空の場合でも、本機に接続するとiPodを認識することができます。同時に充電を行います。

iPodを接続する

iPod接続用ケーブルにiPodを接続します。



ⓘ アドバイス

- 運転中はiPodを接続しないでください。事故・ケガの原因になります。
- 運転中はiPodのイヤホンを使用しないでください。事故・ケガの原因になります。

iPodを再生する

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。
- 2 **iPod** にタッチします。



再生が始まります。

ⓘ アドバイス

- ミュージックファイル再生中のiPodを本機と接続すると、今まで再生していたファイルの続きから再生を行います。
- ビデオファイルを再生中のiPodを本機と接続した場合、続きから再生することはできません。全てのミュージックファイルの最初の曲を再生します。
- 本機でiPodモードを選択している状態でiPodを接続すると、一時停止状態になります。
- 曲にアルバムアートワークデータがある場合、再生中表示することができます。ただし、アートワークデータの取得中(最大約6秒間)は操作を受け付けなくなります。アートワークデータの取得は曲の再生が始まってから約5秒後に開始され、曲が変わるたびに行われます。「アートワークを自動で取得する」(334ページ)を参照してください。

iPodを外す

iPodを再生中でもiPodを外すことができます。



ⓘ アドバイス

- 運転中はiPodを外さないでください。事故・ケガの原因になります。

聴きたい曲/見たい映像を選ぶ

ファイルの頭出しをします。

- 1 iPod操作画面で、**⏮** または **⏭** にタッチし、聴きたい曲や見たい映像を選びます。



- **⏮** にタッチすると、再生しているファイルの頭にに戻ります。続けてタッチすると、前のファイルの頭出しをします。
- **⏭** にタッチすると、次のファイルに進みます。

🔊 アドバイス

- 「アートワークを自動で取得する」(334ページ)を「する」に設定してある場合、曲が変わるたびに、再生開始から約5秒後にアートワークデータの取得が行われ、その間は操作を行うことはできません。

早送り・早戻しする

再生中のファイルを早送り、または早戻しすることができます。

- 1 iPod操作画面で **⏮** または **⏭** にタッチし続けます。



スイッチから指を離すまで早送り(早戻し)します。

- **⏮** にタッチし続けると、早戻しします。
- **⏭** にタッチし続けると、早送りします。

一時停止する

再生中のファイルを一時停止します。

- 1 iPod操作画面で  にタッチします。



- 2 解除するには  にタッチします。

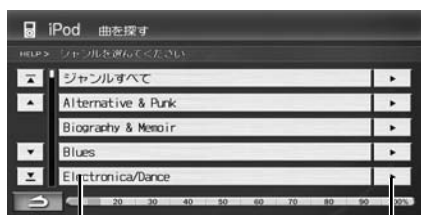
聴きたい曲を探す

アーティストやアルバムなどを、リスト表示から選択することができます。

検索には大きく8つの検索モードがあります。それぞれの検索モードには階層があってより絞り込んだ検索を行うことができます。

■ ミュージックサーチモード階層

第1階層	第2階層	第3階層	第4階層
プレイリスト	曲	—	—
アーティスト	アルバム	曲	—
アルバム	曲	—	—
曲	—	—	—
Podcast	番組	エピソード	—
ジャンル	アーティスト	アルバム	曲
作者	アルバム	曲	—
オーディオブック	—	—	—



[名称スイッチ]

タッチすると次の段階に進みます。

選択したモード(ジャンル、アーティストなど)を決定して全曲再生します。

ここではジャンルサーチを例に説明します。他の検索モードの場合でも検索できる階層は異なりますが、同様の操作で検索ができます。

🔊 アドバイス

- **〇〇〇すべて** にタッチすると、次の階層の全てのタイトルを検索することができます。例えば、**アーティストすべて** にタッチすると、全アルバムのリストが表示されます。
- **〇〇〇すべて** の **▶** にタッチすると、現在の階層の全てのタイトルを繰り返し再生します。例えば、**アーティストすべて** の **▶** にタッチすると、全てのアーティストを繰り返し再生します。
- ダイレクトサーチ機能を使用してより効率良く検索することができます。
詳しくは「ダイレクトサーチ機能」(330ページ)を参照してください。
- シャッフル(M.I.X)再生中に検索機能を使用することはできません。
- 本機は音楽データと動画データが混在しているプレイリストの再生には対応していません。再生すると不具合が生じる場合がありますので、自動的に音楽データと動画データが混在してしまう「トップ25」や「購入したもの」「最近再生した曲」などのプレイリストを選ぶときは注意してください。また、不具合が生じた場合にはまず、iPodを取り外してリセットをお試しください。

- 1 iPod操作画面で **SEARCH** にタッチします。
ビデオ対応iPodを接続している場合は手順2にお進みください。
ビデオ未対応iPod接続時は手順3にお進みください。

- 2 **ミュージック** にタッチします。



- 3 **ジャンル** にタッチします。



ジャンルリストが表示されます。

ジャンルを選択するには

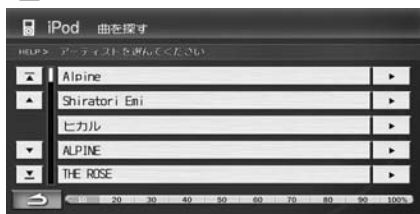
- 4** リストの中から聴きたいジャンルの▶にタッチします。



選択したジャンルの曲が全曲繰り返し再生されます。

選んだジャンルの中のアーティストを探すには

- 4** リストの中から、聴きたい
[ジャンル名スイッチ]にタッチします。
選択したジャンルのアーティストリストが表示されます。
- 5** リストの中から、聴きたいアーティスト名の▶にタッチします。



選択したアーティストの曲が全曲繰り返し再生されます。

選んだジャンルの中のアルバムを探すには

- 4** リストの中から、聴きたい
[ジャンル名スイッチ]にタッチします。
選択したジャンルのアーティストリストが表示されます。
- 5** リストの中から、聴きたい
[アーティスト名スイッチ]にタッチします。
選択したアーティストのアルバムリストが表示されます。

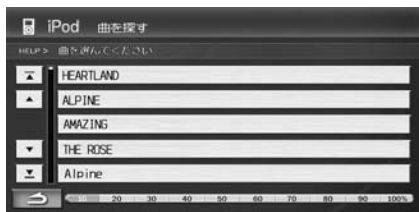
- 6** リストの中から、聴きたいアルバムの▶にタッチします。



選択したアルバムの曲が全曲繰り返し再生されます。

選んだジャンルの中の曲を探すには

- 4** リストの中から、聴きたい
[ジャンル名スイッチ]にタッチします。
選択したジャンルのアーティストリストが表示されます。
- 5** リストの中から、聴きたい
[アーティスト名スイッチ]にタッチします。
選択したアーティストのアルバムリストが表示されます。
- 6** リストの中から、聴きたい
[アルバム名スイッチ]にタッチします。
選択したアルバムの曲名リストが表示されます。
- 7** リストの中から、聴きたい
[曲名スイッチ]にタッチします。



選択した曲の再生が始まり、曲が収録されているアルバムが繰り返し再生されます。

ダイレクトサーチ機能

本機には、より効率良く検索する為に、ダイレクトサーチ機能が用意されています。

各サーチモード時に利用することで、探したい曲などを素早く探し出すことができます。

1 サーチモード中、スライダバーの任意の場所にタッチします。



指定された場所へ素早くジャンプします。

例) ソングサーチの場合

iPodに100曲入っているとします。この全曲を10分割し、スライダバーに割り当てます。



例1) 探したい曲が50曲目位に入っていると予想した時は、スライダバーの「50%」を押した後、

▲ ▲、▼ ▼ をタッチしてリストをスクロールさせて選択します。

例2) 探したい曲が80曲目位に入っていると予想した時は、スライダバーの「80%」を押した後、

▲ ▲、▼ ▼ をタッチしてリストをスクロールさせて選択します。

🔊 アドバイス

- ビデオサーチ時にも、ダイレクトサーチ機能を利用することができます。

ダイレクトアップ/ダウン機能

例えばサーチモードでアルバムを選択して決定すると、そのアルバムを繰り返し再生します。その場合ダイレクトアップ/ダウン機能を使用すると、簡単に別のアルバムを選ぶことができます。

画面に表示されるタッチスイッチは、サーチモードで最後に決定したモードになります。

1 iPod操作画面で、ダイレクトアップ/ダウンスイッチにタッチします。



ダイレクトアップ/ダウンスイッチ

ダイレクトアップ/ダウンスイッチ種類：

- ▼プレイリスト / プレイリスト▲
- ▼ジャンル / ジャンル▲、▼アーティスト / アーティスト▲
- ▼アルバム / アルバム▲
- ▼作曲家 / 作曲家▲、▼番組 / 番組▲

🔊 アドバイス

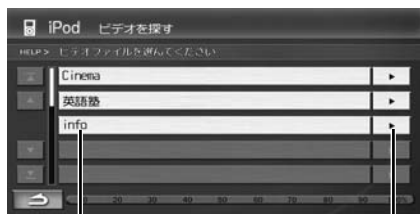
- サーチを行っていない、または曲名/オーディオブックサーチを行った、イグニッションキーをOFFにした場合は、操作できません。ビデオファイルをサーチしたときも、操作できない場合があります。
- アーティストサーチからアルバムを絞り込んだ場合は、アルバムが対象となります。
- ビデオファイル再生時にも、ダイレクトアップ/ダウン機能を利用することができます。ビデオモードでのダイレクトアップ/ダウンスイッチは▼、▲と表示されます。

見たい映像を探す

ビデオ対応iPod接続時、映画やミュージックビデオなどを、リスト表示から選択することができます。ビデオファイルサーチは、基本的にiPodの動作に準じます。iPod側の仕様変更に伴い、本機でのサーチモードも変更になる場合があります。

■ ビデオサーチモード例

- ビデオプレイリスト
- Movies
- Music Videos など



[名称スイッチ]

タッチすると次の階層に進みます。

選択したモードを決定して
全ファイル再生します。

ここではMoviesサーチを例に説明します。他のサーチモードの場合でも検索できる階層は異なりますが、同様の操作で検索ができます。

🔊 アドバイス

- ダイレクトサーチ機能を使用してより効率良く検索することができます。
詳しくは「ダイレクトサーチ機能」(330ページ)を参照してください。
- シャッフル(M.I.X)再生中にサーチ機能を使用することはできません。
- 本機は音楽データと動画データが混在しているプレイリストの再生には対応していません。再生すると不具合が生じる場合がありますので、自動的に音楽データと動画データが混在してしまう「トップ25」や「購入したもの」などのプレイリストを選ぶときは注意してください。また、不具合が生じた場合にはまず、iPodを取り外してリセットをお試しください。

1 iPod操作画面で **SEARCH** にタッチします。

2 **ビデオ** にタッチします。

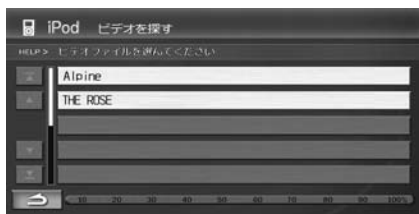


3 **Movies** にタッチします。



映画名リストが表示されます。

4 リストの中から、[見たい映画名スイッチ]にタッチします。



選んだ映画が再生されます。

ファイル順を変えて聴く シャッフル(M.I.X. ミックス)

iPodのシャッフル機能は、本機ではM.I.X.と表示されます。

ミックス再生する

シャッフル・アルバム(M.I.X. ALBUMS):

iPod内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番通りに演奏する。

シャッフル・曲(M.I.X. SONGS):

サーチモードで曲を選択した場合に、選択したモード内の曲を全曲、順不同に演奏する。

1 iPod操作画面で **1/2** にタッチします。

2  にタッチします。



-  にタッチするたびに、M.I.X.モードが切りかわります。

M.I.X. SONGS→M.I.X. ALBUMS→(OFF)→
(シャッフル・曲) (シャッフル・アルバム)
M.I.X. SONGS

3 解除するには、M.I.X.モードが解除するまで  にタッチします。

🔊 アドバイス

- 本機のM.I.X. ALBUMS、M.I.X. SONGSは、iPodのシャッフル・アルバム、シャッフル・曲と同じ動作になります。

iPod内全てのファイルをミックス再生する

1 iPod操作画面でにタッチします。



順不同にファイルが再生されます。

- iPod内すべてのファイルの再生が終了しても、ミックス再生が解除されるまでミックス再生を続けます。

2 解除するには、もう一度にタッチします。

アドバイス

- ビデオモード中に本操作を行うことはできません。

繰り返し聴く REPEAT(リピート)

iPodモードでのリピート機能は1曲リピートのみになります。

1 iPod操作画面で **1/2** にタッチします。

2  にタッチします。



再生中のファイルが繰り返し再生されます。

RPT→(OFF)→RPT

3 解除するには、もう一度  にタッチします。

アドバイス

- リピート再生中は 、 を押して他のファイルを選ぶことはできません。

iPod設定

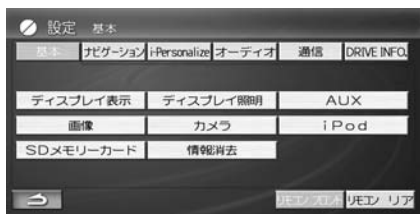
iPodのアートワーク取得を設定します。第5世代iPodとiPod nanoをご使用の際に設定してください。

アートワークを自動で取得する

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。
- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **基本** タブにタッチし、**iPod** にタッチします。



- 4 「アートワーク自動取得」の**する** または **しない** にタッチします。



する : ファイルにアートワークデータがある場合、再生時に自動的に取得します。
しない : アートワークデータの取得を行いません。

<アートワーク表示例>



アートワーク

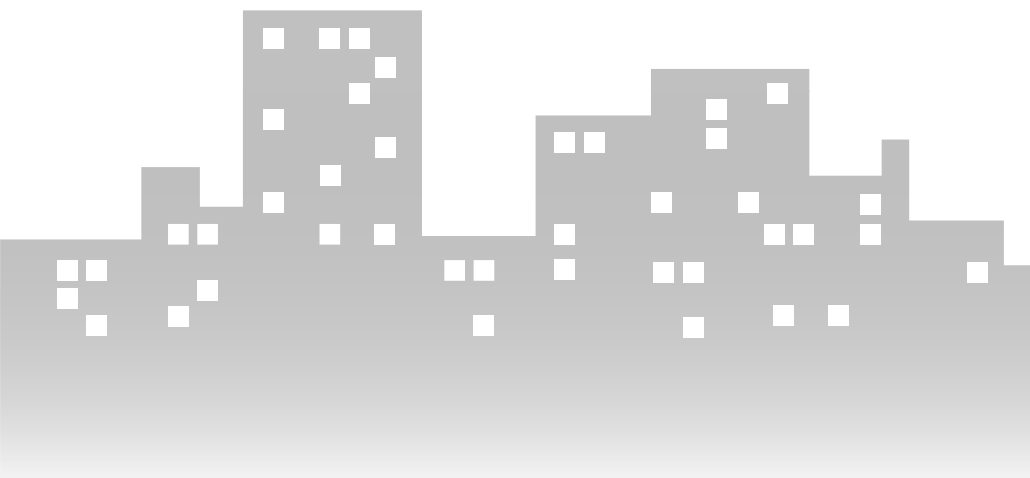
アドバイス

- アートワークデータを取得する間(最大約6秒間)は、操作を行うことができません。
- 取得できるアートワークサイズ: 42×42dot~100×100dot
- 1つの曲に複数のアートワークが設定されている場合、1番目のアートワークのみを取得します。
- アートワーク取得中にソース切りかえや電源OFFされた場合には、再生位置が最大約6秒進むことがあります。
- 映像再生時は、本設定に関わらずアートワークデータを取得しません。

AUX操作(オプション)

サウンド・映像編

AUX操作	336
AUX(外部入力)モードにする	336
外部DVDプレイヤーを操作する	337
AUX設定	339



AUX操作

AUX(外部入力)モードにする

外部機器(ビデオデッキなど)を接続した場合にご使用ください。

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

- 2 **AUX** にタッチします。



- 表示されるソース名は、「外部入力に表示名をつける」(339ページ参照)で設定した名称になります。

アドバイス

- AUX名称がEXT.DVDのときは外部DVDプレイヤー、EXT.DTVのときは外部地上デジタルテレビチューナーを本機から操作することができます。「外部DVDプレイヤーを操作する」(337ページ)、「地上デジタルテレビ操作画面について」(311ページ)を参照してください。

外部DVDプレイヤーモードにする

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

- 2 **EXT.DVD** にタッチします。



DVD操作画面が表示されます。



外部DVDプレイヤーを操作する

外部DVDプレイヤー(別売)を操作するには、「外部入力に表示名をつける」(339ページ参照)を「EXT.DVD」に設定してください。

外部DVDプレイヤー操作画面について

外部DVDプレイヤー再生画面で画面にタッチすると、操作画面が表示されます。操作について詳しくは、接続するDVDプレイヤーの取扱説明書を参照してください。

■ 外部DVDプレイヤー操作画面 1/2



1. **◀◀**
現在のチャプター/トラック/ファイルの頭出しをします。続けてタッチすると前のチャプター/トラック/ファイルの頭出しをします。タッチし続けるとチャプター/トラック/ファイルを早戻しします。
2. **▶||**
一時停止します。
3. **▶▶**
次のチャプター/トラック/ファイルの頭出しをします。タッチし続けると、再生しているチャプター/トラック/ファイルを早送りします。
4. **■**
再生停止します。
5. **▼FLDR**
前のフォルダに切りかえます。
6. **FLDR▲**
次のフォルダに切りかえます。
7. **WIDE**
画面モードを切りかえます(「画面モードを切りかえる」40ページ参照)。
8. **1/2**
操作画面を切りかえます。

■ 外部DVDプレイヤー操作画面2/2



9. **DISC 1** ~ **DISC 6**
DVDチェンジャー接続時※、ディスクを選択します。
※対応DVDチェンジャー接続時のみ

10. **2/2**
操作画面を切りかえます。

AUX設定

AUX(外部入力)に関する設定を行います。

次の手順1～5は、AUX設定の共通操作になります。各項目の詳しい操作方法についてはそれぞれの項目を参照してください。

設定操作

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。



- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **基本** タブにタッチし、**AUX** にタッチします。



- 4 各項目にタッチし、設定を行います。

- 5 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。
 - **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

外部機器を接続する

ビデオデッキやゲームなど、外部機器を接続する場合は「あり」に設定してください(初期設定値は「あり」)。

設定項目 : 外部接続

設定値 : あり/なし

あり : 外部機器を接続します。

なし : 外部機器を接続しません。

外部入力に表示名をつける

外部入力製品を接続した場合、表示名をお好みでつけることができます(初期設定値は「AUX」)。

VIE-X075Bご購入の場合は、「EXT.DTV」に設定してください。

設定項目 : 名称選択

設定値 : AUX/VCR/GAME/EXT.DVD/EXT.DTV

- 1 **戻る** または **進む** にタッチして表示名を選びます。



アドバイス

- 選んだ表示名がAUXモードのソース名として表示されます。EXT.DVD//EXT.DTVをソースとして選択すると、各モードのファンクションキーに切りかわり、本機のタッチスイッチで一部操作を行うことができます。

外部入力音声レベルの調整

外部入力製品の音声レベルを調整します(初期設定値は「HIGH」)。

設定項目 : 音声レベル

設定値 : HIGH/LOW

LOW : 外部入力の音声レベルを小さめに設定します。

HIGH : 外部入力の音声レベルを大きめに設定します。

設定

サウンド・映像編

サウンド調整画面の操作	342
サウンド調整操作	342
サウンド調整	343
MXモードの設定	343
イコライザー特性(メーカー設定)を選ぶ	
BASS MAX EQ	344
イコライザーカーブの設定 P-EQ	344
バランス/フェダーの設定 BAL./FAD.	345
DEFEAT(ディフィート)のON/OFF	345
サブウーハー出力レベルの調整	345
操作音の設定	346
サラウンドの設定	346
タイムコレクションの設定	348
オーディオ設定	350
X-OVERについて	350
X-OVERの設定	351
EASY SETUPの設定	352
画像設定	354
画像を表示する	354
画像設定画面を表示する	354
画面OFF時の壁紙を設定する	355
HDD画像を消去する	355
プレビュー画面を操作する	355
スライドショー機能	356

サウンド調整画面の操作

サウンド調整は、音量調整画面またはi-Personalize設定画面から行います。

音量調整画面、またはi-Personalize設定画面から行う操作は、以下の共通した手順で行います。各項目については、該当ページを参照してください。

アドバイス

- いったん設定値を変更すると、電源を切っても設定は保存され、次に設定値を変更するまで有効です。

サウンド調整操作

音量調整画面

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押したあと、**音量調整** にタッチします。



音量調整画面が表示されます。

- 2 各項目にタッチして、設定を行います。



- 3 **メニュー/PWR** スイッチを押してTOPメニュー画面に戻します。

- **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

アドバイス

- Media Xpander、Bass Max EQについては、i-Personalize設定画面からも設定できます。

i-Personalize設定画面

- 1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。

- 2 **設定を変える** にタッチします。



- 3 **i-Personalize** タブにタッチします。



i-Personalize設定画面が表示されます。

- 4 各項目にタッチして、設定を行います。



- 5 **メニュー/PWR** スイッチを押してTOPメニュー画面に戻します。

- **戻る** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

サウンド調整

車室内では、再生するメディアやお聴きになる音楽の種類、車のボディタイプなどさまざまな要因で音本来の性質を大きく変えられてしまいます。本機は、それらを調整することで最適な音質を設定することができます。

① アドバイス

- まず最初にお使いになるスピーカーの設定をすることをお勧めします。「スピーカーを設定する」(347ページ)を参照してください。

MXモードの設定

MX(Media Xpander)は、FM/CD /MP3 などメディアごとにボーカルや各楽器の音を際立たせ、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます(初期設定値は、「OFF」)。

ここではCDの設定画面を例にして説明します。

1 i-Personalize画面または音量調整画面で

Media Xpander にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(342ページ)参照。



2 「ALL MX OFF/ON」の **ON** または

OFF にタッチします。



「ON」に設定する場合は、手順3へ進みます。「OFF」に設定する場合は、操作を終了します。

3 レベルを変更する場合は、 **OFF**

○○- MX 1

○○- MX 2

○○- MX 3 のいずれかにタッチします。

- 現在再生しているモード(メディア)のレベルを設定できます。
- 設定できるレベルと初期設定値は、メディアごとに異なります。

メディア	LEVEL			
	OFF/ON	1	2	3
CD	OFF	CD MX1	CD MX2	CD MX3
COMPRESS MEDIA	OFF	CMPM MX1	CMPM MX2	CMPM MX3
FM	OFF	FM MX1	FM MX2	FM MX3
AM	OFF	—	—	—
DVD	OFF	MOVIE MX1	MOVIE MX2	DVD MUSIC
AUX/VCR/ GAME/ EXT.DVD/ ワンセグ/ EXT.DTV	OFF	CMPM MX	MUSIC MX	MOVIE MX

- MP3、WMA、AAC、iPod、HDD AUDIOモード時は「COMPRESS MEDIA」に割り当てられます。
- DVDビデオ、DVDオーディオモード時は「DVD」に割り当てられます。
- 初期設定値はOFFになります。

FM

こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生します。

CD

豊富な情報量を活かしたメリハリのある音を再生します。

COMPRESS MEDIA

圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生します。

DVD

MOVIE:

映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生する。

MUSIC:

ミュージッククリップなどのディスクに対し、メリハリのある音を再生する。

② アドバイス

- 手順2の操作で **OFF** にタッチすると、すべてのメディアで「OFF」となります。
- 手順3の操作で **OFF** にタッチすると、再生しているモードのみを解除します。
- MXレベルは1→2→3の順で効果が大きくなります。
- AMラジオやテレビは、Media Xpanderを「ON」にしても効果は得られません。
- ディフィートがONのときは、操作を受けつけません。

イコライザー特性(メーカー設定)を選ぶ BASS MAX EQ

あらかじめ設定されているイコライザー特性を選択し、好みの音質に設定できます(初期設定値は、「FLAT」)。

- 1 i-Personalize画面で **BASS MAX EQ** にタッチします。
または音量調整画面で **Bass Max EQ** にタッチします。
「サウンド調整画面の操作」(342ページ)参照。

- 2 設定したいジャンルにタッチします。



🔊 アドバイス

- ディフイートがONのときは、操作を受けつけません。

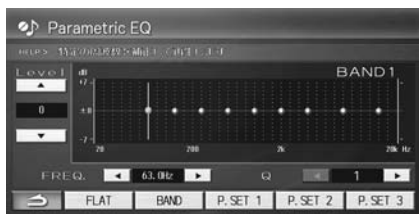
イコライザーカーブの設定 P-EQ

P-EQ(パラメトリックEQ)は、中心周波数、Q(帯域幅)、レベルをそれぞれ調整できるので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正、音創りを行うことができます。「周波数帯域と音質について」(405ページ)も調整の際の参考にしてください。

- 1 i-Personalize設定画面で **P-EQ** にタッチします。
「サウンド調整画面の操作」(342ページ)参照。
Parametric EQ設定画面が表示されます。
 - EASY SETUPが設定されている場合は、設定されているイコライザーカーブが表示されます。

- 2 **BAND** にタッチし、調整するバンドを選びます。

- タッチすることによりバンドが切りかわります。
(バンド1~バンド9)



- 3 「FREQ.」の ◀ または ▶ にタッチして周波数を調整します。

- 4 「Q」の ◀ または ▶ にタッチしてバンド幅を調整します。

- 5 「Level」の ▲ または ▼ にタッチしてレベルを調整します。

- 6 さらに別のバンドを設定するには、手順2~5を繰り返し、すべてのバンドを設定します。

- 7 調整した設定値を記憶するには、**P.SET 1** **P.SET 2** **P.SET 3** のいずれかにタッチし続けます。

- Preset-1~3に3種類の設定を記憶させることができます。

🔊 アドバイス

- **FLAT** にタッチすると、設定した内容をフラットの状態にすることができます。
- ディフイートがONのときは、操作を受けつけません。
- 隣り合うバンドの周波数を超えて設定することはできません。

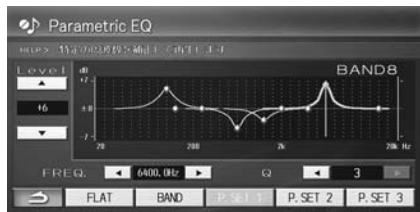
イコライザーカーブを呼び出す

記憶したイコライザーカーブを呼び出します。

1 i-Personalize設定画面で **P-EQ** にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(342ページ)参照。

2 **P.SET 1** **P.SET 2** **P.SET 3** のいずれかにタッチします。



バランス/フェダーの設定 BAL./FAD.

前後・左右のスピーカーの音量バランスを別々に調整することにより、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。(初期設定値は、FAD.:0、BAL.:0J)。

1 音量調整画面のバランスポイントエリア内の好みのポイントにタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(342ページ)参照。



- 微調整するときには、**▲ ▼ ▶ ◀** にタッチしてください。
- BALANCE:L15~R15、FADER:R15~F15の範囲内で調整することができます。
- 初期設定値「FADER 0、BALANCE 0J」に戻すには、**センター** にタッチします。

DEFEAT(ディフィート)のON/OFF

ONに設定すると、MXをOFF、EQを初期設定状態に戻します。OFFにすると、設定した値に戻ります(初期設定値は「OFF」)。

1 音量調整画面で、「DEFEAT」の

ON または **OFF** にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(342ページ)参照。



アドバイス

- DEFEATをONに設定すると **Media Xpander**、**BASS MAX EQ**、**P-EQ**、**EASY SETUP** はトーンダウンして操作できなくなります。

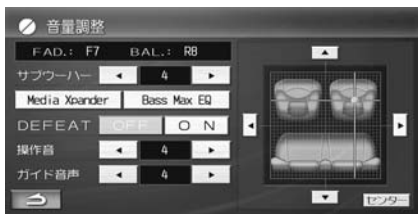
サブウーハー出力レベルの調整

「スピーカーを設定する」(347ページ)でサブウーハーをONに設定時に、設定することができます(初期設定値は「4J」)。

1 音量調整画面で、「サブウーハー」の

◀ または **▶** にタッチしてサブウーハー出力レベルを調整します。

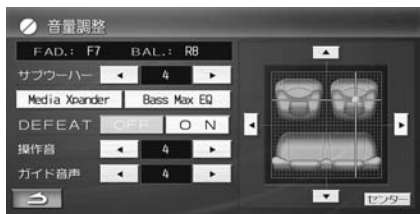
「サウンド調整画面の操作」(342ページ)参照。



操作音の設定

スイッチを押した時の操作音の音量を設定することができます(初期設定値は「4」)。

- 1 音量調整画面で、「操作音」の  または  にタッチして音量レベルを調整します。
「サウンド調整画面の操作」(342ページ)参照。



- OFFに設定すると、操作音が出力されなくなります。

アドバイス

- ガイド音声も同様に設定できます。「案内音量を調整する」(55ページ)を参照してください。

サラウンドの設定

DOLBY PRO LOGIC IIを使う

2チャンネルで録音された音楽信号にプロロジック処理を行い、DOLBY PRO LOGIC II サラウンドとして楽しむことができます(初期設定値は「OFF」)。

- 1 i-Personalize設定画面で

サウンド設定 にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(342ページ)参照。

- 2 **Dolby PL II設定** にタッチします。

- 3 「Dolby PL IIモード」のお好みのモードにタッチします。



MOVIE

映画再生に適しています。

MUSIC

音楽再生に適しています。

PANORAMA

フロントのステレオイメージをサラウンドスピーカーまで拡張して包み込みを大きくしています。

OFF

Dolby PL II 機能をOFFにします。

アドバイス

- DVDモードおよびDivX®モード時のみ有効です。DVDとDivX®以外のソースをサラウンド再生したい場合は、EUPHONYで設定してください(「バーチャル5.1ch再生を設定する」347ページ参照)。
- DOLBY PL II モードを設定した場合、P-EQ設定値はキャンセルされます。

音像を調整する

臨場感ある音声を再現するには、センタースピーカーをリスニングポジションの真正面に置かなくてはなりません。この機能で仮想的に、センタースピーカーの音を両サイドに振り分けることにより、センタースピーカーが真正面にあるような音像を作り出すことができます。

- 1 i-Personalize設定画面で

サウンド設定 にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(342ページ)参照。

- 2 **Dolby PL II** にタッチします。

- 3 「BI-PHANTOM」の  または  にタッチしてレベルを調整します。



- レベルは-5〜+5まで調整でき、レベルが大きくなると、音像はセンタースピーカーの位置から両サイドに移ります。
- **ON** がオレンジ色のときにタッチすると、「OFF」に設定されます。OFFに設定すると、BI-PHANTOM機能はOFFになります。

迫力のある大音量再生を楽しむ

ドルビーデジタルでは通常の音量で充分な迫力が楽しめるように「ダイナミックレンジ」が圧縮されています。この圧縮を解除することにより、更に迫力のある「映画館のようなエネルギー感」のある音を楽しむことができます(初期設定値は「STD」)。

1 i-Personalize設定画面で

サラウンド設定 にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(342ページ)参照。

2 Dolby PL II にタッチします。

3 「リスニングモード」の **STD** または **MAX** にタッチします。



STD

通常の音量で迫力のある音を楽しむときに設定します。

MAX

大音量で迫力のある音を楽しむときに設定します。

バーチャル5.1ch再生を設定する

本機は、高品位なサラウンド音場を実現する最新の音響技術EUPHONYを使用することにより、2chのソースを音質・定位をより明瞭で迫力のある音像で仮想5.1ch再生します。また、EUPHONYのモードをお好みで選択することができます(初期設定値は「しない」「SYMPHONY」)。

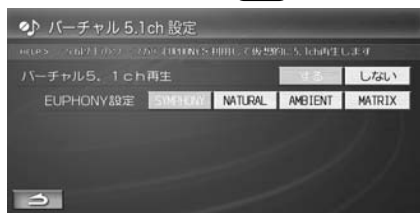
1 i-Personalize設定画面で

サラウンド設定 にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(342ページ)参照。

2 バーチャル5.1ch設定 設定にタッチします。

3 「バーチャル5.1ch再生」の **する** にタッチします。



4 続けてEUPHONYのモードを設定します。

「EUPHONY設定」の **SYMPHONY**

NATURAL **AMBIENT** **MATRIX** のいずれかにタッチします。

SYMPHONY: マルチセッション感のある音で再生

NATURAL: バランスのとれたマルチチャンネル再生

AMBIENT: 包まれ感のあるマルチチャンネル再生

MATRIX: モノラルソースを広がり感のある音で再生

④ アドバイス

- DVDモード時にバーチャル5.1ch再生を行うには、PLO LOGIC II をOFFに設定してください。PLO LOGIC II を設定していると2chの音楽信号にプロロジック処理が行われているため、EUPHONYが無効になります。
- バーチャル5.1chを設定すると、センタースピーカーをOFFに設定しても、EUPHONYの効果を最大限に引き出すためにセンタースピーカーからも音声が出力されます。

スピーカーを設定する

お使いになるスピーカーの再生周波数帯域に応じて本機を設定することができます。この操作を行う前に、各スピーカー(サブウーハー以外)の再生周波数帯域を調べて低音再生が可能かを確認してください(80Hz以下が目安です)。

1 i-Personalize設定画面で

サラウンド設定 にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(342ページ)参照。

2 スピーカー設定 にタッチします。

3 接続しているスピーカーの **OFF** **Small**

Large のいずれかにタッチします。

OFF: スピーカーを接続していない場合

SMALL: 低減(80Hz以下)が再生できないスピーカーを接続している場合

LARGE: 低減(80Hz以下)が再生できるスピーカーを接続している場合

サブウーハーは **ON** または **OFF** にタッチします。フロントスピーカーは **Small** または **Large** にタッチします。



- 4 サブウーハーをONに設定した場合は、「PHASE」の◀または▶にタッチして位相を切りかえます。

お好みの音が得られる方を選んでください。



- 5 続けて各スピーカーの音量が同じ大きさになるように調整します。▼にタッチして画面を切り替え、**テストトーン**にタッチします。



テストトーンが各スピーカーから順に2秒ずつ出力されます。

- 6 各スピーカーからテストトーンが鳴っている時に、◀または▶にタッチしてそれぞれの音量が同じになるように出力レベルを調整します。
- 各スピーカーは-6dB～+6dBの範囲で調整を行うことができます。
 - フロントスピーカーを基準に調整を行ってください。

アドバイス

- X-OVERの設定を行う場合は、フロント/リアスピーカーを「Large」に設定してください。「Small」に設定すると100Hz固定のHPFが設定されるため、X-OVERで設定したHPFと二重に適用され、一部の周波数の音が再生されなくなります。
- フロントスピーカーまたはリアスピーカーが必ずLargeになるように設定されます。
- モノラル録音のDVD再生時、センタースピーカーがSmall/Large設定時はセンタースピーカーから音声出力され、センタースピーカーOff時はフロントスピーカーから音声出力されます。

タイムコレクションの設定

音が各スピーカーから耳に届くまでの時間を補正し、距離の違いによって生じる到達時間差を調整することができます。

アドバイス

- タイムコレクション設定を行うまえに、「タイムコレクション(時間補正)について」(349ページ)を参照してください。

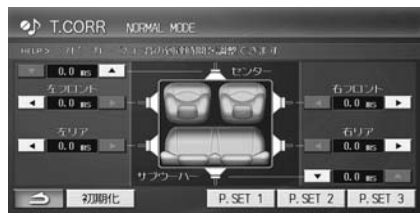
音の到達時間の補正

お好みのリスニングポジションの到達時間差を設定します(初期設定値「0.0ms」)。

- 1 i-Personalize設定画面で **T.CORR** にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(342ページ)参照。

- 2 各スピーカーの◀または▶にタッチして、時間補正值を調整します。



- 初期設定値「0.0ms」に戻すには、**初期化**にタッチします。

- 3 調整した設定値を記憶するには、**P.SET 1** ～ **P.SET 3** のいずれかにタッチし続けます。

アドバイス

- ディスクに記録されている音声チャンネル数がマルチチャンネルの場合、20.0msまで調整することができます。ディスクに記録されている音声チャンネル数が2chの場合、9.9msまで(6ch合計20msまで)調整することができます。

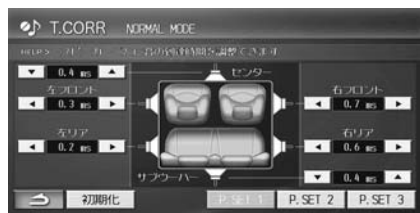
時間補正値を呼び出す

記憶した時間補正値を呼び出します。

- 1 i-Personalize設定画面で、**T.CORR** にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(342ページ)参照。

- 2 **P.SET 1** **P.SET 2** **P.SET 3** のいずれかにタッチします。



タイムコレクション(時間補正)について

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。リスニングポジションでの時間差を取り除くときにこの機能を使います。ここでは、時間補正値の算出方法について説明します。

- 1 リスニングポジション(運転席など)に座り、頭の位置と各スピーカーの距離(m)を測定します。

- 2 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出します。

$L = (\text{一番遠いスピーカーの距離}) - (\text{それぞれのスピーカーの距離})$

- 3 スピーカーごとに算出した距離を音速(343m/s気温20℃)で割り、1000をかけます。

その値が各スピーカーの時間補正値となります。

●具体例

下記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正値を算出する。

(条件):

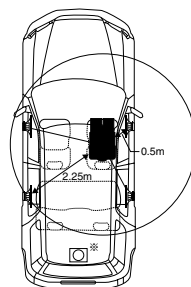
一番遠いスピーカー〜リスニングポジション:2.25m

フロント右側スピーカー〜リスニングポジション:0.5m

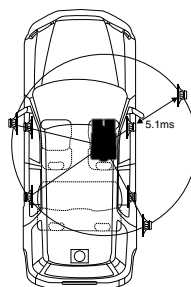
(算出): $L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$

補正時間 = $1.75 \div 343 \times 1000 = 5.1 \text{ (ms)}$

つまり、フロント右側スピーカーの時間補正値に5.1 (ms) 与えることで、見かけの距離を持たせて、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。右前スピーカーと左後スピーカーでは1.75mの差がある。



時間補正により到達時間差が解消される。

右前スピーカーに5.1msの時間補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。

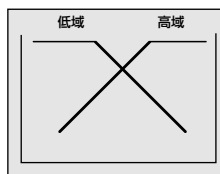
オーディオ設定

X-OVERについて

本機は、パワーアンプで増幅される前の帯域分割が可能なアクティブ デバイディング ネットワークを搭載しています。そのため、スピーカーとアンプの間に置かれたパッシブネットワークは不要となり、各アンプは完全に独立した動作が可能です。干渉問題がなくなり、スピーカーの能力に見合った再生周波数を分割することで最適な音響空間を再現します。

各バンドのHPF(ハイパスフィルター)LPF(ローパスフィルター)の調整、スロープ(フィルター特性の減衰の傾き)、レベルを設定します。
接続しているスピーカーの再生周波数帯域や特性に合わせて調整してください。

	カットオフ周波数帯域 (1/3オクターブステップ)		スロープ調整		レベル 調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
サブウー ハーLPF	—	20Hz~200Hz	—	0(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	0~-12dB
リアHPF	20Hz~200Hz	—	0(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0~-12dB
フロント HPF	20Hz~200Hz	—	0(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0~-12dB



(実際の表示とは異なります。)

① アドバイス

- HPF(ハイパスフィルター)はある周波数より下の音域(低域)をカットして、高域の成分を通すフィルターです。
- LPF(ローパスフィルター)はある周波数より上の音域(高域)をカットして、低域の成分を通すフィルターです。
- スロープとは周波数が1 オクターブ高くまたは低くなったとき、信号が何dB 減衰するかを表す値です。
- スロープの数値が大きいほど傾きは急になります。
- スロープを0(OFF) にすると、信号がフィルターを通過しないため効果はなくなります。ツイーターは低域信号入力によって、故障の原因になる危険性があります。
- 同じチャンネル内でHPF とLPF の周波数を重ねる調整は行わないでください。また、HPF とLPF の周波数を超える調整はできません。

X-OVER(クロスオーバーネットワーク)はなぜ必要か？

スピーカーは一つの振動板で可聴帯域すべてをフラットに再生することが理想です。しかし、耳で聞こえる音の周波数は20Hz ~ 20kHz 位と言われ、一つのスピーカーでは、この幅広い周波数を再生することは困難です。そこでクロスオーバーを使用しスピーカーを各周波数帯域(低域、中域、高域など)に別けて各スピーカーの能力に見合った再生周波数に分割します。クロスオーバーには低音域を再生するための「ローパスフィルター(LPFP)」と高音域を再生するための「ハイパスフィルター(HPF)」があります。このLPF/HPF を利用することで信号に対して忠実な再生ができるようになります。

スロープ調整について

- 例えば、HPF を調整した場合、その周波数より低い周波数をまったく再生しないわけではありません。スロープを設定することで、特定の周波数より低くなればなるほど、出力(音量)が低くなっていくという減衰特性を調整します。
- フィルターのスロープ特性は6dB、12dB、18dB、24dB/oct. を内蔵しており、スロープの数値が大きいほど、傾きが急となり隣の帯域からの音の混ざりもなく、狙った帯域だけを再生できますが、各スピーカー間のつながりが悪くなる場合や歪みが発生する場合もありますので、各スピーカー間の音を聴きながら調整してください。
- フルレンジスピーカーを使用している場合、スロープ設定は0にします。

調整のコツ

注意： 接続しているスピーカーの推奨クロスオーバー周波数にあわせて調整してください。スピーカーの推奨クロスオーバーを必ず確認してください。推奨クロスオーバー範囲外の調整は、スピーカー破損の原因となります。弊社製品のクロスオーバー周波数推奨値については、スピーカーの説明書を参照してください。クロスオーバー推奨値以外のご使用により製品の破損/故障等が生じて、責任は負いかねますのでご注意ください。

■ 設定例

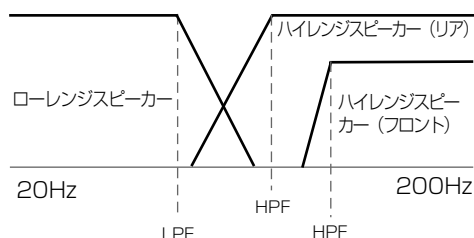
例えば、

・ サブウーハー : 20Hz ~ 80Hz

・ フロント/リアスピーカー : 80Hz 以上

とします。

本機側の調整は、サブウーハーのLPFを63Hzまたは80Hz、フロント/リアスピーカーのHPFはそれぞれ80Hz または100Hz を目安とし、次にスロープを設定、そしてスピーカー全体の音のバランスを聴きながら出力レベルの調整を行います。後は、実際に試聴しながら、繰り返し周波数やスロープの調整などをお好みに合わせて行い最も最適な調整を探します。



X-OVERの設定

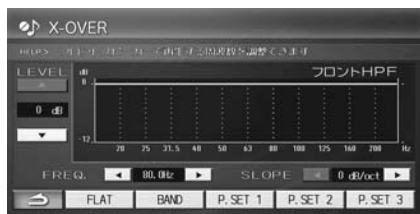
HPF(ハイパスフィルター)/LPF(ローパスフィルター)を設定することでお好みの音響空間を再現することができます。

1 i-Personalize設定画面で **X-OVER** にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(342ページ)参照。

X-OVER設定画面が表示されます。

2 **BAND** にタッチし、調整するバンドを選びます。



- タッチするごとにバンドが切りかわります。
フロントHPF→リアHPF→サブウーハーLPF→フロントHPF
HPF: 設定した周波数より上の周波数帯域を出力する。
LPF: 設定した周波数より下の周波数帯域を出力する。
本機のサブウーハー出力をOFFに設定した場合、LPF機能は使用できません。

3 「FREQ.」の ◀ または ▶ にタッチして、カットオフ周波数(クロスオーバーポイント)を選びます。

4 「SLOPE」の ◀ または ▶ にタッチして、HPFまたはLPFのスロープを調整します。

5 「LEVEL」の ▲ または ▼ にタッチして、出力レベルを調整します。

6 さらに別のバンドを設定するには、手順2~5を繰り返し、すべてのバンドを設定します。

7 調整した設定値を記憶するには、**P.SET 1** **P.SET 2** **P.SET 3** のいずれかにタッチし続けます。

🔊 アドバイス

- **FLAT** にタッチすると、設定した内容をフラットの状態にすることができます。
- スピーカーがOFFモードの時は、そのスピーカーのX-OVERは設定できません。「スピーカーを設定する」(347ページ)を参照してください。
- 調整は、接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。

X-OVERの調整値を呼び出す

記憶したX-OVERの調整値を呼び出します。

1 i-Personalize設定画面で **X-OVER** にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(342ページ)参照。

2 **P.SET 1** **P.SET 2** **P.SET 3** のいずれかにタッチします。



EASY SETUPの設定

本機はEASY SETUPを設定することができます。使用車種を選ぶと自分の車に適した音響を再現することができます。さらに使用フロントスピーカーの口径やツイーターの有無、シート材質を設定することで車室内の細かな音響の調整ができ、お客様の使用環境に合わせた音響空間を再現することができます(初期設定値は、「OFF」)。

🔊 アドバイス

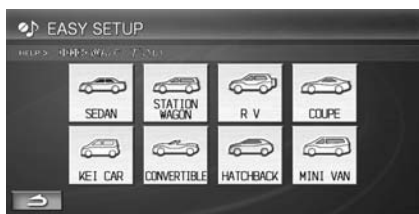
- スピーカーのサイズ、シートタイプは必ず選択してください。
- フロントスピーカーのサイズ、ツイーターの有無、シートタイプについてご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ディフィートがONのときは、操作を受けつけません。

1 i-Personalize設定画面で

EASY SETUP にタッチします。

「サウンド調整画面の操作」(342ページ)参照。

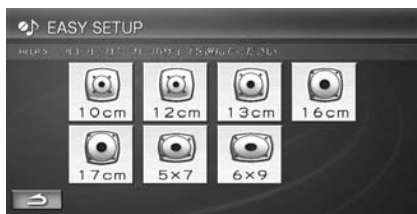
2 一覧からお客様の車種にタッチします。



3 お客様のドライバースートの位置にタッチします。



4 お客様のフロントスピーカーのサイズにタッチします。



5 ツイーターの有無にタッチします。



6 リアスピーカーの設置位置を選んでタッチします。



7 サブウーハーの有無を選んでタッチします。



8 センタースピーカーの有無を選んでタッチします。



9 モケット レザー ハーフレザー のいずれかにタッチします。



- お車のシートに皮製の生地が使われている場合は **レザー** に、クロス地の場合は **モケット** に、皮とクロスの両方を使用している場合は **ハーフレザー** にタッチしてください。

10 設定内容を確認し、完了にタッチします。



i-Personalize設定画面に戻ります。

画像設定

HDDオーディオ操作画面や壁紙に表示する画像を選ぶことができます。また、SDメモリーカードに記録したお好みの画像データを、HDDにコピーして表示させることができます。

画像を表示する

HDDオーディオ操作画面、電話画面に表示する画像を設定します。

1 各操作画面の **編集** にタッチします。



編集画面が表示されます。

2 **画像編集** にタッチします。

画像編集画面が表示されます。

3 表示したい画像にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

選択した画像が画面に表示されます。



- 画像がどのモードで使用されているか、アイコンで表示されます。

▶: HDDオーディオ操作画面

☎: 電話画面

OFF: 画面OFF時

アドバイス

- 画面OFF時の画像の設定方法は、「画面OFF時の壁紙を設定する」(355ページ)を参照してください。
- 電話着信中、通話中に表示される画像の設定方法は、「画像を登録する」(162ページ)を参照してください。

画像設定画面を表示する

画像データに関する操作は、画像設定画面から行います。画像設定画面の表示方法は以下の通りです。

1 **メニュー/PWR** スイッチを押した後、**サウンド・映像** にタッチします。



2 **設定を変える** にタッチします。



3 **基本** タブにタッチし、**画像** にタッチします。



画像設定画面が表示されます。

アドバイス

- SDメモリーカードの画像の操作については、「SDメモリーカードの画像をHDDに追加する」(266ページ)を参照してください。

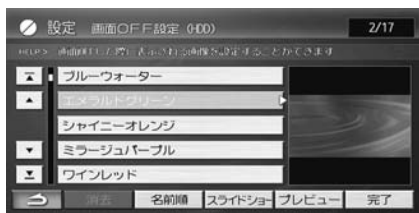


画面OFF時の壁紙を設定する

画面表示をOFFにしたとき表示される壁紙を設定することができます(「画面を消す」25ページ参照)。

- 1 画像設定画面で **画面OFF** にタッチします。
「画像設定画面を表示する」(354ページ参照)
画面OFF設定(HDD)画面が表示されます。

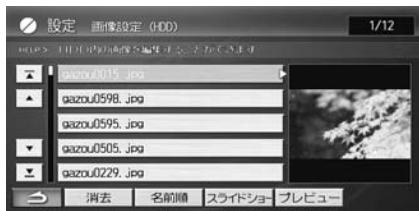
- 2 画面OFFにしたとき表示される壁紙の画像をタッチして選択します。



- 3 **完了** にタッチします。
 - **名前順** / **登録順** にタッチすると、画像リストが並べかえられます。
名前順: 画像の名称順
登録順: 新しく登録した順

HDD画像を消去する

- 1 画像設定画面で **HDD画像** にタッチします。
「画像設定画面を表示する」(354ページ参照)
- 2 消去したい画像をタッチして選択します。



- 3 **消去** にタッチします。
 - 全ての画像を消去するには、**消去** にタッチし続けます。
消去を確認するメッセージが表示されます。

- 4 **はい** にタッチします。

画像が消去されます。

- **名前順** / **登録順** にタッチすると、画像リストが並べかえられます。
名前順: 画像の名称順
登録順: 新しく登録した順

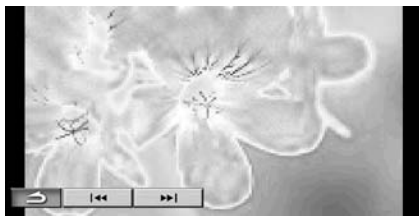
プレビュー画面を操作する

- 1 画像設定画面で、**HDD画像**、**SD画像**、**画面OFF** のいずれかにタッチします。
- 2 表示したい画像にタッチして選択します。



- 3 **プレビュー** にタッチします。
選択した画像が全画面表示されます。

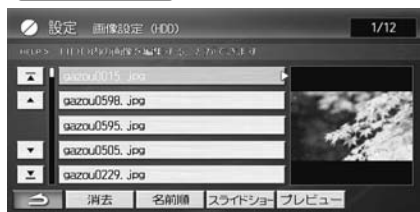
- 4 前後の画像を表示するには、**◀◀** または **▶▶** にタッチします。



- 5 プレビューを終了するには、**⏮** にタッチします。

スライドショー機能

- 1 画像設定画面で、**HDD画像**、**SD画像**、**画面OFF**のいずれかにタッチします。
- 2 **スライドショー**にタッチします。



スライドショーが始まり、全ての画面が自動的に5秒間ずつ表示されます。

全ての画面を次々と表示するスライドショーが始まります。各画面は5秒間ずつ表示されます。

- 3 スライドショーをやめるには **⏮** にタッチしてください。



アドバイス

- スライドショーは、「名前順」または「登録順」のどちらか現在設定されている順序で表示されます。

リモコン操作(オプション)

その他

リモコンを使いこなす	358
切りかえスイッチについて	358
ジョイスティックの倒し方	358
ジョイスティックの押し方	358
電池の出し入れ	359
リモコン操作	360
基本操作	360
ナビゲーション操作	362
ナビゲーションのリモコン操作例	363
電話操作	370
オーディオ操作	371
DVD/ビデオCD操作	373
地上デジタルTV操作	374

リモコンを使いこなす

本機はタッチ操作と同様に、別売リモコンRUE-4208からも操作を行うことができます。

切りかえスイッチについて

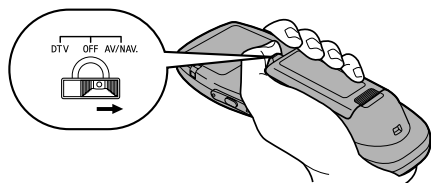
<VIE-X07B1ご購入のお客様へ>

「AV/NAV.」側に切りかえてください。

<VIE-X07Bご購入のお客様へ>

地上デジタルテレビモードでは「DTV」側に切りかえてください。

地デジ以外のモードでは「AV/NAV.」側に切りかえてください。



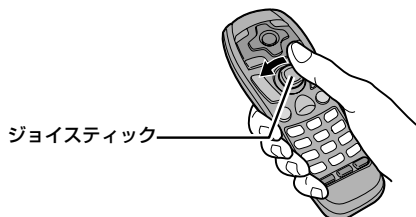
🔊 アドバイス

- 「OFF」に切りかえるとリモコン操作はできなくなります。

ジョイスティックの倒し方

ジョイスティックは、スイッチを選んだり地図を動かしたりする重要な部分です。上下左右への動かし方を理解してください。

- 左に倒すときは、ジョイスティックの右側に親指を置き、左に倒します。



- 下に倒すときは、ジョイスティックの上側に親指を置き、手前に押し倒します。



ジョイスティックの押し方

- 1 「決定」と書かれた面(決定ボタン)に親指を置きます。



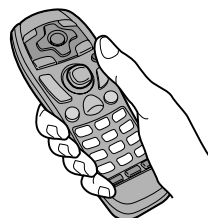
- 2 そのまま押し込みます。



🔊 アドバイス

- 慣れるまでは、電池を抜いてこれら操作を繰り返し、リモコン操作を理解されることをお勧めします。

(例) メニューボタンの押しかた

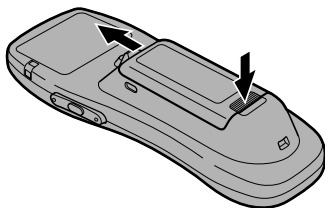


10キーの押しかた

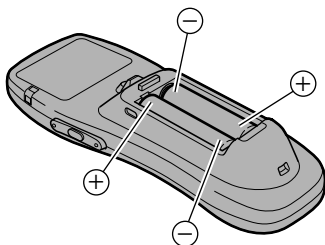


電池の出し入れ

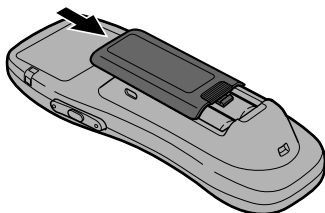
- 1** 下図のみぞの部分を押しながら前方へ押しフタをはずします。



- 2** 刻印されている電池の向きに合わせ、単4乾電池を2本入れます。



- 3** フタを置いてカチッと音がするところまで差し込みます。

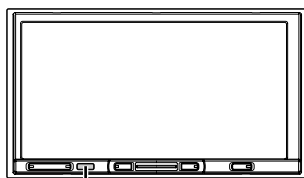


取り扱い上のご注意

- リモコンは直射日光の当たるところには置かないでください。長時間放置すると変形や変色したり、故障の原因になります。
- ナビゲーションを長い期間使用しないときは、リモコンの電池を取り出してください。取り出した電池は幼児の手の届かなくところに保管してください。
- 乾電池は充電しないでください。液漏れの原因になります。
- 電池の液漏れが起こったときは、付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れかえてください。
- リモコン操作の感度が下がってきたときは、新しい電池と交換してください。
- 電池の交換は全部新しいものと入れかえてください。使用した電池を混ぜて使ったり、種類の違う電池を混ぜて使わないでください。

アドバイス

- リモコンを操作するときは、リモコンの先端をリモコン信号受信部に向けて(2mかつ上下左右30度以内)お使いください。
- リモコン信号受信部またはリモコン受光ユニットに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。

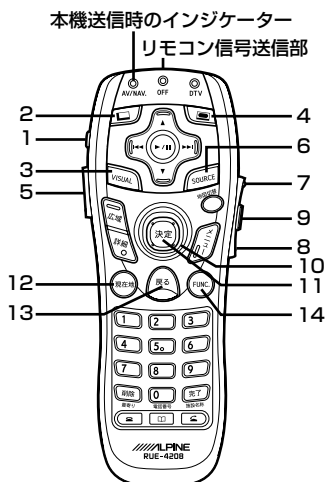


リモコン信号受信部

リモコン操作

モード切りかえスイッチを「AV/NAV.」側に切りかえてください。（「切りかえスイッチについて」358ページ参照）

基本操作



1	①	本機の電源をON/OFFします。
2		全画面→マルチインフォメーション画面に切りかえます。マルチインフォメーション画面表示時は、押す毎に映像ソースのみを切りかえます。
3	VISUAL	マルチインフォメーション画面→全画面に切りかえます。全画面表示時は、押す毎に映像ソースのみを切りかえます。
4		マルチゲート画面に切りかえます。
5	LIGHT	リモコンボタンの照光部分が点灯します。
6	SOURCE	音声ソースを切りかえます。
7	VOLUME $\wedge$	音量が大きくなります。
8	VOLUME $\vee$	音量が小さくなります。
9	MUTE	瞬時に音量が下がります。再度押すと元の音量に戻ります。
10	ジョイスティック	画面に表示される項目を選びます。
11	決定	選択した項目を決定します。
12	現在地	現在地画面を表示します。
13	戻る	1つ前の画面に戻ります。
14	FUNC.	カーソルが移動するフォーカスエリアを切りかえます。押し続けるとフォーカスエリアを解除します。

フォーカスエリアについて

カーソルはフォーカスエリアの中だけを移動します。その為、画面によってはフォーカスエリアのON/OFFや切り替えが必要です。

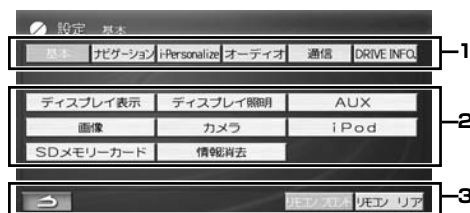
1 FUNC.を押します。

黄色で選択されたタッチスイッチが現れ、リモコンで操作可能な状態になります。これを、“フォーカスエリアが現れる”と表現しています。

2 FUNC.を繰り返し押します。

下記の順序で、フォーカスエリアが切りかわります。

1→2→3→1



フォーカスエリア解除状態(地図画面操作)→1→2→1



- 現在のフォーカスエリアの中の項目のみ、選択・決定を行うことができます。

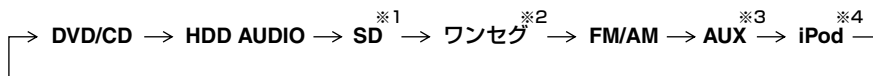
3 フォーカスエリアを解除するには、FUNC.を2秒以上押します。

- 地図画面を操作する場合は、フォーカスエリアを解除してください。

サウンド・映像ソースを切りかえる

1 SOURCEを押します。

押すごとに、音声ソースのみが切りかわります。



※1 SDメモリーカード挿入時のみ。

※2 VIE-X075B1ご購入の場合のみ。

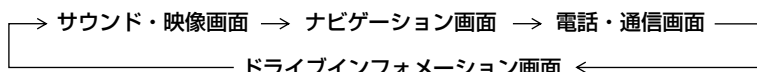
※3 「外部接続」あり設定時のみ(339ページ参照)。表示名称は「外部入力に表示名をつける」(339ページ)設定による。

※4 iPod接続時のみ

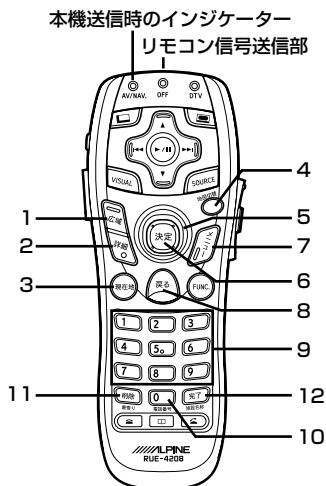
音声はそのまま映像ソースのみを切りかえる

1 全画面表示時 VISUALを繰り返し押します。または、インフォメーション画面表示時に [] を繰り返し押します。

押すごとに映像ソースのみが切りかわります。



ナビゲーション操作



1	広域	広い範囲の地図を表示します。
2	詳細	狭い範囲の地図を表示します。
3	現在地	現在地画面を表示します。
4	地図切替	地図表示を切りかえます。
5	ジョイスティック	メニューの選択や、地図の移動を行います。 押し込むことで最速でスクロールします。
6	決定	メニューの決定や、地点の指定を行います。
7	メニュー	TOP MENU画面を表示します。
8	戻る	1つ前の画面に戻ります。
9	1～9	数字の1～9を入力します。
10	0/電話番号	数字の0を入力します。/「電話番号から探す」画面を呼び出します。
11	削除/最寄り	入力した文字を1つ削除します。/「現在地周辺から探す」または「ルート周辺から探す」(ルート走行中)画面を呼び出します。
12	完了/施設名称	数字入力を完了します。/「施設を50音で探す」画面を呼び出します。



ナビゲーションのリモコン操作例

ここではリモコンによるナビゲーション操作を、自宅登録などを例にして説明します。



：一つ前の画面に戻る



：操作をキャンセルする

自宅を登録する

- 1 **メニュー**を押します。
TOP MENU画面が表示されます。



- 2 **FUNC.**を押します。
フォーカスエリアが現れます。



- 3 ジョイスティックで「ナビメニュー」を選び、
決定を押します。
ナビゲーション画面が表示されます。



リモコン操作(オプション)

次ページに続く→

- 4** **FUNC.**を押してフォーカスエリアを切りかえます。

フォーカスエリアを2に切りかえます。



- 5** ジョイスティックで「自宅」を選び、**決定**を押します。



- 6** **FUNC.**を2秒以上押します。
フォーカスエリアが解除されます。



- 7** ジョイスティックを倒して地図をスクロールし、自宅にカーソルを合わせ **決定**を押します。



- 8** **FUNC.**を押します。
フォーカスエリアが1のエリアに現れます。



- フォーカスエリアを解除して再度地図をスクロールさせるには、**FUNC.**を2秒以上押します。

- 9** ジョイスティックで「登録」を選び、**決定**を押します。
自宅が登録されます。



- 10 **現在地**を押して、自車位置画面に戻します。

ルートを引く

ここでは電話番号で地点を検索する手順を例に、リモコンでルートを引く操作を説明します。

- 1 下記のどちらかの方法で、電話番号から地点を検索します。

- ① **メニュー**を押します。
TOP MENU画面が表示されます。



・手順2に進みます。

- ② **0/電話番号**を押します。
ダイレクト呼び出しボタンにより、電話番号入力画面が表示されます。



・手順7に進みます。

- 2 **FUNC.**を押します。
フォーカスエリアが現れます。



- 3 ジョイスティックで「ナビメニュー」を選び、**決定**を押します。
ナビゲーション画面が表示されます。



- 4 ジョイスティックで「行き先を決める」を選び、**決定**を押します。
行き先画面が表示されます。



- 5 ジョイスティックで「番号で探す」を選びます。



6 FUNC.を押してフォーカスエリアを切りかえます。

フォーカスエリアが1→2に切りかわります。



7 ジョイスティックで「電話番号」を選び、決定を押します。



8 10キーで電話番号を入力します。



- ジョイスティックで数字を選んで「決定」を押し、入力することもできます。
- 「削除」を押すと、入力した数字を1つ削除します。

9 完了を押します。



- 個人宅の電話番号を入力した場合は、名字入力画面が表示されます。手順10に進んでください。
- 施設の電話番号を入力した場合は、検索地点の地図が表示されます。手順11に進んでください。
- ジョイスティックで「完了」を選んで「決定」を押す場合は、「FUNC.」を押してフォーカスエリアを切りかえる必要があります。

10 ジョイスティックで個人名を入力し、完了を押します。



- 「削除」を押すと、入力した文字を1つ削除します。
- 「削除」「小文字入力」「完了」を選択するには「FUNC.」を押してフォーカスエリアを切りかえます。

11 ジョイスティックで「目的地」を選び、 決定を押します。



- ・「登録」を選んで「決定」を押すと、検索した地点を登録します(94ページ参照)。
- ・「経由地」を選んで「決定」を押すと、経由地として登録されます(76ページ参照)。
- ・「もより」を選んで「決定」を押すと、周辺施設の検索を行います(53ページ参照)。

12 探索終了後、「全ルート」が表示されます。 ジョイスティックでルートを選び、「決定」を押します。 ルートは「推奨」「一般」「距離」「道幅」「別ルート」の計5ルートを同時に表示します。



13 FUNC.を押してフォーカスエリアを切りかえます。 フォーカスエリアが2のエリアに切りかわります。



14 ジョイスティックで「案内開始」を選び、 決定を押します。



15 走行すると自車位置画面を表示し、ルート案内を開始します。



設定を変更する

- 1 **メニュー**を押します。
TOP MENU画面が表示されます。



- 2 **FUNC.**を押します。
フォーカスエリアが現れます。



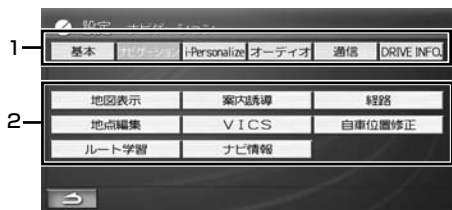
- 3 ジョイスティックで「ナビメニュー」を選び、**決定**を押します。
ナビゲーション画面が表示されます。



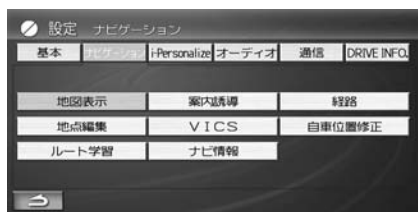
- 4 ジョイスティックで「設定を変える」を選び、**決定**を押します。



- 5 **FUNC.**を押してフォーカスエリアを切りかえます。
フォーカスエリアを2に切りかえます。



- 6 ジョイスティックで項目を選び、**決定**を押します。
選んだ項目の設定画面を表示します。





- 7** ジョイスティック↑↓で項目を選び、ジョイスティック←→で設定を変更し、**決定**を押します。

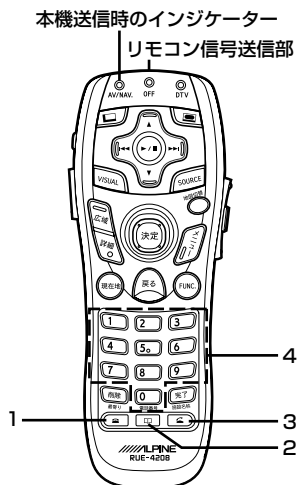


- **詳細**を押すと次のページに送ることができます。**広域**を押すと前のページに送ることができます。

- 8** **現在地**を押して、自転車位置画面に戻します。



電話操作

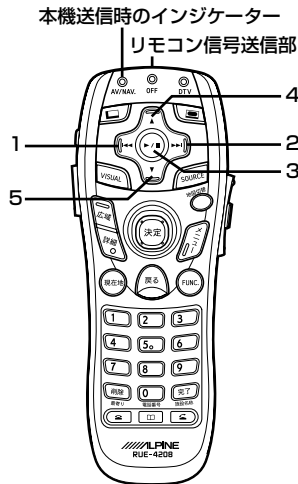


1		電話を切ります。
2		「電話帳」画面を表示します。
3		かかってきた電話を受けます。
4	10キー	電話番号を入力します。



オーディオ操作

ラジオ操作



1	◀◀	チャンネルが1つずつダウンします。押し続けると連続して変化します(マニュアルモード)。自動的にチャンネルを探し出し、受信します(ディスタンスモードまたはローカルモード)。
2	▶▶	チャンネルが1つずつアップします。押し続けると連続して変化します(マニュアルモード)。自動的にチャンネルを探し出し、受信します(ディスタンスモードまたはローカルモード)。
3	▶/II	押すごとにチューニングモードを切りかえます。 → DX SEEK → SEEK → (消灯) — ◀◀, ▶▶ ◀◀, ▶▶ ◀◀, ▶▶ ディスタンスモード ローカルモード マニュアルモード 長押しするとオートメモリーを行います。

CD/MP3/WMA/AAC操作

1	◀◀	曲の頭出しを行います。押し続けると早戻しを行います。
2	▶▶	曲の頭出しを行います。押し続けると早送りを行います。
3	▶/II	一時停止/再生を行います。
4	▲	次のフォルダーを選びます(MP3/WMA/AAC)。
5	▼	前のフォルダーを選びます(MP3/WMA/AAC)。

HDDオーディオ操作

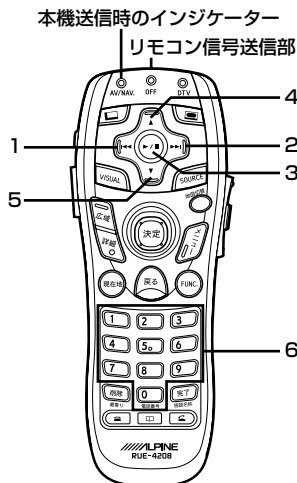
1	⏮	曲の頭出しを行います。押し続けると早戻しを行います。
2	⏭	曲の頭出しを行います。押し続けると早送りをを行います。
3	⏸/⏮	一時停止/再生を行います。
4	▲	プレイリスト/アーティスト/アルバム/ジャンル(最後にサーチで絞り込んだモード)を切りかえます。
5	▼	プレイリスト/アーティスト/アルバム/ジャンル(最後にサーチで絞り込んだモード)を切りかえます。

iPod操作

1	⏮	曲の頭出しを行います。押し続けると早戻しを行います。
2	⏭	曲の頭出しを行います。押し続けると早送りをを行います。
3	⏸/⏮	一時停止/再生を行います。
4	▲	プレイリスト/アーティスト/アルバム/ジャンル(最後にサーチで絞り込んだモード)を切りかえます。
5	▼	プレイリスト/アーティスト/アルバム/ジャンル(最後にサーチで絞り込んだモード)を切りかえます。



DVD/ビデオCD/DivX® 操作



1	◀◀	映像の頭出しを行います。 押し続けると早戻しを行います。 - DVDオーディオ(VCAPモード)/DVDビデオ/DVD-VR/DivX®/ビデオCD: 再生中に押し続けると、2倍速で早戻しをします。さらにその状態で5秒以上押し続けると8倍速で早戻しができます。10秒以上押し続けると32倍速(DivX®は21倍速)で早戻しができます。 - DVDオーディオ(VOFFモード): 再生中または一時停止中に押し続けると21倍速で早戻しができます。
2	▶▶	映像の頭出しを行います。 押し続けると早送りをを行います。 - DVDオーディオ(VCAPモード)/DVDビデオ/DVD-VR/DivX®/ビデオCD: 再生中に押し続けると、2倍速で早送りをします。さらにその状態で5秒以上押し続けると8倍速で早送りができます。10秒以上押し続けると32倍速(DivX®は21倍速)で早送りができます。 - DVDオーディオ(VOFFモード): 再生中または一時停止中に押し続けると21倍速で早送りができます。
3	▶/II	一時停止/再生を行います。
4	▲	DVDオーディオ(VCAPモード): 次の静止画を表示します。押し続けるとHome Pageを表示します。 DVD-VR: 次のプログラム/プレイリストを選びます。
5	▼	DVDオーディオ(VCAPモード): 前の静止画を表示します。押し続けるとHome Pageを表示します。 DVD-VR: 前のプログラム/プレイリストを選びます。
6	10キー	10キー入力画面を表示します。10キー入力画面では、数字を入力します。

リモコン操作(オプション)

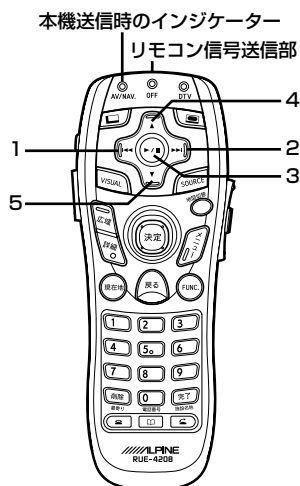
地上デジタルTV操作

ワンセグの操作(VIE-X075B1)



アドバイス

- モード切りかえスイッチは「AV/NAV.」側で操作を行います。



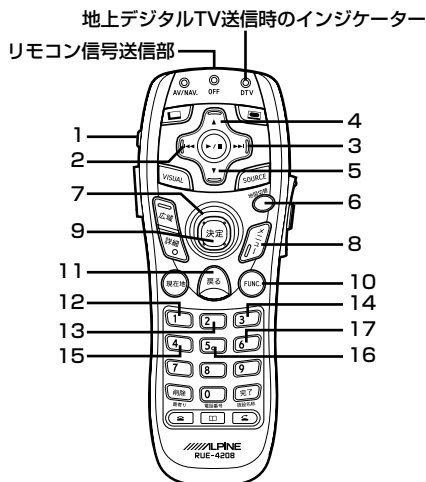
1	◀◀	チャンネルが1つずつダウンします。押し続けると連続して変化します(マニュアルモード)。自動的にチャンネルを探し出し、受信します(SEEKモード)。
2	▶▶	チャンネルが1つずつアップします。押し続けると連続して変化します(マニュアルモード)。自動的にチャンネルを探し出し、受信します(SEEKモード)。
3	▶/II	押すごとにチューニングモードを切りかえます。 → SEEK → (消灯) ◀◀, ▶▶ ◀◀, ▶▶ SEEKモード マニュアルモード 長押しするとオートメモリーを行います。
4	▲	プリセットが1つずつアップします。
5	▼	プリセットが1つずつダウンします。

地上デジタルテレビ(EXT.DTV)の操作

アルパイン製地上デジタルテレビチューナーを、リモコンRUE-4208で操作することができます。

① アドバイス

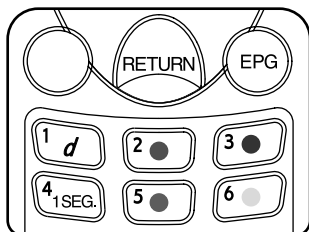
- モード切りかえスイッチを「DTV」側に切りかえてください(「切りかえスイッチについて」358ページ参照)。



1	①	地上デジタルテレビチューナーの電源をON/OFFします。
2	◀◀	チャンネルが1つずつダウンします。押し続けると自動的にチャンネルを探し出し、受信します。
3	▶▶	チャンネルが1つずつアップします。押し続けると自動的にチャンネルを探し出し、受信します。
4	▲	プリセットが1つずつアップします。
5	▼	プリセットが1つずつダウンします。
6	地画切替	受信状態を表示します。 番組情報画面(EPG)表示中に押すと、番組詳細情報が表示されます。
7	ジョイスティック	メニューの項目を選択します。
8	メニュー	設定画面を呼び出します。
9	決定	メニューの項目を決定します。
10	FUNC.	番組情報画面(EPG)を呼び出します。
11	戻る	前の画面に戻ります。
12	1	データ放送を呼び出します。
13	2	データ放送受信時に使用します(青)。
14	3	データ放送受信時に使用します(赤)。
15	4	地上デジタルテレビ放送/ワンセグ放送を切りかえます。
16	5	データ放送受信時に使用します(緑)。
17	6	データ放送受信時に使用します(黄)。

🔊 アドバイス

- リモコン添付の操作シールを貼ってお使いいただくと便利です。



貼り付けシール

- 詳しい操作については、組み合わせる製品の取扱説明書を参照してください。
- 製品によってはリモコン操作ができない場合があります。
- 製品によっては、一部の機能のみご利用いただけます。

その他

その他

言語コード一覧	378
用語説明	380
Q&A	382
故障かな？と思ったら	390
保証について/規格	396
VICS情報有料放送サービス契約約款	399
地図データについて	401
マイクロソフトからの使用許諾契約書	402
お問い合わせ窓口	403
知っておきたい豆知識	404
地上デジタル放送について	404
周波数帯域と音質について	405
MENU項目一覧	406
設定項目一覧	407
目的別索引	410
共通	410
ナビゲーション関係	410
サウンド・映像関係	413
索引(ナビゲーション編)	416
五十音順	416
アルファベット/数字	419
索引(サウンド・映像編)	421
五十音順	421
アルファベット/数字	423
電波に関する注意事項	425

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、以下のコード番号から数字を入力して選択することができます。

記号	コード	言語
AA	6565	アフガル語
AB	6566	アブハジア語
AF	6570	アフリカンス語
AM	6577	アムハラ語
AR	6582	アラビア語
AS	6583	アッサム語
AY	6589	アイマラ語
AZ	6590	アゼルバイジャン語
BA	6665	バシキール語
BE	6669	ベラルーシ語
BG	6671	ブルガリア語
BH	6672	ビハーリー語
BI	6673	ビスラマ語
BN	6678	ベンガル語、バングラ語
BO	6679	チベット語
BR	6682	ブルトン語
CA	6765	カタロニア語
CO	6779	コルシカ語
CS	6783	チェコ語
CY	6789	ウェールズ語
DA	6865	デンマーク語
DE	6869	ドイツ語
DZ	6890	ブータン語
EL	6976	ギリシャ語
EN	6978	英語
EO	6979	エスペラント語
ES	6983	スペイン語
ET	6984	エストニア語
EU	6985	バスク語
FA	7065	ペルシャ語
FI	7073	フィンランド語
FJ	7074	フィジー語
FO	7079	フェロー語
FR	7082	フランス語
FY	7089	フリジア語
GA	7165	アイルランド語
GD	7168	スコットランドゲール語
GL	7176	ガルシア語
GN	7178	グアラニ語
GU	7185	グジャラート語

記号	コード	言語
HA	7265	ハウサ語
HI	7273	ヒンディー語
HR	7282	クロアチア語
HU	7285	ハンガリー語
HY	7289	アルメニア語
IA	7365	国際語
IE	7369	国際語
IK	7375	Inupiak語
IN	7378	インドネシア語
IS	7383	アイスランド語
IT	7384	イタリア語
IW	7387	ヘブライ語
JA	7465	日本語
JL	7473	イディッシュ語
JW	7487	ジャワ語
KA	7565	グルジア語
KK	7575	カザフ語
KL	7576	グリーンランド語
KM	7577	カンボジア語
KN	7578	カンナダ語
KO	7579	韓国語
KS	7583	カシミール語
KU	7585	クルド語
KY	7589	キルギス語
LA	7665	ラテン語
LN	7678	リンガラ語
LO	7679	ラオス語
LT	7684	リトアニア語
LV	7686	ラトビア語、レット語
MG	7771	マダガスカル語
MI	7773	マオリ語
MK	7775	マケドニア語
ML	7776	マラヤーラム語
MN	7778	モンゴル語
MO	7779	モルダビア語
MR	7782	マラータ語
MS	7783	マレー語
MT	7784	マルタ語
MY	7789	ミャンマー語
NA	7865	ナウル語

記号	コード	言語
NE	7869	ネパール語
NL	7876	オランダ語
NO	7879	ノルウェー語
OC	7967	プロバンス語
OM	7977	(アフン)オロモ語
OR	7982	オリヤー語
PA	8065	パンジャブ語
PL	8076	ポーランド語
PS	8083	パシュトー語
PT	8084	ポルトガル語
QU	8185	ケチュア語
RM	8277	ラエティ=ロマン語
RN	8278	キルンディ語
RO	8279	ルーマニア語
RU	8285	ロシア語
RW	8287	キニヤルワンダ語
SA	8365	サンスクリット語
SD	8368	シンド語
SG	8371	サンゴ語
SH	8372	セルビアクロアチア語
SI	8373	シンハラ語
SK	8375	スロバキア語
SL	8376	スロベニア語
SM	8377	サモア語
SN	8378	ショナ語
SO	8379	ソマリ語
SQ	8381	アルバニア語
SR	8382	セルビア語
SS	8383	シスワティ語
ST	8384	セストゥ語
SU	8385	スンダ語
SV	8386	スウェーデン語
SW	8387	スワヒリ語
TA	8465	タミール語
TE	8469	テルグ語
TG	8471	タジク語
TH	8472	タイ語
TI	8473	ティグリニヤ語
TK	8475	トゥルクメン語
TL	8476	タガログ語



記号	コード	言語
TN	8478	セツワナ語
TO	8479	トンガ語
TR	8482	トルコ語
TS	8483	ツォンガ語
TT	8484	タタール語
TW	8487	トウィ語
UK	8575	ウクライナ語
UR	8582	ウルドゥー語
UZ	8590	ウズベク語
VI	8673	ベトナム語
VO	8679	ボラビュク語
WO	8779	ウォロフ語
XH	8872	コーサ語
YO	8979	ヨルバ語
ZH	9072	中国語
ZU	9085	ズール語

用語説明

MP3

MP3は「MPEG Audio Layer」の略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聴きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1/10サイズにすることができます。

WMA

WMAは「Windows Media™ Audio」の略で、音声データを圧縮する方式です。WMAは音声データを約半分に圧縮することができます。

AAC

AACは「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮の基本フォーマットです。本機ではiTunes®AACファイル(著作権保護されていない)のみ対応しています。

ビットレート

エンコードするときに指定する「音」の圧縮率です。ビットレートが高いほど高音質になりますが、ファイルサイズも大きくなります。

サンプリングレート

データを1秒間に何回サンプリング(記録)するかを示す値のことです。たとえば、音楽CDは44.1kHzで、1秒間にデータを4万4100回サンプリング(記録)していることになります。高ければ高いほど音質は向上しますが、それだけデータ量も増えます。

エンコード

音楽CDやWAVEファイルなどの音声ファイルを、特定の音声圧縮フォーマットに変換することです。

ルートフォルダ

ファイルシステムの最上階層のフォルダ。全てのフォルダ/ファイルはルートフォルダに含まれています。

SDメモリーカード

フラッシュメモリーを記録媒体に使用する小型のメモリーカードで、著作権保護に対応しています。携帯電話や携帯音楽プレイヤー、デジタルカメラなどで利用されます。

SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)

デジタル録音は、音質の劣化がとてもしないという特徴があります。著作権保護の観点から、デジタル信号でコピーした音源をさらにデジタル信号で録音(コピー)することはデジタル録音機器によって規制されています。これをSCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)といいます。

Gracenote音楽認識サービス

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

視聴規制(パレンタルロック)

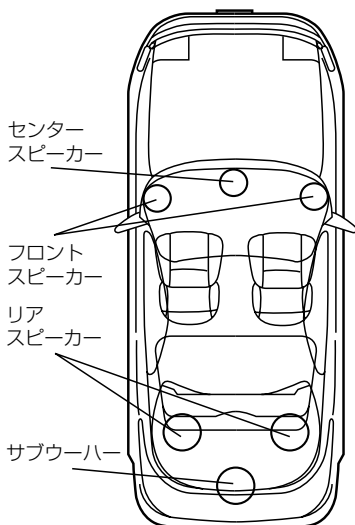
国ごとに規制した視聴年齢制限をするためのDVDの機能です。DVDにより制限のしかたは異なり、まったく再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、差し替えたりして再生します。

EUPHONY(ユーフォニー)

EUPHONYは、ダイマジック社とアルパインが共同開発した、あらゆる車内環境で高品位なサラウンド音場を実現する最新の音響技術です。入力チャンネル数・再生するスピーカーの数・各スピーカーの口径に依存することなく、最適なサラウンド再生、しっかりとしたセンター(ボーカル)の定位を実現します。

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルはドルビーラボラトリーズが開発したデジタルオーディオ圧縮技術で、大量のオーディオデータを効率的にディスクに記録できるようにします。モノラル(1チャンネル)から5.1チャンネルのサラウンドサウンドにいたるすべてのオーディオ信号に適合しています。各チャンネルへの信号は完全に独立し、さらに高品質のデジタルサウンドのため音質の低下はまったくありません。



ドルビーデジタル/DTSを楽しむためのスピーカーレイアウト



DTS

DTS, Inc.が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTSは6本の独立した音声トラックを持ち、劇場公開映画などで使われている高品位の臨場感あふれるDTSサラウンドを楽しめます。

DTSはDigital Theater Systemの略。

Dolby PRO LOGIC II

Dolby PRO LOGIC II は、2チャンネルソースを5チャンネルで全帯域再生します。それを行うのが、ソースになり音や音の色付けを加えることなく、オリジナル録音の空間的特質を引き出す先進的で高音質のマトリックスサラウンドデコーダです。

リニアPCM音声(LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式。音楽CDでは44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは48kHz/16bit～96kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生ができます。

DivX®

DivX®とは、高画質を維持しながら動画を圧縮・伸張するコーデックです。圧縮効率や動作速度に優れています。

ワンセグ放送

地上デジタル放送は、1つのチャンネルが13のセグメントに分割され、これらのセグメントをいくつか束ねて映像やデータ、音声などを送信しています。

ワンセグは、これら13セグメントのうち1つを使って、携帯電話や移動端末などに向けた簡易動画や音声などの地上デジタル放送です。

ビーコン情報については、別売のビーコンユニットを接続した場合の説明になります。

Q 自車位置ってなに？

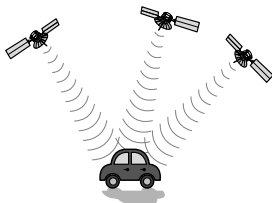
A 現在、自分の車がいる場所のことです。どの画面からでも自車位置(自車位置画面)を表示できます。

Q どうして自車位置(現在地)がわかるの？

A 自車位置は「GPS信号とジャイロ/車速センサー」を組み合わせたシステムで割り出します。

●GPS(グローバル・ポジショニング・システム)とは

高度21000kmの宇宙空間に浮かぶ3個以上のGPS衛星の電波を受信して、自車位置を割り出すシステムです。4個以上の衛星を受信すると、3次元測位(高度/経度/緯度)となり、3個の場合は2次元(経度/緯度)となっております。この情報は、米国防総省によって管理されており、意図的に精度をかえる場合があります。

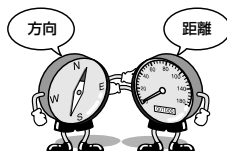


●高い精度で使い続けるために、次のような利用をお勧めします。

- ①インジケーターバーでGPS信号が受信できていることを確認してから走行する
- ②良好な信号が受信できるようにアンテナをきれいにする
- ③アンテナ、車速信号の接続に異常が無いが定期的に確認する
- ④やさしくていねいに扱う

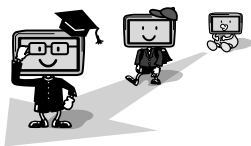
●ジャイロ/車速センサーとは

ジャイロセンサーとは、航空機や船舶などの移動体の方向変化を計測するためのもので、カーナビゲーション用には使用する場合は車速センサーと共に用います。ジャイロセンサーで方向を、車速センサーで走行距離を検出して自車位置を算出します。



●使い始めの自車位置精度について

ジャイロ/車速センサーは、その車の走行情報を蓄積しなければ本来の性能を発揮できません。今までの情報が無いシステムの取り付け直後、今までの情報が生かせないタイヤ交換直後などは、自車位置が正しく表示されないことがあります。そのまま走行を続けると、センサーの情報から算出した位置とGPSの位置の誤差量を学習して次第に精度が上がっていきます。

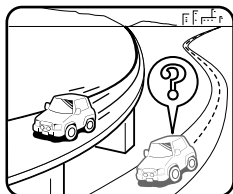


このシステムの場合、GPS信号を受信できない場合でも測位が続けられますし、ジャイロセンサーだけの走行で表われる「ずれの積み上げ」も発生しないメリットがあります。

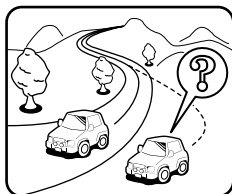
Q どうして自車位置がずれるの？

A 記憶されている車速信号情報は、車やタイヤの種類で違います。別の車に付けかえる/タイヤを履きかえる/タイヤローテーションを行うと、車速信号情報と実際の位置情報にずれが生じてしまうのです。このような場合は距離補正値を一度初期化して、再度、自動距離補正を行う必要があります（「距離を補正する」143ページ参照）。

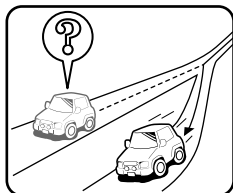
- GPS衛星はアメリカの国防総省により管理されており、衛星自体が故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、自車位置マークがずれることがあります。多少の「ずれ」は、本機性能の限界も考えられます。また、GPSが受信できない場合や、次のようなときにも自車位置がずれることがあります。



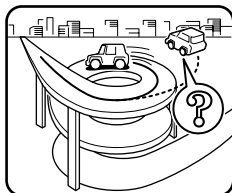
- 高速道路を走行している場合、その側道に自車位置マークがのるときがあります。またその逆もあります。



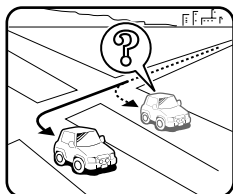
- 勾配の急な山岳等を走行している場合、自車位置マークがずれるときがあります。



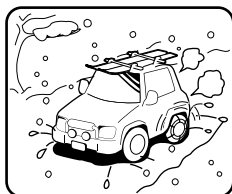
- 角度の小さなY字路や平行路を走行していると、き他方の道路に自車位置マークがのる場合があります。



- 螺旋状の道路やヘアピンの道路などを走行している場合、自車位置マークがずれるときがあります。



- 基盤状の道路を走行している場合、隣りの道路に自車位置マークがのるときがあります。



- 雪道や舗装していない道路などの滑り易い道路を走行しているとき、自車位置マークがずれることがあります。また、タイヤチェーン等を装着して走行している場合でも、自車位置マークがずれることがあります。

- 直線または、緩やかなカーブを長い距離走行した直後。
- 立体駐車場などで切り返しや旋回をした場合。
- 混雑や渋滞で低速発進や停止を繰り返した場合。

これらは故障ではないので、そのまましばらく走行を続ければ自動的に修正します。

ただし、高速道路と一般道路が重なっているときなどでは、自動的に修正できない場合があります。このようなときは、自車位置を修正してください（「自車位置を修正する」135ページ参照）。

その他

Q 画面上に表示された「十字カーソル」を消すには？

A 地図をスクロールしたときの「十字カーソル」を消すには、**（現在地）**スイッチを押して現在地画面に戻してください。

Q 止まっているのに、どうして自車位置が勝手に動き回るの？

A 車速の接続が正しいか確認してください。接続が正しいときは、スピードセンサーコード(車速信号線)にノイズが乗っている可能性があります。ナビのACCやバッテリーコードにノイズサプレッサーを入れたり、スピードセンサーコードを車両配線から離してください。

Q 正しい案内がされなくなった

A • タイヤを交換していませんか？

タイヤ交換後、記憶されている車速信号情報と実際の位置情報にずれが生じてしまう場合がありますが、走行すると自動で補正されます。それでもずれが生じる場合には、距離補正值の初期化を行ってください(「距離を補正する」143ページ参照)。

• スピードセンサーコード(車速信号線)は、外れていませんか？

• お買い上げの販売店へご相談ください。

• GPSアンテナを確認する。

お買い上げの販売店へご相談ください。

Q 音声案内が遅れるのは？

A 自車位置と現在地に誤差が生じるためです。

本機は距離係数などを学習し、自動補正を行いますので走行することにより自車位置精度が向上していきます。どうしても案内が遅れる場合には手動補正する必要があります(「距離を補正する」143ページ参照)。

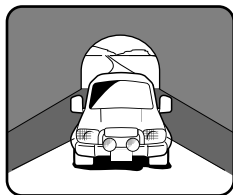
Q VICSレベル3情報の一部がいつのまにか表示されなくなった

A 道路交通情報をナビゲーションなどに的確に表示できるよう、VICSリンク(主要交差点毎に道路を区切った単位)というデータ方式を採用しています。このため、道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況に変化をきたす場合は、VICSリンクの追加や変更を行っています。この結果、新しいVICSリンクにより情報の提供が行われると、ごく一部の地域ですが、変更前のVICSリンクでは情報が提供されなくなります。

ただし情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクにも変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。そのため、地図ソフトの発売時期から3年間程度経過すると、地図画面上で渋滞情報(赤・オレンジ・水色の矢印等)などを表示できない場所が、徐々に出てきます。この現象は地図表示型(レベル3)でのみ発生します。VICSリンクは随時更新されますので、出来るだけ新しい地図のご利用をお勧めします(本製品の道路単位は2006年11月版です)。

Q どうしてGPSが受信できないの？

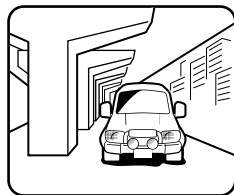
A GPSアンテナ近くで携帯電話などを使用したり、次のような場所では受信できないことがあります。



トンネルの中



高層ビル等の間



高架道路の下



樹木の間

- ルーフキャリアなど使用時には、GPS衛星の電波がさえぎられて自車位置を測位できなくなることがあります。このようなときは、アンテナとルーフキャリアを離して設置してください。
- ナビ本体のアースの接続は確実でしょうか？
お買い上げの販売店へご相談ください。

Q ナビゲーションを高い精度で使うには？

A 使いはじめなどは、受信感度の良い状態で100km以上走行することをお勧めします。

Q VICSサービスの提供区域なのに受信されない

A VICSサービスの提供区域は、全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲です。ただし、そのサービスの提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

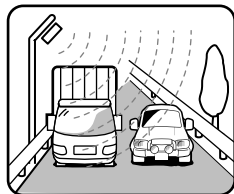
Q どうしてFM多重放送、VICS放送が受信できないの？

A FM多重放送は、FM波のすきまに文字情報(見えるラジオ)やVICS情報(広域ゾーン型)を盛り込みます。利用する場合は、情報を提供している放送局に周波数を合わせなければなりません。また、情報を取り込んでから表示しますので、受信状態になって直ちに表示されるわけではありません。受信しにくいときは、受信エリアの確認をしてください。

さらにVICSには、間欠極小ゾーンを対象とした「光ビーコン、電波ビーコン」があります。

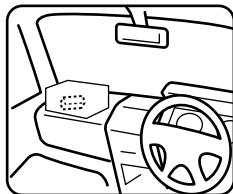
この情報は、次のようなとき受信できないことがあります。

■ 電波/光ビーコンの受信について

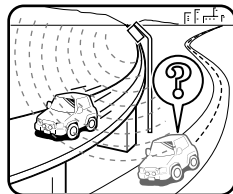


大型車と並走

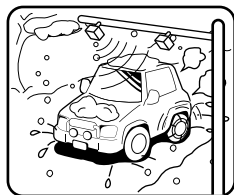
※ 高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路の電波ビーコンを受信してしまう場合があります。



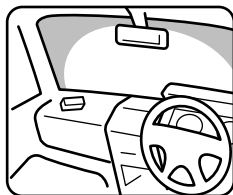
アンテナの上に物を置く



高速高架道路の下



雪などの悪天候



アンテナ受光部の汚れ
フロントガラスの汚れ

※ 電波/光ビーコンから信号が発信されていてもデータがない場合があります、このときはデータがない状態で上書きをするため前情報がなくなる場合があります。

Q VICSの渋滞情報ってなに？

A VICSの渋滞情報(レベル3)は、地図上に渋滞地点や渋滞区間を「矢印」で提供します。方向は矢印で、混み具合は色(渋滞は赤)で表します(「渋滞・混雑/空き道表示」116ページ参照)。

Q 今まで表示されていたVICS情報が、ビーコンを受信したら消えてしまった

A 試験運用中等で、ビーコンによっては情報のない信号を出している場合があります。このような信号を受信すると、VICS情報がない状態になり表示が消えますが不具合ではありません。次に情報のあるビーコンを受信することで、正常に表示されます。

Q ルートを外れたらどうするの？

A ルートの外れには「測位誤差」によるもの「運転ミス」によるものの二つがあります。ルートを走行中に自車位置が近接する道路に移動してしまうのが「測位誤差」によるものです。

この場合、そのまま走行を続ければ自車位置は「本来の道路」に戻ってきます。

案内している交差点で曲がれなかったときなどの間違いによるルートの外れは、リルート機能によって「新たなルート」を自動的に探し出してくれます(「ルートから外れた場合」77ページ参照)。



Q ルートを消すにはどうするの？

A ルートは目的地周辺で案内を終了しますが、目的地情報は残ります。また、目的地への接近が少ないといつまでも目的地への案内を続けます。

これらを消す場合は、ルートの消去を行ってください(「ルートを消去する」85ページ参照)。

Q ルートは記憶できないの？

A ルートを記憶させることはできません。

Q ルート探索対象道路は？

A ルート探索対象道路は道幅が5.5mより広い道路となります。

Q ルート探索のコツってなに？

A いろいろ使い方がありますが、周遊コース設定のコツをお教えます。

2泊3日の旅行で出発地に戻ってくる場合は、以下の操作を行います。

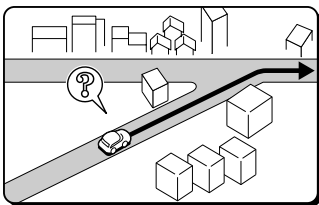
- 1) 出発地(自車位置)を目的地に設定します(当然、コースは表われません)。
- 2) 立ち寄る地点を「経由地を設定する」(76ページ)ですべて設定します。
- 3) 自車位置から2泊3日のコースを確認します。

各経由地を宿泊地にしておけば、それぞれの日毎の走行距離を知ることができます。

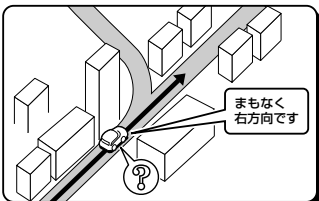
Q こんなルートは故障なの？

A ルート探索やルート案内において、次のような場合がありますが故障ではありません。

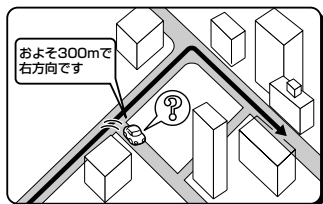
- ・ 冬期の閉鎖・歩行者天国・時間規制などで通行できない場合があります。
- ・ 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- ・ 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- ・ 再探索してもルートがかわらない場合があります。
- ・ ルートが渋滞している場合があります。
- ・ 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- ・ 高速優先であっても、高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- ・ Uターンするルートを表示する場合があります。



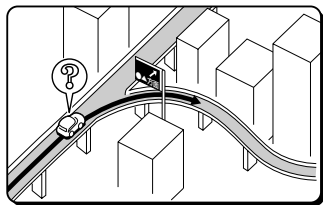
- ・ 交差点で、案内されない場合があります。また、交差点名称が案内されない場合もあります。



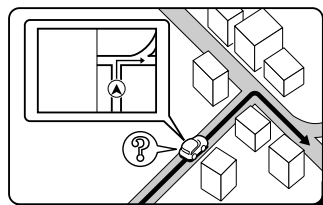
- ・ 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をする場合があります。



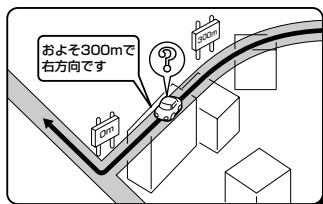
- 手前の交差点等で曲がったときなど音声案内される場合があります(案内ルートを外れた場合)。



- 高速/有料道路で方面案内が表示/案内されない場合があります。



- 交差点拡大図が実際の道路形状と異なる場合があります。



- 案内距離が実際の道路状況と異なる場合があります。

Q 思い通りのルートを引きには？

A ナビが自動で設定したルート以外の道を通して目的地まで行きたい場合は、利用するインターチェンジ(IC)を変更したり、通りたいルート上に経由地を追加すると、その地点を通るルートに変更することができます。経由地は最大で5ヶ所まで指定できます(「インターチェンジ(IC)を指定する」75ページ、「経由地を設定する」76ページ参照)。

(手順)

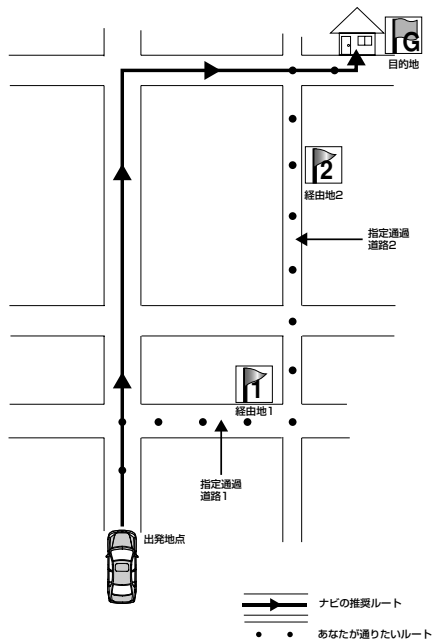
目的地を設定してルートを引き

↓
5種類(5ルート)のルートを確認する(74ページ)

↓
思い通りのルートがない

↓
通りたい道路に経由地を追加する(76ページ)
または、インターチェンジを指定する(75ページ)

↓
ルートが変更される



Q 時計(現在の時刻)が、ずれたら？

A 本機の時計表示はGPS情報から時間を算出しておりますので、時計表示がずれることはありません。ただし、長い期間GPSが受信されない状態が続いた場合は時計がずれることがあります。GPSが受信されると正常な時間表示に戻ります。GPSを受信しているにも関わらず、ずれている場合は、本機を点検に出して下さい。

Q バッテリーを外してもメモリーは消えないの？

A 地点情報はプログラム、設定(サウンド調整は除く)、ルート学習・渋滞学習などは消えません。

Q どうして夜画面がちらつくの？

A 電圧が低いとき、画面がちらつくことがあります。

Q 駐車場マークを消すにはどうするの？

A 駐車場マークには、ランドマークとVICS情報マークがあります。地域によっては駐車場マークが画面いっぱいに表示され、地図が見づらくなる場合があります。この場合は、以下の操作で駐車場マークを消してください。

- ランドマークを消す
「ランドマーク表示を設定する」(52ページ)を「しない」にするか、ジャンル選択で駐車場を「しない」に設定してください。
- VICS情報マークを消す
「駐車場マークを表示する」(127ページ)、「路上駐車場マークを表示する」(127ページ)を「しない」に設定してください。

故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？



下の表をご確認ください。



お買い上げ店またはお近くのお問い合わせ窓口（403ページ）までご相談ください。

操作中に停止したままになったり、画面が暗くなるなど正常に動作しなくなった場合は、一度イグニッションキーをOFF/ONしてください。

それでも正常動作しない場合は以下の表を参照して処置を行ってください。

■ ナビゲーション関係

症状	原因	対処	参照ページ
動作しない	ヒューズが切れている	所定容量のヒューズと交換する	
	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にする	
	結露している	しばらく(1時間程度)放置し、乾いてから使う	
	正しく接続されていない	取付説明書を参照して正しく接続されているか確認する また、コードなどが極端に折れ曲がっていないか確認する	
	内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった	本機をリセットする	21ページ
画面がふらつく	電圧が低い	別売の電源リレーキット(KWR-403G)を使用しバッテリーから直にナビ本体の電源ラインに接続する	
走行しても地図が動かない	現在地画面以外になっている	現在地画面を表示させる	45ページ
正しく自車位置を測定できない	ACCが「OFF」になってから自車位置がかわった • フェリーボートによる移動 • 駐車場のターンテーブルによる回転 • レッカー車による移動等	GPS信号受信状態(測位状態)でしばらく走行する	
自車位置マークが表示されない	現在地画面以外になっている	現在地画面を表示させる	45ページ
GPS信号が受信できない	車載のテレビで56チャンネル(UHF)を受信しているとき	チャンネルを変更するか、またはGPSアンテナとTVアンテナの距離を20cm以上離す	
	GPS情報を利用できない状態である	周囲に障害物がない所へ移動する	
	GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている	電話の使用をやめる	
	GPSを利用したレーダー探知機を使っている	本機のGPSアンテナと離してご使用ください	
自車位置の誤差が大きい	衛星の配置が悪い	GPS衛星の電波を受信しやすい場所へ移動する	
	2次元測位をしている		
	車速(スピードセンサーコード)が正しく接続されていない	取付説明書を参照して接続を確認してください	

症状	原因	対処	参照ページ
データが保存できない	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にしてから保存する	
タッチスイッチがグレーになり操作できない	パーキングブレーキコードが接続されていない	取付説明書を参照して正しく接続する	
	操作できないタッチスイッチにタッチした	車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作する。また、状況・設定などにより、操作できないスイッチがある場合があります	
案内音声が出力されない	案内の音量が小さく(音声OFFに)なっている	音量を大きくする	55ページ
イグニッションキーをONの位置にしたあと、しばらく画面にムラがある	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがある	バックライトが温まれば、数分後には解消される	
画面が見にくい	画面のコントラスト、明るさ調整が不適正である	コントラスト、明るさを調整する	38ページ
VICSレベル1、2 (文字表示型/図形表示型)が表示できない	VICSの情報として送出されていない	地区等により送出される情報は異なる	
	VICSの放送エリア外である	VICSの放送エリアに移動する	
	放送局の周波数が合っていない	受信可能な放送局に周波数を合わせる	120ページ
	データの取り込みが完全ではない	更新データを受信するまで待つ	
VICSレベル3(渋滞、規制、駐車場)の表示ができない	「VICS設定」でこれらの表示条件が表示しない設定になっている	「する」に設定する	126ページ 127ページ
	VICSの放送エリア外である	VICSの放送エリアに移動する	
VICS渋滞が考慮探索されない	「アクティブルートサーチ」が「しない」の設定になっている	「する」に設定する	139ページ
VICS情報の表示が乱れる	電波や光の情報がうまく受信されない	情報を受信次第表示が更新されます	
VICSの時間が時刻と違う	時計ではなく、表示中のVICS情報の提供時刻を示しています VICS情報を長時間受信していない場合、古い時間が表示されます	情報を受信次第更新されます	

一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げの販売店に問い合わせてください。

■ サウンド・映像関係

症状	原因	対処	参照ページ
動作しない	ヒューズが切れている	所定容量のヒューズと交換する	
	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にする	
	結露している	しばらく(1時間程度)放置し、乾いてから使う	
映像が不鮮明になったり、雑音が入ったりする	電波が弱い	他の場所に車を移動して再確認する	
	バッテリー電圧が低下している	バッテリー電圧/バッテリー液量/バッテリー液比重および配線を確認する(負荷状態で11ボルトを下回ると誤動作の原因となります)	
映像が出ない	モード切りかえがご覧になりたいモードになっていない	ご覧になりたいモードにタッチして切りかえる	207ページ
	パーキングブレーキコードを接続していない	パーキングブレーキコードを接続しパーキングブレーキをかける	
	パーキングブレーキをかけていない		
映像が出ないまたは動きが悪い	車室内の温度が低い	車室内の温度を常温にする	
映像に斑点やしま模様が出る	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、自動車などからの影響	妨害電波を受けない場所に車を移動する	
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください	
映像が二重三重になる。またはゆれる	近くの山やビルで電波が反射している	他の場所に車を移動する	
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるもの	故障ではありません。しばらくそのままお待ちください。	
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある	液晶のバックライトの特性によるもの	故障ではありません。しばらくすると安定します。	
音が出ない	音量の調整不良	音量スイッチを押して確認する	210ページ
片側のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードが外れている	スピーカーコードの接続を確認する	
	音量の調整不良	左右音量調整をして確認する	345ページ
音質調整をしても音質が変化しない	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない	放送、ディスクを変更して確認する	
CD/DVDが入らない	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている	すでに入っているCD/DVDを取り出してから、お好みのCD/DVDを入れる	22ページ
CD/DVDの再生ができない	結露している	しばらく放置してから使用する	
	CD/DVDに大きなキズやソリがある	他のCD/DVDを入れる	
	CD/DVDがひどく汚れている	クリーニングする	

症状	原因	対処	参照ページ
ディスクの再生が始まらない/音がとぶ/音が歪む/早送り/早戻しができない	車内温度が50℃以上である	車内温度を常温まで下げてから、演奏させる	
	ディスクに傷が付いている	他のディスクを再生してみる	
	ディスクがひどく汚れている		
	録音状態が良くない		
	本機対応のディスクでない		
映像も音も出ない	結露している	しばらく放置してから使用する	
	サウンド・映像モードがOFFになっている	AV OFFモードを解除する	206ページ
CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWが再生できない	接続コードの接続が不完全	各接続コードの接続を確認する	
	クローズセッション(ファイナライズ)処理を行っていない	クローズセッション(ファイナライズ処理)を行い、再度、試してみる	
MP3/WMA/AACが再生されない	書き込みに失敗している/対応フォーマット以外で書き込まれている	書き込みに失敗していないか確認する。または、「MP3/WMA/AACについて」を参照し、本機対応のフォーマットで書き込みを行う。	230ページ
HDDの再生が始まらない/音が飛ぶ/音が歪む/早送り・早戻しができない	HDDに録音されていない	音楽を録音する	237ページ
	録音状態が良くない	他の音楽データを再生してみる	
	本機対応の音楽データではない		
SDメモリーカードが入らない	すでに別のSDメモリーカードが入っている	SDメモリーカードを取り出してから入れ直す	23ページ
	SDメモリーカードの入れ方が間違っている	本書を参照し、正しく入れ直す	23ページ
SDメモリーカードの再生が始まらない/音が飛ぶ/音が歪む/早送り・早戻しができない	SDメモリーカードが壊れている	他のSDメモリーカードを再生してみる	
	SDメモリーカードの端子部がひどく汚れている		
	録音状態が良くない		
	本機対応の音楽データではない		
放送局が受信できない/雑音が入る	アンテナが接続されていない(ラジオ)	アンテナが確実に接続されているか確認する(ラジオ)	
	放送局の周波数(チャンネル)が合っていない	周波数(チャンネル)を正しく合わせる	214ページ
	周りに障害物などがあり、受信状態が良くない	見通しが良いところへ移動する	
自動的に放送局が選べない	電波の弱い地域にいる	手動で受信する	214ページ
受信状態は良好だが映像・音声が出力されない	放送局の放送が休止している	放送を行っている局に切りかえる	
iPodが再生しない/iPodの音が出ない	iPodが認識されていない	iPodをリセットする。 iPodのリセットについては、iPod側のユーザーズガイドを参照してください	

■ 表示メッセージ(共通)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
走行中は安全のため操作できません	走行中にメニュー操作を行った。	車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作する。	
液晶パネルの熱保護のためディスプレイの電源をOFFします 車内の温度が下がれば画面は自動的に復帰します	車内温度が高すぎる。	車内温度を常温まで下げる。	

■ 表示メッセージ(ナビゲーション関係)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
ルートを計算できませんでした 目的地を幹線道路付近にセットしてください	目的地を指示したとき、周辺に道路がなくルート探索ができない	付近の主要道路にカーソルを合わせ、再度目的地を指示する。	
この緯度経度は検索できません	入力した緯度経度に対応する場所が見つからない。	緯度経度以外の方法で地図を検索する。	
この番号は検索できません	入力した電話番号に対応する場所が見つからない。	電話番号以外の方法で地図を検索する。	
該当するデータはありません	入力したマップコードに対応する場所が見つからない。	マップコード以外の方法で地図を検索する。	
該当する施設がありません	入力した施設に対応する場所が見つからない。	施設以外の方法で地図を検索する。	
該当する電話番号はありません	入力した電話番号に対応する場所が見つからない。	電話番号以外の方法で地図を検索する。	
該当する郵便番号はありません	入力した郵便番号に対応する場所が見つからない。	郵便番号以外の方法で地図を検索する。	
自宅を登録してください	自宅が登録されていない状態で、自宅から地図を検索しようとした。	自宅を登録してから検索する。	
登録地点がありません	地点を登録していない状態、または登録地点を消去した後に登録地点から地図を検索しようとした。またはSDメモリーカードに地点をコピーしようとした。	地点を登録してから検索、またはSDメモリーカードに地点をコピーする。	
空き容量不足などのため登録地点の保存ができません	SDメモリーカードの容量が一杯になった。	不要なデータを消去する。	

■ 表示メッセージ(サウンド・映像関係)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
走行中は安全のため表示できません	走行中にテレビ/DVDなどの映像ソースを見ようとした。	車を安全な場所に停車させてからお楽しみください。	
DISCが読めません 車内温度が下がるまでお待ちください	車内温度が高すぎる。	車内温度を常温まで下げる。	



メッセージ	原因	対処	参照ページ
DISCを確認してください	CD/DVDディスクが汚れている、または裏返しになっている。	ディスクが汚れているときはクリーニングする。裏返しのときは正しく挿入する。	
このDISCは使用できません DISCを確認してください	本機対応のディスクではない。	他のディスクを再生してみる。	
HDDが読みません システムを再起動します	なんらかの原因でHDDにアクセスエラーが発生した。	自動的に再起動がかかります。	
HDDが読みません 詳細はサービスセンターへお問い合わせください	なんらかの原因でHDDにアクセスできなくなった。	お問い合わせ窓口にご相談ください。	403ページ
HDDの温度異常が発生しました 一部使用できない機能があります	ハードディスク内の温度が異常に高い、または低いため。	常温になるまで、しばらく待つ。	
エラーが発生しました	メカニズムエラー。	一度電源を切り、再度入れ直してください。	
DVDメカにアクセスできません 詳細はサービスセンターへお問い合わせください	なんらかの原因でDVDメカにアクセスできなくなった。	お問い合わせ窓口にご相談ください。	403ページ
DVDメカにアクセスできません システムをリセットします	なんらかの原因でDVDメカにアクセスエラーが発生した。	自動的に再起動がかかります。	
このプレイヤーでこのビデオの再生が許可されていません。	本機の登録コードが承認されていない、否認可のDRM(Digital Rights Management デジタル著作権管理)がかかっている。	本機で再生を行うことはできません。自動的に次のファイルの再生が始まります。	
レンタル期限切れ	指定レンタル回数分の再生を終了したファイルを再生しようとした。	このファイルは再生することができません。自動的に次のファイルの再生が始まります。	
ワンセグ放送していません	ワンセグ放送していない放送局を選局した。	ワンセグ放送している放送局を選局する	
動画データがありません	圧縮ファイルモードの設定が「動画」のときに音楽ファイルを再生しようとした	動画データを再生する。または圧縮ファイルモードを「音楽」に設定する	298ページ
音楽データがありません	圧縮ファイルモードの設定が「音楽」のときに動画ファイルを再生しようとした	音楽データを再生する。または圧縮ファイルモードを「動画」に設定する	298ページ

操作中、画面にはいろいろなメッセージが表示されます。メッセージには、現在の状態を知らせたり、次の操作をガイドしたりするもののほか、上記のようなエラーメッセージを表示する場合があります。上記のエラーメッセージが表示された場合は、「処置」の内容をよくお読みになり、その指示に従ってください。

保証について/規格

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ店でお受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げの日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

■ アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いときは、保証書記載(裏面)に従い修理させていただきますので、お買い上げ店、または「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品は、製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げのお店または「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 修理によって登録内容が消去される場合があります。修理を依頼する前には、必ず登録している内容の控えを取ってください。

■ 規格/付属品

ナビゲーション部	受信周波数	1575.42±1MHz
	受信感度	-130dBm
GPSアンテナ部	本体部外形寸法	30.4mm(幅)×11.7mm(高さ)×35.5mm(奥行)
	重量	25g
モニター部	画面サイズ	7型
	表示方式	透過型TN液晶
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス
	画素数	1,152,000画素
	有効画素数	99.99%以上
	使用光源	冷陰極蛍光管
ラジオ・チューナー部	受信周波数	AM:522~1629kHz
		FM:76.0~90.0MHz
	実用感度	AM:22.5μV
		FM:0.8μV(75Ω):9.3dBf(新IHF)
	ステレオセパレーション	FM:45dB以上
	SN比	FM:80dB以上
	イメージ妨害比	FM:80dB以上
	IF妨害比	FM:80dB以上



DVD/CD部	方式	光学式(コンパクトディスク方式)
	量子化ビット数	1ビット
	チャンネル数	DVD5:1チャンネル/CD2チャンネル(ステレオ)
	ダイナミックレンジ	95dB(1kHz)以上
	高周波歪率	0.008%(1kHz)以下
	チャンネルセパレーション	90dB(1kHz)以上
	ワウフラッター	測定限界以下
	信号システム	NTSC
	水平解像度	500本以上
	画像出力レベル	1Vp-p(75Ω)
	画像SN比	DVD:70dB
	音声SN比	95dB
	周波数特性	5~20kHz
HDD部	出力レベル	1000mV/10kΩ
	再生信号圧縮方式	WMA
	チャンネルセパレーション	90dB(1kHz)以上
	S/N比	100dB
SDメモリーカード部	出力レベル	1000mV/10kΩ
	再生信号圧縮方式	MP3、WMA、AAC
	チャンネルセパレーション	90dB(1kHz)以上
	S/N比	100dB
ワンセグチューナー部(VIE-X075B1)	受信周波数	473.143~767.143MHz
	受信チャンネル	UHF13~62チャンネル
	受信感度	-85dBm
総合	電源電圧	DC14.4V(動作範囲:11~16V)マイナスアース
	音声出力レベル	プリアウト:2V/10kΩ(最大)
	動作温度範囲	-20°C~+60°C
	外形寸法	178mm(幅)×100mm(高さ)×161.5mm(奥行)
	重量	約3kg
	付属品	取扱説明書、取付説明書、クイックガイド、保証書類一式、取付部品一式(取付説明書参照)

- ※ 本機は、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許諾が必要であり、マクロビジョンが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他のにおける限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。
- ※ ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- ※ "DTS" and "DTS Digital Surround" are registered trademarks of DTS, Inc.
- ※ EUPHONY™およびEUPHONY Automobile™は株式会社ダイマジックの商標です。
- ※ The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Alpine Electronics, Inc. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.
- ※ 本製品のBluetoothソフトウェア・スタックは株式会社東芝が開発したBluetooth® Stack for Embedded Systems Spec 1.2を搭載しております。お客様は本ソフトウェアを改変し、またはリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすることはできません。お客様は本ソフトウェアを、有償、無償に関わらず第三者に販売、頒布、貸与、譲渡等、あるいは再使用許諾することはできません。
- ※ Windows Media™およびWindows®ロゴは、米国Microsoft社の米国およびその他の国での登録商標、または商標です。
- ※ MPEG Layer-3オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonから実施許諾されています。
- ※ 本製品の供給は、収益を発生する放送システム、ストリーミングアプリケーション、その他のコンテンツ配信システム、または物理的媒体で、本製品で創作されたコンテンツを配信する権利を暗示するものでもありません。当該使用には、独立したライセンスが必要です。詳細に関しては、<http://mp3licensing.com>にアクセスしてください。
- ※ iPod®およびiTunes®は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ※ DivX® Certified製品
- ※ DivX®, DivX® Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc.の商標です。これらの商標は、DivX, Inc.の使用許諾を得て使用しています。
- ※ 標準のDivX®メディアファイル再生機能が付いたDivX®ビデオを再生(DivX® 6を含むすべてのバージョンに対応。ただしDivX® 6はStandard Playbackのみ対応)。
- ※ SDメモリーカード™は松下電器産業株式会社、米SanDisk社、株式会社東芝の商標です。
- ※ エコ運転支援機能は、Pivot社(www.pivotjp.com)製のe-drive機能の判断方式を使用しています。
- ※ QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- ※ マップコードは株式会社デンソーの登録商標です。
- ※ FOMAはNTTドコモの登録商標です。
- ※ キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- ※ Uni-Type™は、株式会社リムコーポレーションと千葉大学工学部との共同研究によって開発されたユニバーサルデザインの書体です。
- ※ Uni-Type™は、株式会社リムコーポレーションの登録商標です。
- ※ [its-moDrive for mobilemedia station]は、株式会社ゼンリンデータコムドライバー向けWEBサイト[its-moDrive]のアルバイン向けサービスとなります。
- ※ その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

⑩ アドバイス

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 液晶パネルは、非常に精度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があり得ますので、あらかじめご了承ください。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICSサービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICSサービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICSデスクランブラー

FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表Ⅲに定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

■ 別表

視聴料金 315円(うち消費税15円) ただし、車載機購入価格に含まれております。
--

地図データについて

収録データについて

■ 収録データの補足説明

- ※1 「全国約2,500万件個人宅電話番号・名称データ」による「電話番号」検索は公開「電話番号」及び公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域により格差がありますがデータ収録内で全国平均91%の精度でのピンポイント検索が可能です。なお、検索された物件の一部では家形図周辺の検索表示になる場合があります。また、電話番号非公開訪問先宅（データ収録外物件）については入力電話番号「局番」周辺の位置検出となります。
- ※2 「全国約2,800万件住所検索データ」による「住所」検索は住所の整備状況により一部検索出来ない住所があります。また、検索された住所の一部では家形図周辺の検索表示になる場合があります。尚、約2,800万件の住所データは事業所および施設の住所データも含まれます。
- ※3 「全国約1,300万件50音データ」及び「全国約1,000万件タウンページ電話番号データ」によるピンポイント検索は、全国平均99%の精度でのピンポイント検索が可能です。また、国土地理院発行地図の番号未掲載や電話番号登録時の状況により周辺地域による位置検出となる場合があります。なお、収録されているデータは2006年11月時のタウンページデータです。
- ※4 市街地カパー面積は、収録地域によって全域をカパーしていない場合があります。

地図・情報について

このナビゲーションシステムの「地図」は「全国デジタルデータベース」（財団法人日本デジタル道路地図協会作成）と「交通規制データベース」（財団法人日本交通管理技術協会作成）をもとに、株式会社ゼンリンが独自に収集した情報（高速道路・有料道路は2006年12月までに、国道・都道府県は2006年11月現在までに）を網羅し、作成したものです。本品に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては、実際の道路状況および交通規制に従ってください。

地図の内容は、予告なく新しい地図データに更新されることがあります。

抜け道データは、昭文社「GIGA マップル渋滞ぬけみち」関東版（2005年4月）、中部・名古屋版（2005年7月）、京阪神版（2005年7月）に基づき作成しています。

■ 地図版権について

- この地図作成に当たっては、国土理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しています。（測量法第30条に基づく成果使用承認 平17総使、第598-156号）
- 本品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき、全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制原図を用いて、（財）日本交通管理技術協会（TMT）が作成したものを使用しています。（承認番号 07-5）
- 本品に使用している交通規制データは2006年4月現在のものです。本データが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等に従ってください。
- 本品に使用している交通規制データの著作権は、（財）日本交通管理技術協会が有し、株式会社ゼンリンは二次的著作物作成の使用実施権を取得しています。
- 本品に使用している交通規制データを、無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 「VICS」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 本品に使用している祭事の画像情報の一部は「金森盛写真文庫」から提供を受けています。

©2007 MBA, Inc.

©2007 ZENRIN CO., LTD.

©2006 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

©2006 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

©2006 TMT

©ジオ技術研究所

©2007 ALPINE ELECTRONICS, INC.

個人宅電話番号・名称データについて

個人宅電話番号・名称データは、（株）ダイケイのテレデータ（おおむね2006年8月までに収集されたデータ）を使用しております。

※ 個人情報保護に関する基本方針、およびナビゲーション地図に搭載されております個人データのお取り扱いにつきましては下記アドレスのホームページを御覧ください。

<http://www.alpine.co.jp/>

マイクロソフトからの使用許諾契約書

下記の使用許諾書をよくお読みのうえ、本ナビゲーションを正しくお使いください。

■使用許諾契約書

本ナビゲーションには、アルパイン株式会社(以下「ALPINE」)のソフトウェアに加え、Microsoft社(以下「MS」)よりALPINEにライセンスされたソフトウェア(以下「本ソフトウェア」)が含まれています。本ソフトウェアはコンピューターソフトウェア並びに、それ連した媒体、印刷物、「オンライン」、電子文書を含むことがあります。本ソフトウェアは無体財産権に関する法律、条約により国際的に保護されており、本ソフトウェアは許諾されるものであり、販売されるものではありません。お客様が本契約書の条項に同意されない場合、本ソフトウェアを使用または複製することはできません。本ソフトウェアを使用または複製した場合、お客様は本契約書の条項に拘束されることに同意されたものと致します。本契約は、お客様に以下の権利を許諾致します。

- お客様は、本ナビゲーションにおいてのみ本ソフトウェアを使用することができます。
- 本ソフトウェアは提供時の現状のままで、そこに含まれるあらゆる瑕疵とともに提供されるものであり、品質、性能、正確性その他不適切な取扱に伴う危険についてALPINE及びMSは何ら保証致しません。また、お客様による本ソフトウェアの使用に支障がきたされることや、本ソフトウェアが第三者の無体財産権を侵害していないことについても何ら保証致しません。
- 法律の許す限りにおいて、本ソフトウェアの使用から生ずるいかなる損害(間接損害、特別損害、結果損害、偶発損害)について、ALPINE及びMSは一切責任を負わないものと致します。
- 本ソフトウェアに音声認識および音声制御機能が含まれている場合、お客様は、音声認識および音声制御機能は本質的には統計的手法であること、音声認識および音声制御機能の誤りはその過程上本質的に存在すること、音声認識および音声制御機能の誤りに起因するあらゆる損害の法的責任はお客様にあることを承諾されたものと致します。
- お客様が、本ソフトウェアにつき、リバースエンジニアリング、逆コンパイルその他解析作業を行なうことは禁じられます。但し、法律が明示的に許諾する範囲においてはこの限りではありません。
- 別途契約書が提示されない限り、本ソフトウェアのバージョンアップ品(以下「バージョンアップソフトウェア」)または付属品についても本契約が適用されるものとします。
- 復元または再インストールのためのソフトウェアが別媒体によって提供された場合、お客様は、提供されたソフトウェアを、復元または再インストールのためにのみ使用できるものとします。
- バージョンアップソフトウェアが別媒体やWEBからのダウンロード、もしくは他の手段で本ナビゲーションと別に提供された場合、お客様は、既存の本ソフトウェアと交換して本ナビゲーションにインストールし、本契約書の各条項に従って使用することができます。
- お客様が、この使用許諾契約書の条項と条件を厳守されない場合、ALPINEまたはMSは、本契約書を終了させることができます。その場合、お客様はソフトウェアの全ての複製物等を消去しなければなりません。
- 本ソフトウェア、添付の印刷物、その複製物に含まれる全てのコンテンツ(画像、写真、アニメーション、ビデオ、オーディオ、音楽、テキスト、本ソフトウェアに組み込まれている「アプレット」を含む)に関する権利や無体財産権は、ALPINEまたはMSの財産であり、著作権法あるいは無体財産権に関する法律と条約によって保護されています。本契約書は、お客様にこのようなコンテンツの使用権を許諾していません。この本契約書により特に許諾されていない全ての権利は、ALPINEとMSに留保されます。本ソフトウェアを通じてアクセスできるオンラインサービスの使用は、そのサービスのために別途取り決める使用条件に従うものとします。本ソフトウェアが電子形式のみで提供されるドキュメンテーションを含む場合は、その電子ドキュメンテーションを1部のみ複製印刷できます。
- 本契約書は、お客様にALPINEおよびMSの登録商標やサービス商標の使用権を許諾するものではありません。
- 製品や本契約書に関するお問い合わせは、本ナビゲーションの取扱説明書に記載されているアルパインインフォメーションセンターにお問い合わせください。
- お客様は、本契約書に基づき、本ソフトウェアの使用権を第三者に譲渡できます。ただし、本ソフトウェアを本ナビゲーションの一部として譲渡すること、および譲受人は本契約書の各条項に同意することを条件とします。また、本ソフトウェアがバージョンアップソフトウェアの場合は、以前のバージョンを含めて譲渡することを条件とします。
- 本ソフトウェアはアメリカ合衆国で製品化されたものを含みます。お客様は、アメリカ合衆国の輸出管理規制およびアメリカ合衆国またはその他の政府が発する輸出国に関する規制等、本ソフトウェアに適用される輸出に関する国際的、国内的規制を遵守することに同意されたものとします。

お問い合わせ窓口

(AV/NAVI/MD/3D)

(平成19年6月1日現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター

<一般回線ご利用のお客様用>

TEL:0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。

<携帯電話、IP電話、光電話等をご利用のお客様用>

TEL:048-662-6636



- 電話受付時間 9:30~12:00 13:00~17:30 (土日、祝日、弊社休業日を除く)
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX:048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

営業所・販社名	電話番号	住所	担当 都道府県
北日本エリア 仙台オフィス 札幌オフィス 郡山オフィス	022-239-5331 011-621-4485 024-925-3811	〒983-0039 宮城県仙台市宮城野区新田東3-3-3 〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル 〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池11番5号	宮城県/山形県/秋田県/青森県/岩手県 北海道全域 福島県
北関東エリア 北関東オフィス 松本オフィス 新潟オフィス	048-664-7701 0263-26-0783 025-257-8680	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目7番2号 〒390-0487 長野県松本市笹部1丁目3番7号オアシスGB205号 〒950-0852 新潟県新潟市石山1丁目3-6 エクスレント石山	東京都北・西部/埼玉県/群馬県/栃木県 長野県/山梨県 新潟県
東関東エリア 東関東オフィス	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町2-406-1	東京都東部/千葉県/茨城県
南関東エリア 南関東オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地 アルプス電気横浜事業所内5F	東京都中・南部/神奈川県/ 静岡県(大井川以东)
中部圏エリア 中部オフィス	052-779-5655	〒465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石3丁目108	愛知県/三重県/岐阜県/ 静岡県(大井川以西)/石川県/ 富山県/福井県
近畿圏エリア 大阪オフィス	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	大阪府/奈良県/和歌山県
中四国エリア 岡山オフィス 広島オフィス	086-243-8257 082-846-1175	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号 〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園2丁目11番16号	岡山県/島根県/鳥取県/徳島県/香川県/ 愛媛県 広島県/山口県
九州エリア 福岡オフィス 長崎オフィス	092-452-8870 095-727-1581	〒816-0093 福岡県福岡市博多区那珂3丁目23番2号ヒロタビル7号 〒854-0074 長崎県諫早市山川町3の13	福岡県/大分県/佐賀県/熊本県/ 鹿児島県/宮崎県/沖縄県 長崎県
アルパイン京都販売(株) アルパイン兵庫販売(株) マークエンタープライズ(株)	075-671-9400 0794-54-6123 088-884-6800	〒601-8101 京都府京都市南区上鳥羽高島町88-2 〒675-0067 兵庫県加古川市加古川町河原133の1 〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号	京都府/滋賀県 兵庫県 高知県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道/青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県/ 栃木県/茨城県/群馬県/東京都/神奈川県/埼玉県/千葉県/ 新潟県/長野県/山梨県
アルパインカスタマーズサービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	静岡県/愛知県/三重県/岐阜県/福井県/富山県/石川県/ 滋賀県/京都府/大阪府/和歌山県/奈良県/兵庫県/ 岡山県/島根県/鳥取県/広島県/山口県/香川県/愛媛県/ 徳島県/高知県/福岡県/佐賀県/大分県/熊本県/長崎県/ 鹿児島県/宮崎県/沖縄県

その他

知っておきたい豆知識

地上デジタル放送について

地上デジタル放送とは？

地上波のUHF帯を使用して開始されたデジタル放送です。
2003年12月より一部の地域で開始され、順次放送が開始されていきます。

地上デジタル放送の特長

- (1) デジタルハイビジョンの高画質^{*1} とCD 並みの高音質
- (2) 標準画質による多チャンネル放送
- (3) 多様なデータ放送、双方向機能を活かした番組への参加^{*2}
- (4) 移動体受信でもゴーストのない鮮明な映像が視聴可能
- (5) EPG による番組情報の確認
- (6) ワンセグ放送による移動体向けサービス^{*3}

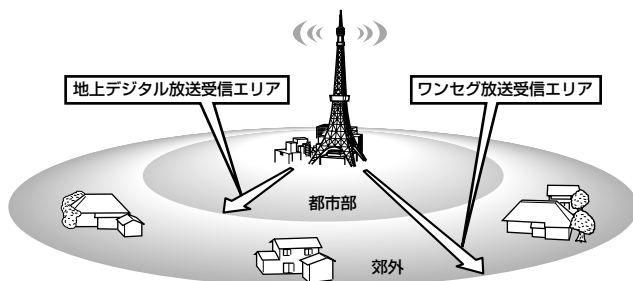
^{*1} 本機は、ハイビジョン出力には対応しておりません。

^{*2} 本機は、双方向サービスには対応しておりません。

^{*3} ワンセグ放送サービス開始時期は、それぞれの放送局で異なります。

地上デジタル放送とワンセグ放送の受信エリアについて

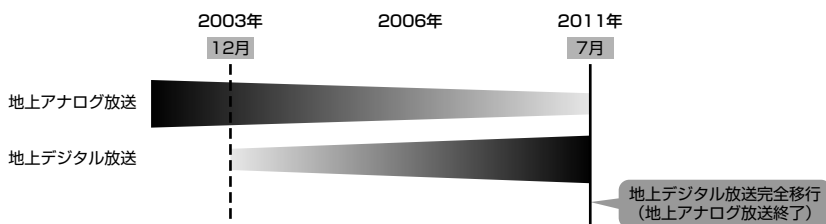
- 地上デジタル放送は、高画質・高音質で地域に密着したデータ放送などを楽しむことができます。
- ワンセグ放送受信エリアは、地上デジタル放送の受信エリアに比べて広く、郊外などでも安定した受信が可能です。



地上デジタル放送化のスケジュール

地上デジタル放送は2003年12月より、関東・中京・近畿の三大広域圏から開始され、2006年12月までに全国都道府県庁所在地で放送が開始されています。

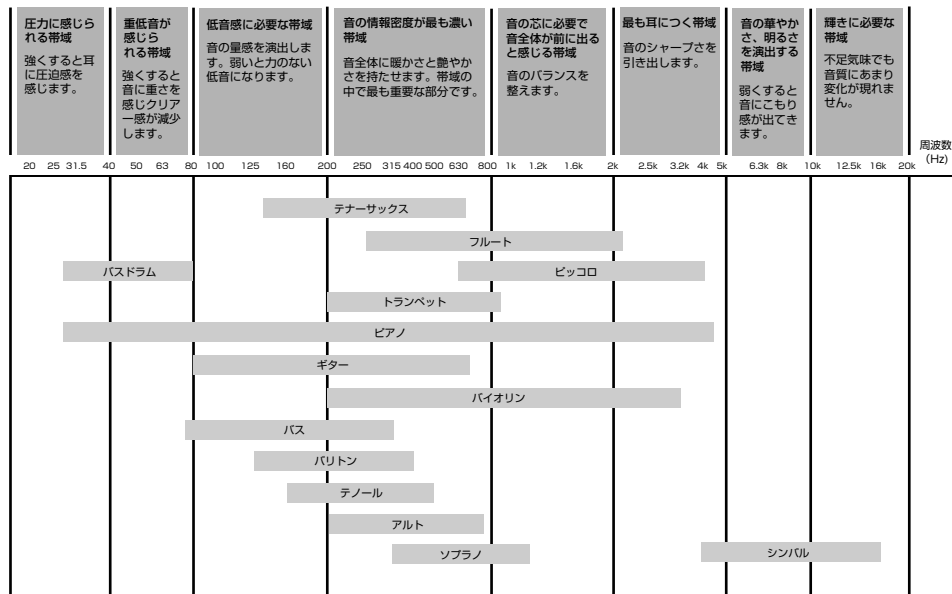
2011年7月には地上デジタルテレビ放送に完全移行し、現在の地上アナログ放送を終了することが、国の施策として決定されています。





周波数帯域と音質について

一般的に周波数には次のような音質の特徴があり、各帯域を強調／減衰することによりさまざまな音質が楽しめます。調整の際の参考にしてください。



MENU項目一覧

メニュー	項目	詳細項目	参照先
サウンド・映像	DVD/CD		「DVD/ビデオCD操作」267ページ
	HDD AUDIO		「HDD AUDIO操作」233ページ
	SD		「SDメモリーカード操作」261ページ
	ワンセグ※1		「地上デジタルテレビ操作」303ページ
	FM/AM		「ラジオ操作」211ページ
	AUX※2		「AUX操作(オプション)」335ページ
	iPod※3		「iPod操作」321ページ
	設定を変える		「設定項目一覧」407ページ
	カメラ※4		「フロントカメラ/リアカメラの操作」178ページ
	交通情報		「交通情報を受信する」217ページ
ドライブイン フォメーション	DRIVE INFO.表示		「ドライブインフォメーション画面の見かた」107ページ
	設定を変える		「ドライブインフォメーション設定」110ページ
ナビメニュー	行き先を決める		「行き先を探す」59ページ
	情報を見る	FM多重	「FM多重放送を見る」120ページ
		VICS情報	「VICS情報を見る」121ページ
		VICS割込み情報	「割込み情報を見る」122ページ
		VICS駐車場情報	「駐車場情報を見る」123ページ
		ETC	「ETCについて」176ページ
	設定を変える		「設定項目一覧」407ページ
	地点1		「よく行く地点を設定する」73ページ
	地点2		「よく行く地点を設定する」73ページ
	地点3		「よく行く地点を設定する」73ページ
	自宅		「自宅へ帰る」73ページ
電話・通信	着信履歴		「発信履歴/着信履歴から電話をかける」159ページ
	発信履歴		「発信履歴/着信履歴から電話をかける」159ページ
	番号入力		「番号を入力して電話をかける」157ページ
	電話帳		「電話帳から電話をかける」158ページ
	設定を変える		「電話・通信設定」169ページ
	短縮1		「短縮ダイヤルから電話をかける」159ページ
	短縮2		「短縮ダイヤルから電話をかける」159ページ
	短縮3		「短縮ダイヤルから電話をかける」159ページ
	リダイヤル		「直前にかけた電話番号に電話をかける」157ページ
音量調整			「サウンド調整画面の操作」342ページ
画質調整			「画質の調整」38ページ
画面 OFF			「画面を消す」25ページ
AV OFF			「サウンド・映像モードのON/OFF」206ページ

※1 VIE-X075B1ご購入の場合。

※2 「外部機器を接続する」が「あり」設定時(339ページ参照)。表示名は「外部入力に表示名をつける」(339ページ)で設定された名称。

※3 iPod接続時のみ表示される。

※4 「リアカメラを接続する」(182ページ)、「フロントカメラを接続する」(182ページ)が「あり」設定時のみ表示される。

設定項目一覧

タブ	項目	詳細項目	参照先
基本	ディスプレイ表示	自動タイトルスクロール	35ページ
		リアモニター映像出力	35ページ
		時計表示	36ページ
		自動壁紙変更	36ページ
		スベアナ表示	36ページ
		タッチパネル補正	37ページ
		モニター自動CLOSE	37ページ
		ワンセグ受信状態常時表示	37ページ
	ディスプレイ照明	ディマー設定	37ページ
		夜用明るさ調整	37ページ
		夜用LED明るさ調整	37ページ
	AUX	外部接続	339ページ
		名称選択	339ページ
		音声レベル	339ページ
	画像	HDD画像	355ページ
		SD画像	266ページ
		画面OFF	355ページ
	カメラ	リアカメラ接続	182ページ
		ガイド線表示	182ページ
		フロントカメラ接続	182ページ
	iPod	ア트워크自動取得	334ページ
	SDメモリーカード	再生モード	262ページ
		SDメモリーカード編集	264ページ
		SDメモリーカード初期化	264ページ
	情報消去	全設定項目初期化	146ページ
		全情報初期化	146ページ
ナビゲーション	地図表示	地図色切換	132ページ
		地図色昼/夜切換	132ページ
		行政境界分け	132ページ
		現在地情報表示	133ページ
		誘導方向表示	133ページ
		方面看板表示	133ページ
		ビル立体表示	133ページ
		3Dランドマーク表示	134ページ
		登録地点アイコン表示	134ページ
		冬期規制アイコン表示	134ページ
		高速ガイド表示	134ページ
		細街路オートスケール	134ページ
		走行連動地図切換	134ページ
		一般道路モード地図	135ページ
		高速・有料モード地図	135ページ
		地図表示言語設定	135ページ
		施設文字	135ページ
		自車マーク	135ページ

タブ	項目	詳細項目	参照先
ナビゲーション	案内誘導	ルート行程情報表示	136ページ
		県境案内	136ページ
		一般道合流案内	136ページ
		SA・PA合流案内	136ページ
		IC合流案内	136ページ
		JCT合流案内	136ページ
		踏み切り案内	136ページ
		事故多発警告	137ページ
		ナビ案内画面割込み	137ページ
		車両情報	車両種別
		駐車場条件	長さ
			幅
			高さ
		一般道車速設定	137ページ
		有料道車速設定	137ページ
		高速道車速設定	137ページ
		到着予想時刻音声案内	137ページ
		ETC案内	137ページ
		リアルジャンクションガイド	137ページ
		詳細案内図表示	138ページ
		レーンガイド表示	138ページ
	経路	アクティブルートサーチ	139ページ
		短縮時間	139ページ
		抜け道探索	139ページ
		フェリー使用	140ページ
		時間曜日規制考慮	140ページ
		回避エリア考慮	140ページ
		冬期閉鎖区間考慮	140ページ
		迂回距離 一般道	140ページ
		迂回距離 有料・高速	140ページ
	地点編集	登録地点	95ページ
		特別地点	95ページ
		迂回地点	102ページ
	VICS	情報保持時間	125ページ
		情報割込み	125ページ
		割込み時間	125ページ
	自転車位置修正		135ページ
	ルート学習	ルート学習	141ページ
		ルート学習結果を消去	141ページ
		渋滞学習	141ページ
		渋滞学習結果を消去	142ページ
	ナビ情報	GPS情報	144ページ
		接続情報	144ページ
		バージョン情報	144ページ
		店頭デモ	店頭デモ自動起動
			店頭デモ

タブ	項目	詳細項目	参照先
ナビゲーション	ナビ情報	距離補正	距離補正值
			自動距離補正值
			距離補正值初期化
		地図差分更新	
i-Personalize	Media Xpander		343ページ
	BASS MAX EQ		344ページ
	P-EQ		344ページ
	サラウンド設定		346ページ
	T.CORR		348ページ
	X-OVER		351ページ
	EASY SETUP		352ページ
オーディオ	HDD AUDIO	自動録音	259ページ
		ビットレート	259ページ
		ハードディスク情報	259ページ
	DVD初期設定	メニュー言語	295ページ
		音声言語	296ページ
		字幕言語	296ページ
		カントリーコード	297ページ
		パレンタル	298ページ
		圧縮ファイルモード	298ページ
		VCD PBC再生	299ページ
		ダウンミックス	299ページ
		スクリーン設定	300ページ
		DVD-A再生モード	300ページ
		ボーナスコード設定	301ページ
		DivX DRM情報	301ページ
通信	接続電話	自動選択	169ページ
		ケーブル接続	169ページ
		Bluetooth接続	169ページ
	データ通信	ケーブル接続	170ページ
		B.T1	170ページ
		B.T2	170ページ
		B.T3	170ページ
		B.T4	170ページ
	Bluetooth	Bluetooth機器設定	173ページ
		Bluetooth自デバイス情報編集	173ページ
	通話画面	着信全画面割込み	174ページ
		着信・通話画面情報表示	174ページ
	通話音量	自動着信	174ページ
		着信音量	174ページ
		受話音量	174ページ
		送話音量	174ページ
DRIVE INFO.	車種設定		110ページ
	INFO.表示設定	ECOガイドトーン	110ページ
		ECO情報	110ページ
		標高最大値	110ページ

目的別索引

共通

共通

	目的	項目	参照ページ
ディスプレイについて	ディスプレイの角度を調整したい	ディスプレイの角度を調整する	22ページ
	ディスクやSDメモリーカードを出し入れしたい	DVD、CD、SDメモリーカードの出し入れ	22ページ
	ディスプレイの明るさを設定したい	ディスプレイ照明設定	37ページ
画面について	マルチゲート画面について知りたい	マルチゲート画面	26ページ
	マルチインフォメーション画面について知りたい	マルチインフォメーション画面	29ページ
	ドライブインフォメーション画面の見かたを知りたい	ドライブインフォメーション画面の見かた	107ページ
	ナビゲーション画面を表示したい	ナビゲーション画面を表示する	23ページ
	サウンド・映像モードを表示したい	サウンド・映像モードに切りかえる	24ページ
	操作音の音量を調整したい	操作音の設定	346ページ
	画面を消したい	画面を消す	25ページ
	画質を調整したい	画質の調整	38ページ
	画面サイズを変えたい	画面モードを切りかえる	40ページ

ナビゲーション関係

地図に関して

	目的	項目	参照ページ
地図の表示について	地図画面の見方を知りたい	画面の見かた	42ページ
	地図記号について知りたい	地図マーク一覧	186ページ
	現在地を知りたい	現在地を表示する	45ページ
	現在地付近の地図を見たい	地図をスクロールする	45ページ
	地図の縮尺を切りかえたい	縮尺を切りかえる	46ページ
	市街地図の表示に切りかえたい	市街地図について	46ページ
	地図の向きをかえたい	方位を切りかえる	47ページ
	画面を2分割して表示させたい	地図表示を切りかえる	48ページ
	ナビ画面とサウンド・映像画面を同時に表示させたい	マルチゲート画面、マルチインフォメーション画面について	26ページ、29ページ
	インジケータバーの表示について知りたい	インジケータバーを表示する	51ページ
	地図を立体的に表示させたい	方位を切りかえる	47ページ
	立体的な施設マークを表示させたい	3Dランドマークを表示する	134ページ
	施設(コンビニ・ガソリンスタンドなどの)マークを表示させたい/消したい	ランドマーク表示を設定する	52ページ
	目的地に到着する時間を表示させたい	到着情報の表示	88ページ
	明るさやコントラストをかえたい	画質の調整	38ページ
	地図の色をかえたい	地図色を切りかえる	132ページ



	目的	項目	参照ページ
地図の呼び出しについて	施設の名称を入力して呼び出したい	施設を50音で探す	64ページ
	施設を検索して呼び出したい	施設を探す	61ページ
	電話番号を入力して呼び出したい	電話番号から探す	66ページ
	郵便番号を入力して呼び出したい	郵便番号から探す	67ページ
	住所を入力して呼び出したい	住所を50音で探す	65ページ
	住所を検索して呼び出したい	住所リストから探す	60ページ
	インターチェンジや駅を検索して呼び出したい	路線別で探す	62ページ
	登録した地点から呼び出したい	登録地点から探す	63ページ
	以前の目的地から呼び出したい	目的地履歴から探す	64ページ
	マップコードを入力して呼び出したい	マップコードから探す	68ページ
	緯度経度を入力して呼び出したい	緯度経度から探す	68ページ
	現在地の近くにある施設を呼び出したい	現在地周辺/目的地周辺から探す	69ページ
	案内ルートの近くにある施設を呼び出したい	ルート周辺から探す	69ページ
	目的地の近くにある施設を呼び出したい	現在地周辺/目的地周辺から探す	69ページ
	現在地の近くにある建物呼び出したい	周辺の建物から探す	70ページ

目的地案内に関して

	目的	項目	参照ページ
目的地案内を開始する前に	目的地を決めたい	目的地を設定する	73ページ
	案内を開始させたい	目的地案内を開始する	77ページ
	ルートを選びたい	ルートの探索結果画面	74ページ
目的地案内を開始する前、または目的地案内中に	目的地までのルートを知りたい	案内中のルートを確認する	79ページ
	目的地に到着する時間を知りたい	到着情報の表示	88ページ
	経由地を設定したい	経由地を設定する	76ページ
	通るインターチェンジ(IC)を指定したい	インターチェンジ(IC)を指定する	75ページ
	区間ごとのルートをかえたい	利用道路を変更する(条件変更)	82ページ
	表示されているルートをかえたい	別のルートを選択する	82ページ
	音声案内の音量をかえたい	案内音量を調整する	55ページ
	料金所の手前で金額を知りたい	料金案内	88ページ
	音声案内を確認したい	音声案内	88ページ
	高速道路の分岐を立体的に表示したい	交差点・高速分岐案内	86ページ
	曲がる交差点を立体的に表示したい	交差点・高速分岐案内	86ページ
	進む車線を知りたい	レーン(車線)ガイド表示	87ページ
	目的地を消去して案内を中止したい	ルートを消去する	85ページ
	ルート全体を表示させたい	全ルートを表示する	80ページ
	常に最短のルートに変更したい	より最適なルートが見つかった場合(アクティブルートサーチ)	77ページ
	抜け道を使いたい	抜け道ルートが見つかった場合	78ページ

VICS

	目的	項目	参照ページ
VICSについて	VICS情報を地図に表示させたい	VICS設定	125ページ
	FM多重放送を表示させたい	FM多重放送を見る	120ページ
	VICS情報を表示させたい	VICS情報を見る	121ページ
	割り込み情報を表示させたい	割り込み情報を見る	122ページ
	駐車場情報を見たい	駐車場情報を見る	123ページ
	VICS記号について知りたい	VICS道路交通情報マーク一覧	130ページ

その他

	目的	項目	参照ページ
便利な機能	自宅を登録したい	特別地点(自宅/よく行く地点)を登録する	92ページ
	リスト画面を操作したい	リスト画面を切りかえる	32ページ
	覚えておきたい地点を登録したい	地点を登録する	94ページ
	迂回する地点を登録したい	迂回地点を登録する	101ページ
	走行状態を知りたい	ドライブインフォメーション画面の見かた	107ページ
	電話をかけたい	電話をかける	157ページ
	ハンズフリー電話の音量を調整したい	通話音量を調整する	168ページ
	ナビに記録した情報を消去したい	情報を消去する	146ページ
	ETCについて知りたい	ETCについて	176ページ
わからなくて お困りのとき	フロントカメラ/リアカメラを操作したい	フロントカメラ/リアカメラの操作	178ページ
	画面のメッセージがわからない	表示メッセージ(ナビゲーション関係)	394ページ
	故障かどうかわからない	故障かな?と思ったら	390ページ
	ナビゲーションについてもっとよく知りたい	Q&A	382ページ



サウンド・映像関係

オーディオについて

	目的	項目	参照ページ
ラジオの使い方について	ラジオを聴きたい	ラジオを聴く	213 ページ
	放送局を探したい	聴きたい放送局を選ぶ	214 ページ
	放送局を記憶させたい	放送局を記憶する	215 ページ
	交通情報を聴きたい	交通情報を受信する	217 ページ
CDの使い方について	CDを聴きたい	CD/MP3/WMA/AACを聴く	223 ページ
	聴きたい曲を探したい	聴きたい曲(ファイル)を選ぶ	224 ページ
	聴きたい曲が何番目に入っているかわからない	曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)	227 ページ
	今聴いている曲やCDを繰り返し再生したい	繰り返し聴く REPEAT(リピート)	229 ページ
	いつもと違う順番で聴きたい	曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)	228 ページ
MP3/WMA/AACについて	MP3/WMA/AACを聴きたい	CD/MP3/WMA/AACを聴く	223 ページ
	聴きたいフォルダや音楽ファイルを選びたい	聴きたい曲(ファイル)を選ぶ	224 ページ
	聴きたい音楽ファイルを探したい	曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)	227 ページ
	今聴いている音楽ファイルを繰り返し再生したい	繰り返し聴く REPEAT(リピート)	229 ページ
	いつもと違う順番で聴きたい	曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)	228 ページ
	MP3/WMA/AACについて知りたい	MP3/WMA/AACについて	231 ページ
HDD AUDIOの使い方について	HDD AUDIOを聴きたい	HDDの曲を聴く	240 ページ
	聴きたい曲やアルバムを選びたい	聴きたい曲を選ぶ	241 ページ
		聴きたい曲を探す	243 ページ
	聴きたい曲を探したい	曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)	245 ページ
	今聴いている曲を繰り返し再生したい	繰り返し聴く REPEAT(リピート)	247 ページ
	いつもと違う順番で聴きたい	曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)	246 ページ
	HDD AUDIOに曲やアルバムを録音したい	HDDへ録音する	237 ページ
	よく聴く曲を登録したい	プレイリストの編集	248 ページ
	曲名やアルバム名を変更したい	HDDの編集	253 ページ
	曲の順番を並べかえたい	曲を並べかえる	249 ページ
	曲やアルバムを消去したい	消去する	250 ページ
	タイトル情報を取得したい	タイトル情報を取得する	258 ページ
	HDD AUDIOについて知りたい	HDDをご使用になる前に	234 ページ

SDメモリーカードについて

	目的	項目	参照ページ
SDメモリーカードの使い方について	音楽データを再生したい	音楽データを再生する	263ページ
	画像データを見たい	写真データを再生する	263ページ
	登録地点をコピーしたい	登録地点をコピーする	264ページ
	画像を本機にコピーしたい	SDメモリーカードの画像をHDDに追加する	266ページ

DVD/ビデオCD/DivX®について

	目的	項目	参照ページ
DVD/ビデオCD/DivX®について	DVDを見たい	再生する	279ページ
	見たい場面を探したい	見たい映像を探す	288ページ
	他のアングルにかえたい	アングルの切りかえ	293ページ
	他の言語にかえたい	音声言語の切りかえ	293ページ
		サブタイトル(字幕言語)切りかえ	294ページ
	今見ている場面を繰り返し再生したい	繰り返し見る REPEAT(リピート)	292ページ
	DVDメニューを表示したい	メニューを表示する	280ページ
	言語をかえたい	優先する音声を切りかえる	296ページ
		字幕の言語を切りかえる	296ページ
		メニューの言語を切りかえる	295ページ
	視聴制限を設定したい	視聴制限を設定する	298ページ
	画面のサイズを切りかえたい	映像出力を切りかえる	300ページ

ワンセグについて(VIE-X075B1ご購入の場合)

	目的	項目	参照ページ
ワンセグについて	ワンセグ放送を見たい	ワンセグ放送を見る	307ページ
	放送局を探したい	放送局を選ぶ	308ページ
	放送局を記憶させたい	放送局を記憶する	309ページ
	テレビの操作画面を表示したい	画面の見かた	304ページ
	今、聞いている音声を切りかえたい	音声多重機能を使う (二重音声放送)	310ページ

地上デジタルテレビについて

	目的	項目	参照ページ
地上デジタルテレビについて	地上デジタルテレビを見たい	地上デジタルテレビを見る	314ページ
	放送局を探したい	放送局を選ぶ	315ページ
	ワンセグ放送を見たい	ワンセグ放送を見る	316ページ
	データ放送を見たい	データ放送を見る	317ページ
	番組情報を見たい(EPG)	番組情報を見る(EPG)	319ページ

iPodについて

	目的	項目	参照ページ
iPodについて	iPodを再生したい	iPodを再生する	324ページ
	聴きたい曲や見たい映像を選びたい	聴きたい曲や見たい映像を選ぶ	325ページ
	聴きたい曲やアルバムを探したい	聴きたい曲を探す	328ページ
	見たい映像を探したい	見たい映像を探す	331ページ
	いつもと違う順番で聴きたい	曲順を変えて聴く シャッフル(M.I.X. ミックス)	332ページ
	今聴いている曲を繰り返し再生したい	繰り返し聴く REPEAT(リピート)	333ページ

外部機器について

	目的	項目	参照ページ
外部機器について	外部機器(VTRなど)の映像を見たい	AUX操作	336ページ

別売リモコン操作について

	目的	項目	参照ページ
別売リモコン操作について	リモコンを使う準備をする	リモコンを使いこなす	358ページ
	リモコンで操作する	リモコン操作	360ページ

音の調整に関して

	目的	項目	参照ページ
音の調整について	メディアに合った音質にしたい	MXモードの設定	343ページ
	自分の車に合った音質にしたい	EASY SETUPの設定	352ページ
	イコライザーを調整したい	イコライザー特性(メーカー設定)を選ぶ BASS MAX EQ	344ページ
		イコライザーカーブの設定 P-EQ	344ページ
	音のバランスを調整したい	バランス/フェダーの設定 BAL./FAD.	345ページ
	音の到達時間差を調整したい	タイムコレクションの設定	348ページ
	Dolby Pro Logic IIを使いたい	DOLBY PRO LOGIC IIを使う	346ページ
	EUPHONYを使いたい	パーチャル5.1ch再生を設定する	347ページ
	使用するスピーカーを設定したい	スピーカーを設定する	347ページ
	スเปアナを表示したい	スเปアナ表示を設定する	36ページ
	サウンド・映像モードの音量を調整したい	音量の調整	210ページ

その他

	目的	項目	参照ページ
画面について	サウンド・映像モードをOFFにしたい	サウンド・映像モードのON/OFF	206ページ
	モードを切りかえたい	モードを切りかえる	207ページ
わからなくてお困りのとき	画面のメッセージがわからない	表示メッセージ(サウンド・映像関係)	394ページ
	故障かどうかわからない	故障かな?と思ったら	392ページ

索引(ナビゲーション編)

五十音順

あ行

空き道表示	126
アクションインジケータ	19
アクティブルートサーチ	77
アクティブルートサーチを設定する	139
案内音量	55
案内開始	74
案内中のルートを確認する	79
案内ポイント	44
案内誘導設定	136
行き先を検索して設定	72
行き先を探す	59
一般	74
一般道合流案内	136
一般道車速設定	137
一般道路モード地図	135
緯度経度から探す	68
イルミ連動	132
インジケータバー	51
インジケータバー表示ON/OFFスイッチ	42
インジケータ表示	28
インターチェンジ(IC)を指定する	75
迂回エリア範囲設定	103
迂回距離	140
迂回する	84
迂回地点情報を確認・変更する	102
迂回地点を登録する	101
映像画質を調整する	39
映像コントラストを調整する	39
映像の明るさを調整する	39
映像の色あいを調整する	39
映像の色の濃さを調整する	39
エコガイド	108
エコガイドインジケータ	108
エコガイドバー	108
選んで探す	60
応答保留	154
お問い合わせ窓口	403
オプション機能	175
音声案内	88
音声切換	155

か行

カーソルマーク	43
開/閉/TILTスイッチ	19
ガイド音声	55
回避エリア考慮	140
各部の名称	19
画質設定	38

画質調整値の記憶/呼び出し	39
画質の調整	38
画像を登録する	162
壁紙をOFFにする	25
画面の見かた	42
画面表示切りかえスイッチ	42
画面モード	40
画面を消す	25
規制考慮	75
規制マーク表示	117、127
軌跡	52
旧ルート	77
行政界色分け	132
距離	74
距離補正	143
距離メーター	86
切りかえスイッチについて	358
緊急・注意警戒表示	114
緊急情報	122
警告アイコン	44
携帯電話を接続する	149
経由地を設定する	76
経由地を変更する	83
経路設定	139
ケーブル接続	169
現在地画面	42
現在地周辺/目的地周辺	69
現在地情報表示	133
現在地スイッチ	19
現在地を表示する	45
県境案内	136
現ルート	78
交差点・高速分岐案内	86
交差点名称表示	86
高速/有料道路モード地図	135
高速入口案内図	86
高速ガイド表示	87、134
高速道車速設定	137
高速分岐案内	86
交通FM図形情報	119
交通FM文字情報	119
交通事故多発区間警告	137
行程ガイド	48
項目のスクロール	32
合流案内	136
故障かな?と思ったら	390
個人宅電話番号・名称データについて	401
ことわり情報	122

さ行

再生可能フォーマット一覧	4
--------------	---



最適ルート	77
細街路オートスケール	134
サウンド・映像画面への案内割込み	137
サウンド・映像ソース情報表示	28
索引	416
差分更新	144
市街地図	46
市街地図収録都市リスト	187~191
時間曜日規制考慮	140
自車位置修正	135
自車位置マーク	42
自車マーク表示を設定する	135
施設ジャンル一覧	192
施設情報画面から電話をかける	160
施設マーク	50
施設文字	135
施設を50音で探す	64
施設を探す	61
自宅	92
自宅へ帰る	73
自動再探索	77
自動選択	169
自動着信	174
自動で壁紙を変更する	36
車種設定	110
車速バー表示	108
車両種別	137
ジャンル	61
住所リストから探す	60
住所を50音で探す	65
渋滞・混雑/空き道表示	116
渋滞・混雑表示	126
渋滞回避ルート探索	74
渋滞学習の設定	141
渋滞予測表示(空き道)	127
渋滞予測表示(渋滞・混雑)	126
周辺迂回	84
周辺施設を検索する	53
周辺の建物から探す	70
周遊	84
収録データについて	401
縮尺	46
受話音量	168
瞬間車速表示	108
準備	19
ジョイスティック	358
条件変更	82
詳細案内図表示	138
情報消去	146
情報保持時間	125
情報割込み	125

新ルート	77
推奨	74
数字を入力する	34
スキン変更	28
スクロール	45
スクロール後の画面	43
図形情報	119
スケールバー	46
スベアナ表示を設定する	36
スライダーバー	27, 80
接近音を変更する	98
接続ケーブルで接続する	149
接続先	170
接続情報	144
接続電話	169
接続電話設定	169
接続電話の設定	169
設定項目一覧	407
全情報初期化	146
全設定項目初期化	146
全ルート	80
走行距離を見る	109
送話音量	168

た行

タイトルスクロール	35
タイムスタンプ	114
タッチスイッチ	20
タッチパネルの調整	37
建物情報	54
タブ	31
短縮時間	139
短縮ダイヤル	159
近くで探す	69
地図・情報について	401
地図から設定	72
地図差分更新	144
地図色切換	132
地図データについて	401
地図データを更新する	144
地図表示言語を英語にする	135
地図表示設定	132
地図表示のしかた	46
地図表示を設定する	51
地図マーク一覧	186
地点情報	96
地点情報を確認・変更する	95
地点属性	99
地点の位置を変更する	100
地点の登録	91
地点の読みを変更する	97

地点名称を変更する	97
地点を消去する	100
地点を登録する	94
地名/路線名	133
着信・通話画面情報表示	174
着信アイコン	166
着信音量	174
着信全画面割込み	174
着信履歴機能	166
注意警戒情報	122
駐車場情報	123
駐車場情報の表示	116
調光センサー	19
通信方式	172
通話音量	168
通話音量を設定する	174
通話中の表示	152
ディスプレイ照明設定	37
ディスプレイ設定	35
ディスプレイの明るさを設定する	37
ディスプレイの角度を調整する	22
ディスプレイ表示設定	35
ディマー	37
ディマー連動	132
データ通信	170
データ通信設定	170
デバイス名	150、173
デモ走行	81
デモンストレーション機能	145
電源のON/OFF	21
電池の出し入れ	359
店頭デモ	145
店頭デモ自動起動	145
電波レベル	152
電話・通信設定	169
電話帳	158
電話帳を編集する	161
電話番号から探す	66
電話番号を変更する	97
電話を受ける	151
電話をかける	157
電話を切る	156
冬期規制アイコン	134
冬期閉鎖区間	75
冬期閉鎖区間考慮	140
到着情報	88
到着情報表示	44、79
到着予想時刻音声案内	137
登録地点アイコン	134
登録地点から探す	63
登録地点から設定	72

トーン発信機能	154
特長	16、17、18
特別地点	92
特別地点/登録地点情報画面から電話をかける	160
時計表示の設定	36
時計を表示させる	25
ドライブインフォメーション	106

な行

ナビゲーション案内	57
ナビゲーション画面を表示する	23
ナビ情報	143
ナビ情報設定	143
認証パスワード	158
抜け道	78
抜け道ルート	78
抜け道を探索する	139
ノースアップ	47

は行

バージョン情報	145
バスキー	150
パスワード	172
発信アイコン	164
発信履歴機能	164
発話用マイク	155
番号で探す	66
番号入力	157
ハンズフリー電話	147
ビーコン	113
ビーコン図形/文字情報	115
ビーコン図形情報	122
標高最大値を設定する	110
標高表示	109
昼画面	132
ビル立体表示	133
フェリー航路	88
フェリー使用	140
フォーカスエリア	361
踏み切り案内	136
ブランド名	52、61
フロントカメラ	178
平均車速を設定する	137
別ルート	74
ヘディングアップ	47
方位	47
方面看板	87
方面看板表示	133
保証について/規格	396
本書の見かた	10
本体スイッチ	19



ま行

マークを変更する	98
マイクロソフトからの使用許諾契約書	402
マップコードから探す	68
マルチインフォメーション画面	29
マルチゲート画面	26
右画面表示設定	51
道幅	74
名称で探す	64
メニュー/PWRスイッチ	19
メニュー画面	31
メモを入力する	98
目次	12、13、14、15
目的地案内	77
目的地案内表示	86
目的地履歴	64
目的地を設定する	73
目的別索引	410
文字サイズ	135
文字情報	119
文字を入力する	33
モニター自動CLOSE	37
モニターを自動で閉じる	37
もより	53

や行

夜間の照明スイッチ明るさを設定する	37
夜間のディスプレイ明るさを設定する	37
ユーザーID	172
誘導方向	133
郵便番号から探す	67
有料道車速設定	137
用語説明	380
横加速度表示	108
夜画面	132

ら行

ランドマーク情報	53
ランドマーク表示	52
ランドマーク表示ジャンル	52
リアカメラ	178
リアカメラの映像	179
リアカメラのガイドを調整する	181
リアモニター	183
リアモニター映像出力の設定	35
リアルジャンクションガイド	137
リアルジャンクションガイド表示	87
リスト画面	32
リダイヤル	157
リモコン受光部を切りかえる	35

リモコンセンサー	19
リモコン操作	360
リモコンフロント	35
リモコンリア	35
料金案内	88
リルート	77
ルート案内画面	44
ルート学習	141
ルート学習設定	141
ルート行程情報表示	136
ルート周辺	69
ルート情報(案内道路情報)	81
ルート探索	72
ルートの探索結果画面	74
ルート表示	44
ルートブラウザ	79
ルートを消去する	85
ルートをスクロールする	79
ルートを変更する	82
レーン(車線)ガイド表示	87
レーン(車線)表示	86
レーンガイド	138
レベル1	113
レベル2	113
レベル3	113
路上駐車場マークを表示する	127
路線別で探す	62

わ行

割込み情報	122
割り込み通話機能	154
ワンロック・マップ	16

アルファベット/数字

1/左画面表示設定	51
1画面表示	48
2画面表示	48
3Dイラスト拡大図(詳細案内図)	86
3Dの角度を変更する	50
3Dマップ	47
3Dランドマーク表示	134
3Dリアル交差点拡大図	86
5ルート	74、82
Bluetooth	149
Bluetooth機器設定	173
Bluetooth接続	169
Bluetooth接続を設定する	149
Bluetooth設定	173
BRIGHT	39
COLOR	39

COMMUNICATION画面から電話をかける ...	160
CONTRAST	39
DNSサーバー	172
DRIVE INFO.表示	106
DVD/CD挿入口	19
DVD/CDを入れる	22
DVD/CDを取り出す	22
ECOガイドトーン	110
ECO情報	110
ETC	176
ETC案内	137
ETCユーザー情報	177
ETC料金表示	176
ETC料金履歴	176
ETCレーン表示	87、176
FM多重放送	113、120
FM文字多重放送	113
GPS情報	144
GPS表示を見る	109
IC合流案内	136
IC変更	74、75
INFO.表示設定	110
JCT合流案内	136
MENU項目一覧	406
Q&A	382
SA(サービスエリア)・PA(パーキングエリア)情報 ...	124
SA・PA合流案内	136
SDメモリーカード挿入口	19
SDメモリーカードを入れる	23
SDメモリーカードを取り出す	23
SHARPNESS	39
TINT	39
VICS	112
VICS情報	121
VICS情報画面	118
VICS情報提供道路の設定	127
VICS情報有料放送サービス契約約款	399
VICS図形情報	113
VICS設定	125
VICS代表局一覧	128
VICSタイムスタンプ	114
VICS地図表示	126
VICS駐車場情報	123
VICS駐車場マーク表示	127
VICS道路交通情報マーカー一覧	130
VICSに関するお問い合わせ	128
VICS割込み情報	122
VISUAL EQ	39
WIDE	40

索引(サウンド・映像編)



五十音順

あ行

アーティストを探す	243、328
アートワーク自動取得	334
アクションインジケーター	19
圧縮ファイルモード	298
アルバムを探す	243、328
アングルの切りかえ	293
暗証番号変更	298
イコライザーカーブの設定	344
イコライザー特性	344
一時停止	223、240、285、327
インジケーター表示	28
映像画質を調整する	39
映像コントラストを調整する	39
映像出力を切りかえる	300
映像の明るさを調整する	39
映像の色あいを調整する	39
映像の色の濃さを調整する	39
エリアコール	215
オーディオブックを探す	328
オートメモリー	215、309
お問い合わせ窓口	403
音の到達時間の補正	348
音楽データを再生する	263
音声言語	296
音声言語の切りかえ	293
音声多重機能	310
音声レベル	339
音像を調整する	346
音量調整	342
音量調整画面	342
音量の調整	210

か行

開/閉/TILTスイッチ	19
外部DVDプレイヤー	336
外部機器を接続する	339
外部接続	339
外部入力	336
各部の名称	19
画質調整	38
画質調整値の記憶/呼び出し	39
画質の調整	38
画像設定	354
画像追加	266
画像編集	255
画像を表示する	354
壁紙をOFFにする	25
壁紙を設定する	355

画面OFF	355
画面モード	40
画面を消す	25
カントリーコード	297
聴きたい曲/見たい映像を選ぶ	325
聴きたい曲を選ぶ	241
聴きたい曲を探す	243、328
曲順を変えて聴く	228、246
曲のイントロだけを聴く	227、245
曲を探す	243、328
切りかえスイッチについて	358
繰り返し聴く	229、247、333
繰り返し見る	292
グループ番号から探す	289
言語コード一覧	378
現在地スイッチ	19
交通情報	217
項目のスクロール	32
故障かな?と思ったら	390
コマ送り再生	286

さ行

再取得	258
再生中止(PRE STOP)	282
再生停止	283
再生モード	262
サウンド・映像ソース情報表示	28
サウンド・映像モードのON/OFF	206
サウンド調整	342
索引	421
作曲者を探す	328
サブウーハー	345
サブウーハー出力レベル	345
サブタイトル(字幕)表示機能について	268
サブタイトル(字幕言語)の切りかえ	294
サラウンド設定	346
サンプリング周波数	230
時間補正值	349
視聴制限	298、302
視聴制限について	268
自動選局	214
自動で壁紙を変更する	36
自動で記憶する(オートメモリー)	215、309
自動で録音する	237
自動録音	259
字幕言語	296
写真データを再生する	263
シャッフル(M.I.X. ミックス)	332
ジャンルを探す	243、328
周波数帯域と音質について	405
主音声	310

受信情報	318
手動で記憶する	215、309
手動で放送局を選ぶ	214、308
手動で録音する	237
準備	19
ジョイスティック	358
初期化	264
初期値	301
数字を入力する	34
スキン変更	28
スクリーン設定	300
スピーカー設定	347
スペインナ表示を設定する	36
スライダーバー	27、330
スライドショー	356
スライドショー機能	356
スローモーション再生	287
静止(一時停止)	285
設定項目一覧	407
操作音の設定	346
ソングサーチ	224

た行

対応規格	230
タイトル	216
タイトル情報を取得する	258
タイトルスクロール	35
タイトル番号から探す	289
タイムコレクション(時間補正)について	349
タイムコレクションの設定	348
ダイレクトアップ/ダウン機能	244、330
ダイレクトサーチ機能	330
ダウンミックス	299
ダウンロード	258
多重音声	294
タッチスイッチ	20
タッチパネルの調整	37
タブ	31
地上デジタルテレビ操作	311
地上デジタルテレビを見る	314
地上デジタル放送について	404
地点追加	265
地点保存	264
チャプターの頭出しをする	288
チャプター番号から探す	288
チューニングモード	214、308
ディスクの種類のマーク	278
ディスタンスモード	214
ディスプレイ照明設定	37
ディスプレイ設定	35
ディスプレイの明るさを設定する	37

ディスプレイの角度を調整する	22
ディスプレイ表示設定	35
ディフイート	345
ディマー	37
データベースについて	234
データ放送	317
電源のON/OFF	21
電池の出し入れ	359
登録地点をコピーする	264
登録地点を保存する	264
特長	16、17、18
時計表示の設定	36
時計を表示させる	25
トラックの頭出しをする	288
トラック番号から探す	288

な行

ナビゲーション画面を表示する	23
二重音声放送	310

は行

バーチャル5.1ch再生	347
ハードディスク	234
ハードディスク情報	259
早送り・早戻し	226、242、284、326
バランス/フェダーの設定	345
バレンタル	298
番組詳細情報を見る	319
番組情報	319
番組情報を見る	319
ビットレート	230、236、259
ビデオCD	278
ビデオCD再生モード	299
ビデオ対応iPodサーチモード	331
ファイルサーチ	224、290
ファイル順を変えて聴く	332
ファイル名について	231
フォーカスエリア	361
フォーマットについて	231
フォルダサーチ	224、290
フォルダを選ぶ	225、290
副音声	310
プリセットスイッチ	214、308
プレイバックコントロール	299
プレイリストサーチ	290
プレイリストの編集	248
プレイリスト番号から探す	289
プレイリスト編集	248
プレイリストを選ぶ	289
プレイリストを探す	243、328
プレビュー	355



プレビュー画面を操作する	355
プログラムサーチ	290
プログラム番号から探す	289
プログラムを選ぶ	289
ページ送り/戻し	291
放送局を選ぶ	214、308、314
放送局を記憶する	215、309
ボーナスグループを再生する	301
ボーナスコード設定	301
保証について/規格	396
保存した地点をコピーする	265
本機対応のiPodについて	324
本書の見かた	10
本体スイッチ	19

ま行

マイクロソフトからの使用許諾契約書	402
マニュアルモード	214、308
マルチアングル機能について	268
マルチインフォメーション画面	29
マルチ音声機能について	268
マルチゲート画面	26
マルチストーリー機能について	268
マルチセッションについて	231
見たい映像を探す	288、331
名称選択	339
メディアについて	230
メニュー	280
メニュー/PWRスイッチ	19
メニュー画面	31
メニュー画面を操作する	280
メニュー言語	295
モードを切りかえる	207
目次	12、13、14、15
目的別索引	410
文字を入力する	33
モニター自動CLOSE	37
モニターを自動で閉じる	37

や行

夜間の照明スイッチ明るさを設定する	37
夜間のディスプレイ明るさを設定する	37
用語説明	380

ら行

ラジオ操作	211
ラジオを聴く	213
リアモニター映像出力の設定	35
リージョンコードについて	269
リスト画面	32
リモコン受光部を切りかえる	35

リモコンセンサー/調光センサー	19
リモコン操作	360
リモコンフロント	35
リモコンリア	35
レジストレーションコード	301
レンタルファイル	269
ローカルモード	214
録音曲編集	253
録音形式	236
録音について	236
録音についての注意	235
録音ビットレートの設定	259
録音モードの設定について	236

わ行

ワンセグ受信状態	37
ワンセグ操作	304
ワンセグ放送	307、316
ワンセグ放送を見る	307、316

アルファベット/数字

4:3LB (レターボックス)	300
4:3PS (パンスキャン)	300
A.MEMO	215、309
AACとは?	230
AACを聴く	223
AMBIENT	347
ANGLE	293
AREA	215
AUDIO	293
AUX操作	336
BAL./FAD.	345
BAND	213
BASS MAX EQ	344
BI-PHANTOM	346
BRIGHT	39
CD/MP3/WMA/AAC	219
CDを聴く	223
COLOR	39
CONTRAST	39
DEFEAT	345
DISP	306、318
DivX DRM情報	301
DivX® について	269
DivX®モード	278
Dolby PL II 設定	346
DOLBY PRO LOGIC II	346
DVD/CD挿入口	19
DVD/CDを入れる	22
DVD/CDを取り出す	22

DVD/ビデオCD/DivX®を再生する	279	PHASE	348
DVD-A再生モード	300	Podcastを探す	328
DVD-VRモード	278	PRE STOP	282
DVDオーディオ	278	Q&A	382
DVDオーディオ再生モード	300	REC	237
DVD初期設定	295	REPEAT (リピート) ... 229、247、292、333	
DVDビデオ	278	SCAN (スキャン)	227、245
DX SEEK	214	SD画像	266、355
EASY SETUPの設定	352	SDメモリーカード	261
EPG	319	SDメモリーカード挿入口	19
EUPHONY設定	347	SDメモリーカードの画像をHDDに追加する ... 266	
EXT.DTV	311	SDメモリーカードを入れる	23
EXT.DVD	336	SDメモリーカードを初期化する	264
FLDR	225	SDメモリーカードを取り出す	23
FM/AM	213	SEARCH	224、243、328、331
Gracenote音楽認識サービス	234	SEEK	214、308
HDD AUDIO	240	SHARPNESS	39
HDD AUDIO設定	259	STD	347
HDD画像	355	STEREO	299
HDDについて	234	STOP	283
HDDの曲を聴く	240	SUB	310
HDDの編集	253	SUBT.	294
HDDへ録音する	237	SURROUND	299
HPF	351	SYMPHONY	347
ID3タグ/WMAタグ	230	T.CORR	348
i-Personalize設定画面	342	TINT	39
iPodを再生する	324	TOP MENU	280
iPodを接続する	324	TUNE	214、308
iPodを外す	324	VCAP	300
LPF	351	VCD PBC再生	299
M.I.X. (ミックス)	228、246、332	VIDEO	300
MAIN	310	VISUAL EQ	39
MATRIX	347	VOFF	300
MAX	347	WIDE	40
Media Xpander	343	WMAとは?	230
MENU	280	WMAを聴く	223
MENU CONT.	280、281	X-OVERについて	350
MENU項目一覧	406	X-OVERの設定	351
MOVIE	346		
MP3/WMA/AACについて	230		
MP3とは?	230		
MP3を聴く	223		
MULTI	308		
MULTI HIT	224		
MUSIC	346		
MXモードの設定	343		
NATURAL	347		
PAGE	291		
PANORAMA	346		
PBC	299		
P-EQ	344		

電波に関する注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談して下さい。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。

連絡先 : アルパイン株式会社 インフォメーションセンター



一般電話から 0570-006636

- ※ 全国どこからでも市内料金でお問合わせ頂けます。
- ※ 一般電話からご利用頂けます。携帯電話等からは、誠に恐れ入りますが下記番号までお掛けください。

携帯電話、IP電話、光電話等から 048-662-6636 FAXでのお問合わせ 048-662-6676

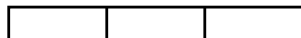
※ 営業時間は、上記番号いずれも9:30~12:00、13:00~17:30となります

(土日、祝日、弊社休業日は除く)

※ お電話でのお問合わせは混雑が予想されますので、FAXでのお問合わせをお勧め致します。

ホームページアドレス <http://www.alpine.co.jp>

2.4 FH 1



2.4 FH 1
① ② ③

- ① 「2.4」GHz帯を使用する無線設備を表します
- ② 「FH」変調方式を表します
- ③ 「1」想定される与干渉距離(約10m)を表します

その他

[illegible]

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

[illegible]

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

[illegible]

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

[illegible]

[illegible]

[illegible]